小川vs佐竹、大阪で実現へ／極真・野地キックデビュー

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成12年11月9日発行 増刊 第2巻・20号・通算32号

SRS DX

11・9
臨時増刊号
2000
定価680YEN

日清カップヌードル
K-1 WORLD GP2000 in 福岡
速報号

世紀末の
〝悪夢〟再び……

アンディの死に続いて
K-1に衝撃走る!!

バンナが交通事故！

SRS DX 11・9 臨時増刊号 No.32
10・9 K-1 WORLD GP 2000 福岡大会速報
"空手VS柔道" 佐竹VS小川、大阪で実現へ
定価680円 本体648円

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT

KING of KINGS

前田日明のプロデュース原点ここにあり

あれから1年。

月日を重ねるごとに評価が高まる

伝説の第1回KOKトーナメント。

これは単なる格闘技ビデオではない。

プロデューサー前田日明が振り返る徹底検証ビデオだ！

前田日明の発言から明日の格闘技界が見えてくる。

そして今年もKOKトーナメントの季節がやってくる。

これはファンはもちろんのこと業界関係者に是非
観て頂きたい豪華3本組6時間に及ぶ問題作です！

1999.10.28 国立代々木競技場第二体育館

（観衆：4520人　超満員）

Aブロック YOYOGI ROUND

- ラバザノフ・アフメッド（リンクス　ロシア）
- リー・ハスデル（リングス　イギリス）
- レナート・ババル（ブラジル）
- グロム・ザザ（リングス　グルジア）
- アリスター・オーフレイム（リングス　オランダ）
- コーチキン・ユーリー（リングス　ロシア）
- アントニオ・ロドリゴ・ノゲイラ（ブラジル）
- ヴァレンタイン・オーフレイム（リングス　オランダ）
- ジェレミー・ホーン（アメリカ）
- 金原弘光（リングス　ジャパン）
- ダン・ヘンダーソン（アメリカ）
- ゴキテゼ・バクーリ（リングス　グルジア）
- ジャスティン・マッコーリー（アメリカ）
- イリューヒン・ミーシャ（リングス　ロシア）
- ブラッド・コーラー（アメリカ）
- 山本宜久（リングス　ジャパン）

1999.12.22 大阪府立体育会館

（観衆：5100人　満員）

Bブロック OSAKA ROUND

- カステロ・ブランコ（ブラジル）
- アンドレィ・コピィロフ（リングス　ロシア）
- タイロン・ロバーツ（アメリカ）
- リカルド・フィエート（リングス　オランダ）
- ブランドン・リー（アメリカ）
- モーリス・スミス（アメリカ）
- ヘンゾ・グレイシー（ブラジル）
- 坂田　亘（リングス　ジャパン）
- ギルバート・アイブル（リングス　オランダ）
- ビターゼ・タリエル（リングス　グルジア）
- クリストファー・ヘイズマン（リングス　オーストラリア）
- 髙阪　剛（リングス　ジャパン）
- ティム・ラジック（アメリカ）
- ボリス・ジュリアスコフ（リングス　ブルガリア）
- デイブ・メネー（アメリカ）
- 田村潔司（リングス　ジャパン）

2000.2.26 日本武道館

（観衆：13,000人　超満員札止め）

GRAND FINAL

―― 決勝トーナメント ――

- アントニオ・ロドリゴ・ノゲイラ（ブラジル）
- アンドレィ・コピィロフ（リングス　ロシア）
- ダン・ヘンダーソン（アメリカ）
- ギルバート・アイブル（リングス　オランダ）
- レナート・ババル（ブラジル）
- イリューヒン・ミーシャ（リングス　ロシア）
- ヘンゾ・グレイシー（ブラジル）
- 田村潔司（リングス　ジャパン）

―― スペシャルマッチ ――

グロム・ザザ（リングス　グルジア） VS ボビー・ホフマン（アメリカ）

クリストファー・ヘイズマン（リングス　オーストラリア） VS ブラッド・コーラー（アメリカ）

初回特典

KING of KINGS 特製ステッカー封入！

絶賛発売中！

価格 3本組 ￥14,286（税抜）/品番 PSVR-5070～72/カラー/VHS/Hi-Fiステレオ

前田日明の検証インタビュー収録
記者会見は勿論、未公開映像満載
全試合完全ノーカット
田村『Uのテーマ』での入場シーン収録
その他、永久保存映像満載！ごちそうさま。

全国の有名CDショップ及びプロレスショップにてお買い求めになれます。ご予約の際はあらかじめ上記の品番を添えて御注文していただくと便利です。

●通信販売も御利用になれます。（詳細は当社ホームページを御参照下さい。）

（株）ポリスター 03(5721)3215

http://www.polystar.co.jp

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT 2000

KING of KINGS大会スケジュール

2000年12月22日（金） 大阪府立体育会館 ／ 2001年2月24日（土） 両国国技館

拝啓 石井館長、もし“総合”を潰すんならこの3人をおススメします!

今こそK—1の“K”はケンカの“K”だと思い出せ!

今年からK—1は世界各地で予選が行われ、国内で行われる「ワールドGP」シリーズも全て、12・10東京ドームで行われる決勝大会の出場権を賭けたトーナメントになった。つまり、それだけますますK—1は国際スポーツとして成熟しようとしているわけだ。しかし、たとえ競技が成熟しても、ファンは競技の枠を超えた「闘争本能」の固まりのような試合をする男に酔いしれる。今こそ、K—1の“K”は、ケンカの“K”だということを思い出せ!

聞き手◎谷川貞治

本誌は競技の枠を超えた「闘争本能」の固まりのような試合をする男を応援する!

競技が成熟していくと、どんな格闘技でも、ルールの中で技術を競い合うスポーツになっていく。それはたとえ〝なんでも有り〟と呼ばれるバーリ・トゥード（VT）でも同じこと。

今、VTが面白いと言われているが、決してそうではない。VTが面白いんじゃなく、VTは比較的、本能の闘いが見えやすいから見る側はドキッとするのだ。

VTでも今後、技術が先行して、タックルしていいポジションを奪い合い、判定によって勝敗が決まる試合が増えると、すぐに飽きられてしまうハズ。俗に言う守りに徹した〝ガイ・メッツァー戦法〟というヤツだ。

〝ガイ・メッツァー戦法〟が増えたら、その競技はダメになっていく。そこがスポーツと興行の矛盾であり、悩みでもあるのだ。

我々が本当に見たいもの――それは競技の枠を超えた「本能の闘い」を感じさせるファイターである。それは、たとえどんなルールでやっていようが同じこと。見る側はいつも、その枠を超越した闘いが見たいのだ。

K―1に求めているのもその部分だ。創生期の頃のK―1は、それこそヘビー級同士が、パンチとキックでぶっ飛ばし合いをしているような、ナマの喧嘩の迫力があった。そこに、プロレス以上のド迫力を感じ、衝撃を覚えたのである。

ところが、K―1も8年目を迎え、第一世代のファイターに、その迫力を感じさせる者が少なくなってきた。闘うモチベーションもそうだが、同じ人間と何度も闘うことで、体が自然と慣れてしまっている。その慣れの中で、うまく勝とうとする試合が多くなってきた。

だから、ジェロム・レ・バンナやマイク・ベルナルドは、一度K―1を離れ、自分の何かを変えようと努力した。サム・グレコがWCWというプロレスのリングに上がろうとしていることも、そんな理由からだろう。

それで見事に変身したのが、バンナだ。バンナは、K―1という競技にも収まらないくらいの迫力を身に付けて帰ってきた。今、最も勢いのあるバンナの魅力は〝闘争本能〟そのものである。

狙った獲物は絶対に逃がさない狩人。K―1の中でもバンナだけは、プロレスファンのハートを掴むことができるファイターだ。

私はK―1の主軸は空手（特に極真）だと思っていたが、残念ながらバンナら〝本能のファイター〟に、今は勢いで呑まれている。その〝本能のファイター〟としては、バンナ以外では、ミルコ・クロコップとシリル・アビディが挙げられる。

アーツやホーストといった第一世代が今、失いかけている魅力を、彼ら「本能三銃士」は体現している。彼らの闘いを見ていると、ホント、こいつらだったらVTをやらせても強いんだろうな、と想像力をかき立たせてくれるのだ。

だから、もし総合を潰そうとするのなら、K―1からはぜひこの3人を出してほしい。K―1がそれこそ自信をもって送り出せるファイターだ。そういう魅力があるファイターがいるからこそ、〝K―1をナメるな〟と胸を張れるのである。

K-1当代随一の"本能"ファイター そのバンナにも襲いかかった悪夢

そこで、今号の特集としては、今、K―1の魅力を最も発揮する3人の秘密を探るべくインタビューしようとした。ところが、事態は思わぬ方向に転がっていってしまった。ナント、約束していた一人、バンナが取材当日になっても姿を現さなかったのである。

たしかにバンナは少しチャランポランなところがある。以前、記者会見をサボって買い物に出掛けたり、試合で負けてホテルで大騒ぎして石井館長に怒られたこともあった。しかし、今回に限っては福岡大会を観戦した後、大事な東京ドームの決勝トーナメントの組み合わせ抽選会がある。にもかかわらず、まったくの行方不明。いくらバンナだって、連絡くらいはするだろう。

バンナは乗るはずだった飛行機に乗っていなかった。自宅にも、携帯にも電話してもらったが、まったくつかまらない。

フランスを出たのか、日本にいるのか、

ジすることを目標にしていた。

12・10東京ドームは大丈夫!!

フランスを出たのか、日本にいるのか、それさえも分からない。そこで、バンナのインタビューページがまったく空いてしまうことになってしまったのだ。

その日の深夜になって、バンナの所在がようやく確認できた。そして同時に、想像もつかない事態が起こっていることが判明した。ナント、バンナは交通事故に遭っていたのだ。

一瞬、アンディの死がオーバーラップした。K―1事務局もなかなか正確な事態が掴めない。福岡大会が終わって、翌朝の本誌の締め切りまでに分かった情報を整理すると、次のようなことになる。

まず、バンナはスパーリング・パートナーのフィリップ・ゴメスとBMWに乗っていたところ、100キロ近いスピードで走りながら何かにぶつかり、車のエンジン部分が大破するほどの事故に遭ったということ。それが車にぶつかったのか、壁のようなものにぶつかったのかはまだ分かっていない。

運転していたのは、ゴメスのほう。バンナは助手席に座っていたが、2人ともシートベルトは付けていなかったようだ。そして、ゴメスのほうは意識不明の重体に陥ったが、その後、意識は回復。バンナの意識はあるものの、頭と腕を強く打ったため、CT検査を受けているという。2人の症状がどれくらいヒドイのかは、まだ分かっていない。締め切りの時点で分かっていることはそのくらいである。

当代随一のK―1ファイターとして、東京ドームでは一番の本命と言われていたバンナ。フィリォもK―1の優勝とともに、バンナとはもう一度闘い、リベンジすることを目標にしていた。

フィリォは過去3度、K―1のリングで敗れているが、ホースト戦の時も、ベルナルド戦の時も「納得する負け」だと思っている。しかし、バンナの試合だけはどうしても納得できなかった。なぜなら、あれほど練習してきたにもかかわらず、まったく何もできないまま試合が終わってしまったからである。

フィリォは、トーナメントの抽選では「できたら自分からバンナと1回戦で当たるように、チャンスがあればバンナの隣にいく」と言っていた。正直、今年のバンナのいない決勝大会は考えられない。

かくして、本誌もバンナのインタビューは、次回への持ち越しになってしまった。「人間は信じられないけど、犬は信じられる。その犬を何日も放っておきたくないから、あんまり海外にも長期滞在したくないんだ」と言っていたバンナ。

ああ、それにしても、どうして次から次へとこういう不測の事態が起こるのだろう。とにかく大事に至ってないことを祈るのみだ。■

最終校正時に、この件に関する最新の情報が飛び込んできたので、最後に追加しておこう。バンナの事故は、空港に向かう途中に起きたもので、雨で視界が悪い中、100キロのスピードで中央分離帯に乗り上げ、そのまま反対車線の壁に激突するという凄まじいものだったようだ。しかし、助手席のバンナは奇跡的に打撲程度のケガを負ったのみで、12月の決勝戦は大丈夫ということだ。詳細は次号でお知らせする。

——アビディさん、日本のファンはスポ
んですか？
せたかったって感じかな。
けど、そういうところですか？
もある

マルセイユの悪童
シリル・アビディ

「正直言って マフィアになるか ファイターになるか 悩んだよ」

今や、K—1の中でもイキの良さがピカイチなファイターであるシリル・アビディ。そのアビディに“マルセイユの悪童”の名にふさわしい悪事をたっぷりと聞かせてもらった。コイツはホントに凄玉だぁぁぁ！

聞き手◎谷川貞治

――アビディさん、日本のファンはスポーツマンなファイターよりも、どちらかと言えば、本能的な生のケンカの匂いがするファイターが好きなんですよ。アビディさんはそういうファイターだと思うので、今日はそういった感じのお話を聞きたいと思います。

アビディ　うん、分かった。やっぱりオレにとっての格闘技というのは、ケンカから始まってるんだ。子供の頃からよくケンカをしていたからね。

――やっぱりそうですかぁ。だって、アビディさんは闘争本能の固まりのような人ですもんね。

アビディ　とは言っても、試合をやってる時とリングを降りた時は違うって言われるよ。特に顔の表情とかね。

――リングを降りた時はかわいいですよね。どちらかと言うと、ベビーフェースと言いますか……。

アビディ　ムフフ。それはオレなりに感情のコントロールをしているから。4年前に子供ができて、家庭を持ったから、無茶なことはそうできないからね。やっぱり一歩リングを降りたら、冷静な人間でないといけないって思っているんだ。

――ふ～ん。結婚をするまでは、気が短かったんですか？

アビディ　うん、そうだね。

――どういうことで、すぐにキレたりしたんですか？

アビディ　べつに理由なんていらなかったんだよ。それくらいすぐにカッとなってたんだよね。

――はぁ～、理由なき反抗ってやつですか。子供の頃はどんな感じで過ごしてたんですか？

アビディ　オレが住んでるところは、マルセイユの中でもかなり貧しいところで、お互いが尊重しあうという環境じゃなかったんだ。だから、人から尊敬されるためには、自分に力があることを示すしかなかった。子供の頃はそれをケンカで示していたって感じだったんだ。

――そうなんですかぁ。アビディさんのご両親は何をやられていたんですか？

アビディ　オレが幼い時に離婚をしてしまって、オレは母親とおばあちゃんと暮らしていたんだ。母親は働かないといけないから、代わりにおばあちゃんが育ててくれたんだよ。

――お母さんやおばあちゃんはアビディさんにどういう子に育ってほしいと思っていたんですか？

アビディ　これだっていうのはないんだけど、真面目で紳士的な人間になってほしかったみたいだね。でも、今になって思えば子供の頃はまったく逆の方向にいってたよなぁ（笑）。

――そうですか。子供の頃はそんなにケンカをしてたんですか？

アビディ　一番凄いケンカは1対1ではなく、グループ同士の抗争だった。1グループがだいたい15人くらいいてやりあってた。その中には刃物を使うヤツもいたり、瓶を割って使うヤツなんかもいたよ。

――うわぁ～、なんか殺伐としてますねぇ。

アビディ　とにかくケンカをした時というのは、自分が生き残ることが大切だったから。あとは自分の意地をみんなに見せたかったって感じかな。

人から尊敬されるためには
自分に力があることを示すしかなかった

――へぇ～、アビディさんはケンカをやって大ケガをしたことはありますか？

アビディ　（左ヒジ付近を見せてくれて）これはナイフでやられたんだ。あとは頭の後ろに叩かれた時の大きな傷が残っているよ。オレがケガをした時っていうのは、だいたい相手が卑怯な手を使って攻撃した時にできたものばかりさ。

――身体にどのくらいのキズができてるかって数えたことはありますか？

アビディ　大きいのはさっき言った、頭の後ろの傷と、ナイフで刺されたところだね。ケンカでなければ、バイクで事故った時の傷かな。

――それは暴走族だったからですか？

アビディ　違う、違う、違う！　暴走族じゃなくて、バイクが好きで乗ってただけだよ（笑）。

――んあ～。あのぉ、ヒクソン・グレイシー選手は、400戦無敗と言ってるんですけど、アビディさんは？

アビディ　12歳の頃に10歳年上のヤツとケンカして負けたことがあるくらいかなぁ。まぁ、小学校の頃のケンカなんて、大したことないから。それを入れたとしても、ストリートファイトではほとんど負けてないよ。

――へぇ～。そんなにやってたら、警察に捕まったこともあるんじゃないですか？　あっ、失礼な質問だったら、ゴメンナサイね。

アビディ　グハハハハ。たま～にね、1、2回くらいかな。

――ええぇっ～！　日本では未成年の人たちが入る少年院というのがあるんですけど、そういうところですか？

アビディ　3年間入ってたよ（笑）。

――3、3年間！　何をやったんですか？

アビディ　そうだなぁ、1つの理由だけで逮捕されたというわけじゃないんだよ。いろんなことが積み重なってね。ちゃんとした社会生活を送れなさそうに思われて、しっかりとした人間になるために13歳の時に入れられたんだ。実はね、この話をするのは初めてなんだよ。

――そ、そうなんですかぁ？

アビディ　うん、オレは君のことが好きだから、つい話してしまったよ（笑）。

――んあ～。う、嬉しいなぁ。メルシ

◀ふと気が抜けるとツメを噛んでいることが多かったアビディ。今や２児のパパではあるが、まだまだ幼児性が抜けていない部分もある

〜！
アビディ（ニコニコ）
——アビディさんは、その刑務所での3年間で何を学びましたか？
アビディ　自分勝手な人生じゃなくて、他人の痛みを考えることを教えられたよ。
——刑務所の中ではケンカしなかったんですか？
アビディ　よくやったよ（笑）。
——刑務所の中でも一番強かったんじゃないですか？
アビディ　最初に入った時は13歳で、他は17、8歳くらいのヤツらばっかりだったから、なかなかうまくいかない時もあったけどね。だんだん一番になっていったというか。まぁ、2年目くらいの時には全て仕切っていたよ。
——仕切ってた！　なんでも一番になっちゃうんですねぇ（笑）。アビディさんがケンカに明け暮れていたところから、格闘技を始めるようになったきっかけってなんだったんですか？
アビディ　マルセイユには社会センターというのがあって、貧しい子供たちを活かすためにスポーツをやる機会を与えたりするんだよ。オレはそこでボクシングと出合ったんだ。ケンカとボクシングは比べられないものだよ。目的も同じじゃないし。
——ふ〜ん。でも、ケンカ慣れしていたから、アビディさんはボクシングをやることに対しても恐怖心はなかったでしょ。
アビディ　リングとストリートファイトは比べものにならないよ。たしかに路上はケガをさせられるとかって意味で、怖い部分があるよ。でも、リングの中はスポーツだし、そういう意味での怖さはないけどね。強いて言えばリングの中で怖いのは自分自身が失敗すること。自分がうまく闘えないことが一番怖いね。
——だったら、アビディさんにとっては、日常のケンカに比べるとリングの中での試合のほうが楽なんですか？
アビディ　それは比べられないよ。だって、リングでの試合はルールがあるだろ？
——ルールがあるという点で、安心できますか？
アビディ　それは当たり前だよ。ルールがあるから、相手はオレを殺そうと闘ってるわけじゃないし、レフェリーもいるし、周りの仲間もいるしね。武器もないだろ？　だから、怖がる理由はないよ。でも、誤解してほしくないのは、たとえスポーツであっても闘争本能はあるんだよ。
——逆にケンカをしている時は、相手を殺してやろうという気持ちでやってたんですか？
アビディ　ストリートファイトは限界がないじゃないか。だから、計算をしないんだ。相手を殺そうとか殺さないとかじゃなくて、計算のない殴り合いなんだよね。でも試合の場合は殴り合いって言っても、ちゃんとしたタクティクスがあるからね。
——でも、意外や意外にアビディさんはナイフとか使うのがうまいんじゃないですか？
アビディ　ナイフは大っ嫌いだね。そんなものは、プライドのないヤツが使うものだからな。自分の本当の価値を証明したいなら、刃物なんかいらないよ。だから、オレは全て素手というか、己の拳だけでケンカしてきたんだ。そうは言っても、ちょっと銃には興味はあったけどね。でも、使ったことはないよ（笑）。

実は13歳の時から3年間
刑務所に入っていたんだ……

——いやいや、アビディさんは銃なんて使わないでくださいね（笑）。今、ケンカのようなフリーファイトの試合もありますけど、興味はありますか？
アビディ　あんまり興味はないね。オレにとってはフリーファイトって曖昧なものなんだよ。
——あ、曖昧？
アビディ　やっぱりケンカでもないし、フリーファイトって言っても、なんだかんだ言って少しはルールがあるだろ？　結局、スポーツなのかケンカなのか分からないから。
——でも、やったら強そうですよぉ。
アビディ　オレは、タイボクシングをマスターして今はK—1をやってるから、フリーファイトをやる動機がないよ。
——ケンカよりもK—1のほうが難しくないですか？
アビディ　限られた打撃の技術の中で闘わなければならないから、いくら身体が大きくてとか、ケンカ自慢だからといってK—1で成功するとは限らないんだよ。でも、フリーファイトは身体が大きくて、ケンカに自信があるとやりやすいとは思うけどね。オレにとっては、K—1で勝つほうが難しいんだよね。フリーファイトで勝つパターンっていうのは、チャンスが大きいほうに転がり込むことが多いじゃない。でも、キックは技術があるからこそ、逆転もできる場合があるからね。
——この前の横浜大会の決勝でフィリォ選手に負けちゃいましたけど、もし、ケ

▶左ヒジ付近にある傷はナイフで刺されたもの。本人は傷はそんなにないと言っていたが、よくよく見ると、至るところに生々しい傷あとがある

ンカだったらオレのほうが勝っていたと思ってませんか（笑）？

アビディ　ハハハ。それは言い切れないよ。だって、フィリォだって限られたルールの中で闘ったんだし、リングで闘うことと、ケンカというのは動機が全然違うから。もし、ケンカを売られたんであれば、ブチ切れると思うけど、それはフィリォに限ったことじゃないから。

——これは、アビディさんにK—1ファイターの誰かがケンカを吹っかけたら大変なことになるのかなぁ（笑）。

アビディ　とんでもないことになるんじゃないかな（笑）。でも、オレはべつにK—1のファイターたちにそんなことは期待していないからね。

——チェッ！　そうかぁ。僕はアビディさんの試合を見ていると、いつもケンカをしているように見えるんですよ。その迫力が凄く好きなんです。

アビディ　技術は完璧じゃないからもっと上達させていこうという気持ちは持っているけどね。でも、技術がまだまだだからこそ、気持ちで闘っているところがあるんだよ。

——だったら、あまり技術はうまくなってほしくないですね（笑）。もっと、もっと、ぶちのめしてください！

アビディ　心配しないでよ。技術が向上したとしても、気持ちの部分は変わらずに闘うから。オレの性格は爆発的だから、そういうハートで闘うというのは変わらない。ただ、技術がついていく分だけ、試合が効率的になるかもしれないけどね。

——ケンカのプロであるアビディさんから見て、K—1ファイターの中でケンカが強そうだなと思うファイターは誰ですか？

▲これがサダハルンバ推薦の“人を幸せにするアビディスマイル”。妙に風船ともマッチしている

ナイフは大嫌い！　そんなものはプライドのないヤツが使うものだからな

アビディ　そんなことは考えたこともないよ。プロの選手として見てるから、分からない。リング上で強いかどうかっていうのは言えるけどね。

——オレと同じ匂いがするなっていう選手はいますか？

アビディ　オレと同じ匂いっていうのはいないんじゃないかな。他の選手のことはよく知らないからなぁ。

——バ、バンナ選手とかって近いかなと思うんですけど……。

アビディ　しつこいなぁ、いくらそう言われても分からないって！

——じゃ、じゃあK—1の選手の中で好きなのは誰ですか？

アビディ　好きというか、アーツが一番強いと思うよ。なんだかんだ言っても、トップファイターたちをほとんどKOしてるからね。

——なるほど。アーツ選手も人気がありますけど、アビディさんも日本のファンが好きになる闘いを見せているから、どんどん有名になっていけますよ。これからの選手として期待されているし。

アビディ　そう？　それは嬉しいことだよ。オレ自身も期待してるよ。

——どんどん、お金を稼いでくださいね（笑）。

アビディ　う～ん、オレ自身はお金持ちになってどんどんお金を使うことには興味がないんだよ。ただ、今も決していいアパートに住んでいるわけではないから、家族のために家を建てたいとは思っているんだ。だから、成金になりたいとは思わないけど（笑）、家族のために使うという意味ではお金持ちになりたいね。

——それは素晴らしい。気持ちとしてのハングリーさはいつまでもないとダメですよ。

アビディ　それはなくさないから大丈夫だよ！

——最近、日本で有名なかわいい女性タレント（内田有紀）が新聞のインタビューで、「前はアーツが好きだったけど、今はアビディが一番好き」って言ってましたよ。

アビディ　それは嬉しいなぁ。ぜひ、今度会わせてよ。

——セッティングしますよぉ。でも、有名になって変な女の子に騙されないようにしてくださいね（笑）。

アビディ　大丈夫だよ、オレは結婚してんだから（笑）。

——でも、モテるからなぁ。心配だなぁ。

アビディ　キミが心配したってしょうがないじゃない（笑）。だけど、あまりK—1で試合をしてないのに、そういうふうに応援してくれる人がいるっていうのは、驚きだよ。

——それはアビディさんの試合が面白いからですよ。

アビディ　ふ～ん、でもオレはまだ物足りないんだけどな。

——物足りない！　いいなぁ。

アビディ　K—1でのこれまでの結果についてはある程度は満足はしてるけど、まだまだオレはこんなもんじゃないからな。

——た、頼もしいなぁ。ぜひ12月の決勝大会頑張ってくださいね。その決勝大会では自分で対戦相手が決められるんですけど、闘ってみたい選手はいますか？

アビディ　誰でもいいよ。

——でも、自分で対戦相手が選べるんですよぉ？

アビディ　ぜ〜んぜん、気にならないよ。だって、決勝大会まで残るヤツっていうのは、みんな強いんだから、誰を選んだって一緒だよ。

——へぇ〜。その決勝大会で優勝したら30万ドルもらえるんですけど、何に使いますか？

アビディ　そうだなぁ〜、家を買うよ。

——毎年優勝すれば、いっぱい家が買えますよ（笑）。

アビディ　ハハハハ。そうだね（笑）。

——それか、子供の頃に欲しかった物を買うのもいいんじゃないですか？

アビディ　だったらやっぱり家を買うかな。子供の頃からずっと大きな家が欲しいと思っていたからね。

——ところで、マルセイユってどんな都市なんですか？

アビディ　いろんな人種が混じってる国だね。でも港町でモロッコが近いから、麻薬の問題とかもあるんだよ。マフィアもいるし。

——アビディさんはマフィアに入ろうと思ったことはないんですか？

アビディ　正直に言えば、2つの選択肢があったんだよね。

——え〜っ、じゃあ、マフィアになるかファイターになるかってこと（笑）？

アビディ　ハッキリ言えば、そういうこと（笑）。もし、ファイターとして成功しなかったら、オレのような人間はマフィアに入っていたかもしれないね。

——かっこいいなぁ〜。スカウトとかされたんじゃないですか？

アビディ　バーで働いていたことがあって、そういうところにくるマフィアの人たちが用心棒を捜していて、そんな話もあったかな。

——「ボルサリーノ」のようにマシンガンとか持ったら似合いそうですもんねぇ。

アビディ　いくらかっこいいと言われても、結果的にはいい話にはならないんだよ。マフィアが絡んでいたのかどうかは分からないけど、違法な事でオレの友達もトラブルに巻き込まれて死んだりしているからね。

——いやいや、マフィアにならなくてよかったですよぉ。ぜひ、K—1でチャンピオンになってください（笑）。

アビディ　ああ、オレもそれを願っているよ（笑）。

——今日は面白い話がたくさん聞けて、ますますファンになりました（笑）。

アビディ　今度、ぜひマルセイユに来なよ。かっこいいマフィアを紹介するからさ（笑）。

——んあああああぁ〜。■

▲ケンカ魂爆発で勝利したセフォー戦。この試合は今年のK—1シリーズの中でも屈指の好勝負だった

技術がまだまだだからこそ、気持ちで闘っているところはある

◀日本では初公開となった刑務所話をしてくれたアビディ。その理由がサダハルンバ好きだったからとは……

クロアチアの警察官 ミルコ・クロコップ

「戦争を体験したことで死について深く考えるようになったよ」

クロアチアの現職警察官にして、
内戦も体験しているミルコ・クロコップには、
独特の殺気が漂っている。
試合のほうもラフで、相手をつかみながら殴ったり、
投げたりすることもある。
まさに競技の枠を超えたこの男の素顔に迫る!

聞き手◎谷川貞治

—ミルコさん、日本の格闘技ファンはスポーツマン的なムードの選手よりも、殺気が漂う選手が好きなんですよ。試合でも技術の攻防というより、ナマの喧嘩の迫力が出せる選手の試合が好きなんです。そういう意味で、今日は優等生っぽい発言ではなく、ミルコさんが試合中に漂わせる殺気がどこからくるのか、そういうことをインタビューしたいんです。

ミルコ　まず、私は自分のことを話したり、表現するのがとても苦手なんだ。例えば、私が去年KOしたベルナルド、彼なんかは、勝ったりしたらコーナーポストに駆け上がって叫んだりするだろ、私にはああいうことはできない。もちろん自分の中にも狂気性が宿っていると思うんだけど、それは試合でしか出せないんだよ。試合中は、相手の頭を吹っ飛ばすつもりで蹴っているんだけどね。

—でも、僕なんかは、逆にパフォーマンスするベルナルドのほうが気が弱くて、何もしないミルコさんのほうがよっぽど凄みを感じるんですよ。

ミルコ　フフフ……そうかい？

ウェイトレス　ご注文は何にいたしましょうか？

—えーっと、僕はバナナジュースをください。ミルコさんは？

ミルコ　ブラッド（血）！

—ガッハハハハ、そういう感じで今日はお願いします。ところで、ミルコさんが生まれたのは1974年ですよね。その頃のクロアチアはどんな状況だったんですか？

ミルコ　当時はまだ旧ユーゴスラビアだったけど、91年から93年に独立戦争があり、多くのクロアチア人が死んでいる。私の父は戦争とは関係なく病気で94年に亡くなっているんだが、ちょうどその頃が人生で一番辛い時期だったよ。母親は独りぼっちになるし、金がまったくなかった。それで、私は母親を故郷のビンコフチに残して、ザグレブの警察学校に入ったんだ。生まれたのは、そこから15キロほど離れたフリーブラカという町なんだけどね。

—お父さんは何をやっていた人なんですか？

ミルコ　鉄道関係の仕事をしていて、電気系統の修理を任されていた。でも、10歳の頃には転職して、内装関係の仕事を始めたんだよ。その仕事は、私も夏休みなんかによく手伝ったけどね。まあ、子供の頃は金はなかったけど、両親が非常に良かったんで、私は幸せに過ごせたと思ってるよ。

—ふ〜ん。子供の頃の性格はどうだったんですか？ 負けず嫌いだったとか、暴れん坊だったとか。

ミルコ　母親が厳しかったんだ。学校から帰ると、「手を洗う前に勉強しなさい！」と言う人だった。それを私はきちんと守り続けたよ。べつにそれが苦だったわけじゃない。学校から帰ると、すぐに宿題をやっているような子だった（笑）。

—へぇ〜、意外と真面目な子だったんですね。

ミルコ　そうだね、昔から正義感は強かったよ。それから私は掃除が好きで、毎朝起きたらすぐに掃除機をかけたり、窓を拭いたりしていた。もう母親が掃除する必要がないほど、部屋をピカピカにしていた子だったよ。

少年時代は正義感が強く、掃除好きだったよ（笑）

—ミルコさんが掃除好き（笑）！

ミルコ　まあ、強いて言えば、私の村は3千人ほどの小さな村だったんだけど、たまに結婚式なんかあると50台くらいの車が集まる。その車のマフラーに布キレとか詰めて、エンジンがかからないようにイタズラしたくらいかな（笑）。

—へぇ〜、牧歌的な少年時代ですねぇ。

ミルコ　ウン。やっぱり小さな村だったんで、全員知り合いみたいなもんだったからね。特別に大きな喧嘩はしなかったよ。そうだ、一度だけ大きな事件がある。子供の頃、友達と家の前で口論になって喧嘩になった。その時、友達が大きな石を投げてきて、私がヒョイとかわしたら、後ろにいた姉に当たって顔面血だらけになったんだよ。ちょうど母親が近くで見ていて、姉を抱き抱えて、走っている電車を止めて飛び乗り、病院に運んでいった。その電車に乗るのが、病院に行く一番の早道だったからね。喧嘩と言えば、そのくらいしか思い出せないよ。

—格闘技はいつ頃から好きになったんですか？

ミルコ　7〜8歳の頃から凄く興味があったんだけど、周りに格闘技のジムがなかった。それで、自分でウェイトリフティングをやろうと思って、木の枝に5〜6リットル入るアルミ缶をつけ、そこにセメントを流してバーベルを作ってトレーニングしていた。クロアチアでは、サッカーやバスケットが盛んで、子供たちはみんな楽しんでいたけど、私だけウェイトをやっていたんで、変なヤツだと思われていたんじゃないかなぁ（笑）。体力的にキツイ父の仕事を手伝った時も、トレーニングは欠かさなかったよ。

—何がきっかけで、そんなに格闘技が好きになったんですか？

ミルコ　やはりブルース・リーさ。でも個人的には89年の、ジャン・クロード・ヴァンダムの映画『ブラッドスポーツ』で、彼が開脚をし、素晴らしい動きで相手を倒す姿に感動したんだ。それから、

▲昨年のK−1GPでは、ベルナルドをハイキック一発で倒し、武蔵戦ではラフ殺法でカク乱して勝った。この荒々しさはまさにVT向き

私も開脚の練習をしたり、パンチやキックも完璧にしなければいけないと思うようになった。本格的に格闘技を習い始めたのは、90年に入ったテコンドーだったんだけど、91年には戦争が起きて通えなくなった。それでも私は養豚場の隣にサンドバックを作ってぶら下げたり、毎朝6時に起きて走っていたんだ。よく親父に「いいかげんにしろ!」って怒られていたよ（笑）。近所の人たちも変な目で見ていたしね。

――内戦があった時には何をしていたんですか?

ミルコ 私の住んでいる地域は非常に危険だったので、学校は廃止となり、私は爆撃されない町の学校に通わされたんだ。

――直接爆撃を受けたとか、戦火を体験したことはないんですか?

ミルコ 実は今までこういう話をしたことはないんだけど、キミのことが気に入ったんで特別に教えよう（笑）。というのも、私は間違った書かれ方をされたくないんだよ。

――はい、分かります。

ミルコ 私はこういうことはキチンと伝えてほしいほうだからね。内戦の間、15キロ先の村が爆撃されて、我々はいつ戦火が自分たちの地域まで広がってくるか、いつも恐れていた。なにしろ、15キロ先の村が爆撃されている音が毎日聞こえてきたからね。それでも、父親は「ここは重要な地域じゃないから大丈夫だろう」と言っていた。ちょうどその時、村の中央に爆弾が飛んできたんだよ。それから矢継ぎ早に爆弾が落ちてきた。おそらく4000から5000発は落ちたんじゃないかな。そんな状態になってから、我々にも遂に避難命令が出て村を離れることになったんだよ。

――ミルコさん自身も戦争で闘ったんですか?

▲いつも青白い炎がメラメラと出ているミルコ。一撃でも倒せる力を持っているところから、まさに次代のK―1のスター候補だ

内戦が起こって、友人が死んで 人より早く大人になったよ

ミルコ いや、それはない。私はまだ十代だったんで避難させられることになった。けれど、少し上の友人を2人失っているんだけどね。91年の9月からは爆撃だけじゃなく、兵隊が実際に私の村にも入ってくるようになった。それで、その友人が戦車に向かってバズーカで反撃したんだ。ところが、その戦車は最新式のもので、攻撃を受けると自動的に受けたほうに反撃するセンサーが付いていたんだよ。その友人は身体の一部しか見つからないほど、悲しい死に方をした。命のやり取りでは、一瞬のミスが死につながるんだということを、私は学んだような気がする。

――多感な時に、そういうことを体験すると、もの凄く人間も変わるんでしょうね。

ミルコ 毎日がただただ怖かった。そして、自分の死について深く考えるようになり、平和な国々の人間より早く大人になれたような気がする。父は救急隊員をやっていたんだが、10日間ほど家族がバラバラになって連絡がとれなくなったこともあった。私は非常に心配だった。まったくアカの他人の家族のところで半年間も過ごしたこともある。何が正義なのかも分からなかった。ただ、そういう体験をすると、やはり格闘技の試合もただのスポーツだということを凄く感じるよ。

――ミルコさんを見ていると、いつも悲しそうな目をしながら入場してきて、それこそ試合になるとターミネーターのように無表情で相手を叩きのめす。そういう殺気みたいなものを感じるんですが、それはやはり戦争を体験しているから出てくるんですかね。

ミルコ それは自分でもよく分からない。でも、そう言われると嬉しいよ。本当は自分みたいな性格の人間ばかりだったら、世界中は平和になるんじゃないかと思うような性格なんだけど。誰も傷ついてほしくないし、戦争なんて本当に良くないと思っている。ただ、ファイターはやっぱり別だと思うんだよ。

――どういうところがですか?

ミルコ それは、相手もまた一生懸命トレーニングして、自分と同じ気持ちになっているからね。私は特にK―1のような試合は、お互いに目的を持った人間が鍛錬して技術を競い合うものだと思っている。当然のことながら、喧嘩とか、戦争での白兵戦とは全然違うものだと考えているよ。

――じゃあ、ミルコさんはアルティメットのようなバーリ・トゥードについてはどう思いますか?

ミルコ 興味はない。私はリングの上ではグラウンドよりも、ハイキック一発で倒すような試合が好きだからね。ただ、私はそれに近いようなことを職業としてやっているんだ。

――ハイ、ハイ。警察官ですよね。

ミルコ 警察官と言っても、最近はK―1の練習が忙しくて、それに対して理解も得ている。それで私はこの秋から特別な任務に就くことになっているんだよ。

――特別な任務というと?

ミルコ クロアチアでも、凶悪犯とかテロに立ち向かっていく特殊部隊に、格闘技を教える仕事だ。

――特殊部隊の教官！

ミルコ　そう。そういう特殊部隊のキャンプに参加して、私が格闘技を教えることになっている。例えば人質がとられた場合、どういうシミュレーションでその事件を解決するか。それこそ、まさになんでも有りの闘いだよ。私はこの仕事については、ファイターを引退してからもずっとやっていきたいと考えているんだ。

――ミルコさんは、実際にそういった危険な事件に遭遇しているんですか？

ミルコ　いやいや、クロアチアはアメリカのように治安の悪い国じゃないから。マフィアの銃撃戦もないし、非常に平和な国だよ（笑）。たまに銃を乱射するおかしな人間も現れるけど、そういう事件には催涙ガスを放ったりして逮捕するんだ。まあ、私が命の危険にさらされたことは、幸運にも一度もないよ。

――でも、戦争体験といい、警察官のお仕事といい、常に命がけでやっているわけですよね。そういう生き方をしているからミルコさんの試合には、他の選手と違うオーラがあるんじゃないですか？

ミルコ　自分では分からないが、自然とそういうものが身に付いているのかもしれない。たしかに私は普段、K―1でチャンピオンになるために、厳しいトレーニングでパンチやキックを磨き、仕事では相手が多人数だったらどうするか、相手がナイフを持っていたらどうするかと五感を働かせながら闘っている。そういう経験がもしかしたら、試合にも出ているのかもしれないね。

――いやぁ、バーリ・トゥードなんかもやってみたら、メチャクチャ強そうですもんね。

ミルコ　ああいう闘いをするためにがんばっている人もいるんで、失礼なことは言えないけど、私は普段から職業としてなんでも有りはやっているからね。だから、自分の格闘技に対する気持ちはまったく別のものなんだ。ひとつのパンチやひとつのキックを磨いて、ルールの中で強さを競い合う。だから、ルールのない試合を人前でするつもりはないよ。私はこういう性格だから、ルールのない闘いは正義のために使いたい。〝タイホスル〟時にね（笑）。

――いやぁ、でもミルコさんがどんなふうに特殊部隊に格闘技を教えているか見てみたいなぁ。

ミルコ　日本のマスコミの人はなんでも知りたがるね（笑）。

――でも、危険なことが好きなんですね。

ミルコ　いや、自分では危険だなんて思っていないよ。例えば、屋根を修理する人のほうが危険だという考え方もあるし、それはその人の受け取り方じゃないかな。私の場合、もうファイターとしての自分も、警察官としての自分も、日常になっているんで、危険だなんて考えたことがない。それに、クロアチアは何度も言うけど治安はいい国なんだ。アメリカと違って、そんなに日常的に犯罪が起こっているわけじゃないんだよ。キミが想像しているようなことは、そんなにないよ（笑）。

――ああ、そうですか。じゃあ、ミルコさんの殺気についてもう一つお聞きしたいんですけど、僕は、テコンドーを学んだ後、ブランコ・シカティックのところでキックボクシングを学んだことが大きいんじゃないかと思うんですが……。

今後は警察の中でも
特殊部隊の格闘技教官をやっていく

ミルコ　彼については、自分の中では存在しない人だし、何も話したくない。

――いやいや、べつにシカティックとどんなイザコザがあったとか、そういうことを聞きたいんじゃなく、何をシカティックから学んだか？　そういうことを聞きたいんですよ。ミルコさんの殺気は、あのシカティックと2年間過ごしたことも何か関係があるのかなぁ……と思いまして。

ミルコ　とにかく、彼については何も話したくない。たとえ日本の雑誌であっても、私が何か発言をすると問題になるので、そっとしておいてほしい。

――そうですかぁ……残念です。

ミルコ　結局、ルールのない闘いは護身のためには必要なもので、私はプロの格闘技はもっと違うところにおいているということだよ。例えば、クロアチアではサッカーのスーケル選手とか非常に知名度が高いんだけど、私の場合、格闘技出身者ということで、別の見方をされるんだ。私はクロアチアで世に出てまだ1年くらいなのに、お祭りなんかに行った時は子供たちがワーッと寄ってくる。こういうことは、サッカーの選手にはあまりないと思うよ。

――やっぱり世界中どこでも、強い人は特別に尊敬されるんでしょうね。

ミルコ　先日、大使館にビザをもらいに行った時も、狭い道で車が渋滞していたんだが「ミルコが来た」と通してくれた。こういうことも、サッカーの選手とは別の尊敬のされ方じゃないかと思う。K―1自体のルールが、そういうハデな闘いだからじゃないかなぁ。

――いや、K―1のルールもそうだけど、やっぱりミルコさんが、相手を噛み殺すような闘いをするからですよ。ノールールのことを聞いたのも、ルールの枠を超えた闘いぶりや殺気をミルコさんが見せてくれるからです。

ミルコ　日本人の皆さんがそういうふうに見てくれると私も嬉しいです。自分ではアピールができない照れ屋だと思ってましたから（笑）。■

◀子供の頃は、格闘技オタクで専門誌を全部買っていたという。その頃の憧れは「アンディ・フグ」だった

K－1福岡大会を
TVでしか見ていない皆様へ――

「勝ち試合より、
負けた試合が勉強になる」
（ニコラス）

▲今大会のベストバウトは、トーナメントではなくワンマッチのニコラス・ペタスVSマイケル・マクドナルドだった。残念ながら、この試合は地上波のTVでは放送されず。実にもったいない！

◀試合は判定でマクドナルドが勝利したが、初めてK－1でフルラウンドを闘い抜いたニコラスは、何よりも得難い"経験"を手にした

撮影◎真崎貴夫

今大会のベストバウトは ニコラスVSマクドナルドです！

地上波未放送

2度のダウンにも心は折れず「今日は自分に負けたくなかった」

ニコラス、不撓不屈！

▲チーム・ドラゴンで練習に励むマクドナルドは、8・20横浜大会に続いて絶好調。鋭いパンチ＆蹴りでニコラスを苦しめた

◀▼1Rと3Rに、ニコラスはパンチでダウンを喫してしまう。しかしその度に立ち上がり、観客を沸かせる。ニコラスは試合後、「自分に負けたくなかった。気持ちだけ見せたかった」とコメント

『若獅子寮歌』に手拍子が！

▲アンディ追悼大会であるこの日、ニコラスは左腕に喪章の意味で黒いテープを巻き、名古屋大会と同じく『若獅子寮歌』で入場。観客からは曲に合わせて手拍子が起こった

★第8試合（K—1スーパーファイト・3分5R）

○マイケル・マクドナルド（5R判定3—0）ニコラス・ペタス●

（カナダ／チーム・ドラゴン）　（デンマーク／極真会館）

※48—46、48—46、48—46。ニコラスは1Rに右フック、3Rに右ストレートでそれぞれダウン1あり。マクドナルドは4Rに右ローキックでダウン1あり

10・9K—1福岡大会は、故アンディ・フグの絶対的影響下で開催されたイベントだった。誰もがアンディのことを思いながら闘っていたはずだ。

東京ドームで行われる決勝大会への切符をかけたトーナメントは、アンディ推薦枠で出場したマイク・ベルナルドが優勝。ベルナルドは〝運〟を独り占めし、逆にミルコ・クロコップ、ステファン・レコは負傷に泣いた。だから、大会そのものの盛り上がりには〝？〟マークをつけざるをえない。この大会をTVで観戦して「ベルナルドが勝ったのはいいけど、試合内容はイマイチだったな」と思う人がいてもおかしくないだろう。

だが、今大会のベストバウトは、地上波では放送されなかったニコラス・ペタスVSマイケル・マクドナルドのワンマッチだったのだ。

ニコラスもマクドナルドも、アンディと縁の深い選手だ。マクドナルドは元々チーム・アンディの出身。「何をしていてもアンディが近くにいるような気がする」と言い、この試合でもアンディのTシャツを着て入場してきた。

ニコラスには、極真の大先輩・アンディとの忘れられない思い出がある。3年前、K—1初参戦を控えたニコラス、グラウベにフィリォを加えた極真勢が、アンディら正道の選手たちと三峯山で合宿をした時のことだ。一緒に風呂に入りながら、ニコラスはアンディがしみじみとこう語るのを聞いた。

「俺は、今でも極真のことが大好きなんだよ——」

ニコラスにしてみれば、これほど嬉しい言葉はなかった。そして

「ニコラスが相手なのに、アンディと闘ってるみたいだった」（マクドナルド）

マクドナルドのコメント

「いい気分だね。ほっとしてるよ。ちょっと動きが固い感じがしたけど、思ったよりうまくいって良かった。この試合をアンディに捧げたくて、アンディのTシャツで入場したんだ。亡くなってもアンディのことは頭から離れないし、何をしている時でも近くにいるような気がする。今日の勝利を、アンディが喜んでくれると嬉しい」

ニコラスのコメント

「負けたくなかったけど、凄くいい経験になった。空手もそうだけど、勝ち試合より負けた試合のほうが勉強になる。簡単に勝つより、次の試合のためになる。2回連続で負けちゃったけど（笑）。とにかく気持ちだけは見せたかった。アンディがやってきたような、お客さんが『また見たい』と思うような試合をやっていきたい」

▲胴回し回転蹴りやカカト落としなど、派手な蹴り技を見せたニコラス。空手の時のようなステップも使っていた。グローブ戦でもそれができるだけの精神的余裕があったということか

◀▼2度のダウンを喫したニコラスだが、中盤から後半は逆にローキックでマクドナルドを追い詰める。4Rには左フックから右ローのコンビネーションでダウンを奪い返した

◀ニコラスのセコンドには、グラウベ同様フィリオとセフォーが付いた。ニコラスがダウンを奪った時のフィリォの顔ときたら…！

今、彼はアンディと同じK―1の道を進もうとしている。

当然、それは平坦な道のりではない。この日、ニコラスはマクドナルドのパンチで2回のダウンを喫してしまう。だがその度に立ち上がり、反撃を加え、4Rにはローキックで逆にダウンを奪い返してみせた。

「3回倒れるまでは負けじゃないから。気持ちが弱くなってすぐに負けたら、アンディに『なんだよ』って言われてしまう」（ニコラス）

結局、ニコラスは2度のダウンの失点を挽回するには至らず、判定負けとなった。「絶対にバンナに勝つ。それまでは（K―1を）終われない」と言うニコラスには、まったく予定外の敗北だった。

それでも、フルラウンドを闘い抜いたことで、ニコラスは何よりも得難い〝経験〟を手にしたのだ。

「ニコラスという人間のパーソナリティを、リングの上で出していきたい」とニコラスは言った。勝っても負けてもガチガチだったこれまでと違い、そう考えられるくらいの精神的余裕を持つことができたのだろう。まさに〝経験〟の賜物ではないか。

「勝ち試合より、負け試合のほうが勉強になる。簡単に勝つより、次の試合のためになる」とニコラス。アンディもそうだった。手ひどい負けを何度も経験し、それを糧にしながらK―1王者にまで登り詰めたのだ。

試合後、マクドナルドは誰に聞かれるでもなく言った。

「今日はニコラスが相手だったのに、まるでアンディと闘ってるみたいだったよ」と。

（橋本）

その悲しさは、なぜか美しい 黒澤に“負け様の色気”あり

子安慎悟、伝説の空手家・黒澤浩樹に壮絶KO勝利！

子安のコメント

「最初は、相手が黒澤選手と聞いてビックリしたんですが、空手家の憧れだし、一度、挑戦したいというのもあったんで。勝てて嬉しいの一言です。ローはやっぱりうまいし、痛かった。最後は『倒れてくれ！』って思いながら打ちました。K−1は僕の人生修行の一環。次はまた空手の試合ですけど、切り替えはしやすいと思います」

黒澤のコメント

「これまでになく体調は良かったんですが、こういう結果になってしまって。自分なりに成長している所があっても、試合で出ないと評価されないんで。練習してきたことを出したいという気持ち、悪く言えば欲が出てしまったのかもしれない。年齢はともかく、自分はこの世界ではグリーンボーイですから。これを次に活かしたい」

▲▶黒澤VS子安、空手家同士のワンマッチは、1Rわずか82秒で子安がKO勝利。子安のスーパーラッシュも凄かったが、黒澤の倒れっぷりがまた、色気たっぷりだった

子安、大殊勲！

▲空手界の伝説的存在である黒澤を破る殊勲をあげた子安。この勝利を、いい形で11月の極真全日本大会につなげたいところだ

▲黒澤のローキックは「やっぱりうまかった。痛かったです」と子安。最後も「ここで引いたらまたローをもらってしまう」という恐怖感から、猛烈なラッシュをかけたらしい

▶思い詰めたような、気合いが入っているような…。いつもながら、黒澤の入場シーンにはたまらないものがある

▲最初のダウンの後、子安の連打を限界まで耐え抜いた黒澤。この写真の状態になってなお、立ち続けたのだ！

★第5試合（K−1スーパーファイト・3分5R）
○子安慎悟（1R1分22秒、KO勝ち）黒澤浩樹●
（日本／正道会館）（日本／黒澤道場）
※右ストレート。黒澤は1Rに右ストレートでダウン1あり

正道会館のエース・子安慎悟が殊勲の金星を挙げた。あの黒澤浩樹をKOで破ったのだ。極真の全日本大会に向け、グローブの練習をほとんどしてなかったというのが信じられないくらいの見事なファイト。本人にプロ志向はないというが、K—1本格参戦を期待したくなる二重丸の試合だった。

子安が、戦前は予想もできなかったほどの実力を発揮できたのは、相手が黒澤だったからではないか。黒澤と闘うのが「正直、怖かった」と子安は言う。だから、死に物狂いで闘ったのである。最後も「ここで倒さなければ、またローをもらってしまう」という怖さから、必死でパンチを繰り出したのだ。

伝説の空手家・黒澤は、その存在感と実力ゆえに、若い子安の可能性を引き出してしまった。肉体の限界ギリギリまで、軽く30発を越えるパンチを浴び、アゴを撃ち抜かれ、意識を奪われて崩れ落ちてゆく黒澤。その光景は悲しさだけでなく、なぜか美しさ、そして色気さえも感じさせた。負け様で人を魅了するなんて、黒澤以外にはできないだろう。

さらに黒澤という男がたまらないのは、それでもなお、自分の未来をひたむきに信じていることだ。「自分はこの世界ではグリーンボーイ」という言葉は、謙遜でも、ましてや敗れた言い訳でもない。

コメントを出し終えた黒澤は、控室には戻らず、舞台袖でシャドーボクシングをするベルナルドを食い入るように見つめていた。その姿は、トップ選手から技術を盗み取ろうとする若いファイターそのものに見えた。

（橋本）

天国のアンディよ、この優勝はお前らしくないだろう

ベルナルド〝強運〟独り占め

▶ファンが献花をするために作られたアンディの祭壇には、試合で使ったトランクスや、チャンピオンベルト、そして写真などが飾られていた

グラウベよ、試合中に
フィリオを見るな！
相手を見据えるんだ！

▼判定を聞く前のグラウベの表情は曇りがち。試合直前のインタビューでは「アンディの期待に応えられるように頑張る」と言っていたが……

▲インターバルでフィリォの指示を聞くグラウベ。試合中にパンチを打ち込まれると、グラウベは幾度となくフィリォのほうを見ていた

▶K—1の試合でも長い足を活かした高い足技で攻め立てたいと思っていたグラウベ。これまで以上に積極的に出していったが、ミルコを倒せず

▲チャンスとなると一気に畳みかけていくミルコ。パンチで何度かグラウベを追い込んだが、先のことを考えてなのか無理をしなかった

▲高い蹴りだけでなく、ローキックも多く出したが自分のリズムをなかなか掴めないまま試合が終わってしまったグラウベ

何から何まで不思議な一日だった。

大会2日前に福岡入りした私は、バンナ、アビディ、ミルコの3人をインタビューすることになっていた。しかし、そのうちのバンナがいつまで経っても現れない。

その夜、バンナがフランスで交通事故に遭ったという知らせを聞いて大きなショックを受けた。まさか……。私はマジでアンディの悪夢が頭をよぎったのだ。しかし、詳しい状況がなかなか掴めない。

大会当日、天候不良で「羽田発福岡行き」の飛行機のほとんどが遅れた。本誌のスタッフやカメラマンが着いたのは開始15分前のギリギリ。実は私自身も過労でここ1週間、ずっと左耳が聞こえない状態が続いていたのだ。

嫌な予感がした。こういう日は少しでも気を抜かないことだ。ちょっとでも気を抜いたら、大きな失敗も起こしかねない。

実際、会場となったマリンメッセ福岡には、何かを狂わせる磁場が確実に働いていた。トーナメントには魔物が棲むとよく言われるが、本当にアクシデントの連続。K—1ファイターは、チャンピオンになるための条件を、必ず「実力十運」だと言うが、この日ほど運が左右した大会もないだろう。

その運に見離されたのが、新世代のミルコとレコである。

まず、3年連続でベスト16止まりで、今年こそはと意気込んでいたレコは、1回戦の相手が南ア大会王者のアンドリュー・トムソンだと分かると「早い試合になるよ」と余裕の早期KO宣言。しかし、それが慢心となったのか、予想外に手こずり、KOで勝つには勝っ

アクシデント1! レコ、右拳骨折でリタイア!

▼トーナメント１回戦第１試合に登場したユルゲン・クルトはちょっとタケルちっくないいキャラをしているが、実力もなかなかなもの。相手がベルナルドだけに分が悪かった。結果は１Ｒ２分24秒、ベルナルドが右フックでKO勝ち！

▲トーナメント1回戦第2試合は、ステファン・レコがアンドリュー・トムソンを徹底したローキック攻撃で追い込み2Ｒ1分50秒ＫＯ勝ち。だが、この試合で放った右ストレートでレコの身にアンビリーバブルなことが起こっていた！

◀トムソン戦で放った右ストレートで拳を骨折してしまったレコ。ドクターストップがかかり、準決勝戦は無念の欠場となった。リング上で事情を説明したレコ。「オレの運はハワイで休暇中なんだ」と無念さを隠しきれなかった

▲K―1 USA大会優勝者で天田と１回戦で対戦するはずだったアンドレ・ドゥドゥコが、練習中に左アキレス腱を損傷し、トーナメントを棄権。そのため、リザーバーのトーマス・クチャゼウスキーが天田と対戦した。クチャゼウスキーはUSA大会でグラウベに勝ったが、その勢いが見られずパンチで２ノックダウンを奪われ、１Ｒ１分49秒KO負けを喫した

▲準決勝戦第２試合は、３・19ジャパン横浜大会の再戦。リベンジを狙った天田だったが、またしてもミルコの左ハイキックでダウンを奪われ、無念の３―０判定負けに終わった

▲レコが負傷棄権ということで、その対戦相手だったトムソンが準決勝へ進出。同門のベルナルドと対戦したが、レコ戦で痛めた足を狙い打ちされ、さらにレコ戦でカットしたまぶた上の出血が止まらないために１Ｒ34秒、ドクターストップで敗れた

に手こずり、ＫＯで勝つには勝ったものの右拳まで骨折してしまったのである。

そのため、レコは準決勝を棄権。またしても、東京ドームに進める8人に入ることができなかった。昨年のレコは、サム・グレコ戦でわずかにかすった程度の金的蹴りが元で不本意な負けを喫している。つくづくツイていない男だ。

一方、ミルコのほうは、今大会一番の注目カードである1回戦のグラウベ・フェイトーザ戦でアクシデントに見舞われた。ここで右足首を痛めたミルコは、グラウベを得意のラフ殺法でカク乱して判定で退けたものの、大きなハンディを背負いながら闘うことになる。

グラウベに関しては、強敵・ミルコに対して、まともに左ストレートをもらいながらもクリンチしてのヒザ蹴りやブラジリアン・キックで必死に対抗、ＵＳＡ大会に比べてかなりの進歩を見せた。

しかし、気になったのは、グラウベの視線。苦しい場面になると、下から大声で叫ぶフィリォの顔を何度もチラチラと見ている。その度に、グラウベの迷いや気の優しさが伝わってきた。グラウベのポテンシャルはあんなもんじゃない。空手の時のような怪物的な爆発力を生み出すには、まずセコンドじゃなく相手の顔を見据えることだ。

〃レ・ヴァンダ・カベッサ!〃

ＵＳＡ大会に負けた後、磯部師範がグラウベに贈った言葉である。その意味は「頭を上げろ!」――それを思い出してほしい!

しかし、グラウベはミルコにしっかりとお土産を残した。ミルコは準決勝の天田戦（天田は1回戦

K—1を続けることを悩んでいたベルを引き戻したアンディの友情——

▶ずっと固い表情だったベルナルドだが、表彰式でようやく笑顔が見られた。天国のアンディはこの結果をどう思っているのだろうか？

ベルナルドのコメント

「（優勝して今の心境は？）最初に立てたプランどおりの試合運びができたので嬉しい。（準決勝ではカカト落としが出たが？）もちろん今日はアンディの魂が自分に宿っていたから。アンディのためにも全ての試合にKOで勝つと強く心に決めていたので、たとえ相手が負傷していてもどんどん前に出ていって、目的を達成することができた」

アクシデント2！ミルコ、グラウベ戦で右足首を負傷していた！

▶グラウベ戦で痛めた足が相当痛いのか、ミルコは入場時から足を引きずりながら歩いていた。珍しく痛そうな表情も何度か見せていた

▼全選手揃っての記念撮影。その途中で金紙が舞ったため、ベルナルドや天田はヒヤッとなる場面もあった

▶タオルが投入された後に、ミルコをねぎらうベルナルド。それにしても、ベルナルドは3試合とも1Rで試合が決着した！

▶フィニッシュはミルコの痛めている右足にベルナルドのローがヒットし、崩れ落ちたところで、セコンドがタオルを投入。ミルコの足の状態を考えると致し方ないことかもしれない

★第9試合（K—1WORLD GP2000 in福岡トーナメント決勝戦・3分3R）

○マイク・ベルナルド（1R1分7秒、TKO勝ち）ミルコ・クロコップ●

＜南アフリカ／スティーブズジム＞　＜クロアチア／クロコップ・スクワッドジム＞

※タオル投入。

でトーマス・クチャゼウスキーを破り、ジャパンGP準優勝の底力を見せた）こそ、ハイキックで一度ダウンを奪って判定勝ちし、昨年に続きベスト8入りを果たしたが、もう決勝は闘える状態ではなかった。

ステファン・レコとミルコ・クロコップ——この2人は共にアンディとスイスの「ファイトナイト」で闘っている選手である。この2人に対して、アンディは厳しい試練を与えた。そして、その分の強運を独り占めしたのが、アンディが「自分の代わりに」と推薦したマイク・ベルナルドだった。

ベルナルドは昨年、どん底の1年を過ごした。要因は歌手ベシャラさんとの結婚、そしてすぐに性格の不一致で離婚するという、プライベートな悩みだった。

今年からベルナルドは何かを変えようとボクシングに転向。そのベルナルドを再びK—1の世界に引き戻したのが、アンディだった。

アンディはことベルナルドに対して、徹底的に露払いをした。レコとミルコの2人の強者にハンディを与え、ベルナルドは1回戦こそ苦戦したものの、準決勝、決勝とパンチも使わず1RKO勝ち。見事、優勝を飾ったのである。

かつての最大のライバルに優しく微笑みかけたアンディ。しかし、最大のライバルだったら、もう少し試練を与えてもよかったんじゃないだろうか。この結果はなんとなくアンディらしくないなと思ったほどだ。アンディにもらった完全復活。1回戦で勝ったベルナルドはコーナーに登って〝アンディ！〟と大きく叫んだ。（谷川）

日清カップヌードル K-1 WORLD GP 2000 in 福岡 10・9★福岡マリンメッセ

「今日の全ての試合をアンディに捧げます」(by 石井館長)

K-1 WORLD GP 2000 トーナメント表

7・30名古屋大会・開幕戦トーナメントA
(名古屋市総合体育館レインボーホール)

アーネスト・ホースト
(オランダ/K－1GP'97、'99優勝)
バリス・バシリコス
(ギリシャ/K－1イタリア大会優勝)
富平辰文
(日本/K－1ジャパン敗者復活戦枠)
ロイド・ヴァン・ダム
(オランダ/K－1GP'99ベスト16)
リッキー・タンク・ニッケルソン
(イギリス/K－1UK大会準優勝)
ニコラス・ペタス
(デンマーク/極真空手代表枠)
マーク・ハント
(オーストラリア/K－1オセアニア大会優勝)
ジェロム・レ・バンナ
(フランス/K－1GP'99ベスト4)

8・20横浜大会・開幕戦トーナメントB
(横浜アリーナ)

ピーター・アーツ
(オランダ/K－1GP'99ベスト8)
シリル・アビディ
(フランス/K－1事務局推薦選手)
フランク・オットー
(ドイツ/K－1ドイツ大会優勝)
レイ・セフォー
(ニュージーランド/K－1GP'99ベスト8)
マット・スケルトン
(イギリス/K－1UK大会優勝)
アレクセイ・イグナショフ
(ベラルーシ/K－1ベラルーシ大会優勝)
中迫剛
(日本/K－1ジャパン敗者復活戦枠)
フランシスコ・フィリォ
(ブラジル/極真空手代表枠)

10・9福岡大会・開幕戦トーナメントC
(マリンメッセ福岡)

マイク・ベルナルド
(南アフリカ/アンディ・フグ推薦)
ユルゲン・クルト
(スウェーデン/K－1クロアチア大会優勝)
アンドリュー・トムソン
(南アフリカ/K－1アフリカ大会優勝)
ステファン・レコ
(ドイツ/K－1GP'99ベスト16)
トーマス・クチャゼウスキー
(カナダ/K－1USA大会準優勝)
天田ヒロミ
(日本/K－1ジャパン敗者復活戦枠)
グラウベ・フェイトーザ
(ブラジル/K－1事務局推薦枠)
ミルコ・クロコップ
(クロアチア/K－1GP'99準優勝)

▲8月24日に亡くなったアンディ・フグの祭壇がマリンメッセ福岡内に作られ、東京でアンディとお別れができなかったファンが献花できるようになっていた

▲試合前にはアンディの追悼ビデオが流れ、石井館長も「今日の全ての試合をアンディに捧げます」と挨拶した

▲翌日に決勝大会の抽選を控えたファイターたちが福岡大会を観戦。ホーストのラフなスタイルが珍しい

▲本来ならば出場するはずだったアンディの冥福を祈り、藤原紀香を始め、会場につめかけた10800人のファンが黙祷を捧げた

▲歴代の格闘クイ～ンに、K—1ギャルズまで揃うと華やかなことこの上なし！

▲ノリに乗ってるアビディは福岡でも大人気！　サイン攻めにあっていた

▲フレッシュマンファイトに登場した藤本祐介(左)は、MAキックのマイウェイジム所属の依田信次と対戦。藤本は圧倒的な強さを見せ、2R2分54秒、右ローキックでKO勝ちした

▶武蔵、中迫、宮本らジャパン勢も最前列で観戦。天田の試合ではひときわ大きな声で応援していた

プロ野球が〝ON対決〟なら プロレス界は〝BIの復活〟しかない

今こそ猪木とミセス・ババの握手を！

文◎ターザン山本

©平工幸雄

プロ野球の日本シリーズで、もし〝ON対決〟が実現したら、それはベースボールという神からの〝最後の贈り物〟というしかないだろう。

9月24日の日曜日、巨人がセ・リーグの優勝を決めたあのミレニアムの〝大逆転劇〟は、誰が考えてもゴッドアングルだった。あんな奇跡は長嶋監督といえども、絶対に不可能である。

昭和という時代の大スター・長嶋監督に神から捧げられたミラクルプレゼント。それを見た時、プロ野球というものの終わりを、私は痛切に感じた。

世間では「ナベツネ（渡辺恒雄、巨人軍オーナー）が悪い。だからプロ野球はダメになった」という論調が盛んだが、それは悪役を作って全てをそのせいにしたがる何ものをも考えていない連中の発想。

そんなことにはいっさい関係なく、プロ野球は退潮現象を続けていく。少しだけ野球について考えてみよう。野球はよくできたドラマチックな競技だが、1試合に3時間もかかったら、正直言って時間がもったいない。

巨人戦をテレビで見ていたら放送終了の午後9時24分までに終わることはほとんどない。つまり少なくとも3時間半は試合をやっていることになる。

しかも試合の途中でテレビ放映が終わってしまうのだ。なぜ、最後まで見せないのかということになる。

テレビで試合を見るにしても、また球場に行ってナマで試合を見るにしても、3時間半という試合時間は長い。

これが土曜と日曜の週末だったら娯楽として割り切ることができるが、プロ野球の試合は火曜から日曜まで、毎日のようにやっているのだ。

その会場に3万人のファンをウィークデーに集めるのは、常識的に考えても無理。大衆に今やそんなヒマはない。プロ野球が現代人の変化してしまったライフスタイルに、合わなくなってきたのだ。

それなら深夜のスポーツニュースで試合の結果と、その試合のいいところ（シーン）をコンパクトに見せてもらえば、それですんでしまう話である。

長嶋と王が日本シリーズで夢の対決を実現させた時、それこそ20世紀の最後を飾るプロ野球の集大成、巨大なるファイナルマッチ、ラストベースボールになるだろう。私にはその予感がある。

長嶋と王のことを人は〝NO〟と呼ぶことはなく、〝ON〟と呼ぶ。そのほうがたぶん語呂がいいからだろう。

プロ野球と同じようにプロレス界にも〝ON〟と並ぶスターが存在した。G・馬場とA・猪木である。この2人のことをファンは〝BI〟と言った。

BABAの〝B〟とINOKIの〝I〟からとって付けられたものである。ONとBIの違いは、王と長嶋は巨人軍で3番と4番を打ったチームメイト。

馬場と猪木は最初、力道山が作った日本プロレスで同じ釜の飯を食った仲間だったが、その後、馬場が全日本プロレスの、猪木が新日本プロレスの社長レスラーになってからは、ことごとく対立して永遠のライバル関係となった。

そのうち馬場は昨年（1999年）の1月31日、突然、この世を去った。本当のところを言うと、馬場が亡くなった時に、力道山、馬場、猪木の3人のスーパースターによって脈々と続いてきた日本のプロレスは、あの時点で終わっていたと言うべきかもしれない。

思えばプロレスというジャンルは、突

べきなのだ。創造とは常識を破壊する行

亡くなった後もこうして夫人から愛さ

ザ・ミレニアム

もうひとつの10・9
東京ドーム、新日VS全日の対抗戦実現で感じたこと

出した存在によってしか、繁栄をもたらさない世界でもある。だからこれはよく言われる言い方だが、プロレスは「力道山というジャンル」「馬場というジャンル」「猪木というジャンル」があったので、プロレスというジャンルは基本的にはもともとのっぺらぼうなのだ。

要するにジャンルは全て〝人〟に尽きるのだ。傑出した存在、圧倒的にして他の追随を許さない存在を、いかにして生み出すことが可能か？

プロ野球にしろプロレスにしろ、ジャンルのテーマはそこにしかない。エンターテインメントとして、しっかりしたシステムを作るのは、そういうことに適した人がやればすむ話なのだ。

だが長嶋や猪木は作り出そうとして作れるものではない。なぜなら彼らは「存在自体がクリエイティブ」だからだ。

クリエイティブとは〝創造〟とか〝独創〟と、日本語に訳されているが、それではなまぬるい。言葉のイメージが格好よすぎてパワーがない。

クリエイティブとは〝非常識〟と訳すべきなのだ。創造とは常識を破壊する行為のことをさしているからだ。

長嶋と猪木の2人には〝非常識〟を心地よいものに変える装置がある。これが普通の人にはできないのだ。

さて、本題に入ろう。前置きがあまりにも長過ぎた。私がここで言いたかったことは、プロ野球の世界が神のお告げによって〝ONシリーズ〟が実現しかかっているのに、なぜ、プロレス界は〝BI〟のドッキングをやろうとしないのか？不思議で仕方がないのだ。

たしかに〝BI〟のうち〝B〟はもうこの世にいない。天国に行ってしまった。だがG・馬場が創設した全日本プロレスには、今や馬場夫人の馬場元子女史が、社長になっているではないか？

私はこの元子夫人のことを〝ミセス・ババ〟と呼んでいるのだ。これはどこで知ったかというと、全日本プロレスにやってくる外国人レスラーのスタン・ハンセンやスティーブ・ウィリアムスが、馬場のことを〝ミスター・ババ〟と呼び、元子夫人のことを〝ミセス・ババ〟と呼んでいることから分かったことなのだ。

ハンセンとウィリアムスにとってG・馬場は生前、彼らには〝ボス〟だったが今はミセス・ババが〝ボス〟である。

ミセス・ババはG・馬場の生まれ変わりでもある。彼女は全日本プロレスの事務所で、天龍源一郎や大仁田厚が記者会見をした時は、必ず天龍や大仁田と馬場フィギュアの前で写真に収まる。

何かあったらミセス・ババは、そのG・馬場のフィギュアを、前面に出してくるのだ。これはミセス・ババにとってG・馬場はまだ生きているということを人々に訴えたい。そういう気持ちから出てきたものである。

亡くなった後もこうして夫人から愛されているG・馬場は、世界一幸せな男とも言える。うらやましい限りだ。

馬場が生きているというなら、ぜひミセス・ババの手によって、A・猪木と握手してほしい。ミセス・ババがG・馬場になり、A・猪木と歴史的和解が実現したら、馬場と猪木によって長くプロレスファンをやってきた我々〝昭和一派〟は涙を流して喜ぶだろう。

〝ON〟に対抗するにはもうこれしかない。人々があらゆる意味で興奮してやまない2000年というミレニアムの年に〝BI〟を復活させるのだ。

その復活がG・馬場のかわりにミセス・ババというのが、またほほえましくていいではないか？　もしG・馬場が生きていたら、絶対に実現しなかったことがそれによって実現してしまうのだ。

全日本プロレスと新日本プロレスは交流戦など、やっている場合ではない。そんなものは今、誰も求めていない。

人々はノスタルジーな気分でいっぱいなのだ。ファンの心がセピア色になっているから、プロ野球ファンは〝ONシリーズ〟に最後の夢を見ようとしている。

プロレスファンとてそれは同じ。G・馬場が亡くなったからこそ〝BI〟の復活はこのミレニアムの年しか、チャンスはないのだ。来年になると2001年になってしまう。

来年1月28日、全日本プロレスの東京ドームのリングに〝イノキ・ボンバイエ〟のテーマ曲にのってA・猪木が、花道から登場する。それをリングで待っているのは、馬場夫人のミセス・ババ。

今、私の中にあるのはそれしかない。記憶的快挙を今こそ見せるべきなのだ。■

激戦を勝ち抜いた8名が遂に出揃った！
20世紀最後のK—1王者は誰の手に……

速報！

日清カップヌードル

12・10 東京ドーム K-1 WORLD GP 2000 決勝戦 組み合わせが決定！

10・9K－1ワールドGP福岡トーナメントが終わり、これで名古屋、横浜、福岡の3大会の優勝・準優勝6名と、ジャパンGP優勝者の武蔵を加えて7名の決勝大会進出者が決定した。さらに、石井館長推薦枠は、過去最多優勝の実績を買って、ピーター・アーツに決定。以上8名の選手が、12月10日東京ドームでトーナメントを争い、20世紀最後のK－1チャンピオンが決定する。そのトーナメントの組み合わせは、福岡大会の翌日の10月10日、フジテレビで抽選会が行われ、昨年同様、選手がクジを引いて自分の意志で枠順を選んだ。その結果が、この組み合わせである。それにしても、ミレニアムの記念にふさわしい豪華な組み合わせ。果たして優勝するのは、最も勢いのあるバンナか、フィリォのリベンジか、それともやっぱりアーツやホーストが勝ってしまうのか？　想像力をかきたてながら、東京ドームに向かえ！

WINNER
300,000ドル
(3,000万円以上)

アーネスト・ホースト
[名古屋大会2位]
オランダ／ボス・ジム／195センチ／100.6キロ／K-1 GP '97&'99優勝、WMTA世界ライトヘビー級王者／90戦76勝14敗54KO／右ローキック

ミルコ・クロコップ
[福岡大会2位]
クロアチア／クロ・コップスクワッドジム／188センチ／95.1キロ／K-1 GP'99準優勝、IKBF世界フルコンタクトヘビー級王者／14戦10勝4敗9KO／左ハイキック

フランシスコ・フィリォ
[横浜大会1位]
ブラジル／極真会館／186センチ／107.7キロ／K-1 GP'97第3位、第7回極真世界大会優勝／13戦9勝3敗1分8KO／左フック

ジェロム・レ・バンナ
[名古屋大会1位]
フランス／ボーアボエル&トサジム／190センチ／119.5キロ／K-1 GP '95準優勝、ISKA世界ムエタイスーパーヘビー級王者／38戦31勝6敗1分24KO／左ストレート

ピーター・アーツ
[石井館長推薦]
オランダ／メジロ・ジム／192センチ／110.4キロ／K-1 GP '94 & '95 & '98優勝、IKBF世界ヘビー級王者／80戦65勝14敗1分51KO／右ハイキック

シリル・アビディ
[横浜大会2位]
フランス／"チーム・ロメアス"ボクシング・プラネット／190センチ／94.4キロ／K-1 WORLD GP 2000横浜準優勝、フランスキックボクシング王者（'96）／19戦16勝3敗13KO／右ストレート

マイク・ベルナルド
[福岡大会1位]
南アフリカ／スティーブズジム／193センチ／108.4キロ／K-1 GP'96準優勝、WBF世界ヘビー級王者／53戦41勝10敗1分33KO 1無効試合／右ストレート

武　蔵
[ジャパン大会1位]
日本／正道会館／185センチ／102.2キロ／K-1 JAPAN GP 2000優勝、WAKO世界ムエタイヘビー級王者／32戦17勝13敗1分9KO 1無効試合／左ミドル

<国／所属ジム／身長／体重／過去のタイトル／戦績／得意技>

バンナか、フィリォか？　それともアーツ、ホーストの王者返り咲きか？

髙田の本気を見よ！

ウワッ！
髙田が佐竹を仮想ボブチャンチンにし、ボッコボコの殴り合い！

斬り結ぶ剣の下こそ地獄なれ、

▼激しくやり合っていた両者。「彼とスパーをするとどんどん自信をなくすんだよ（笑）」と髙田は冗談を言っていた

▶ボブチャンチンのパンチの距離に髙田が入らなければ完璧なタックルは入らない。その勇気を佐竹とのスパーで髙田は持とうとしている

この10月から、名古屋地区では『プライド』版「筋肉番付」的番組がスタート（東海テレビ）するのだが、そこに応募した一人が動機についてこんな話をしてくれた。

その人は、子供の頃から大のプロレス・ファンで、よく会場に足を運んでいたが、猪木が国際軍団と抗争を繰り広げている時、寺西勇があまりにも情けないので、最前列で大笑いしていたそうだ。

すると、若手のレスラーの一人がその人のエリ首を掴んで通路まで連れだし「おまえ、プロレスラーをナメんなよ」と凄んだという。その若手レスラーこそ、髙田延彦だった。それ以来、その人は髙田の熱烈なファンになったそうだ。

僕も髙田と同世代だが、同世代から見た髙田延彦像は、猪木ファンの代表がそのままプロレスラーになったイメージがある。

僕らが猪木に熱狂していた頃、アパートの隅でヒンズースクワットを何百回もやり、猪木が納豆やヒジキがいいと言えば、そればかりを食べていた。そんな男が、プロレスラーになり、藤原、佐山、前田に続き、猪木の付人となって強さを追求していく。もう、髙田の同世代のほとんどが引退していることから考えても、最後の思い入れの持てるレスラーでもある。

何かの本で「新日本の若手時代、いつ道場破りが来るか、恐くて毎日稽古していた」という髙田のコメントを読んだことがある。

まさに新日本が「キング・オブ・スポーツ」を高らかに謳っていた猪木全盛時代を知っている現役選手。そして、ＵＷＦができた時も「強くなりたいから藤原さんに付いていく」と新日本を離れた

身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ

▶見よ、髙田の必死な表情！ この日は佐竹と6分12Rのスパーリングを行った。凄い練習量だ

◀全身汗びっしょりで練習していた髙田。本当に真面目に練習に取り組んでいた

に付いていく」と新日本を離れた髙田。髙田が「アイ・アム・プロレスラー」と言われるのは、そんなエピソードがあるからだろう。

しかも、猪木が国会議員を務めていた時期、髙田はUインターでたしかに一時代を築いている。特に、実際に僕も会場で見ているのだが、北尾戦とバービック戦は明らかに特別な試合だった。そんな試合を平気でできるところは、やはり一時代を築くだけの男である証拠だ。

その髙田が、ヒクソン戦を皮切りに、VTに挑戦するプロレスラーの先駆者となった。それ自体、髙田にとっては、シンドイはずなのに、一向に挫けようとしない。もう、すでにファンはVT挑戦を十分評価しているし、プロレスのリングで闘う髙田を見たいと思っている者も少なくない。

だが、それを許さないのが髙田本人の感性。しかも『プライド』の復帰戦に、あのボブチャンチンを選んだから凄い！ 髙田自身、楽な相手と復帰戦をやっても、誰も認めてくれないことがよく分かっているとはいえ、よくぞ決意したものである。

その決意と覚悟が分かっただけで、正直言って感動させられた。何もそこまでしなくてもと思うのだが、よくよく考えてみると、ボブチャンチンがやっぱり一番ふさわしい相手だ。

ボブチャンチンは、強豪揃いの『プライド』の中でも、ナンバー1の選手。『プライド10』では、エンセン井上の顔がボコボコに腫れるほどの残酷な試合をし、またしても株を上げた。

桜庭と松井からのボブ対策を謙虚に聞く髙田！練習量はヒクソン戦以上だっ！

▲スパーリングのあとは、松井とボールを投げながらサイドステップ。基本稽古も毎日きっちりやっている

▼6・4『プライド9』でボブと対戦した松井とも、ポジショニングの取り方を熱心に反復練習していた

5・1『プライドGP』準決勝戦でボブチャンチンと対戦した桜庭が、ボブチャンチン対策を伝授。変なプライドは捨て、髙田は真剣に聞いていた

▲基本稽古その2。ロープを続けざまに10回左右に飛ぶパターンと、片方に飛んだらロープ下をくぐるパターン。これはスピードがポイント！

歳だけど頑張ってるよ（笑）

▶練習後に時折ジョークも交えつつ、サダハルンバと談笑していた髙田

▶これは腹筋を鍛えるのと同時に、蹴り足も強くなる補強運動。あれだけ激しく練習した後に、これをやるのはかなりシンドイはず

▲全ての練習が終わった後には、なんと髙田が自ら道場内を掃除していた

それにしても、男前の髙田はエンセンのように顔面がボコボコになるイメージはまったくない。いくら打撃系の選手とはいえ、組み技のできない単なるキックボクサーとはわけが違うのである。

その髙田、ここ数日は道場でずっと佐竹相手に仮想ボブチャンチンの練習を積んでいる。髙田にとっては、佐竹が一緒に練習していること自体、何かを掴めるいい環境にある。僕も特別に練習を見させてもらったのだが、佐竹がロシアン・フックをブンブン振り回していくのに対し、髙田は必死に食らいつき、タックルしていた。

なんとこの日だけでも6分12Rのスパーリング。38歳の髙田にしてみれば、驚くほどの練習量だ。しかも、髙田は変なプライドは捨て、一選手になって桜庭や佐竹らに自らアドバイスを求め、細かく技術をチェックしていた。

最初、髙田と佐竹が対峙するのを見て、こりゃあ贅沢な組み合わせだと思っていたが、それがいつしか感動に変わっていく。正直、これを見たら、髙田を応援せずにはいられない心境になった。

僕は正直に言って、この闘いは髙田がどれだけ恐がらずに、ボブチャンチンのパンチの間合いに入っていけるかだと考えている。恐がって、距離をとっていたら、髙田のタックルは、簡単に切られてしまうだろう。

真剣で斬り合う時、相手の剣が当たる地獄に入っていかないと、勝利は得られない。かつて剣豪がそれを謳ったのが28頁の歌なのだが、そこをハラハラしながら僕も覚悟を持って見るつもりだ。（谷川）

頭突きもヒジも本当になんでも有りでやろう!

これが小川戦に賭ける佐竹の真実の心境だ!

もう決まらないと思っていた佐竹VS小川戦が、どうやら本当に決まりそうだ。かつて、多くの異種格闘技戦が行われながら、空手VS柔道のトップ対決は実現していない。ある意味で、不利と思われている佐竹に、その心境を聞いた。

聞き手◎谷川貞治　撮影◎山口比佐夫

もう目突き、金的有りの練習はしてますよ。ヒジはよく効くんですよ、僕のは……

——佐竹選手、小川戦はいったい、どうなるんですか？

佐竹 いや、もう決まるでしょう。

——決まるんですか、本当に。

佐竹 だって、小川選手が挑戦してきて、僕も「いいですよ」って言ってんだから、決まるハズなんですけど。僕も早くしてほしいんですけど、もうずっとそのつもりで練習しているからね。今、髙田道場や新宿スポーツセンターで、本当にいい練習してますよ。

——あ、そう。じゃあ、もう大阪でやるんですね。なんか、嘘みたいな話ですねぇ。へぇ～、凄いなぁ。

佐竹 僕はもう、とっくに腹をくくってますよ。でも、考えてみたら、去年の10・3大阪ドームのK—1の試合で、疑惑の判定があってから、もう一年になるんですよ。

——あ、そうかぁ。うわ～、早いなぁ。

佐竹 あれがK—1の最後の試合になっちゃったんだけど、あれから格闘技界も僕も凄い変わったよねぇ。

——あ～、早いなぁ。

佐竹 この一年間は僕の格闘人生の中でも本当に中味の濃い、凄い充実した一年になりましたよね。だって、34歳になって突然VT始めて、髙田道場で髙田さん、サクちゃん、藤田君、石澤君と練習ができて、猪木さんにもよくしてもらってるし、気がついたらジャイアント落合という弟子もできた。それだけでも凄いのに、いきなり最強のコールマンと、わけの分からないうちに試合をしたでしょ。それからUFCのチャンピオンのガイ・メッツアーだとか、シアトルでモーリスと髙阪君とも練習したしね。佐山さんにロシアン・フックを教えてもらって、アルティメットボクシングも出ていい経験になったし。この前、村上選手とやって『プライド』でも勝てたしね。いやぁ、こんな充実した一年間もなかったよ、本当に。僕の中では人生が180度変わったからね。ホント皆さんのおかげですけど。

——話が長いですねぇ（笑）。でも、それだけ本当にいろいろやってますねぇ、たしかに。

佐竹 だってさぁ、これで10月に小川選手とやって、12月にも出たら、年間6試合ですよ。こんなに試合をやるのは、K—1でもなかったでしょ。しかも、一戦一戦が凄い充実しているじゃないですかぁ。

——そんなに！ そうかぁ、もうボロ稼ぎだね（笑）。

佐竹 ガッハハハハ。でも、もう35歳だよ。不思議だよねぇ。

——じゃあ、話をもとに戻すけど、そもそも佐竹選手は小川選手のことをどう思ってるの？

佐竹 いや、正直に言うと、何も思っていない！

——あ、何も思っていない（笑）。

佐竹 だって、この前、リング上で会ったのが初めてだったし、よく知らないですからねぇ。

——自己紹介もないまま「逃がさねぇぞ」って言われたんだ（笑）。

佐竹 思ってないのは仕方ないからね。だから、さわったこともないし、口きいたこともないから、分かんないですわ。

——でも、特別な感情はないんですか。

佐竹 うん。でも、昔から僕は「空手バカ一代」のマス大山をリアルに追求してきたじゃないですか。そういう意味ではマス大山と柔道の木村政彦の関係じゃあないけど、同世代の柔道家では「小川直也」というイメージはありましたけどね。山下泰裕とか、斉藤仁は世代的に1つ上なんで、オリンピックなんか見ながら、小川選手が強いんだなぁと。でも、彼がプロレスやったり、まして僕とこういうふうに闘うことになるなんて思ってなかったけどねぇ。

——そういう意味ではワクワクしているのか、緊張しているのか。

佐竹 ワクワクしますよねぇ。この一年間は激動の格闘人生だったんだけど、ちょうど一年の締めくくりに小川選手が出てくるというのは運命だよね。ステイタスもあるし、力のある選手なんで、自分の空手が、このVTでどこまで通用するか、それを試すには一番いい相手でしょ。

——でも、小川選手はメチャクチャ強いですよね。

佐竹 強いでしょ、それは。

——それに、『プライド』のルールでは、やっぱり打撃の選手より、柔道のような組み技系の選手のほうが有利じゃないですか？

masaaki SATAKE

僕だって、アーツら世界の強豪を相手にずっとガチンコやってきたらねぇ。怖さはないよ

佐竹　うん、そうだね。小川選手も、そう思ってるから、やりたいって言ってくるんでしょ。寝かせたら、おしまいだって。でも、それとは関係なしに。

――ハイ。

佐竹　僕もこの一年間、サクちゃんや藤田君たちとやってきて、かなり手応えは感じてますからねぇ。これは口で言っても伝わらないんですけど、強い人たちと毎日何ラウンドもスパーリングして、十分互角にやれるようになってきてますからね。

――ハイ、ハイ、ハイ。

佐竹　まぁ、それでも村上選手との試合でも、まだ手探りの状態だったんで、ある意味、小川選手なら自分のリミッターをはずして思いっきりやれる相手ですからね。

――そうですよね。佐竹選手って、K―1の時もジャンボ鶴田じゃないけど、負けてもケロッとしているというか。元気にメシなんか食ってるじゃないですかぁ。だから、ボロボロになる佐竹選手をまだ見てないというか。本気なの？っていう感じもするけど。

佐竹　ハハハハハハ。まあ、そういう意味じゃあ、小川選手は本気でやれる相手じゃないですか。だから、言ってるんですけど、頭突きもヒジも、目突きも金的も、本当になんでも有りでやろうって。そういう試合で、自分の空手がどこまで通用するかって、やってみたいですね。向こうが挑戦してきてんだから、だったらそういう試合を本気でやろうって。

――いやいや、ヒジ打ちはともかく、目突きや金的有りというのはちょっと……。

佐竹　だって、それも空手の武器だからね。でも実際に、もうそういう練習はやってるよ。

――ええ!?　本当ですかぁ！

佐竹　いや、マジマジ。そういう話で僕はDSEに言ってるから。でも、これが結構当たるのよ。サクちゃんも松井君も「勘弁してくださいよ～」って嫌がりますけどねぇ。

――そりゃあ、そうですよ

▲小川選手に対して、佐竹ももっと挑発するような発言をするのかと思いきや、意外と謙虚だった。でも、話の内容にはゾッとするものがある

佐竹　ジャイアント落合に、サングラスかけさせて目突いてるよ。それでも泣いてるけど。

――ヒドイねぇ……。じゃあ、小川選手に対する怖さはないんですか？

佐竹　そんなのはべつにないですよ。試合の怖さはコールマンも村上選手も一緒でしょ。腹をくくった以上、やるしかないし、勝つしかないですから。

――腹はくくったと。

佐竹　だって、僕だって空手の全日本大会で3連覇しているし、ワールドカップでも優勝しているし、トーワ杯も優勝してるし、空手だけでもたくさん試合をしてますからね。で、リングスにも上がってるし、K―1ではモーリス・スミスやアーネスト・ホースト、ロブ・カーマンのようなうまいヤツから、ピーター・アーツ、サム・グレコ、マイク・ベルナルド、アンディ・フグ、ブランコ・シカティックみたいな化け物みたいなヤツと殴り合ってるからね。そういう世界の強豪と十何年もガチンコやってるんだから、今さら怖さも何もないですよ。

――たしかに凄いヤツらとやってますよね。立ち技ではほとんどやってますよねぇ。

佐竹　負けもあるけどね（笑）。でも、負けられない試合もたくさんあったし、そういう修羅場はくぐり抜けてきたと思うよ。まして、柔道は日本人には向いている格闘技だけど、空手とかキックは向いていないからね。そりゃあ、大変ですよ。自分で言うのも、なんだけど。

――佐竹選手は、ヒジが本当は得意でしたよね。

佐竹　うん、得意、得意。

――そのヒジで、トーワ杯なんか頭蓋骨が陥没した選手が何人かいたと言うじゃないですか。僕的には、それも危ないと思うんですけど、マジで。

佐竹　不思議と効くんですよ。この前の村上戦でマウントパンチも凄く手応えがあって驚いたんですけど。でも、あれはコツがあるんですよ。

――いやいや、だから危ないと思うんですけど（笑）。

佐竹　でも、UFCでは頭突きやヒジはOKだったじゃあないですかぁ。あのトーワ杯は体重差があったんで、そうなっちゃったけど、小川選手は大丈夫でしょ。彼も思いっきりやりたいと言ってるらしいし、そういう話で進んでますから。

――思いきりやってみたいかどうかは知りませんけど、『紙プロ』では「勝つ自信はないけど、殺す自信はある」と言ってましたけど、それを聞いてどうですか？

佐竹　嬉しくて笑顔になりますね。今まで強い人とはたくさん闘ってきたけど、そういうふうに俺を挑発したりするヤツっていなかったですからね。楽しそうな試合ができそうですよ。

――ほぉ～。じゃあ佐竹選手も「殺すつもりでいく」と。

佐竹　その殺す以上というか（笑）。

――殺す以上って？

佐竹　まあただただイジメっ子の気分で

masaaki SATAKE

セコンドには、喧嘩っ早い空手家を100人くらいつけようと思ってますよ

すね（ニヤリ）。余計燃えてくるから、いいんじゃないですかぁ。

――佐竹選手も「小川は10年早い！」って言ったんですか？

佐竹 それはジャイアント落合が村上選手に言ったんでしょ。だから、僕は礼節を重んじなさいってあとで怒ったんですけどね（笑）。

――ガッハハハハハ。でも、佐竹選手って、ずっと見てきて、いい人だと思うし、頭もいいと思うけど、残酷なところありますよねぇ。トーワ杯の時とか、弱い選手にはヒジしか使わないとか、ボコボコやるじゃないですか。

佐竹 それも、もう笑いながらやってましたよね（笑）。ヒジ使う時、なんでか笑顔になっちゃうんですよ。でも、それは小川選手も一緒でしょ。

――そうかもしれないけど。

佐竹 ただ、ルールがしっかりした競技だと、そういう残虐性も押し殺して闘わないといけないから。だけど、小川選手も殺すつもりでくるんだろうし、頭突き、ヒジ打ち有りのなんでも有りルールなら、そういう残虐性を押さえる必要もないからね。もう、俺はケンカ空手でいくよ。

――なんか、聞いててゾクゾクするなぁ。たしかに今度の試合は〝殺伐さ〟がテーマになると思うけど。

佐竹 売られたんだから、しょうがないでしょ。

――佐竹選手は、空手の技がどこまで通用するか試したいって言ってたけど、負けたら空手は弱いと思われちゃうとか、そういうプレッシャーはありますか？

佐竹 それはなきにしもあらずですね。逆にチャンスだと思ってるけど、みんな見てると思うから、ヘタなところは見せたくない。

――空手家と柔道家のトップ対決って、初めてですからねぇ。みんな、どういう試合になるんだろうと思うでしょうね。

佐竹 もちろん、自分が空手を背負ってるつもりはないけど、自分の歴史の中では空手家の気持ちで、K―1でもキックボクサーと闘ってきたし、リングスでもやってきましたからね。

――小川選手も柔道家として、背負っているものとか、プレッシャーはあるんですかねぇ。

佐竹 それは分からないけど、オリンピックでメダルをとるくらいですから、あるでしょう、それは。

――ふ〜ん、そうかぁ。

佐竹 だからね、小川選手があぁいうふうに挑発してきて、僕なんかマジメに、マス大山ならどう受け応えるんだろうと考えちゃうんですよ。

――ハイ、ハイ。

佐竹 僕もなんか言ったほうがいいのかなぁと思うけど、言葉じゃなくて空手の怖さだけは見せたいと思うよ。それこそ、猪木VSウィリー戦じゃないけど、知り合いの空手家で、喧嘩っ早いのを殺人部隊のように結成して、セコンドを100人くらいつけて臨むつもりですけどね。

――ひゃ、100人！

佐竹 100人がオーバーなら、50人くらい。そういうの好きなのがいるから、かり出して。そういう感覚で臨みたいですね。何があるか分からないから。小川選手がどんな人か知らないからね。

――それはヤバイよぉ。

佐竹 で、その中には、佐山さんにお願いして入ってもらう。佐山さんはずっと小川選手のセコンドをやっていたから、ファンもそういう展開は面白いでしょ。

――試合前に、その佐山さんに猪木さんから伝言が伝わったりして（笑）。でも、それは1・4を彷彿させるなぁ。

佐竹 と言いながら、1人でいくかもしれないけど（笑）。セコンドなしで。

――はぁ〜〜。で、佐山さんからは何かアドバイスはもらってるんですか？

佐竹 いくつかはね。この前も猪木さんと一緒の時に、佐山さんも会ったんですけど、まあ村上選手とやった時みたいにワキを差されないように、と。自分ではちょっと見ていたつもりなんですけど、そういう対策ももちろんやってるよ。本当はもっと北海道で本格的に教えていただきたいんですけどねぇ。

――ああ、ワキねぇ。

佐竹 でも、小川選手の技は凄いと思うけど、何をやってくるかはだいたい分かりますけどね。強いし、威力は村上選手よりも上なのは分かりますけど、やってくることは想像できるよ。その意味では変な柔道幻想はない。小川選手のほうが僕が何をやってくるのか想像つかないんじゃないですか。打撃のほうが、やっぱり試合じゃないと分からないと思いますよ。もちろん、キックの伊原会長にアドバイスはしてもらってると思いますけど。

――いやぁ、でも今日は佐竹選手の「本気か？」って言った意味が、ちょっと分かってきましたよ。

佐竹 挑戦されればやっぱり背中を見せられませんからね。でも、負けたらまたお願いしてやらしてもらいたいですけど、勝ったら、僕にもヒクソンの話が回ってくるんですかねぇ。

――えっ!? ヒクソン？

佐竹 まあ、やる前からそんなことは言ってられないけど、とりあえず今、拳とか手刀とか、もう一度空手の武器を鍛え直してるんですよ。よかったら、今度見に来てください。押忍！ ■

作家の百瀬博教さんが年に一度お祭りを開催する「鳥越神社」でインタビュー

闘魂伝書

9.29 成田空港編

猪木、恒例の成田会見で小川VS佐竹、石澤問題を一刀両断！

9月29日（金）、ロスから帰国したアントニオ猪木は、成田空港で恒例の記者会見。小川VS佐竹、石澤問題のその後の見解を語った。

取材&撮影◎"Show"大谷泰顕

——オリンピックはご覧になりました？

猪木　見てない。アメリカはあんまり放送しねえんだもん（苦笑）。

——永田裕志の弟（永田克彦）が銀メダルを取ったんですよ。69キロ級のグレコローマンで。

猪木　へえ〜、そう。そりゃあ凄いじゃないですか。

——ぜひ『プライド』でどうですか？

猪木　ンムッフフフフ。

——一回会ってみたいですか？

猪木　いいんじゃないですか？

——新日本の10・9東京ドームは？

猪木　行かないと思います。まあそれより、アメリカもだいぶ変化が起きて、WWFがWCWを買うかもしれない。そんな動きがあるんで。あんまりそっちのほうは、情報だけくるんでね。

——WWFがWCWを買うんですか？

猪木　うん。

——ということは、WCWはヤバいと。

猪木　もう（崩壊）寸前みたいですね。

——何か接触でも？

猪木　いや、ここんところは直接はないんですけど。もう近日中だと思うんで。たしかであれば。武藤もどうすんのかな。相談に乗んなきゃいけない。

——一時『プライド』が買うっていう話も（苦笑）。

猪木　WCWを？

——ええ。

猪木　それはちょっと無理だろうけどねえ。

——新日本のことは、以前と比べて興味がないですか？

猪木　というより、アメリカの情勢がそういうふうに変わってくると、今までガイジン選手の供給源だったWCWがなくなるとすりゃあどうするのかなあと。WWFか、あるいはそれに変わる動きがホーガンとかあったりね。新しい団体が誕生するとかっていう噂もあるし。新日本だけじゃないですかね、アメリカに事務所が移ってないのは。みんなほとんど、『プライド』にしても、パンクラスにしてもなんにしてもそれぞれの、まあ大小ともかく、みんな情報を現地で取ってますからね。そこんところが、いいのか悪いのか、俺には分かんないけど。俺の情報を頼りにしてるのかもしれないけど（笑）。

——なるほど。

猪木　だから、前から言ってるように、一目瞭然で、アメリカとの違いをどうつけていくかっていうことが生き残っていく一つのテーマだと思うんで、理屈抜きだと思うんですね。そこに、まあ気付いてはいるのかもしれないけど、身体が動かなくなっちゃってるというか、体質的にそうなっちゃっているというか、そこんとこだけは早く目覚めないと。まあ、WWFに（日本のプロレス界が）飲み込まれるならそれでも構わないしね。でも、それじゃあ今のプロレスの方向性が変わってきちゃうだろうと。やっぱり今まで主張してきた「リングは闘いである」という主張がなくなっちゃうから、そこんところはひとつ、ぜひ早く気がついてもらいたいなあと。俺なんかもうリングに上がってるわけじゃないから、「余計なおせっかいだ」って言われれば、もうそれ以上のことを言う必要はないし。

——『プライド』のほうなんですけど、10月の末ですか。佐竹さんと小川さんが大阪城ホールで。

猪木　決まったの？

——いや、まだ発表はされてないんですけど、猪木さんはどうお考えですか？

猪木　どうって、やりたきゃやりゃあいいんじゃない？（笑）。

——小川選手は佐竹選手とやるとかやらないとか言われてますけど、小川選手に対して、何かメッセージはありますか？

猪木　まあ、リング、闘う相手を探さないといけないんでねえ（苦笑）。当面、誰であろうと、出てくる相手がいれば、それはありがたいことじゃないかと。いろいろ団体ができてくると、そこの団体が拘束したがるから、このところだけはねえ、難しいんで。まあ、今の流れの中で、ちょうど21世紀に、たぶん大きな流れが、前から言っているように、変わるんだろうと思うんでね。そういう意味では身を軽くしておいたほうがいいと思うんでね。

——藤田選手は、次はいつ頃になりますでしょうか。

猪木　あと1試合契約が入ってますから。暮れになるのかね。12月か何かにもう1回やって、その後に再契約って問題になるのかもしれないですね。ひとつにはアメリカもボチボチなんですけど、またそっちのそういう動きが少しずつ起きてきてるんで。

——藤田さん本人は「UFCに出たい」と言ってるんですけども。

猪木　ねえ？　もう凄く。だから、それが出ることが名誉かどうかってことは、まあ、本人が出たきゃいいんでしょうけど。今のところ、そんなに凄いのは出てないんじゃないですかねえ。

——石澤選手はどうなりそうですか？

猪木　頑張ってもらいたいな、もう一回ねえ。やっぱり出たことがマイナスじゃなくて、出たことが良かったなっていう結果は、これから作っていくしかないんで。まあ、そういう意味では、そういう時間を与えてあげないと、かわいそうかもしれないな。それ専門に打ち込む時間をね。だからまあシリーズ出たっていいんだよ。俺たちはシリーズやりながらやってたけど、今の選手は違うかもしれないんで。そういうシリーズとは離れた状態で、少しトレーニングをさせなきゃいけないんじゃないかな。■

取材陣の要望に応え、木刀を使ってパフォーマンスを行った猪木

WWFがWCWを買収するかもしれないよ

掣圏道
SWA
WORLD ASSOCIATION

SWA ULTIMATE BOXING

アルティメット ボクシング

五大タイトルマッチ

超実戦格闘技！

〈ミドル級〉
クルマンタエフ・ラミル vs 村山 光広
(ミドル級2位)

〈ミドル級タイトルマッチ〉
グスニエフ・アブドゥラフ vs ワルダニャン・アルタク
(ミドル級チャンピオン) (ミドル級1位)

〈スーパーミドル級〉
アブドゥラギモフ・マゴメドミル vs ？
(スーパーミドル級7位)

〈スーパーミドル級タイトルマッチ〉
ヴィノクロフ・アルテム vs カミロフ・マゴメド
(スーパーミドル級1位) (スーパーミドル級2位)

〈ライトヘビー級〉
アフメドフ・ザウル vs ？
(ライトヘビー級2位)

〈ライトヘビー級タイトルマッチ〉
トカレフ・ワジム vs ドロズド・グリゴリ
(ライトヘビー級チャンピオン) (ライトヘビー級1位)

〈ヘビー級〉
チュラコフ・エドゥアルド vs 桜木 裕司
(ヘビー級4位)

〈ヘビー級タイトルマッチ〉
スルタンマゴメドフ・カフカズ vs ポドリャチン・デニス
(ヘビー級チャンピオン) (ヘビー級1位)

〈スーパーヘビー級〉
ワリエフ・ジヤティン vs ？
(スーパーヘビー級3位)

〈スーパーヘビー級〉
？ vs 大刀 光

〈スーパーヘビー級タイトルマッチ〉
キルサノフ・アンドレイ vs アフメドフ・ズラブ
(スーパーヘビー級チャンピオン) (スーパーヘビー級1位)

2000.10.29SUN

東京 有明コロシアム

【開場】PM2:00 【試合開始】PM3:00

リングサイド席¥15,000・S席¥9,000・A席¥6,000・B席¥3,000

●主催/掣圏道協会(SWA)●お問い合わせ/掣圏道協会東京事務所 ☎03-5456-7333

【チケット発売所】●チケットぴあ ☎03-5237-9999 ●ローソンチケット ☎03-5537-9999 ●CNプレイガイド ☎03-5802-9999

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS-DX
スペシャル・リング・ガイド
No.32 11・9 臨時増刊号

CONTENTS

表紙デザイン◎梅村あゆみ

緊急寿座談会

出席者◎
ビートたかし
サダハルンバ谷川
“Show”大谷泰顕
司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

オリンピックに浮かれる全国民に告ぐ

日本人よ、舌を出せっ！

仰天スクープ！
なんとShowが婚約！

谷川　さぁ、前号に続き、今回のテーマはオリンピックです。で、いいですか？

山本　いいよぉ。俺は言いたいことがいっぱいあるっ！

大谷　ちょ、ちょっとその前に、ひとつ前フリを……。

――ダハハハハッ。役割を心得てるな、お前も（笑）。

谷川　だいたいなんなの、今日のその格好は？

大谷　はい。今日はですねぇ、発表したいことがありまして。

山本　結婚するんか？

大谷　まぁ……。

――ダッハハハハッ！

谷川　ホントにぃ～？

大谷　あの～、その方向で、今いろいろ、あの～、動かさせていただいているということをご報告させていただくために……。

山本　お前、人をナメているんじゃないだろうなぁ。

谷川　ふざけんなよ！

――それは婚約ってこと？

大谷　そう……いや、まだ、そうなのか、ちょっと……。

谷川　ええ？　どういう意味だよ、それ。

大谷　婚約って、婚約指輪買ったりするんですよね？

谷川　うん。

大谷　それは、まだなんで……でも、お互いの両親には会って、基本的にGOサインが出たっていうことで、ハイ。

山本　ミラクルが起こったなぁ！

――それは例によってまた、お前の一方的な勘違いとかじゃないの？（笑）。

大谷　いやいや、違う違う。

山本　騙されてると違うん？

大谷　違いますって！

緊急寿座談会

Showが結婚？ 物好きがいたねぇ
子連れ？ ハッキリ言って大歓迎する！

——日本語しゃべれる？（笑）。

大谷 日本人ですよっ！

谷川 へえ～。で、どういう子なの？

大谷 えっと、あれです。えっとですね、ええ～、なんだっけ、あれです。あの～、一般誌のライターさんです。

山本 じゃあワープロ打てるのか!?

——なんちゅう質問だ（笑）。

山本 俺は今ワープロ打てる嫁さんが欲しいんだよぉ。

大谷 僕の嫁さんになるんですよっ！

山本 体重は何キロだ!?

——ガーッハッハッハッハ！

大谷 そんな、いきなり失礼ですよぉ！

山本 年はいくつなんだ!?

大谷 学年で1コ下で、年齢で2つ下。

山本 なんぼ？

大谷 30歳かな。

山本 そりゃ、ちょうどいいよ。う～ん。29とか30の人と結婚するほうがいいんだよ。

谷川 なんでだ（笑）。

——じゃあこれは婚約発表なのか？

大谷 ええ、結婚宣言ということで。

谷川 んあ～。

山本 よく、ホントそんな物好きがいたねぇ。

——相手もフェチ？（笑）。

大谷 いや、フェチって言うより珍獣好きみたいで（笑）。

谷川 心中好き!?

大谷 珍獣好き！

谷川 ああ、珍獣フェチ（笑）。

——心中フェチはやばいぞ（笑）。

山本 まあどっちにしろ、結婚というのは、物好き同士が結婚するんだけどね。

谷川 んあ～。

——で、その子とはどこで知り合ったんだ？

大谷 知り合いの編集者の紹介なんですけど、格闘技業界には全然関係なくて、ボクが知り合ったのは、桜庭VSホイス戦が終わった後なんですよ。5カ月くらい前。

谷川 電撃じゃん、それは。とりあえず、ご愁傷様でした。

——それはいわゆる「一目惚れ」ってヤツなの？（笑）。

大谷 いや……そんなことはないんですけど……。

谷川 ビビッと来るものがあったんだ。

大谷 ヒャヒャッと（笑）。

——ヒャヒャヒャ婚（笑）。でも、もちろんお前と結婚しようっていうんだから、その子は普通じゃないんだろ？

大谷 なんでっ！ 一般的な、見た目は普通ですよ。ただ……。

谷川 え？ なに？

大谷 あの～、まあ、いわゆる未婚の母で、子供がいるんです。

——子供っ！

谷川 んあ～っ！

山本 い、いや待て待て、彼女にはすでに子供がいるの？ 別の人との間にできた子供が？

大谷 ……そうです。

山本 エライなぁ、お前！ それは、ハッキリ言って俺は大歓迎するっ！

——なんでだ（笑）。

谷川 それはなに？ 彼女は、あの～、結婚はしてなかったの？

大谷 いやぁ、未婚の母だから、してないです。10年くらい前に彼女が付き合っていた方の……。

谷川 その子供は何歳なの？

大谷 子供は7歳、いや8歳だ、8歳。

山本 男の子、女の子？

大谷 男の子。小学校2年。

山本 お前、偉いなぁ。連れ子と一緒に結婚するっていうことかぁ。

大谷 そうそう、そういうことです。

山本 ああ、それは一番いいパターンだ。

——なんでだ（笑）。

山本 一番いいパターンだよぉ。28～30くらいの女の人と結婚して、連れ子がいるというのが、一番成功するパターンだよ、今。

大谷 あああ、だそうです。

——お前は熟女フェチだけじゃなくて子連れフェチだったのか（笑）。

大谷 なんですか、それ？

——まさかお前、子供が見てないと燃えないとか、そういうんじゃないだろうな（笑）。

大谷 そんな変態じゃないですって！

——フェチだけど（笑）。それで、その子供にお前なんて呼ばれてんの？

大谷 ……大将。

——ガッハッハッハッハ！ 大Ｓｈｏｗ（笑）。やっぱりお前は変態です。

山本 お前、アホかぁ？

大谷 いやいや、「大将」って呼ばせたかったんですけど、一応「Ｓｈｏｗさん」って呼ばせることに一応なりましたんで。

——自分の父親を「Ｓｈｏｗさん」って呼ばなきゃいけないような子供は、絶対にグレるぞ（笑）。

山本 それじゃ、あれか、髙田延彦が仲人するのか。

大谷 いやぁ、そんなの全然考えてないですよ。

——山本さんが仲人はどうだ？ キャバクラ嬢とコンビで（笑）。

大谷 最悪の船出だなあ（笑）。

山本 いやぁ、伝書鳩人生には希望がいっぱいあるよぉ。

——どうしたんですか、いきなり仲人ヅラして（笑）。

山本 希望と夢がいっぱいありますよぉ。これからは伝書鳩が花盛りだよぉ。

——ダッハハハハハ。

山本 普通だったら子供がいたらイレギュラーを起こすんだけど、お前の場合は逆にイレギュラーを起こさないよぉ。

大谷 そう、まぁ、うん。

山本 かえって同調するよぉ。シンクロする！

——シンクロって（笑）。

山本 シンクロナイズド人生だっ！

大谷 へっへへへへ。

山本 俺は伝書鳩が作り出したシンクロナイズド・ライフと呼ぶよ、これから。

——凄いなぁ（笑）。

谷川 なるほどねぇ、とりあえずおめでとう。

大谷 はい。ありがとうございます。だから、とりあえず、それで、え～、なんだっけ、彼女は一応、芳本美代子似なんです。

——お前、まだ話し続けるのか（笑）。

山本 え？ 誰に似てるって？

大谷 芳本美代子、みっちょんです。

山本 誰？ 知らん。

大谷 バラドル系の。

谷川 はぁ～、かわいいんだ。

大谷 横顔は、俺はともさかりえに似ているなと一瞬思ったこともあるんですけどね。そんなのはどうでもいいですね、ハイ。

——ぷぷぷぷぷっ。

山本 うん、何もかもがいいよぉ。何もかもがハマってるっ！ これは絶対にうまくいくよぉ。

——凄いなぁ（笑）。なんだか分かんないけど山本さんからお墨付きだよ。

大谷 それが一番怖いような気がするけ

どなぁ、あっはははは。

山本　何もかもがうまくいくよぉ。

大谷　ホントに〜？

山本　だって、相手の女の人は子供もできているんだから、免疫ができているから。一つのものをクリアしてきているから、そういう人が一番いいんだよぉ。うん。はっきり言ったら、お互いに傷がある者同士だから。

——ガッハハハハハ。Showはナチュラルで傷だらけだからね（笑）。

大谷　そりゃそうですよねぇ。

山本　もうこれは、あの〜、いま世の中が一番必要としている〝癒しの概念〟にピッタリの結婚ですよぉ。

——〝癒し系結婚〟（笑）。

山本　見事だぁ。

大谷　なんか分かりませんけど、よろしくお願いします。

山本　前フリが長いねぇ。

谷川　じゃあハイ、本題、Show。

大谷　えええっ。なんすか？　オリンピック？　高橋尚子は素晴らしい、それで終わりです。

谷川　なんだよ、それ。

大谷　凄いですよ、高橋尚子はとにかく。

谷川　どこが？

大谷　「楽しい42キロでした」って、あれが言える女性はステキだなぁと。それだけですね。

山本　いいなぁ、やっぱり幸せ者には勝てんなぁ。

——なんか気持ちの悪い座談会だなぁ（笑）。

山本　俺に言わせるとさぁ、今回のオリンピックで一番ダメなのが高橋尚子なんだよねぇ。

大谷　あっ、そうっスか？　高橋尚子はステキだなぁと思ってたんだけどなぁ。

山本　もっとも〝非プロレス的〟と言うかさぁ。

大谷　あぁあぁあぁあ。

高橋尚子は“プロレス心”がまったくないよぉ
日本は肝心なところで負けるのが一番いいんだよぉ

山本　あの勝ち方を見たでしょ。で、スタートした時点からもう高橋尚子の勝ちは見えていたんですよぉ。

大谷　ふ〜ん。

山本　スタートした時点で勝ちが見えてたんだよねぇ。で、俺が何を期待していたかと言ったら、アフリカ勢が日本の三羽ガラスをブチのめす。よ〜するに史上最強トリオというか、彼女たちがメダルに届いたとしても、金メダルを取れないで、アフリカ勢がブチのめすと。そういう形で次にまたさぁ、新しいテンションを再燃させていくという、そういうドラマを期待したわけですよぉ。ところが、早々とアフリカ勢が脱落していったでしょ。あそこが一番白けたよぉ。1万メートルの女子とか、男子のマラソンは全部アフリカ勢が独占しているわけでしょ。あれが本来の姿なわけよぉ。

——うんうん。

山本　女子マラソンだけ、アフリカ勢が浮上できずに早々と脱落していったんだよねぇ。あれが一番ドラマ性を失わせたんだよぉ。あそこにさぁ、非常に腹立たしさを覚えるんだよぉ、覚えない？

谷川　お言葉ですが、覚えないです（笑）。

大谷　俺もそうですよ。

山本　日本ってさぁ、肝心なところで負けるのが一番いいわけよぉ。例えば東京オリンピックの円谷のように、2位でトラックに入ってきたのに、ヒートレーに抜かれて3位になったというのがもの凄い記憶化するわけよぉ。

大谷　へぇ〜。

山本　あとは、なかなかサッカーでワールドカップに出れなくて、もう出れるかと思ったらさぁ、ぎりぎりのロスタイムで逆転された〝ドーハの悲劇〟で行けなかったというさぁ。柱谷なんかがさぁ、悔しい思いをする。あれが、一番日本的なドラマなんだよねぇ。

——うんうんうん。

山本　ところが高橋尚子の場合、そういうドラマがよ〜するに、あの独走的勝利によって全て消されちゃったんだよぉ。

谷川　高橋って日本人には珍しい怪物タイプだね。

山本　いや、怪物タイプというか、あれはなんていうかさぁ、一人で走っているんじゃないんだよね。もう一人、その〜背後霊がいるわけですよ。

谷川　磯部師範のような、小出監督。

山本　そう、小出監督。二人で闘っているから、あの二人のパワーが体の中に入っているでしょ。その気がさぁ、アフリカ勢を壊滅させたんだよねぇ。

谷川　あの小出監督はホント磯部師範みたいな感じのタイプだなぁ、人間的に。

大谷　あぁあぁあぁ。

谷川　だけど、あれは僕、ホントになんか、日本人には珍しい怪物というか、強いヤツってあのくらいあっけないでしょ。ホントに強いヤツっていうのは。だから、まったくドラマ性を感じさせない、もの凄い怪物ですよね。

山本　怪物というかさぁ、何かがストンと抜けているんだよねぇ。何かストンと抜けているから走ることは超人的になってしまうというタイプだよぉ。ハンディがないというか。

——うんうんうん。

山本　それで突き抜けて、独走して勝ってしまったでしょ。ああいうものには、普通は日本人は反応しないんだけども、初めての女子の陸上の金メダルでしょ。みんな初めての勝利に、田舎もん的に酔っちゃうわけよぉ。感動の大安売りになっちゃうわけよぉ。でも、普通は日本人

はあれに反応しないわけよぉ。俺は猪木を思い出したよぉ。ＩＷＧＰの一番最初の時は、猪木が独走して完全な勝利を予測していたわけよね。ところが、猪木が最後に舌を出して、ストンと転がしたでしょ。あれがプロレスですよぉ。

谷川　はぁあ。

山本　だから、高橋尚子がもしプロレス的なセンスを持っていたら、わざと競り合ってる相手のシモンにやられるような感じで、一旦抜かれて抜き返すとか、そういう最後に、ドンデン返しのドラマを演出できたんだけど、そのままスーッと行っちゃったでしょ。

谷川　う～ん。

山本　あのスーッと行ったところがプロレス心ゼロだよぉ。

——ダッハハハハ。そりゃそうでしょ（笑）。

山本　舌を出せと言いたいんだよぉ、俺は。

——ダッハッハッハッハ！

山本　舌を出せ！　ＩＷＧＰを思い出せ！　猪木を思い出せ！

大谷　思い出せって、そんな記憶ないって、高橋尚子には（笑）。

山本　俺はシモンに、ハルク・ホーガンのアックスボンバーを思い出してほしかったよぉ。

大谷　思い出さないよ、記憶がないんだから（笑）。

山本　シモンがアックスボンバーをなぜ出さないか不思議に思ったよぉ。

——シモンよ、三つ又のヤリを思い出せ！（笑）。

大谷　思い出さないって！

山本　まぁ、高橋のあの明るさと陽気さは救いになるけれどもぉ、俺らのようなプロレス的人間からすると、ちょっと物足りないんだよなぁ。あれには感情移入できないよぉ。

大谷　でも、4年に1回だから、あれでいいんじゃないですか。

山本　う～ん。でも、俺は舌を出してほしかったよぉ。

谷川　んあ～（笑）。

山本　でもね、ここで一番重要なのは、今のオリンピック？　ハッキリ言ったら、井上編集長は「平成のデルフィン」って言ったでしょ、今のプロレスを。オリンピックは、デルフィン化現象してるんですよぉ。

——うんうんうん。

山本　デルフィンピックですよぉ。

——デルフィンピック（笑）。

山本　猫も杓子もバカみたいに大騒ぎしてさぁ。俺はあの～、感動の大安売りをしているテレビの番組、朝から晩までオリンピックやって、デルフィンピックそのものだよねぇ。それが俺はイヤでイヤで、早く終わってほしいと思っていたわけよぉ。というのは、あんな競技がたくさんになると、もうのべつまくなしに見せられるわけでしょ。そしたら、プロレスのインディを見せられている感じなんだよぉ。今までオリンピックで僕らにとって一番重要だったのは、日常と非日常、それからケとハレとか、光と陰という、境界線が見えなくなってるんだよねぇ。境界線がモアーっとボヤけちゃって何もかも一緒という感じでさぁ、日常的なイベントになってしまっているわけでしょ。そんな中で光と陰と言うならば、俺は4年後の高橋尚子は、陰にならなくちゃいけないと思うんですよぉ。

谷川　そうですね。

山本　陰という部分では、このオリンピックで、陰を見せた二人の男がいるっ！

緊急寿座談会

高橋と最後まで競り合ったシモンには アックスボンバーを思い出せと言いたいっ！

ブブカとカレリンですよぉ。

——なるほど。

山本　鳥人ブブカ、記録なしでバーから墜落。人類最強カレリン、最後に負けた。

大谷　ハイハイ。

山本　あれですよぉ。あの二人とも「超人」だったでしょ。超人的な強さのウルトラパワーを秘めていたわけよね。カレリンのアマレス12年間無敗とかさぁ、オリンピック3連覇していたわけでしょ。ブブカだって、棒高跳びでは神のごとく飛んでいたわけでしょ。それが今回もろくも破れ去った。あれが人間ですよぉ。

谷川　そうかぁ。

大谷　でも、オリンピックオリンピックって言うけど、高橋尚子が金メダル取った翌日の新聞の一面は長嶋巨人だったじゃないですか、あれは痛快でしたね。

——痛快ってお前、高橋尚子に感動したんじゃないのか（笑）。

大谷　いや、でも長嶋茂雄も凄いなあと思って。

谷川　あれはもう典型的に政治的なもんだよ。あれは踏み絵でしょう、新聞の。あそこで、オリンピックの高橋を一面にしたら、たぶん巨人の取材がやりにくくなると思うよ。自分たちの自己規制の中での踏み絵でしょ。

山本　いや、そういう政治的なものじゃなくて、長嶋が演出した、自然発生的な大アングルが起きたわけでしょ。9回に4—0で負けていて、誰もがみんなこのまま終わると思ってたのにさぁ。

大谷　それこそ山本さんの言う、逆舌出し事件じゃないですか。

山本　そう！　9回の裏でさぁ、ノーアウト1・2塁で松井なんだよね。見ていたら満塁になっちゃって、江藤がホームラン打って、二岡がサヨナラでしょ。あんなの起きっこないわけよぉ。あれが普通の勝利だったら新聞の一面にはなってないよねぇ。

大谷　見事なゴットアングルですよ、凄いですよ。
山本　ホント、人智を超えてるよぉ。
大谷　あれは凄い、あれは凄かった。
谷川　だけど、女子マラソンは朝9時までの時間帯で視聴率50％近いですからねぇ。巨人戦は凄い頑張って、やっぱり8％かなんかの視聴率じゃないですか。
山本　その発言そのものが、谷川がテレビに犯されているんだよぉぉぉ！
――ダッハハハハ！
谷川　いやいやいや。
山本　テレビ人間ですよぉぉぉ！
谷川　いや、テレビ人間では……。
山本　数字は関係ないんだよぉ。質を問うんだから、全ては。谷川はテレビに犯されまくっているよぉ。
大谷　谷川さんはテレビタレント名鑑に出ているんですから（笑）。
山本　テレビタレントだから俺たちとは階級が違うんだよぉ。
――ガッハハハハハ！
山本　俺たちは下の階級でさぁ、基層社会なんだから。
――嫌な基層社会だなあ（笑）。
山本　テレビメディアのさぁ、上層部の発言とはやっぱり違うよぉ。
谷川　でも、50％って異常ですよ。朝の9時までの50％って、瞬間で59％ってあれは尋常じゃないですよ。
山本　俺にとっては、巨人が4―0から逆転したことのほうが異常ですよぉ。あのほうがシビれた。つまり高橋尚子に関しては、オリンピックという舞台だけの点で見ているでしょ。でも長嶋巨人は4月から4、5、6、7、8、9と6カ月間、毎日毎日毎日さぁ、一喜一憂の積み重ねで見ているわけよぉ。その時間の重さや関わり方というのは凄いよぉ。そういう意味で、高橋尚子と長嶋巨人では、その質的な重さの違いがあるので、俺はやっぱり長嶋のほうを一面にすべきだと思うっ！
谷川　なるほどねえ。で、また視聴率の話で申し訳ないんですけど（笑）、僕はその時、アメリカに行っていたじゃないですか。ニューヨークに2日間いたんですけど、オリンピックはアメリカではまったく盛り上がってないんですよ。テレビも全然視聴率取れてないんですよね。アメリカに行って気が付いたというか一番驚いたのは、オリンピックはなんにも盛り上がってないんですよ。
大谷　猪木さんも言ってた。「アメリカではあんまりやってないんだよ」って。
――それは一番は時差の問題だよね。
大谷　ふ～ん。
――アメリカに時間があわない地域でのオリンピックは、ビジネス的に盛り上がらないみたいだね。
谷川　そうそうそう。だから、大阪なんかではオリンピックできないですよ。
大谷　へえ～。
谷川　アメリカではWWFのほうが、全然盛り上がってたもんなあ。
――でも、プロレスチックに考えるとね、やっぱり夜中、深夜とか明け方とか、必死になって見る特別なものがオリンピックなんですよ。今回みたいに、ゴールデンタイムで普通に生放送で見られる、そういうのはどうにもオリンピックっぽくないでしょ。それで余計にデルフィン化するわけですよ。

今のオリンピックは「デルフィン化現象」ですよぉ
ブブカやカレリンのような“陰”が重要なんだよぉ

山本　最大のデルフィン化だよぉ。俺は今回のオリンピックを見ていて、それに気が付いたよぉ。じゃあ、オリンピックのMVPは誰なんだ、みんな。一人ずつ言ってみろ！
大谷　MVP？
――なんだ、突然（笑）。
山本　自分なりの個人的なMVPだよぉ。
大谷　俺は高橋尚子でいいです。
山本　ホント、お前はさぁ、やっぱり結婚しているからいいねぇ。
大谷　いやいや、まだしてないまだしてないって。
山本　濁りがないというかさぁ、ホントに透き通った答えだねぇ。
――ホント、お前のその透き通った目は、まさに変態チックだね（笑）。
大谷　僕はホントにピュアハートなんですよぉ。
山本　谷川のMVPは誰？
谷川　僕は、素の部分で一番面白かったのは、ハンドボールの決勝戦が面白かったんですよ。
――ガッハハハハハ！　ビバ、サダハルンバ！
山本　ハンドボールぅ～？　そんなもん見たことないよぉ。
谷川　い、いや、ハンドボールってホントに面白い競技だなって思ったなぁ、あれを見て。バスケットやサッカーよりよっぽど面白いなぁと思って。決勝はロシア対スウェーデンだったんだけどさぁ。
山本　凄いなあ、お前は……。で、柳沢氏のMVPは？
――俺はサッカーの中田ですね。
谷川　そうだね、中田だろうね、やっぱり。
――ハンドボールに「やっぱり」って言われたくないよ（笑）。でも、一番視聴率が高くて、一番注目度が高くて、それで最後に中田がハズした。あれは見事だなと思うよね。
谷川　そうだね、俺も中田がMVPだな。

大谷　――だからハンドボールでいいって（笑）。

大谷　サッカーの視聴率、そんなに凄かったんですか？

――50％超えているからね。

谷川　50超えてる、60近いよ。

大谷　俺は、全然ダメだなぁ。中田英寿が出たってことすら知らなかった今まで。

――じゃあ山本さんのMVPは誰なんですか？

山本　やっぱりねぇ、MVPは二人いるよぉ。中田とアボリジニの女の人いたでしょ。聖火をやった人。

――キャッシー・フリーマン。

山本　あの二人だよぉ。

――そうきたか（笑）。

山本　フリーマンは心が揺れているというか引き裂かれているわけですよぉ。アボリジニから期待されている。オーストラリア国民からも期待されている。でも、自分は過去に虐げられてきたアボリジニ、オーストラリア原住民でしょう。でも、アボリジニのために勝たなければいけない、オーストラリアのために勝たなければいけない。自分は何なのかということ、オリンピックとは何なのかということをいつも問い続けながら、心が引き裂かれながら、優勝したわけでしょ。

――うんうんうん。

山本　今でも問い続けていると思うよぉ。

――そうですよね。

山本　自分の金メダルとは何なのかということを。単純に喜べない。あれは一番美しいよぉ、ハッキリ言って。

――分かる分かる。

山本　あの時、オーストラリアは彼女をわざと聖火ランナーに選んだでしょ。政治的な匂いがするしさぁ。

――オリンピックという舞台では最高の演出ですよね。

山本　演出だし、ドラマがあらかじめ用意されているような、それが今回のオリンピックのコンセプトみたいな、象徴になっているでしょ。でも、彼女自身は自分の中で問いかけているはずだよね。「私とは何なのか、自分の人生とは何なのか、オリンピックとは何なのか、オーストラリアとは何なのか、国民とは何なのか、人種とは何なのか」全部問いかけて破裂しそうに揺れているし、答えがない世界にいるわけでしょ、宙ぶらりんな。あの宙ぶらりんが一番現代的だよぉ。

――そうですよね。

山本　とにかくあれが一番の、最大のMVPはあの人ですよぉ。それにさぁ、彼女は勝っているわけよねぇ。で、俺が不思議なのは、あの人はスーツを着て走っているんだよなぁ。

谷川　エイトマンみたいな格好でしたよね（笑）。

緊急 寿 座談会

MVPは中田とアボリジニのフリーマンですよぉ 彼女の美しさはモハメド・アリを超えたよぉ

山本　なんで、この人スーツ着て走っているんだろうな、と思ってねぇ。全部肉体を見せることを拒否しているような感じでさぁ。こんな美しい人はいないなぁと思ってさぁ。俺は、アリを超えたと思ったよぉ、ホンマに。

――ダッハハハハ。

山本　アリもそういうことをオリンピックで問いかけたわけでしょ。

――そのとおりですよ。

山本　フリーマンも今回、地球規模的に問いかけてモハメッド・アリ化したわけでしょ。ハッキリ言って、あれは最高だよぉ。

――オリンピックは人種と文化の交流というようなテーマがあるわけじゃないですか。

山本　そう。人種と文化の交流で、平和を象徴して、常にそれがプラスになるという、プラス化という形で提示されるんだけれども、心は全てマイナスになっているんだよねぇ、彼女の中では。で、プラス化できない自分というのがそこにあるわけよぉ。あれは凄いよぉぉぉぉ。俺はもうシビれた！

――うん、分かる分かる。

山本　で、もう一人のMVP中田は、アイツ、わざとハズしたんだよぉ。

――アイツは舌を出したんですよ（笑）。

山本　うん、アイツは舌を出した！

大谷　ふ～ん。

山本　わざと、なんて言うかさぁ、俺は中田が選ばれた時、ハズすと思った。

――ダッハハハハ！

山本　コイツ、ハズすぞぉ～と思って。で、ハズして頭を抱えたけれども、あれで、シドニー弾丸ツアーとか、全てのオリンピックのバカ騒ぎを「ジ・エンド」にさせたんだよなぁ。

――ジ・エンドにさせましたね。

山本　アイツはホントに、全てを自分のものにしたよぉ。独り占めですよぉぉ！

――そういうことですよね。

山本　もし、中田以外がハズしたら、もう犯罪者扱いだよぉ。

谷川　そうですよね。

山本　大犯罪者扱いで、もう日本に帰ってこれないわけよぉ。ところが、中田という存在によって何も罪を問われないで、そこで全部収めちゃったんだよねぇ。

――デルフィンを蹴散らしたわけですよ。

山本　あの男のオリンピックの関わり方は、スーッと行ってスーッと抜けたんだよぉ、オリンピックから。

――何事もなかったようにね。

山本　あの男ね、世紀の魔術師だよぉ。

――俺もそう思う。

谷川　だからねぇ、あのゴールキックだけじゃないんですよね。今回の中田は。イエローカードで試合に出れなかったり、もの凄いミスしたしねぇ。何度も何度も。

山本　なんかこう、遊んでるというか、ネガティブな関わり方のリアリティというか、それがもの凄く、全身から出ていて、オリンピックをまるで拒否しているかのようなね。

――うんうん。

山本　それが彼の存在理由というか、アイデンティティになっているような意味では、アイツはねぇ、猪木的だよぉ。

――猪木的だし、プロですよねぇ。

山本　それで、アイツは一瞬にして全てを終わらせちゃったもんねぇ。

――だから、オリンピックでプロの匂いがしたのは、そういう〝負〟を見せつけた選手たちでしょう。

山本　中田ですよぉ。

—中田であったり、カレリンであったり、ブブカであったり、ま、篠原もそうですけどね。

山本 まあ、とにかくあの二人は凄かったね。

大谷 でも、篠原はいいじゃないですか、4年後に続きが見れて面白いじゃないですか。

山本 俺はあの篠原の騒ぎもしゃらくさいわけよぉ。ハッキリ言ったら「誤審」もルールなんだよぉ。誤審もスポーツの中ではルールだよぉ。スポーツを分かってないよぉ。スポーツはその程度のもんなんだよ。アホかぁだよ、俺から言わせればぁ。

大谷 篠原自身は言っていたじゃないですか、「審判が勝ちって言わない限りは勝ちじゃない」って。

山本 俺はねぇ、篠原はヒゲを剃って出てきてほしかったねぇ。

—ガッハハハハ！ 何の関係があるんだ（笑）。でも、あの篠原問題で思うのは、根本的に柔道をオリンピック競技にしていることが……。

山本 そういうこと！ あの審判をみたら、柔道はオリンピックから撤退すべきだ。すぐに撤退すべきだ！

—全てグレイシーが正しいって話になっちゃいますよね。

山本 うん、撤退すべきだ、うん。

—「時間無制限でやらせろ」って篠原が言わなきゃダメですよね。完全決着ルールでって言って。

山本 本当に撤退することが柔道を自らのものに取り戻すチャンスだよぉ。

—4年後に「金」を取り戻すとか、そういうリベンジの方法じゃダメですよね。日本人として。それこそ、明日にでも完全決着ルールで、やってやるってくらいの気持ちがないと。

大谷 じゃぁ『プライド』でやりましょう。

—ホント、そういう世界だよ。でも、オリンピックはいろんなものが見えますねぇ。

山本 オリンピックはいい素材だよぉ。谷川と俺の違いがよく分かったよぉ、今日は。谷川はやっぱり上流階級の人だよぉ。俺等は中流階級以下だよぉ。今だもって。

—サダハルンバはナチュラル・デルフィンだから（笑）。

山本 そうそう。永久に俺たちは谷川にはなれないわ。遠い遠い世界だよぉ。

—雲を掴むような存在（笑）。

山本 俺はやっぱり中田みたいになるしかない！ 中田はやっぱり、精神のブルジョワジーだよぉ。

—ガッハハハハハ。

山本 精神のブルジョワジーを見事に演じた！ 今のさぁ、この日本のバカバカしい低俗な世の中で、アイツはさぁ、貴族性を保っているもんねぇ。お見事だよぉぉ！ よくぞ、ハズしてくれたっ！

—オリンピックで一番見なきゃいけないところはそこなんですよね。高橋尚子と一番対になっている。

谷川 対極だよなぁ。

大谷 高橋尚子はいいなぁ、やっぱり。

—お前は何を聞いてるんだ（笑）。

山本 だから、勝ちの美学と敗北の美学。勝利の快感と敗北の快感という、プラスの快感とマイナスの快感があって、俺たちはマイナスの快感に酔うということなんだよぉ。

—そうですよね。

山本 谷川は50％の視聴率に酔ってほしいわけよぉ。

緊急 寿 座談会
あそこでハズした中田は世紀の魔術師だよぉ
猪木的な精神のブルジョワジーですよぉ

—ダッハハハハ！

谷川 ボ、ボクはですねぇ、視聴率なんかにはなんにも酔わないですよぉ。でもやっぱり、ハンドボールが一番面白かったんですよ（笑）。

—ビバ、サダハルンバ！（笑）。

谷川 ホントに面白かったんだよぉ。

山本 あと俺はもう一つ言いたいっ！ あんなかわいい子から金メダルを剥奪したのは許せないよぉぉぉ！

大谷 誰？

—体操のラドゥカン（笑）。

大谷 あぁあぁあぁ、あの16歳の。

山本 あんな美人をいじめるな！ と言いたいよぉ。

大谷 でも、かわいいよね、オリンピックに出てくる外人さんって。みんな顔の検査があるくらいにかわいい人が多いですよね。まあ僕のフィアンセにはかなわないけど。

谷川 ヒガンテ？

大谷 フィアンセ！

—ダッハハハハ！ フィアンセはエル・ヒガンテ（笑）。「奥様は魔女」より衝撃的だ！

山本 いいねぇ。大巨人の肩にとまってる伝書鳩の姿が目に浮かぶよぉ。

大谷 ヒャッ!?

■

▲奇跡のカップル誕生！ 顔出しNGかと思いきや「彼女もOKしてるんで、いいですよ」というShowの余裕ぶり。それにしても、このアホ丸出しの男を伴侶とするM.I.さん、謹んでお悔やみ申し上げます

10/13FRI～10/26THU
CALENDAR

10/13 FRI	★『SRS・DX』32号発売日 ●フジテレビ系『SRS』(25:45～26:15) 放送⬅p69
10/14 SAT	◆K-1 WORLD GP 2000 決勝戦/特電チケット発売⬅p46
10/15 SUN	◆K-1 WORLD GP 2000 決勝戦/チケット一般発売⬅p46 ◆KING OF PANCRASE TITLE MATCH/チケット一般発売⬅p46
10/16 MON	◆The Contenders 4/チケット・インターネット発売⬅p46
10/17 TUE	■J-NETWORK/ 東京・後楽園ホール (17:30～) ⬅p48
10/18 WED	
10/19 THU	
10/20 FRI	●フジテレビ系『SRS』お休み
10/21 SAT	■ニュージャパンキックボクシング連盟/愛知・名古屋公会堂 (16:45～) ⬅p49 ◆The Contenders 4/チケット・一般発売⬅p46
10/22 SUN	■サムライ/東京・有明コロシアム (14:00～) ⬅p48 ■全日本キックボクシング連盟/東京・後楽園ホール (17:30～) ⬅p48
10/23 MON	
10/24 TUE	
10/25 WED	
10/26 THU	★『SRS・DX』33号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

◎主なチケット発売所は、P75『イエローページ』をご覧ください

K-1WORLD GPシリーズ

K-1 WORLD GP 2000 決勝戦
12月10日（日） 東京ドーム

◆開場/14:30 試合開始/17:00
◆入場料/SRS席32,000円 RS席21,000円 SS席17,000円 S席11,000円 A席7,000円 B席5,000円
◆チケット発売/下記の表を参照
◆チケット発売所/キョードー東京、チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

12・10GP決勝大会進出決定選手

ジェロム・レ・バンナ（フランス）
アーネスト・ホースト（オランダ）
フランシスコ・フィリォ（ブラジル）
シリル・アビディ（フランス）
武蔵（日本）

12.10 K-1 WORLD GP 2000 決勝戦 チケット一般発売

10月14日（土） 10:00～18:00
キョードー東京特電 ☎03-3498-9999
チケットぴあ特電 ☎03-5237-9999
☎03-5237-9977
CNプレイガイド特電 ☎0570-08-9999
※携帯、PHSは不可
ローソンチケット特電 ☎0570-00-0034
※携帯、PHSは不可
e+（イープラス）特電 ☎03-5749-9935

10月15日（日） 10:00～
キョードー東京 ☎03-3498-9999
チケットぴあ ☎03-5237-9999
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9999
（Lコード32713）
e+（イープラス） ☎03-5749-9911

K-1ジャパン・シリーズ

全日本キックから新田が登場 大宮司はチャモアペットと激突だ！

K-1 JAPAN 中量級（仮）
11月1日（水） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30（予定） 試合開始/18:30（予定）
◆入場料/SRS席20,000円 S席10,000円 A席5,000円 バルコニー3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

〈I.S.K.A.世界ウェルター級タイトルマッチ〉
ムラッド・サリ（フランス） vs 魔裟斗（日本/シルバーウルフ）

〈I.S.K.A.世界ライトミドル級タイトルマッチ〉
アレックス・ゴング（アメリカ） vs 小比類巻貴之（日本/チーム・ドラゴン）
チャモアペット・チョーチャモアン（タイ/谷山ジム） vs 大宮司進（日本/正道会館）
ラモン・デッカー（オランダ/ジム・ヘマーズ） vs 新田明臣（日本/SVG）

参戦が決定した全日本キックの新田明臣（SVG）は、"地獄の風車"の異名をとるオランダの強豪、ラモン・デッカーと激突。新田にとっては、全日本キックの名誉に賭けて負けられない一戦だ

K—1フレッシュマンファイトなどで活躍する正道会館の大宮司進は、元ムエタイ9冠王のチャモアペット・チョーチャモアンと一騎打ち。前田憲作をも完封したチャモアペットを、果たして大宮司は倒すことができるか？

WKネットワーク

The Contenders 4
11月25日（土）東京・ディファ有明

◆開場/15:00 試合開始/17:00
◆入場料/SS席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/〈インターネット・オンライン・チケット〉10月16日（月）午前0時～〈チケットぴあ〉10月21日（土）
◆チケット発売所/インターネット・オンライン・チケット（http://www.wk-net.co.jp/gcm/contenders/）、チケットぴあ
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩8分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/WKネットワーク☎03-5200-3546

決定対戦カード

矢野卓見（烏合会） vs 五木田勝（木口ワークアウトスタジオ）
大石幸史（RJW/CENTRAL） vs 米澤迅三郎（烏合会）

パンクラス

▲GRABAKAの親分・菊田早苗は、元カーウソン・グレイシー一派のムリーロ・ブスタマンチと激突。お互いグラウンド主体の選手だけに、意外に勝負の分かれ目は打撃になるかも？

◀骨法脱藩者グループ・烏合会のリーダー、矢野卓見は、修斗で活躍する五木田勝と対戦。7月1日に開催された前大会では、下から足で相手の首を絞めるという離れ業で一本勝ちをもぎ取った矢野だが、今度はどんな技を見せてくれるのだろうか

PANCRASE 2000 TRANS TOUR
10月31日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/SS12,000円 A9,000円 B6,500円 C4,500円 立見3,500円（当日券のみ） ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e+（イープラス）、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

菊田早苗（パンクラス・GRABAKA） vs ムリーロ・ブスタマンチ（ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム）

KING OF PANCRASE TITLE MATCH ～船木誠勝引退記念興行～
12月4日（月） 東京・日本武道館

◆開場/17:30 試合開始/19:00
◆入場料/SS16,000円 RS-A9,000円 RS-B7,000円 1F-A8,000円 1F-B7,000円 2F-A5,500円 2F-B3,500円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/10月15日（日）～
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e+（イープラス）、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

総合格闘技&ノールール系

掣圏道

掣圏道、本格始動 東京で毎月1回大会が見れる！

『プライド』戦士との対抗戦で話題を集め大きな盛り上がりを見せたアルティメット・ボクシングが、これから東京で毎月1回大会を見ることができるようになった。その第1弾は、5大タイトルマッチ。6月の横浜アリーナ大会でディック・フライを破ったカフカズや、プーチン大統領のボディガードも務めるルスラン、大刀光を破ったこともある、2メートルの大巨人ズラフなどが登場する。選手間にも闘い方が浸透し、ハイレベルな攻防が堪能できるアルティメット・ボクシングは、要チェックだぞ！

アルティメットボクシング・東京マンスリーファイト第1弾！
5大タイトルマッチ
10月29日（日） 東京・有明コロシアム

◆開場/14:00 試合開始/15:00
◆入場料/RS席15,000円 S席9,000円 A席6,000円 B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、掣圏会館☎042-544-6979
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩8分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車
◆お問い合わせ/SWA掣圏道ワールド・アソシエーション☎03-5456-7333

決定対戦カード

〈スーパーヘビー級タイトルマッチ〉
キルサノフ・アンドレイ vs アフメドフ・ズラフ
〈ヘビー級タイトルマッチ〉
スルタンマゴメドフ・カフカズ vs ボドリャチン・デニス
〈ライトヘビー級タイトルマッチ〉
トカレフ・ワジム vs ドロズド・グレゴリ
〈スーパーミドル級タイトルマッチ〉
ナグニビダ・ルスラン vs ビノクロフ・アルテム
〈ミドル級タイトルマッチ〉
グスニエフ・アブドゥラフ vs ワルダニャン・アルタク

バトラーツ

石川と村上、遂にシングルで激突！

"平成のテロリスト" 村上一成と、"燃える情念" 石川雄規社長が、11月26日の駒沢大会で激突することが決定した。今春、村上がバトラーツに本格的に参戦してきた時から、お互いに激しく意識しあっていた両者だが、遂にシングルで決着をつける時がきた。11月1日に後楽園ホールで行われた石川&カール・マレンコ組vs村上&長井満也組戦においても、2人は激しい場外乱闘を繰り広げた。意地と意地がぶつかり合うこの一戦。格闘技ファンも要チェックだ！

VS

タッグバトル2000

～前半戦～
◆11月19日（日） 新潟フェイズ
◆11月20日（月） 新潟・上越市厚生南会館
◆11月21日（火） 長野・塩尻市立体育館
◆11月22日（水） 埼玉・本庄市民体育館
◆11月23日（木・祝） 埼玉・越谷市桂スタジオ
◆11月26日（日） 東京・駒沢オリンピック公園体育館
～後半戦～
◆12月1日（金） 茨城・ひたちなか市松戸体育館サブアリーナ
◆12月2日（土） 千葉・船橋アリーナ サブアリーナ
◆12月3日（日） 埼玉・本川越ペペホール「アトラス」

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

PRIDE

佐竹vs小川戦、実現に向けまた一歩前進！

「やりたければ、やればいいじゃん」。9月29日、アメリカ・ロサンゼルスから帰国したアントニオ猪木『プライド』プロデューサーが、成田空港で多数の報道陣に囲まれる中、佐竹vs小川戦について言及した。空手vs柔道という図式も成り立つこのカードが、猪木氏の事実上のGOサイン（？）によって実現に向けまた一歩前進。ファンの期待も高ぶるばかりだ。果たしてこの対戦は本当に実現するのか？ 実現すれば、関東圏のファンも絶対に見逃せない大会になるぞ！

▲元K―1日本人最強の男・佐竹と、元柔道世界王者の小川。このカードは、めちゃめちゃ見たい！

PRIDE.11
10月31日（火） 大阪城ホール

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/VIP100,000円（専用入場ゲート、グッズの特典付き） RRS20,000円 スタンドS12,000円 スタンドA7,000円 ※桜庭和志応援シート（12,000円、応援グッズ付き）をドリームステージエンターテインメントにて発売
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメントほか
◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄ビジネスパーク駅下車すぐ
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

高田延彦（高田道場） vs イゴール・ボブチャンチン（ウクライナ）
谷津嘉章（SPWF） vs ゲーリー・グッドリッジ（トリニダード・トバゴ）

キングダム・エルガイツ

キングダム・エルガイツ横浜大会
NO name HERO Ⅲ
10月29日（日） 神奈川・青葉スポーツセンター

◆開場/18:00 試合開始/18:30
◆出場予定選手/布施智治、稲野岳、和知正仁、今成正和ほか
◆入場料/イス席2,000円（当日券は500円増し）、立ち見1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、チャンピオン、チケット&トラベルT-1、きんとき中央林間店、キングダム・エルガイツほか
◆会場アクセス/田園都市線市ヶ尾駅より徒歩10分

修斗

READ～2000 SHOOTO～
11月12日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/16:00 試合開始/17:00
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、GUTSMAN修斗道場
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/GUTSMAN修斗道場☎03-3325-1500

主な対戦カード

郷野聡寛（無所属） vs 須田匡昇（クラブJ）
五味隆典（Kzファクトリー） vs ライアン・ボウ（無所属）
佐々木有生（無所属） vs マルタイン・デ・ヨング（マルタイン道場）
大河内衛（GUTSMAN修斗道場） vs 野中公人（PUREBRED大宮）
和田拓也（Kzファクトリー） vs ラフロス・ラロス（マルタイン道場）
村濱天晴（ワイルドフェニックス） vs 竹内幸司（シューティングジム横浜）

北九州フリーファイト with九州BJJ JAM3
10月22日（日） 福岡・北九州パレス

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/西鉄バス96番系統・北九州パレス前より徒歩1分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209、エアガイツ・後藤☎090-9405-7168

仙台フリーファイト2 with東北BJJ JAM5
10月29日（日） 宮城・青葉区体育館武道館柔道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR仙山線または市営地下鉄北仙台駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ仙台・大会事務局☎023-645-1442

LLPW

L-1 2000 THE STRONGEST LADY
11月22日（水） 東京・国立代々木第2競技場

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/VIPシート20,000円 ロイヤルシート15,000円 アリーナA席10,000円 アリーナB席8,000円 スーパーサイド10,000円 スタンドA席6,000円 スタンドB席5,000円 スタンドC席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、アイドール、大山アメリカン、書泉ブックマート、チケット&トラベルT-1、AOコーナー、LLPW事務所
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/LLPW☎03-3945-7326

日本代表決定選手

神取忍（LLPW）
風間ルミ（LLPW）
堀田祐美子（全日本女子プロレス）
熊谷直子（不動館）
遠藤美月（LLPW）
高橋洋子（J'd）

J-NETWORK

増田博正が欠場 代打は五十嵐ヨシユキだ！

出場が予定されていた増田博正（ソーチタラダジム）がケガで欠場となったため、増田の代打として五十嵐が急遽参戦することとなった。五十嵐は7月の後楽園ホール大会で、J-NET初代ライト級王座を取り逃がしているだけに、このチャンスにかける意気込みは相当なものだろう。五十嵐の奮闘に期待したい。

SHANGURILA-Ⅲ

10月17日（火）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RRS30,000円 SRS20,000円 RS9,000円 S指定席7,000円 A指定席5,000円 B指定席3,000円 立見3,500円（当日券のみ） ※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

〈ダブルメインイベント第2試合/タイ日友好杯争奪〉
西山誠人vsカチャスック・ジャンボジム
（ソーチタラダジム）（タイ）

〈ダブルメインイベント第1試合/日タイ国際戦〉
五十嵐ヨシユキvsアノラック・ゲニワット
（アクティブJ）（タイ）

中崎耕二vs藤本勝彦
（アクティブJ）（谷山ジム）

長谷川康也vs滝川リョウ
（アクティブJ）（日進会館）

浦林幹vs真後和彦
（アクティブJ）（はまっこムエタイジム）

北野裕治vs内田秀樹
（アクティブJ）（サバーイ町田ジム）

渡辺二郎vsサンダー信次
（サバーイ町田ジム）（MAキック/マイウェイジム）

三浦直樹vsサイモン・フォレスター
（サバーイ町田ジム）（イギリス）

吉本光志vs楠本竜生
（アクティブJ）（サバーイ町田ジム）

狩野弘樹vs有永浩己
（アクティブJ）（サバーイ町田ジム）

東郷智昭vs星川晶
（アクティブJ）（谷山ジム）

佐野貴宏vs井上兼一
（JMTC）（アクティブJ）

全日本キックボクシング連盟

LEGEND-Ⅸ

10月22日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RS12,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 一般立見4,000円（当日券のみ） ※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約 ※全日本キックでチケットを購入すると、新田明臣、小林聡、金沢久幸、立嶋篤史、酒井秀信、内田康弘の6選手の中から希望選手のファイト写真をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

〈メインイベント/日本・フランス国際戦〉
小林聡vsバ・アマドゥー
（藤原ジム）（フランス）

〈日本・フランス国際戦〉
安川賢vsフィリップ・ダ・シルバ
（SVG）（フランス）

千葉友浩vs三上洋一郎
（TEAM-1）（SVG）

池田好治vs江口真吾
（藤原ジム）（作真会館）

杉上直之vs大月晴明
（朝久道場）（REX JAPAN）

清水貴彦vs丸山弘道
（超越塾）（飛鳥塾）

小久保優vs加藤豊
（SVG）（月心会）

風智美vs吉田智子
（藤ジム）（國士會）

柏木吾一vs森下知之
（SVG）（月心会）

大橋知夫vsリヨン樺澤
（藤原ジム）（國士會）

※出場が予定されていた酒井秀信（REX JAPAN）は、練習中に右足親指を骨折し欠場

YOUNG GUN-Ⅲ

11月3日（金・祝）TOKYO FMホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席5,000円 S席3,000円（当日は、500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約
◆会場アクセス/地下鉄半蔵門線半蔵門駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

前田尚紀vs前原康男
（藤原ジム）（藤ジム）

嵐田茂vs加門政志
（REX JAPAN）（士心館）

川上烈司vs金統光
（REX JAPAN）（藤原ジム）

SHI-LOWvs上杉武伸
（士心館）（藤原ジム）

MA日本キックボクシング連盟

COMBAT-2000 ミレニアム・スペシャル

11月11日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円 RS席12,000円 S席10,000円 指定A席7,000円 指定B席5,000円 立見3,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、連盟事務局
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/MA日本キックボクシング連盟事務局☎03-3485-7063

決定対戦カード

ラビット関vsグライガンワーン
（山木ジム）（タイ）

ヌンサヤーム・ヤマキvs中林勇人
（タイ）（ビクトリージム）

水井聡vs梅下湧暉
（習志野ジム）（谷山ジム）

加村健一vs山本ノボル
（習志野ジム）（土道館シカノジム）

TOGANEジャガーvs伊達皇輝
（東金ジム）（新潟山木ジム）

小石原勝vsX
（習志野ジム）

TOGANEタイソンvs嶋村哲昌
（東金ジム）（山木ジム）

高島義幸vsファイティング前沢
（習志野ジム）（土浦ジム）

高橋拓也vs田中信一
（習志野ジム）（山木ジム）

◀今春に行われた「COMBAT-2000」55kgトーナメントに優勝し、7月の後楽園ホール大会ではラジャの元フライ級4位のチョークチャイ・3Kバッテリーをも破ったラビット関。勢いに乗りまくっている関の相手は、日本人キラーのグライガンワーンだ

サムライ・プロジェクト

西良典の対戦相手は、なんとジャイアント落合だ！

サムライ

10月22日（日）東京・有明コロシアム

◆開場/12:30 試合開始/14:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 スタンドRS席10,000円 SS席8,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チャンピオン、後楽園ホール、ローソンチケット
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩8分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車
◆お問い合わせ/ニュージャパンケイプロモーションサムライ・プロジェクト・チーム☎03-5971-2165

決定対戦カード

村上竜司vsX
（士道館）

柳澤龍志vsマゴメドフ・イブラギム
（チーム・ドラゴン）（製圏道）

佐藤堅一vsガブリエル・ソムレイ
（士道館）（USA）

西良典vsジャイアント落合
（和術慧舟會）（怪獣王国）

前田辰也vsラウフ・カクロウブ
（シュートボクシング/寝屋川ジム）（フランス）

TOGANEタイソンvsジェリー・モリス
（MAキック/東金ジム）（カリブ海）

今村洋vsショーニー・カーター
（和術慧舟會）（USA）

酒井亮vsピーター・アンガラー
（士道館）（ドイツ）

※出場が予定されていた後藤龍治は、練習中に右腕を負傷し、代わりに今村洋がショーニー・カーターと対戦することとなった。

▲未定だった西の対戦相手は、なんと"空飛ぶ宇宙デブ"ことジャイアント落合に決定した。果たしてどのような闘いが繰り広げられるのか？ 非常に楽しみだ！

キックボクシング

ニュージャパンキックボクシング連盟

MILLENNIUM WARS 9 チャレンジマッチパートⅠ

10月21日（土）愛知・名古屋公会堂4Fホール

◆開場/16:00　試合開始/16:45
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　指定席7,000円　自由席5,000円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、大和ジム☎052-322-6282、ニュージャパンキックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371、名古屋JKF☎052-911-6800

決定対戦カード

クンピニット・ギアッタワン（タイ）vs 佐藤孝也（名古屋JKF）
ソッド・ルークノンヤントーイ（タイ）vs 中島稔倫（大和ジム）
楠本勝也（東京北星ジム）vs 関博司（名古屋JKF）
プラサーンチャイ・ルークノンヤントーイ（タイ）vs 笛吹丈太郎（大和ジム）
HIDE（八王子FSG）vs 山本恭太（大和ジム）
清水カー（小国ジム）vs 宮本勲（大和ジム）
岡田英明（直心会）vs 竹村健一（名古屋JKF）
松本成利（東大門ジム）vs 原田忠典（闘真ジム）

MILLENNIUM WARS 10

11月26日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 特別指定席7,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 立ち見3,000（当日のみ）※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、渋谷センタースポーツ☎03-3400-3308、格闘館MAX☎03-5212-7897、マーシャルワールド東京店、コンクリート☎03-5272-4152、ニュージャパンキックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371

決定対戦カード

青葉繁（仙台青葉ジム）vs 松浦信次（東京北星ジム）
佐々木功輔（北流会君津）vs タイ国強豪選手
桜井洋平（岩瀬スポーツ）vs タイ国強豪選手
佐藤嘉洋（名古屋JKF）vs タイ国強豪選手
ソムチャーイ高津（小国ジム）vs 松本竜太（名古屋JKF）
新美友垣（大和ジム）vs 杉浦磨（名古屋JKF）
AVIS2000（小国ジム）vs 大川真人（大和ジム）
外山繁幸（上州松井ジム）vs X
浅野泰輝（小国ジム）vs 増倉敦士（一心館）
藤原国崇（拳之会）vs 星雄晴（町田金子ジム）

新日本キックボクシング協会

ROAD TO MUAY THAI 2000

10月28日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS20,000円 RS15,000円 S10,000円 A7,000円 B5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/伊原ジム、チケットぴあ、後楽園ホール、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

決定対戦カード

武田幸三（治政館）vs ユージーン・エクレブルーン（オーストラリア）
小笠原仁（伊原ジム）vs チャド・ウォーカー（オーストラリア）
小野寺力（藤本ジム）vs テーチャカリン・ギャットプラサンチャイ（タイ）
深津飛成（伊原ジム）vs 金翰圭（韓国）
菊地剛介（伊原ジム）vs 金度亨（韓国）
石井宏樹（藤本ジム）vs シーサワット・サックムァングレーン（タイ）
小出智（治政館）vs 趙在燮（韓国）
北沢勝（藤本ジム）vs 頼信（トーエルジム）
中川タカシ（トーエルジム）vs 西宗定（伊原ジム）
兼子忠司（伊原ジム）vs 呉東寔（韓国）
金狼正己（尚武会）vs 関直人（尾田）

TICKET PRESENT!

この10.28『ROAD TO MUAY THAI 2000』後楽園ホール大会のチケットを、『SRS・DX』読者10名様にプレゼント！希望者は、ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募ください。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
新日本キック・チケットプレゼント」係

VS

▲7月の『トップ・オブ・ウェルター』リーグで両者が対戦した時は、青葉のヒジで額を切りながらも、松浦が右ストレートで逆転KO勝利を飾っている

▲1年の半分以上をタイで過ごす佐々木。本場で磨き上げたテクニックを堪能せよ！

▲身長180センチのバンタム級王者・桜井洋平。ニュージャパンの未来を背負って立つであろう桜井は要注目だぞ！

KICK GENERATION 2nd

11月23日（木・祝）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS10,000円 RS7,000円 A5,000円 B4,000円 立ち見3,000円
◆チケット発売/
◆チケット発売所/伊原ジム、チケットぴあ、後楽園ホール、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

決定対戦カード

鷹山慎吾（尚武会）vs 朴成煥（韓国）
蔦謙介（藤本ジム）vs 飛見立久（誠真ジム）
マサル（トーエルジム）vs 呂碩奉（韓国）
清水政和（治政館）vs 花村繁幸（トーエルジム）
江森禎紀（治政館）vs 姜端動（韓国）
鈴木祐作（伊原ジム）vs 劉景俊（韓国）
今村歩（トーエルジム）vs 小川真（藤本ジム）
タカユキ（トーエルジム）vs 風神和昌（野本ジム）
遠藤心平（治政館）vs 森田亮二郎（藤本ジム）
阿佐美義文（治政館）vs 大森省治（尾田ジム）
作本鉄矢（伊原ジム）vs 中西健太（藤本ジム）
大橋亮介（大分ジム）vs 青木克真（トーエルジム）
北野正一（誠真ジム）vs エンペラー達志（ホワイトタイガージム）
小島裕由（ホワイトタイガージム）vs 蔭原猛（八景ジム）

Topic! 10.8ラジャダムナン・スタジアムに小笠原仁が出陣！

新日本キックボクシング協会と提携しているタイ国ラジャダムナン・スタジアムが、ジュニアミドル級を新設することとなった。それにあたり、日本ミドル級王者の小笠原仁に出場要請があり、協会、伊原ジムがそれを受諾。10.8ラジャダムナン・スタジアムに小笠原が出場することが決定した。10.28後楽園ホール大会にも参戦する小笠原にとっては厳しいスケジュールとなるが、12.3に予定されている新日本キック主催ラジャダムナン興行に向けて、ここで勢いをつけたいところだろう。ガンバレ、新日本！　ガンバレ、小笠原!!

シュートボクシング

INVADE 5th STAGE

11月30日（木）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/10月29日（日）〜
◆チケット発売所/チケットぴあ、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、ローソンチケット、チャンピオン、CNプレイガイド、書泉ブックマート、後楽園ホール、渋谷東急文化チケットセンター、ワールドスポーツプラザKINGS、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

その他

日本女子ボクシング協会

LADY GO! PT Ⅳ

12月12日（火）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、日本女子ボクシング協会
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/協会事務局☎03-3485-7063

出場予定選手

菊川美紀（日本女子バンタム級/ナゴヤBS）
高野由美（日本女子ミニフライ級1位/山木ジム）
ライカ（日本女子フェザー級/山木ジム）
八島有美（日本女子フライ級/プロフィット馬車道）
鬼薮幸子（日本女子ミニフライ級/横浜ジム）

ヴァーサス・エンターテイメント

CLUB FIGHT～ROUND 1～

11月12日（日）　東京・WOMB

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/23:00
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/10月上旬
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/JR渋谷駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

CLUB FIGHT～ROUND 2～

12月3日（日）　名古屋・Club OZON

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/10月上旬
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄名城線矢場町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

CLUB FIGHT～ROUND 3～

1月20日（土）　大阪・MOTHER HALL

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/10月上旬
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄御堂筋線難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

◀ヤマケンみずからが賞金首となり、プロ・アマ問わず、格闘家の挑戦を受け闘いが展開される『CLUB FIGHT』。賞金は、ヤマケンが勝利するごとに積み上がっていく

空手

極真会館

第32回オープントーナメント 全日本空手道選手権大会

11月4日（土）、5日（日）東京体育館

◆〈11/4〉開場/10:00 開会式/11:00
　〈11/5〉開場/10:00 開会式/11:30
◆入場料/SS席35,000円（前売りのみ/アリーナ2日間通し券）S席8,000円 A席6,000円 B席3,000円（当日は、1,000円増し）※SS席は、パンフレット、大会記念Tシャツ（非売品）付き
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、極真会館☎03-5992-9900
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館テレホンサービス☎03-5992-7739

TICKET PRESENT!

11月4日（土）～11月5日（日）にかけて開催される、極真会館『第32回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』のチケットを、『SRS・DX』読者に、両日ともに5組10名様にプレゼント！　希望者は、ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、希望する大会日（11.4か11.5）、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募ください。

◆あて先 / 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
「極真全日本チケット・プレゼント」係

正道会館

第35回オープントーナメント 全日本新人戦空手道選手権大会

10月29日（日）東京・新宿スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR高田馬場駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

第2回オープントーナメント 2000年中部新人戦空手道選手権大会

11月26日（日）　愛知県武道館柔道場

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄名城線東海通駅よりバスで5分
◆お問い合わせ/正道会館中部本部☎052-221-9555

アマチュア

パレストラ

函館BJJ JAM2 with中井祐樹ブラジリアン柔術セミナー

11月5日（日）北海道・函館大学武道場

◆試合開始/11:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR函館駅から市電に乗車、湯川駅より徒歩20分、市バス函館大学前下車
◆お問い合わせ/パレストラ函館・大会事務局☎0138-58-2902

G×G実行委員会

GRAPPLER'S GALA GRAND PRIX

12月3日（日）東京・夢の島総合体育館柔道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄有楽町線、JR京葉線、臨海副都心線新木場駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/G×G実行委員会代表ひるまあつのり☎090-8316-1168

日本国際跆拳道連盟

第1回アジアテコンドー選手権大会

10月21日（土）～10月22日（日）東京・国立代々木第一体育館

◆開場/9:30　試合開始/10:00（両日ともに）
◆入場料/自由席2日間通し券3,000円（前売りのみ）　自由席2,000円（当日は500円増し）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、アジアテコンドー大会事務局、久保アートプロデュース☎042-5400107
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/アジアテコンドー大会事務局☎042-360-1289

▲第1回目のアジアテコンドー大会は東京で開催される。格闘ゲームのモーションキャプチャーを務めたこともある黄秀一（左）や、今年の全日本ライト級を圧倒的な強さで制した朴ソンファ（右）などが、日本代表として参加する

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001 東京都板橋区本町34-4 石田コーポラス501
☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
☎03-577-55700

掣圏道協会（SA）事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7 江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1 サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12 三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U（キック・ユニオン）
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10 グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバーインフォメーション

2号・11号・12号・20号・22号・23号・25号・30号は完売しました。お買い求めはお早めに!!

《7・8 創刊号》
●大会情報/6・20『K-1 BRAVES'99福岡大会』
●インタビュー/髙田延彦、桜庭和志、エンセン井上
●SRS・DX特集★第1弾/お台場格闘チャンネル「SRS」どう〜なってるの？
●着メロ/ピーター・アーツ『ミザルー』

《8・12 創刊3号》
●完全速報/7・18『K-1 DREAM'99名古屋大会』
●インタビュー/フランク・シャムロック、マーク・ケアー、小川直也インタビュー
●SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か？
●着メロ/『闘志天翔〜覇王・佐竹雅昭のテーマ〜』

《8・26 4号》
●インタビュー/ホイス・グレイシー、佐竹雅昭、桜庭和志、田村潔司、ビル・ロビンソン
●極真カラテ（松井派）世界大会へのカウントダウン
●SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏　美女と達人に出会う旅
●着メロ/田村潔司『FLAME OF MIND』

《9・9 5号》
●完全速報/8・22『K-1 SPIRITS有明コロシアム大会』
●インタビュー/石井和義、髙田延彦、アレクサンダー大塚、魔裟斗、郷田勇三、田中健太郎
●SRS・DX特集★第5弾/最強！　俺の格闘お宝アイテム
●着メロ/髙田延彦『TRAINING MONTAGE』

《9・23 6号》
●インタビュー/髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡、髙阪剛、武蔵、ノブ・ハヤシ
●SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』
●着メロ/武蔵『KICK START MY HEART』

《10・14&28 合併号 7号》
●本誌独走スクープ！/猪木&小川　闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み！！
●完全詳報/9・12『PRIDE.7』
●SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリ・トゥードはプロレス技で勝て！』
●着メロ/エンセン井上『Chant of the Islands』

《11・11 臨時増刊号 8号》
●完全速報/10・3『K-1 GRAND PRIX'99開幕戦』大阪ドーム大会
●現地徹底取材/9・24『UFC-22』
●大特集/格闘王国オランダの強さに迫る
●着メロ/アンディ・フグ『WE WILL ROCK YOU』

《11・11 9号》
●第7回極真世界大会直前大特集/大山倍達のカラテ道人生、ブラジル怪物育成の秘密に迫る
●編集長インタビュー/磯部清次
●歴史的対談実現！　石井和義VS松井章圭
●SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か？
●着メロ/フランシスコ・フィリォ『I'LL BE MISSING YOU』

《11・25 10号》
●完全速報/11・5〜7『第7回極真世界大会』
●詳報/10・28『リングスKOK』代々木大会
●11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー
●着メロ/『空手バカ一代』

《1・13 13号》
●インタビュー/佐竹雅昭、桜庭和志、フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホースト、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
●『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース
●詳報/バーリ・トゥード・ジャパン'99
●着メロ/桜井“マッハ”速人『不死身のエレキマン』

《1・27 14号》
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報 髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
●本誌初登場！　船木誠勝インタビュー
●SRS・DX特集★第9弾/まだある大山倍達　世界ケンカ旅行の謎
●着メロ/グレイシー一族『FORT BATTLE』

《2・10&24 15号》
●PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹&藤田のシアトル衝撃スパーをレポート◎佐竹のシアトル絵日記◎藤田インタビュー◎ホイスインタビュー&ホリオンインタビュー◎誌上大予想クイズ◎基礎講座◎海外取材☆注目の外国人ファイターたち/ナイマン、コールマン、ケアー
●熱烈応援！　2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル　インタビュー
●1999『SRS・DX』読者選定ベストバウト！ 桜庭、ダントツでMVP&ベストバウト2冠王に輝く
●着メロ/桜庭和志『SPEED TK REMIX』

《3・9 臨時増刊号 16号》
●完全速報/1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000開幕戦』
●詳報/1・25『K-1 RISING 2000』長崎大会
●熱烈応援！　2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、ヘンゾ・グレイシーインタビュー
●PRIDE GP直前レポート「夢空間 in TAKADA DOJO」
●大会レポート/1・24SB後楽園大会、1・23アブダビコンバット2000出場選考会
●噂の三面記事/極真会館宗家が誕生！　塚本が本部師範代に
●着メロ/辰吉丈一郎『GAME OF DEATH〜辰吉丈一郎のテーマ〜』

《3・9 17号》
●噂の三面記事/5・1東京ドーム『PRIDE GP 2000決勝戦』トーナメント表決定！　ほか
●5・1東京ドームへ『PRIDE GP 2000』その波紋の行方/藤波辰爾、永田裕志、桜庭和志、佐竹雅昭、エンセン井上インタビュー、ボブチャンチン×ターザン対談、アレク×ターザン対談
●熱烈応援！ 2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、2・6リングス・オランダ大会レポート、田村公開練習、コピィロフインタビュー、ミーシャインタビュー
●3・19『K-1 BURNING 2000』特集/黒澤、草津、ミルコ、天田インタビュー
●大会レポート/1・30MA後楽園大会、2・4J-NET後楽園大会、1・29NJKF後楽園大会
●着メロ/藤田和之『STAR CYCLE』

《3・23 18号》
●噂の三面記事/これがK-1 2000の戦略だ　ほか
●徹底検証&完全詳報『リングスKOK』/KOK緊急大総括、田村、ヘンゾ、ヘンダーソン、ハンインタビュー、試合レポート
●佐竹、掣圏道に弟子入り
●3・19『K-1 BURNING 2000』特集/武蔵の群馬合宿をレポート、子安慎悟K-1参戦　ほか
●緊急レポート/船木の高知合宿、アブダビ速報
●大会レポート/2・13KASSHIN沖縄大会、2・20全日本後楽園大会、2・27パンクラス大阪大会
●着メロ/アントニオ猪木『炎のファイター』

《4・13 19号》
●大会速報/3・19横浜アリーナ『K-1 BURNING 2000』
●5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』情報/藤田パラオでA.猪木と猛特訓！、ホイス・グレイシーインタビュー&緊急会見、桜庭和志大激怒の反論会見
●衝撃スクープ！/佐山聡がまた時代を突いた、「アルティメット・ボクシング」旗揚げ！
●3・3〜5「アブダビコンバット2000」詳報/ああ、アラブの王子様の素晴らしき「道楽」
●4・20リングス代々木大会情報/金原弘光インタビュー
●大会レポート/3・10NJKF後楽園大会、3・16全日本後楽園大会、3・17修斗後楽園大会
●着メロ/パンクラス『HYBRID CONSCIOUS』

《5・11 21号》
●完全詳報/4・23大阪ドーム『K-1 THE MILLENNIUM』
●5・1『PRIDE GP 2000』直前情報/エリオインタビュー、佐山聡VSターザン山本対談
●4・30パンクラス横浜文化体育館大会情報/髙橋義生インタビュー
●詳報！ 4・14『UFC-J』代々木第二体育館大会 /ヤマケンが語る4・14『UFC-J』、こんなヤツらこそ金網が似合う
●大会速報/4・20リングス代々木第二体育館大会
●大会レポート/4・15『フューチャーブロウル2000』、4・16佐藤塾『第15回全日本大会』ほか
●着メロ/アレクサンダー大塚『AOコーナー』

《6・22 24号》
●完全速報！　6・4『プライド9』
●海外速報　6・3『K-1 FIGHT NIGHT』スイス大会
●大会詳報　5・28『K-1 SURVIVAL 2000』札幌大会
●その後の『コロシアム2000』/近藤有己&吉村直明プロデューサーインタビュー
●6・17〜18極真カラテ全日本ウェイト制大会プレビュー/田中健太郎インタビュー
●編集部の注目！/6・11『アルティメット・ボクシング』横浜アリーナ大会
●大会レポート/5・21SB後楽園大会、5・24全日本キック後楽園大会、5・26MAキック後楽園大会
●着メロ/天田ヒロミ『PRETTY FLY』

《7・27 26号》
●大会速報！　7・7『K-1 SPIRITS』仙台大会
●K-1 WORLD GP 2000開幕/バンナ、フィリォ、アーツインタビュー
●大会詳報！　6・24 K-1 東ヨーロッパ&ロシア地区予選
●特別現地レポート/注目の石沢&永田、猪木島を征く
●スペシャル対談/桜庭和志VS中井美穂（前編）
●編集部の注目！/6・26パンクラス後楽園大会、菊田早苗インタビュー、魔裟斗インタビュー
●大会レポート/6・20全日本後楽園大会、6・24THE KING OF CAGE、7・1コンテンダーズ
●着メロ/小林聡『KIDS RETURN』

《8・10 27号》
●スペシャル対談/アントニオ猪木VSターザン山本、桜庭和志VS中井美穂（後編）
●8・27『プライド10』特集/桜庭和志、ヘンゾ&ハイアン・グレイシー、藤原喜明、ケン・シャムロック、エンセン井上インタビュー、藤田和之アメリカ修行レポート
●7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』直前情報/ニコラス・ペタス、金泰泳インタビュー
●編集部の注目！/アレクサンダー・カレリン、『新生パンクラスの男たち第1回』近藤有己
●大会レポート/7・7NJKF後楽園大会、7・16修斗後楽園大会、7・20MAキック後楽園大会、7・22修斗北沢大会、7・23パンクラス後楽園大会
●着メロ/植松直哉『ワルキューレの騎行』

《8・24&9・14 合併号 28号》
●8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』直前情報/緊急座談会、盧山初雄、シリル・アビディ、中迫剛インタビュー
●大会詳報/7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』
●8・27『プライド10』直前情報/猪木が石澤&藤田を従えPRIDE出陣記者会見、新間寿VSターザン山本対談、ハイアン・グレイシーインタビュー
●大会レポート/7・26WOLF REVOLUTIONヴェルファーレ大会、7・29新日本キック後楽園大会、7・30全日本キック後楽園大会　新世界王者・小林聡VSビートたかし対談、8・4修斗大阪大会
●着メロ/長州力『パワーホール』

《9・28 臨時増刊号 29号》
●緊急追悼特集/8・24アンディ・フグ逝く
●大会速報/8・27『プライド10』
●大会詳報/8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』、フランシスコ・フィリォ&シリル・アビディ インタビュー
●海外レポート/桜庭戦後のホイス・グレイシーをロスの自宅でキャッチ
●大会レポート/女子ボクシング世界戦in韓国、極真全関東大会
●噂の三面記事/パンクラス・近藤がUFCに挑戦！
10・22『サムライ』有明大会で柳澤龍志が掣圏道と激突！　ほか

《10・12&26 合併号 31号》
●巻頭ストーク特集・第2弾！ 検証・まだまだ続く石澤問題!!/山本小鉄、辻義就インタビュー
●海外レポート/9・22『UFC 29』パンクラス・近藤、UFC初見参！
●石井館長と語ろう！ 10・9『K-1 WORLD GP 2000』福岡大会の見どころ！
●10・31『プライド11』特集/髙田延彦、藤田和之、桜庭和志（後編）インタビュー
●『SRS・DX』の注目！/10・22『サムライ』有明大会、どうなる極真・全日本！
●大会速報/9・24パンクラス横浜文化体育館大会、新星パンクラス・須藤元気
●大会レポート/9・10正道会館全日本大会、9・13全日本キック後楽園大会、9・15修斗後楽園大会、9・20SB後楽園大会、9・21女子ボクシング下北大会

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

キッドのオリンピック大総括
カレリン敗北の意外な真相！？

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

博士 えらく盛り上がったシドニーオリンピックも終了した。
玉袋 オリンピック旗の3つの輪は白人、黒人、黄色人種を表し……。
博士 って、なにリングスの旗を見ながら陶酔してんだよ！ プロレス・格闘技では10・9に興行ラッシュなんだが、結果待ちということでこの時期はネタ枯れするね。
玉袋 このところオリンピックで話題は持ちきりでした。
博士 なにしろ、4年に1度の祭典だからな。世間は楽しみだよ。
玉袋 ……国勢調査ですよね。
博士 そりゃあ、5年に1回、今やってるよ！ 何が楽しみなんだよ。
玉袋 森総理の検挙歴ですよ。
博士 そんなことは調べないよ。オリンピックの話だ。なにしろ、開幕式前に行われた、サッカー予選の南アフリカとの試合でも視聴率、平均21・8％だからな。
玉袋 あの試合で、28回も「ゴール！」を連発した船越アナはシドニーでドーピング疑惑第1号になりましたよ。
博士 なってないよ！ それより、この『SRS・DX』に初登場したテレビ朝日の辻アナのほうが、ファンの間ではドーピング疑惑が囁かれてるよ。
玉袋 次号は解説の柴田さんの話を聞きたいですよ。表紙＋グラビアで。
博士 それじゃあ、なんの雑誌か分からないだろう。
玉袋 しかし、オリンピックでは日本の予想外のメダルラッシュでしたよ。
博士 印象に残ったのは女子柔道の田村亮子、男子柔道の井上康生、女子マラソンの高橋尚子の金メダル、そしてレスリングの永田選手の銀メダルだ。
玉袋 なんと言っても新日本プロレスの平田さんの弟さんですよ！
博士 永田だよ！ 永田兄も各局のインタビューに登場して、今や永田兄はプロレス界で一番顔が売れたよ。まさに「たけしの兄です」でお馴染みの北野大状態だ。
玉袋 今や日本中の話題が叶姉妹か、永田兄弟ですよ！
博士 あんな人造人間と一緒にするなよ。
玉袋 でも、新日本にとっても高野兄弟以来の逸材ですよ。
博士 だから、比較するなよ。
玉袋 もうそろそろ、永田もマスクマンに転身したほうがいいと俺は思うんですよ。
博士 余計なお世話だよ。もう「ザ・コブラ」とかいらないよ。
玉袋 いや、コブラの前に構想があった「筋肉マン」のほうですよ。ルックス的に一番、似合うのが永田なんだけどなぁ。
博士 マスクいらないよ。「肉」って額に書くだけでいいじゃん。弟のほうが小さいんだからミート君役でもいいもんな。
玉袋 工藤兄弟との対決も待ち遠しいですな。
博士 坂本一生じゃないんだからやらないよ！
玉袋 そして日本中が喜んだのが、柔道100キロ超級の篠原の銀メダル！
博士 あれは喜ばしいことじゃなかっただろ！
玉袋 テレビを見ていて、ふと気が付いたんですが、あの篠原って誰かに似てると思いませんか？ 僕だけですかね？
博士 日本中誰もが思っていながら、口にしていないことだよ。
玉袋 しかも、あの顔で「めちゃ、悔しい」って言った時には、笑いましたよ。
博士 それは、女子背泳ぎの銀だった田島寧子だろ！ あの子もお調子者だから、表彰台で転んで、捻挫までしてた。
玉袋 それなら、篠原も早いところ風呂場で転んで、野球から足を洗ってこの世界に飛び込んでくればいいんですよ。
博士 それは完全に馬場の話だろ！ もう二代目ジャイアント馬場と決めてかかってんのかよ。
玉袋 篠原よ！ 早いところ柔道衣を脱いで赤いパンツを履いてくれ！
博士 やかましい！ でも全日本柔道連盟が国際柔道連盟に抗議するなど後味悪い。
玉袋 審判、レフェリーに絶対的な敬意をもって接しているプロレス業界を見習ってほしいよ。
博士 どこがだよ！ プロレスのレフェリーは、腹いせに蹴られ、殴られ、ラリアットを誤爆され、巻き添えで電流爆破されてんだろ！ そういえば俺たち、井上康生とはメダル獲得の翌日にテレビを通して話をさせてもらった。
玉袋 でも、メダルの話題には一切触れないで、いきなり「ヒクソン・グレイシーを知ってますか。あいつをぜひ、やっつけてください！」って衛星中継で頼み込んでる奴も珍しいよ。
博士 いや、もう亡きお母さんの話題も飽きてるだろうと思ってさ。それに井上選手は、なにしろ卒論のタイトルが「柔道と総合格闘技との比較」なんだから、当然視野に入れてはいるだろう。
玉袋 でも、俺たちの質問に、もちろんって顔で「知ってますよ！」と瞬時に答えた井上康生は、プロ志望ありだと俺は睨んだぞ。もはや、東スポのとばし記事では済まない。任せたぞ！ 森下社長！
博士 おまえも、気が早すぎるだろう。
玉袋 リングネームはコウセイ井上で、エンセン一門入りですよ！
博士 入らないよ！ 今回のオリンピックで「人類最強の男」カレリンが4大会連続の金メダルに、あと一歩届かなかったのも大きなニュースだよ。
玉袋 まさか本当にアメリカが「格闘技を教え込んだゴリラ」を投入してくるとは。
博士 アメリカのルーロン・ガードナーは人間だよ！ なんでカレリン打破を形容する名言を真に受けてんだって！
玉袋 ガードナーのお腹プヨプヨじゃねーか。ちゃんとカレリン戦に備えてケビン山崎さんのとこでトレーニングしたのかよ。
博士 前田のラストマッチじゃねーっての。
玉袋 カレリンが負けたのは試合前に謎の女に注射されたからじゃないですか？
博士 だから、毎回ロシアには、あの沈没潜水艦の遺族を襲った注射女が出てくるわけじゃないだろ！
玉袋 だったら2年前の前田のローキックが、今頃効いてきたんじゃないですか。
博士 なんで「2年殺し」なんだよ。
玉袋 それとボクシングヘビー級のキューバのサボン！ あいつは絶対プロに欲しいですよ！ おい！ ドン・キング！ 札束で横ッ面張って絶対にプロに入れろ！
博士 サボンはプロの世界が「金まみれで汚い世界だ」って言ってプロ入りを頑なに拒否してるんだよ！ キングが一番嫌いなタイプだよ！
玉袋 キューバのカストロと仲がいい猪木なら説得できますよ！ 猪木ラインで金平会長を紹介してですね～。
博士 金平会長は死んじゃったよ！ しかし、今回、なんといっても女子マラソンの高橋選手は凄かった。
玉袋 僕は高橋選手が走っているとき、結婚が延期延期で激ヤセした細川ふみえかと思いました。
博士 日本陸上初の女子の金メダルだよ。
玉袋 国民栄誉賞、もらえますかね？
博士 柔道の山下だってもらったんだから、もらえるかもしれないぞ！ しかし、この日、午前中は女子マラソンで大盛り上がり！ 日本全国は高橋金メダル一色になって、ある大事なことが霞んでしまうんじゃないかと、俺はハラハラしていた。
玉袋 そうそう、実際にあのメダルでせんだみつおの当て逃げ逮捕が霞んでしまいそうでしたからね。
博士 そんな話じゃないよ！ ジャイアンツの優勝がオリンピックですっかり霞んでしまうんじゃないかと思ったんだよ！
玉袋 でも、あの日の夜の巨人の劇的な優勝シーンでしっかり世間に「野球ここにあり」を見せつけましたよ。
博士 今回の闘いは「高橋尚子金メダルVSジャイアンツ優勝」「長嶋監督VS小出監督」の究極の異種格闘技戦だったんだよ。
玉袋 『プライド』でぜひ再戦してほしいカードですよ！
博士 再戦のしようがないよ！
玉袋 とにかく、シドニーオリンピックで活躍した選手のうち何人が、プロのリングに上がるか楽しみですよ！
博士 各団体のダイナミックな一本釣りに期待するしかない！
玉袋 とりあえず篠原の全日入りは決定事項として……。ハンマー投げの室伏は是非もので欲しいよ～！ それと、あの女子新体操のカバエワに桜庭が果たして極められるのか、オリンピックを見ていて一番気になりました。
博士 何を見てんだよ。でも篠原に疑惑の判定で勝ったドゥイエには、ぜひとも桜庭に「恥ずかし固め」を喰らわしてほしい。
玉袋 いや、やはり篠原が16文キック！でリベンジでしょう。

10・31
大阪城ホール
PRIDE.11

嘘のような異種格闘技戦本当に実現へ!

小川直也 柔道王 VS 空手王 佐竹雅昭

©平工幸雄

「プロ格王」を賭けた一戦
どうせやるなら、殺伐とした試合が

「実現はない!」と見られていた『プライド11』での小川VS佐竹戦が、
猪木の帰国後、急展開で決まりそうになっているという情報が入ってきた。
まさにミレニアムにふさわしい世紀の一戦。ついに、小川が本格的に動き出したっ!

見たい

上昇気流

すでに大阪大会のチケットはほとんど完売間近。立ち見席も発売！

桜庭の相手に猪木の刺客浮上 小川VS佐竹は神のいたずらか？

大阪初進出となる『プライド11』10・31大阪城ホール大会で、ちょっとした異常現象が起こっている。

というのも、これまで『プライド』は、プロレスファンに支えられていることもあって、前売り券よりも試合が近づくにつれてチケットが動き出し、当日によく売れるという現象がずっと続いていた。

1・30『プライドGP』開幕戦では、当日券が6千枚も売れ、東京ドーム興行の記録を塗り替えたほどである。

しかし、今回の大阪大会は、カードも発表していない段階で、前売り券がほとんど売れ、すでに非常に手に入りにくい状況になっている。これなら、大阪ドームでもいけたんじゃないかと思うほどの人気だ。

そのため、主催者のDSEでは急きょ、立ち見席を販売。『プライド』で立ち見が出るのはこれまでなかったし、おそらくこれも完売するのは間違いないだろう。『プライド10』がよかったこともあって、いよいよ『プライド』人気は本物になってきたようだ。

しかし、こういう時こそ逆に主催者は出し惜しみせずに、ファンの期待以上のカードを組まなければならない。こういう時に手を抜いたら、ファンはいっぺんに引いてしまうからだ。だが、その肝心のカードがまだ出揃っていない。

DSEはまず髙田の復帰戦に、ボブチャンチン戦というこれ以上ないカードを組んできた。『プライド』挑戦の名乗りを挙げてきた元アマレス最強の男・谷津嘉章は、本人の希望もあってグッドリッジ戦に決定。

今号の締め切り時点で決まっているのは、この2試合だけである。なぜ、これほど大幅に発表が遅れているかというと、やはり猪木プロデュースがらみのカードが決まらないからである。

その中でも、ポイントは小川直也と石澤常光がどうするかだろう。

まず小川は、先の『プライド10』で、弟分の村上一成が佐竹雅昭に完敗。そのリング上で小川はマイクを取って、「佐竹挑戦」をアピールした。

あの場合、小川はああでもしない限り、UFOは引っ込みがつかなかった。その意味で、小川がマイクを取って挑発したのは正解である。

しかしその後、この一戦は実現しないというのが、大方のマスコミの見方だった。というのも、小川の所属するUFOと猪木事務所が一線を画した関係になっており、小川の〝猪木離れ〟が噂されているからである。

しかも、小川はもともと『プライド』に対してはまったく興味を持っておらず、「ヒクソンか髙田とやりたい」と主張していただけ。実際、小川の『プライド』参戦契約は、本人の知らないところで、猪木―DSEラインによって結ばれたものだ。

そこにきて、猪木の『プライド』プロデューサー就任。猪木としても、コントロールの利かない小川よりも、藤田に執心したり、最近では小川よりも佐竹のほうが関係が近いのでは、と思われるようになっている。そうした状況を考えると、小川VS佐竹戦はまず実現しないと見てもおかしくない。

しかし、それが最近になって、小川VS佐竹戦は実現の方向に向かいだしたという情報が伝わってきた。猪木も「やるなら早くやったほうがいい」と言っていたが、帰国後一気に〝小川出場〟に向けて話が進んでいるようである。

これは、おそらく新日本VS全日本の対抗戦が実現したことが大きいだろう。

これまで、新日本のドーム興行の大きな目玉は、小川だ

濃厚！
佐竹雅昭（怪獣王国） VS 小川直也（UFO）

桜庭VSハイアンは12月に実現か!?

▲今回は猪木からの刺客との対戦が浮上してきた桜庭は、ハイアンとは12月に闘うことになりそうだ

PRIDE.11　大阪城大会決定カード

高田延彦
(髙田道場)

VS

イゴール・ボブチャンチン
(ウクライナ)

谷津嘉章
(SPWF)

VS

ゲーリー・グッドリッジ
(トリニダード・トバゴ)

浮上！

アレクサンダー大塚
(格闘探偵団バトラーツ)

VS

ヘルマン・レンティング
(オランダ)

ギルバート・アイブル
(オランダ)

VS

ヴァンダレイ・シウバ
(ブラジル)

った。しかし、全日本の分裂によって夢の対抗戦が実現した以上、小川の出る幕はない。新日本としても、ビッグネームだけど、使いにくい小川に対しては、しばらく静観していく構えだ。

　そのため、10・9新日本ドーム大会から消えた小川は、今後の方向性が見えなくなっている。それもあって今回、「ここで佐竹とやらねば」という勘が小川にも働いたとしてもおかしくない。まさに神のいたずらである。

　そもそも佐竹側は、『プライド』に定期的に参戦している以上、小川戦をやること自体はなんら問題はない。K―1から『プライド』に転身して着実に力をつけているだけに、ここらで世間の注目を集める大一番もしたいところ。その意味で小川戦は、当日一番の注目カードになる可能性もあるからオイシイ話である。だから、この一戦は小川さえやる気になればすぐに実現する話なのだ。

　そこで、もしこの一戦が実現したら、次に焦点となるのはルール問題だろう。佐竹側は「頭突き、ヒジ打ち有り」の完全VTルールを主張しており、これに小川がどう出るかは見もの。とにかく、殺伐とした試合になるのは間違いなさそうだ。

　一方、注目の『プライド』新エース桜庭和志は、どうやらハイアン・グレイシー戦はやはりは実現せず、12月に持ち越されそうだ。というのも、桜庭本人がグレイシーとの闘いにうんざりしているし、ハイアンのほうも兄ヘンゾから「ボクが負けた相手なんだから、もう少し準備の時間が必要だ」となだめられているという状況。

　そこで浮上してきたのが、猪木ルートの選手。プロデューサー猪木は、桜庭の相手としてドン・フライの弟子あたりとやらせようというプランが出ているのである。果たしてどんな相手になるのか、そこまでの情報は現在まだ入ってきていない。

　また、残りの出場予定選手としては、バトラーツのアレクサンダー大塚と慧舟會の小路晃の名前も挙がっているが、アレクの相手には、かつてリングス・オランダで活躍したヘルマン・レンティングの名前が挙がっている。

　レンティングは、初期のリングスで、ドールマンの子分として可愛がられ、飾り窓の用心棒としての色気をプンプン漂わせていた。

　しかし、数年前にはオランダの有名な画家が爆破事件に遭い、その容疑者として誤認逮捕されるという事態に遭遇し、格闘技界から遠ざかっている。

　そんなレンティングが今回アレクと闘うため、久々の来日。『プライド』というVTのリングでレンティングの闘争本能がどう発揮されるか、リングス時代のレンティングを知っている者なら、たまらないものがある。

　小路の対戦相手は、今のところまだ未定。小路の相手としては、やはり体の大きなヘビー級の選手か、プロレスの匂いのする選手とやるほうが光るはずだ。

　というのも、小路は実力者でありながら、どうしても格闘技系の選手と見られがち。『プライド』は、今やVTの試合というよりも〝新時代のプロレス〟と見ているファンが多い。その中で、小路はどうしても地味な存在に見えてしまうのだ。

　ならば、小路が輝くにはそうした光のある選手とやることが一番。地味な実力を競う試合よりも、そういう殻を破るカードに期待したいのだが。

　また、オランダの喧嘩屋アイブルと、ブラジルのヴァンダレイ・シウバの一騎打ちも浮上。アイブルには、デビュー戦のビクトーのような膠着しやすい対戦相手よりも、『プライド10』のグッドリッジ戦のような、バチバチのKO劇を期待したほうが面白くなるというプランのようだ。

　『プライド11』は全7〜8試合くらいになりそうだが、その中に石澤の名前は入っていない。石澤はもう本当に『プライド』のリングに上がるつもりはないのだろうか。小川の去就が見えてきた以上、今度は石澤がどんな答えを出すかに注目だ。■

衝撃

「極真・キック進出」と噂される松井館長の狙いはどこにある?

K―1に極真、日本人選手が参戦 野地、11・29全日本キックに登場!

立ち技格闘技の大御所・極真会館が今、ちょっとした動きを見せ始めている。しかし、これが他の格闘技団体ならなんでもないのだが、極真の場合〝ちょっとした動き〟でも、周囲の状況が大きく変化する。それほど、母体である極真の影響力は大きいと言っても過言ではない。

その発端は、9・13全日本キック後楽園大会で起こった。しかも、それは第1試合の前のデビュー戦の選手などを対象とした「フレッシュマン・ファイト」でのこと。

そんな注目度の低い試合の中で史上初の「極真会館」所属の日本人選手がデビューしたのである。これまで、日本人の〝極真所属〟選手が、K―1のリングにも、キックのリングにも上がった例はない。

実はその〝極真所属〟の選手はニコラス・ペタスのスパーリングパートナーを務めていた森口竜という選手。純粋な極真の門下生ではなく明治大学のボクシング部出身の選手なのだが、今回極真が全面的にバックアップしてデビューを果たしたのだ。

しかも、当日はセコンドに世界大会ベスト8の野地竜太がつき、なんと松井章圭館長まで会場に観戦に訪れた。これを見た専門マスコミは、当然大きな山が動いたと色めき立ったのである。

◀現役極真・日本人選手の中で、最もK―1向きの野地竜太が、遂にキックデビューを決意。これは大事件だ

さらに、今年の全日本大会を、その野地が棄権して不参加。その理由が、「世界大会を見据えて、トレーニングの一環としてグローブをつけた顔面有りルールに挑戦するため」というからビックリ。極真の日本人の大物が、遂にキックにチャレンジする。その野地は、11・29全日本キックのリングで、デビュー戦を行うことも決定しているというのだ。

これは立ち技格闘技界の大事件である。たった、これだけの事実を見ても、今後、様々な展開が格闘技界に起こるんじゃないかと予想する人も少なくない。また、実際いくつかの疑問点も出てくる。

たとえば、

①これまで極真は、K―1と太いパイプを持ち、フランシスコ・フィリォらをK―1のリングに上げていたのだが、今後は全日本キックと何か協調関係を結んでいくのか?

②野地のデビューの舞台はなぜK―1でなく、全日本キックのリングなのか?

③野地や森口のように、今後「極真会館」所属のプロ選手は増えるのだろうか?

④野地は全日本キックのリングだけでなく、K―1のリングもめざしているのか?

⑤松井館長自身、極真会館として、K―1のようなプロのイベントを開催する気持ちはあるのか?

⑥松井館長は、今回野地がとった全日本不参加→全日本キック出場をどう見ているのかなど、本当に気になる点は多い。

そこで、松井館長は専門マスコミを集めて、本部道場で緊急会見を行った。それが60ページからのインタビューだが、ぜひ極真が今、何を考えているか把握してもらいたい。

いずれにせよ、野地がK―1に上がるのは明らか。しかし、今のK―1はレベルが高すぎるので、いきなり慣れないルールでKO負けし、「極真が負けた」という単純な見方を避けるための全日本キックデビューであるのは間違いない。

松井館長としては、とにかく経験、実戦を野地に積ませてあげたいのだ。とは言っても、11・29全日本キック後楽園大会が大きな注目を集めるのはたしかである。極真の日本人選手の中でも最もプロ向きな男・野地は、立ち技格闘技にどんな旋風を巻き起こすのだろうか。■

◀すでに「極真会館」所属として、9・13全日本キック後楽園大会で森口竜がデビュー。トランクスには極真のマークが

◀松井館長は、その真意を10月3日、本部道場にマスコミを集めて説明した

黒船

いきなり日本VS世界の豪華カード実現。キック界はこれをどう迎え撃つか？

さまよえるキックボクサー集結 K―1中量級がいよいよ発進

2年前、日テレがK―1ジャパンをスタートする時、石井館長は3つのコンセプトを掲げていたが、覚えているだろうか。

それは、①日本人選手のレベルアップ、②底辺の拡大、がまず2つ。これは、K―1ジャパンシリーズやモンスターチャレンジ・シリーズでかなりの成果をあげている。

そして、まだ手をつけていなかったのが、3番目の「階級制の導入」。K―1は「ワールドGP」で爆発的な人気を呼び、「ジャパンGP」で日本人のヘビー級を何人も発掘した。そして、いよいよ中量級以下の大会開催に踏み切ったのである。

その幕開けは、11月1日後楽園ホールで行われる。これまで大きな会場でしかやっていなかったK―1が、後楽園ホールというコアな会場で勝負に踏み切ったことは、既存のキック界に大きな刺激を与えることになるだろう。

もちろん、K―1中量級大会が開かれれば、一番動揺するのがキック界であるのは間違いない。

グローブをつけた立ち技格闘技のパイオニアは、もともとキックだったのだが、それが今では完全にK―1に食われてしまっている。ほとんど同じルールであるにもかかわらず、イメージ戦略とヘビー級同士の闘いで、K―1は一気にメジャーに躍り出た。そうなると、キックはK―1とは違う中量級の魅力を見せるしかない。

しかし、その中量級にもK―1が進出してくる。この状況をキック界がどう思っているのか、ぜひ聞いてみたいものである。

現役時代が短い選手たちは、早くもこのK―1中量級大会に強い関心を見せている。各団体のエースの大半が「出たい」という意見。それをさらに触発するかのように、石井館長はいきなり甘い蜜を与える作戦に出た。それが、対戦相手の選び方だ。

まず、シルバーウルフの魔裟斗には、藤原敏男以来の外国人ムエタイ王者のムラッド・サリを選んだ。まだキック界では、こんな実績のある選手を一度も呼んでいない。選手としては「こういう試合を組んでくれるのなら、どんどん上がってみたい」と思うはずである。

さらに、小比類巻貴之にはISKA王者のアレックス・ゴング、正道会館の大宮寺進にはムエタイ9冠王のチャモアペット・チョーチャモアン、そして全日本キックの新田明臣には〝欧州中量級最強の男〟ラモン・デッカーがマッチメイクされた。

どの対戦相手も世界の超一流ばかり。もちろん、旗揚げ戦にして全敗する可能性はあるが、今の中量級の日本人のレベルがどれほどのものかを知る絶好のチャンスとも言えるだろう。

しかし、これだけのメンバーを後楽園ホールに集めるのは、既存のキック界ではまず無理な話。どう考えたって、採算の合う話じゃない。そこをあえてやるのが、K―1の強味だ。選手にとっては、日テレのテレビ放映も大きな魅力と言えるだろう。

日本人はやはりヘビー級よりも中量級以下のほうが層が厚いだけに、〝K―1〟という名前の中で、どれだけ選手がブレイクするかも楽しみである。魔裟斗や小比類巻などは、ヘビー級の日本人の試合より、よほど面白い試合が見せられるという自信を持っている。客観的に見ても、それは可能だろう。ボクシングの辰吉丈一郎の試合がいい例である。

実を言うと、K―1中量級で本当に面白いのは、そういう日本人同士の対決である。それまで、どんどんK―1で名を上げてぜひ対決してもらいたい。K―1中量級で、必ず魔裟斗VS小比類巻のような日本人大物対決は実現する！■

▲9月22日、東京渋谷にあるオシャレなクラブ「フーラ」で行われた記者会見。この大会は日テレ系で全国に放送される

11・1 K―1JAPAN中量級大会 対戦決定カード

ISKA世界ウェルター級タイトルマッチ

ムラッド・サリ（王者/フランス） VS 魔裟斗（挑戦者/シルバーウルフ）

ISKA世界 ライトミドル級タイトルマッチ

アレックス・ゴング（王者/アメリカ） VS 小比類巻貴之（挑戦者/チーム・ドラゴン）

チャモアペット・チョーチャモアン（タイ） VS 大宮寺進（正道会館）

ラモン・デッカー（オランダ） VS 新田明臣（全日本キック/SVG）

新番組

アマチュアの中から『プライド』戦士を発掘するのがコンセプト!

東海テレビで『プライド』新番組 なんと、あの秋元康氏も全面協力

『プライド』を主催するDSEの森下直人社長の出身は名古屋。したがって、これまで名古屋の東海テレビ（フジテレビ系）と中京テレビ（日本テレビ系）で、毎週10分間の『プライド』番組が放送されていたのだが、この10月になんとまたしても『プライド』の画期的なレギュラー番組が名古屋で誕生した。

その新番組とは、毎週火曜日深夜24時40分～25時10分までの30分番組で、タイトルは『プレ－プライド』。内容は『プライド』のファイターをめざす素人を広く一般公募し、オーディションを開いて合格者を決め、彼らを髙田道場などにあずけてプロに育てていくといったもの。つまり、『超K―1宣言』や『ガチンコ』の『プライド』版といったチャレンジ・育成ものである。

この番組、何が凄いかと言うと、あのおニャン子クラブや野猿などをプロデュースした秋元康氏が協力していることである。もし、秋元氏が本気でプロデュースしたら、この番組が大化けする可能性は十分ある。今のところ、東海地区のみの放送だが、やがては全国区になることも有り得る話だ。

そんな『プレ－プライド』の第1回公開オーディションが、9月24日、都内の産文ホールで開催された。ざっとその様子を見てみると、今回集まった素人は、書類選考で残った21名。それに対し、森下社長や秋元氏ら8名の審査員が、彼らを3つの項目に分けて審査するという形式だ。

まず、開会の挨拶で森下社長が「ゆくゆくは『プライド』のリングに上がれるような選手を発掘したいと思います」と言えば「強さはもちろん、華のある、スター性のある選手を発掘したい」と秋元氏。格闘家審査員の佐竹は「格闘技は弱肉強食の厳しい世界。しかし“俺は生きてる”という存在意義がたしかめられる。これぞ男の世界」と言い、小路は「みんな『プライド』に出たいか―！ みんなで頑張って大きな外人を倒しましょう」と叫んでいた。

身体測定が終わった後、第一次審査は「自己ＰＲ」。1人ずつ前に出て何か披露するのだが、板割りやバット折りのデモンストレーションをする格闘技経験者から、コーラの一気飲み、カレーの早食い、プリン20個食べるなど、予想以上に個性のある志願者がいることに驚かされた。

そして、いよいよ第二次審査は体力測定。島田レフェリーの「それじゃあ、腕立て伏せ1000回から」というかけ声のもとスタートしたが、ほとんどの人間が途中で脱落していった。

そこで佐竹の提案で全員で押し相撲のトーナメントをやることに。優勝は21歳のラグビー経験者だった。

そして最後の第三次審査では、ミット打ちと寝技を審査。打撃は佐竹のお手本を見て、それぞれできる範囲でパンチとキック。続いて、小路のお手本のもと「えび」「横移動」を見よう見まねで繰り返した。

こうした3つの審査を経て、最終的に残ったのは11名。柔道や空手、ボクシング経験者から「喧嘩100戦以上無敗」となかなかの個性派揃い。彼らは今後2カ月間、髙田道場、怪獣王国など『プライド』に関係が深い格闘技道場にあずけられ、やがては試合に出られるまで鍛えられることになっている。

それにしても、93年にアルティメット大会が出た時、あれほど衝撃的に見えたＶＴの試合が、今や素人まで“やる側”になるほど浸透しているのは驚くばかりである。■

▲この東海テレビの新番組『PRE-PRIDE』は、毎週火曜日深夜24時40分から30分枠で放送している

▲書類選考で残った『プライド』をめざす素人21名が審査に臨んだ

▲挨拶に立つ森下直人ＤＳＥ社長。審査員は森下社長、秋元康氏、百瀬博教氏（作家）、中山健児リングドクター、島田裕二ルール・ディレクター、佐竹雅昭、小路晃、リサ・スティッグマイヤーの8名で行われた

◀第一次審査の自己ＰＲでは、カレーの早食いやコーラの一気飲みをする参加者も現われ、そのキャラクターぶりを発揮

▲第二次審査は、佐竹の提案で押し相撲をやることに。もの凄いパワーの持ち主もいた

▲バット折りや板割りなどを披露し、格闘技経験をアピールする素人もいた

勝負

サムライとアルティメットボクシング、2つの新ルールに注目せよ！

10月末、有明で興行戦争が勃発！ 22日サムライ、29日掣圏道が開催

この10月末、2つの格闘技新興団体が、偶然にも東京・有明コロシアムでビッグ・イベントを開催する。それが、10・22サムライであり、10・29掣圏道のアルティメットボクシングである。

この2つのイベントには、くしくも共通のコンセプトがある。それは「立ち技」と「総合」の融合である。

これまで、格闘技のプロイベントは大きく2つの流れに分かれてきた。1つが打撃技を主体とした立ち技格闘技であり、もう1つが寝技を主体とした総合格闘技である。簡単に言えば、K―1と『プライド』の違いだ。

しかし、サムライもアルティメットボクシングも総合でも通用する立ち技を追求していこうという競技。

まず、サムライは、1・2Rは投げ有りのキックルールで、3・4Rは総合ルールで強さを競う合う折衷ルールを採用。実際、このルールは士道館の米国拠点であるシカゴで何回も行われており人気を呼んでいる。

一方、アルティメットボクシングは、本誌でも何回も説明したように、寝技での関節技を反則にし、膠着ブレイク➡スタンドを取ることで、ニープレスからのマウント・パンチまでOKというルールを採用している。

総合格闘技が再び勢いを取り戻している中で、この2つの団体の試みは非常に面白い実験となっている。両者の違いは、サムライが「ゲーム性」を強く打ち出しているのに対し、アルティメットボクシングは、創始者・佐山聡が言うようにボディガードをコンセプトとした「実戦性」と言えるだろう。

それにしても、有明コロシアムでの開催とは、両団体も思いきったものである。その注目のカードは、まずサムライが、柳澤龍志VSマゴメドフ・イブラギム、西良典VSジャイアント落合をはじめとする8試合を予定。メインは、まさに「サムライ！」というキャッチフレーズが似合う村上竜司だが、このカードのみ決まっていない。対戦相手には、あのグラウベ・フェイトーザにK―1・USA大会で勝った、トーマス・クチャゼウスキーが挙がっている。

このサムライを運営するのは、士道館の添野義三館長の息子・達一氏。達一氏にとっては、これがプロデューサーのデビュー戦だが、今後も士道館に関係なく独立組織として定期開催していく考えだ。

一方のアルティメットボクシングは、全階級のタイトル・マッチを中心に開催。現在の掣圏道ロシア軍の最高レベルが見られるというわけだ。また大刀光ほか、掣圏道の本部道場に所属する佐山の直弟子の日本人選手もデビュー。

ロシア軍団も掣圏道の闘い方が完全に身についてきたため、今後は月イチペースで東京でも開催していく予定だ。どちらの団体も見逃すな ■

▲10月3日の記者会見で、西良典VSジャイアント落合の試合が正式に決定した

10·22『サムライ』

◀チーム・ドラゴンの柳澤龍志の対戦相手は、掣圏道のエース、カフカズを破ったマゴメドフ・イブラギムという強豪に決まった

10·29 アルティメットボクシング

スーパーヘビー級タイトルマッチ

キルサノフ・アンドレイ（王者） VS アフメドフ・ズラフ（挑戦者）

ヘビー級タイトルマッチ

スルタンマゴメドフ・カフカズ（王者） VS ポドリャチン・デニス（挑戦者）

ライトヘビー級タイトルマッチ

トカレフ・ワジム（王者） VS ドロズド・グリゴリ（挑戦者）

スーパーミドル級タイトルマッチ

ナグニビダ・ルスラン（王者） vs ビノクロフ・アルテム（挑戦者）

ミドル級タイトルマッチ

グスニエフ・アブドゥラフ（王者） vs ワルダニャン・アルタク（挑戦者）

極真に激震！

松井館長、野地竜太のキック挑戦問題に答える！

「緊張感や追いつめられた状況の中で野地君の潜在的な闘争心が試されるでしょうね」

今年の全日本空手道選手権（東京体育館・11月4～5日）にはエース・数見肇が参加しない。そんな状況の中で極真の若手選手たちはどんな闘いを展開するのだろうか。若手の台頭が非常に期待できる世代交代の序曲とも言える大会となるのは必至だ！　さらに野地竜太が全日本キックのリングに電撃参戦決定！　日本人極真選手初のK―1参戦の可能性まで見据えることができるこの発表について松井章圭館長はどのように考えているのだろうか。極真会館本部道場でマスコミを集めて行われた共同会見の模様を伝える。まさに、極真は背を向けず！

――まずは今回の全日本大会では数見選
真の今までの歴史を見ていただけば分か
て、さらにモチベーションを高くもって
ル剤となってうちの選手たちが勉強して

――まずは今回の全日本大会では数見選手が出場しませんが。

松井　数見君はこれまでずっと全日本の王者として突っ走ってきたわけですし、そういう意味ではオーバーホールの時期にきてると思うんですね。心身ともにリフレッシュするというかね。例えば、今年の大会に向けて、本人の中でモチベーションがキチッと設定されているならば、それは試合をするべきでしょうし、ただの義務感の中で試合に出ていくのなら「どうかな？」と思いますよね。若い選手であれば心理面も含めていろんな状況の中で、とにかく試合に臨んでいくということは必要だと思いますけれど、数見君の場合は経験豊富ですから彼自身の組み立て方によるんではないですか。

――欠場については数見選手のほうから話があったんですか。

松井　そうです。基本的にはうちは強制はしないですから。これはフィリォについても、あとで話す野地君のことについてもそうですけれど、本人の意思がなければいけないというのが基本的にありますね。ただ、現実逃避的である場合は強制する時もあります。これは指導的な意味を含めてですけれど。その個人が期待を感じさせるものでありながらある部分、現実逃避的にそこを避けようとしてる場合は、強制的に物事をさせる場合はありますが、数見君の場合はそういう段階は脱してますから。

――例えばプロの団体であるならば、大会の盛り上がりとかを考えて、体調が悪くても出場してくれということがあると思うんですよ。

松井　うちの場合は確かに数見君がエースであり、フィリォが世界チャンピオンでありという部分がありますけれど、極真の今までの歴史を見ていただけば分かるように全てが一過的なものですから。いくら数見が強い、フィリォが強いと言っても次の瞬間には違う選手が台頭してくるというのが極真の良さであり、特徴ですから。それは組織力だと思うんですよね。だから、彼らに依存する大会をやるつもりはないんですよ。必ず彼らに代わる選手は出てきますしね。そういう意味では今年の大会は見所が多いと思うんですよね。バトルになるでしょう。

――数見選手が出場しないことについての不安はありますか。

松井　不安はありますけれど、それ以上にどんな選手が出てくるか期待感が大きいですね。数見選手が出場しない今回の全日本大会では、強化選手に選抜されてきた人間がどれだけの頑張りを見せるか、若手がどう台頭していくかというところが一つの焦点でしょうね。不思議なもので、優勝者というのは優勝者なりの力をつけていくものなんですよ。過去の例をあげれば、黒澤浩樹君は第16回大会で初出場、初優勝という記録を立て、翌年には決勝にからむ試合をしてきてるし、その後も中核を成す働きをしてきてるわけです。ですから、優勝という経験なり、自信は選手の成長を促すものなんですね。そしてもう一つ言えることは世界大会の次の年は必ず新人が台頭してくるということです。その意味でも今大会に優勝した選手のその後には大いに期待できますよね。

――具体的にどのような選手に期待しているんですか。

松井　やっぱりヨーロッパ選手権で優勝した木山（仁）君であるとか、ギャリーとワンマッチを行った木村（靖彦）君であるとか、世界大会の出場経験があって、さらにモチベーションを高くもってきている若手の選手に期待が寄せられますよね。

数見君が出場しない全日本大会は若手選手のバトルになるでしょう

――一番優勝に近い選手は誰ですか。

松井　私の立場ではなんとも言い難いですが、過去の実績を見た時には木山選手が有望だと思いますけれど。木村君は荒削りの部分がありますからね（笑）。いずれにしても、若手の、エネルギッシュな人が私たちの予想を裏切って出てきてくれることを期待したいですね。

――今回の全日本には正道勢が出てきますが、注目してる選手はいますか。上位に食い込んでくる可能性もあると思うんですが。

松井　そういう可能性は常にあるんじゃないですか。正道会館には良いセンスを持っている選手がいますね。非常に試合の組み立て方がうまいんで、ひょっとするとひょっとするんじゃないですか。そういう他団体の選手たちの参加がカンフル剤となってうちの選手たちが勉強してくれるといいなと思いますよね。交流というのはそうあるべきだと思いますから、いい点を学んでほしいですね。

――野地選手が全日本大会に参加しないでキックの試合に出るという話がありますが、それは本人のほうから話があったわけですか。

松井　そうですね。あくまでも3年後の世界大会ということを視野に入れてのことですけれど、例えばフィリォも第6回の世界大会を終えてK―1に参戦して第7回大会で優勝したというのも参考になっているでしょうし、若さという部分でどん欲な意識というか、いろんなものを経験していきたい、さらに強くなりたいという意識の彼なりのとった方法がグローブの試合をしてみたいという申し出だと思いますね。であるならば、我々の団体とは以前からおつき合いさせていただいている全日本キックとお話をして舞台

▲9・24アメリカズ・カップで優勝したのはブラジル代表のセルジオ・コスタ。決勝では僅差の判定ながら野地を下した、ブラジルの新星だ

グローブを着けての闘いは
極真にとってマイナスは一切ないですね

をいただいたということです。

――先日、極真会館所属のキックボクサーとして森口選手が全日本キックの試合に出ましたが、そのセコンドに野地選手がついていました。もうその時には顔面の練習は始めていたわけですか。

松井　その時はまだ始めていないですね。あの時は試合の雰囲気を見るためということでセコンドについたという面のほうが大きいです。アメリカズカップもありましたんでね、空手の練習をずっと続けてたというのが実態ですね。

――では、本格的に始動するのはこれからなんですか。

松井　そうです。これから始まるところです。ボクシングの練習は新日本木村ジムで、キックの練習は藤原道場でさせていただいてます。いま、11月29日の全日本キックの試合を予定してますけれど、ホントに付け焼き刃というか、促成栽培というとアレですけれど（笑）。そんなところで出ていかざるを得ないんじゃないですか。うちの選手はみんなそういう状況で出ていってますから。だから、逆に言うと経験のない中で、自分が持ってる潜在的な闘争本能が試される部分もあれば、緊張感や技術的に追いつめられる部分から何か得るものがあるでしょうね。そういった中で、叩き上げていくべきではないかと思いますね。

――野地選手からの相談というのはいつぐらいにあったんですか。

松井　今年の春ぐらいですね。間接的に私のところにそういう話があって野地君に確認したところ、そのとおりだということだったんで、それであるならば応援しようじゃないかと。フィリォにしてもK―1からのオファーがあったとはいえ、プロの活動に関しては彼らが主体性を持って自分で申告してこない限りは、こちらから問いかけて「やってみないか」という話はまずないですね。

――K―1に出場する可能性もあるんですか。

松井　これはもう相手があることですから、こちらが手前勝手に言うことではないですけれど、現在のところキックスタイルで世界最高峰と言える舞台を作っているのがK―1ですから、野地君が成長していく中でK―1の舞台に上がれたらいいんじゃないですか。

――石井館長とは何かお話はされたりしてるんですか。

松井　野地君に関しても森口君に関しても一切話はしてないです。

――野地選手の11月29日以降のスケジュールはどうなってますか。

松井　それは決まってませんけど、全日本キックで何戦かするでしょう。そのあと、K―1に上がっていくのか、海外の試合に参加していくのかはその後のことですからね、まだなんとも言えないですね。

――今までフィリォにしてもグラウベにしても外人勢ばかりでしたけど、初めて日本人が極真の看板を背負ってK―1というか、プロの舞台に上がるわけですが。

松井　極真の看板は好むと好まざるとに関わらず背負わされるものであって、それを否定もできないでしょうし、また、極真を代表するという意識についても、本人のモチベーションを上げる中ではいいと思うんですよ。しかし、組織的には彼らに極真の看板を背負わせるつもりはないですね。

――全日本大会の優勝候補の一人でもある野地選手が全日本の出場を辞退してキックにいくということは極真自体がキックのほうに足を踏み出していくのかなと思う部分もあるんですが。

松井　それはありません。野地君がキックの世界に入っていくとすれば、おそらくうちを辞めていくでしょう。富平君みたいな形でキックで活躍したい、K―1選手になりたいというのであれば空手という世界から一旦身を引いてそこに臨んでいくと思うんですね。うちの選手たちがなぜうちに所属した状態でそこに臨んでいくのかと言うとやはり帰るのは極真であると。空手家として強くなりたいという意識のもとに出ていくからこそ所属をうちとして頑張っていくということだと思うんですよ。だからこそ、我々も応援するということですね。しかし、そこで極真がグローブ化していくということはありえないです。選手が前向きに望むものであり、組織にとってもほかの選手にとってもいい影響をもたらすだろうということで応援しているのであって極真は寸分たりとも変わらないし、活動の主旨も変わらないです。これは明確にしておいていただきたいですね。

――昔で言えば添野先生なり、山崎先生がキックの舞台に上がったりしてましたよね。その中で得てきたものをフィードバックさせてきたものが極真だったじゃないですか、キックの技術なり、回し蹴りにしても。今回もそういう形で顔面の技術なりというものが日頃の道場の中でフィードバックしていく可能性はあるわけですか。

松井　それは大きいでしょう。基本的に空手というものはルールがないものであってね。ところが、競技ができて30年以上もその中で活動するとどうしても、その競技のルールを基本として稽古体系や技術体系ができ上がってしまうものなんです。ですから、グローブをつけて顔面を叩くという一部的ですが、限られた条件の中での違う闘争、違う体系を見る中においてマイナスは一切ないと思いますね。

――そうすると闘いというか、喧嘩空手としての部分というか、そういうものを新たに練り直すという部分もあるんですか。

松井　それはあると思いますね、個々の人間の中で。ただ、競技は変わりませんよ。我々が30年来やってきた競技体系というのは変わることはないし、このままの状況の中でさらに高いクオリティを目指していきますけれどね。

――例えば、ほかの選手の方たちがキックの世界にいきたいという欲求が高まってくる可能性があると思うんですが、その時にはどういう対処をしますか。

松井　基本的には前向きに捉えていくつもりではありますね。ただ、要はその人間がどこを目指しているのかが根本になりますね。K―1の舞台を最終地点においてキックの世界に入っていくのか、あくまでも極真空手の選手として、一つの体験的学習の場として一時期の勉強をしていくのかによりますよね。

──野地君が勝つにしろ、負けるにしろ、続けていかなければならない状況というのが出てくると思うんですけれど。

松井　出てきますかね？　私は試合で負けたとしても本人が納得のいくものであれば、それでいいと思いますね。要は現実逃避的にそこから逃げるようならいけないということです。もちろん勝ち負けは重要ですよ。ただ、その後の方向性をどう定めていくかのほうが重要ですから。だから、フィリォがK―1グランプリで優勝するまでやらなければならないという義務感を彼に負わすつもりもありませんし、彼が優勝するまでトコトンやるというならそれでいいと思います。野地君についてもそれは変わりません。

──全日本大会がない時にキックルールの試合に出るというのは分かるんですが、全日本を休んでキックルールに出るということは、イメージ的には極真ルールよりもキックルールのほうがより高い目標だと野地選手自身は捉えているんでしょうか。

松井　今の彼にとってはそういうことなんでしょう。彼は全日本では優勝していませんが、今の彼にとってはより困難な目標というのがキックルールだということでしょう。だから、それが一朝一夕で身に付けられないということは彼も分かっているので、今年、来年、再来年までいくのか分かりませんが、技術の習得なり体験という期間においているんじゃないですか。

▲9・24アメリカズ・カップでは準優勝とはいえ、空手では世界レベルとなった野地がキックの世界でどんな闘いを見せるのか注目である

──ファンとか関係者にとっては極真ルールより、キックのが上なのかというふうに取る人もいると思うんですよ。

松井　それはその人がどう見るかですよね。キックをやる人はキックが最高だし、レスリングをやる人はレスリングが最高だと思ってるわけですから、それはそれで当然だと思いますしね。その物事に関わる人の価値観で変わってきてしまうと思いますよ。我々は野地君がどういうふうに前向きな気持ちで臨んでいくのかを判断するだけで、だったら全日本に出場しないのも、キックに出るのも良しだと思うんですよ。

「極真を背負う」と言ったら、「そんな大それたことを言うんじゃない」と注意します

──結果的に野地選手は極真の看板を背負って出ていくわけですが、看板を背負わせるというか、追い込むということはないんですか。

松井　それはするつもりはないですね。もし看板を背負わせるんだとしたら、うちがやりますよ、K―1みたいなものを組織全体で。それをやり、選手を作り上げた時点で看板を背負わせて出しますよ。ただ、組織的にはそういうものをやるつもりは現時点ではないですから。だから、フィリォにしても空手の世界チャンピオンであって、キックルールの世界チャンピオンじゃないんだからそれを一時的にキックの舞台に上げて看板背負わせるようなことは全然考えてないですよ。ところが、見る人はそういうふうに見てしまうという、ただそれだけのことなんですよ。選手たちが自分の中で極真の名に恥じないように頑張ろうというのは当然ですし、喜ばしいことですが、「自分が極真の代表であり、組織を背負っている」と言ったら、「そんな大それたことを言うんじゃない」と注意しますよ。

──極真の看板というよりは極真魂の部分で闘うということですか。

松井　そうです。彼らの精神性を見てあげてほしい。技術的な部分で彼らに極真の看板を背負わせて勝敗を問うというのであれば、それこそうちがそういう競技体系を作って、何年もかけて選手を作って出すのが本当の極真の代表であると思います。

──例えば顔面パンチなり、新しいものが極真の中に入ってくるきっかけと考えてよろしいんでしょうか。これまで「極真は顔面パンチの技術がない」みたいなことを言われてきたところに、日本人のトップ選手がキックに参加するのは、それについての答えを出すというか。将来的な可能性もあると考えてよろしいんでしょうか。

松井　そこに限らず、様々な意味において可能性はあるでしょう。言えるのは極真会館の中で実績を残していない選手が顔面の試合をやるということに関してはダメだと。幹がしっかりしてない中で枝葉を伸ばしていくのは無理だと思いますからね。ですから、そんなに多くの選手が出ていくことにはならないでしょうね。

──ただ精鋭部隊として顔面パンチにも対応できる極真空手、喧嘩空手であるという方向性として変わっていく可能性はありますか。

松井　そういうことも含めて極真は進化し続けていきます。■

挑戦するからには一番になれるよう努力します！

野地選手のコメント

11月29日に全日本キックのリングに上がる予定です。2003年の世界大会を踏まえて、グローブを着けての練習を始めました。不安もありますが楽しみでもあります。また、全日本選手権には出場したいと思っていたのですが、このお話をいただいた時点で、「アメリカズ・カップを終えた後はキックルールの勉強一本に絞るべきだ」と判断し辞退いたしました。と同時にキックルールにおいても極真の名に恥じない試合をすると決意いたしました。挑戦するからには、どのような舞台であってもそこで一番になれるよう努力したいと思っています。押忍！

※以上が共同会見翌々日の野地のコメント。新たなことに挑戦する姿勢は絶対に是であり、K－1及び極真がまたもや面白くなるのは間違いないところ。また、野地選手には次号でじっくりインタビューを行う予定なので期待してほしい。

極真全日本大会不参加！
キックデビュー戦間近！

新世紀最も気になる男 野地竜太、アメリカで敗れる！

★男子無差別級トーナメント
○セルジオ・コスタ（再延長優勢勝ち）野地竜太●
＜ブラジル＞　＜世田谷東支部＞
※本戦1-0、延長1-2、再延長3-1

▲今年の全日本大会を欠場した野地が、突如「アメリカズ・カップ」に出場。しかし、惜しくも決勝で敗れて初優勝を逃した

昨年の世界大会で外国勢に初めて王座を明け渡した極真ニッポン。当然、3年後の第8回世界大会に向けて、日本勢がどう巻き返していくかが極真のテーマとなっていくが、その中で数見肇は別格として、新世紀最も注目に値するのが野地竜太である。

昨年の世界大会では、グラウベ・フェイトーザに敗れてベスト8。その闘いぶりを見た多くの者は、今後、一番面白くなるのは野地だと感じたはずだ。

しかも、今年の全日本大会は昨年の負傷が完治していない数見が欠場のため、当然、〝野地、全日本初制覇〟の期待がかかる。

しかし、その野地も、今年の全日本大会をなんと棄権。その理由がグローブ技術を磨いて、年内にキックデビューを果たすというから穏やかな話ではない。いったい、野地は次の世界大会まで、どんな生き様を見せようとしているのか。

グローブをつけての技術を磨くということは、その先にあるのはK―1である。そうなると、遂に極真所属の日本人選手がK―1のリングに上がるということになる。そのトップバッターが野地というわけだ。

私自身、野地は現役極真選手の中でも、最もK―1に向いた男だと思っている。21歳という若さで、体格は武蔵・中迫クラスのナチュラルなヘビー級。しかも、アマチュアの極真の試合でさえ見せるハデな組手は、K―1ジャパンで活躍する日本人選手以上にプロ向きを予感させる。

荒削りな野性味あふれるファイト・スタイルに付け加え、試合中

ト・スタイルに付け加え、試合中

極真カラテ
アメリカズ・カップ2000
9・23★米国ニューヨーク・ハンター・カレッジ

▶接近戦の連打から、後頭部を引っかけるように打ってくるセルジオの上段内回し蹴りは最も怖い技だ

またしてもブラジル旋風
セルジオ・コスタ優勝!

▶またしても、ブラジルに王座を奪われた。この屈辱は来年、日本人が誰か出場して晴らせ!

▲粘り強いセルジオに対し、野地も意地で打ち返す。会場人気は圧倒的に野地が上回った

▲「アメリカズ・カップ」は、まさにブラジル勢の世界大会へのステップ。チームとしての結束は固い!

▲かつては「ハイキックの野地」のイメージがあったが、最近は中段回し蹴りが非常にいい

ブラジル第3の男 リベンジ成功!

▲セルジオは世界大会で野地に敗れているだけに喜びもひとしおだろう

▲あと一歩のところで優勝を逃した野地は、また課題が残った。田口恭一世田谷東支部長と田村悦宏湘南支部長が声をかける

◀ブラジル2連勝で、ますます笑いが止まらない磯部師範

▶もみ合う2人を磯部清次審判長が分ける。野地の表情がいい

自然体でこの表情! まさに野地はプロ向きだ

に突如キレたように畳み掛ける攻撃。もちろん、一本勝ちもとれる。気が付いたら、いつの間にか観客のハートを掴んでいるのが野地という男だ。

ある意味では、極真スタイルではフィリォ以上に観客を沸かせる試合のできる男。それだけに、野地のプロ転向は、K―1ジャパンに新風を巻き起こすのは間違いないだろう。

そんな気になる野地が、これまた突如、米国ニューヨークで行われた「アメリカズ・カップ」のトーナメントに出場してきた。今年は全日本不参加を決意しただけに、この大会で極真の試合にケジメをつけようとしているのか。

もちろん、「野地初タイトル奪取」の可能性は十分ある。それだけに、私はNYに2泊4日という超ハードなスケジュールでこの大会を見に行くことにした。

この「アメリカズ・カップ」は、NY支部長の五来克仁氏の手によって開催されているもので、今年が3回目。北米・南米を合わせた空手ナンバー1を決める大会で、昨年はグラウベ・フェイトーザが優勝するなど急成長を見せている大会である。

実際、今年の大会にも、ブラジルから、セルジオ・コスタ、マルコス・ファーラン、ザンデル・ササキ、リュージ・イソベら世界大会で旋風を巻き起こした強豪がこぞって参加。日本からも野地と御子柴直司が招待選手としてエントリー。またロス在住で、昨年の同大会ではザンデル・ササキを破った日比野丈二やNY在住で昨年決勝でグラウベと闘った大内啓次、

ニューヨークを熱狂させたのが、野地VSザンデルの壊し屋対決だ

ブラジルで今後一番面白いのがこの男！

ザンデル、勢い余って顔面パンチ！

▲まさに喧嘩空手の野地VSザンデルの準々決勝！　ザンデルは、今ブラジルで最も急成長している選手だ

▲開始早々、ザンデルがブレーキの壊れたダンプカーのように突進し、いきなり顔面パンチ

▲顔面パンチをあびても、野地の闘志は衰えていない。この表情がイチイチプロ向きだ

▶野地のお株を奪うヒジ打ちを鎖骨に決めるザンデル。この闘志がいい！

▶ザンデルは医学部に進むほどの秀才だが、次の世界大会までは空手に賭けるという

▲出たぁ〜、岩崎をKOした野地の上段回し蹴り。あと一歩、当たりが浅かった

▶ザンデルも悔しそうに退場。この選手、フィリォやグラウベとは違う華がある

▶会場はまさに超満員。アメリカでも極真が再び活気を取り戻しつつある

そしてオーストラリアで指導員を務める本間唯志も参加し、今や海外では一番レベルの高い大会と言ってもいいだろう。

つまり、この大会を見ておけば、ロシア地区を除いて、次の世界大会で誰が活躍するか予測を立てることができるほど重要な大会。大山倍達時代の晩年は、大山茂・泰彦兄弟や中村忠といった大物が脱会したこともあり、一時はアメリカ大陸は無風地帯となっていた極真だが、よくぞ五来氏はここまで立て直したものである。

しかも、会場となったマンハッタンにあるハンター・カレッジには、3千人近くの観客が集まり、地元にある多くの日系企業がスポンサードしていた。マンハッタンでは、それ以上の会場となると、一気にマディソン・スクエア・ガーデン級となるのだが、それも近い将来実現しそうな勢いである。

それには、ブラジルや日本だけでなく、アメリカでもウィリー級の怪物を育てる必要があるだろう。

さて、試合のほうは、やはりブラジル勢の強さが目を見張る。磯部清次師範は、「フィリォが引退しても、次の世界大会は獲る！」と世界大会後に予告していたように、安定した実力に、さらに自信をつけた闘いぶりだ。

特に底知れぬパワーを感じたのが、ザンデル・ササキ。全盛期の岩崎達也のパワーに野地の荒々しさが加わったような組手は、大器を予感させる。

そのザンデルと野地の一戦は、今大会の中でも屈指の白熱した展開となった。お互いにイケイケの2人。しかし、パワーのあるザン

ブラジル軽量の星 リュウジ・イソベ敗れる！

RESULTS

優勝 セルジオ・コスタ

〈男子 Aブロック〉
- リュウジ・イソベ
- Eseref Mustafic
- Kaleemullah Khan
- Marcin Cyga
- Leo Goosenns
- Wilson-Fortin Marc-Andre
- Sergvei Erchov
- Erik Goldberg
- Mohammad TH Bhuiyan
- Carlos Zuniga
- Kazuya Omori
- Abdullah Banwan
- Tomasz Fie
- Ryan Young
- Kolja Dokic
- 大内啓次

〈男子 Bブロック〉
- セルジオ・コスタ
- Dejan Rajkovic
- Bernardo Soto
- Janusz Krauszowski
- Richard Von Mansfeldt
- John Baarda
- Karami Hakim
- 本田五郎
- Tomasz Najduch
- Herold Gerard Calixte
- Pasko Dokic
- Kristian Kjeldsen
- Ernest Villagrana
- Per Brandt
- Piotr Borchardt
- 御子柴直司

〈男子 Cブロック〉
- 日比野丈二
- Miki Lalicic
- Sylvain Lemire
- Krzysztof Trzop
- Muhammad K.Saleem
- Tomoya Hirano
- Stal Berry
- Eric Ranger
- 本間唯志
- Hideki Katayama
- Fritz Michel
- Matt Graham
- Marcin Jakubowski
- Hamid M.Taheri
- Nebojsa Pantelic
- マルコス・ファーラン

〈男子 Dブロック〉
- ザンデル・ササキ
- Mizanuddin Khan
- Chris Biolchino
- Michael Martinez
- Wieslaw Sirant
- Nematollah Mazhari
- Jonathan Colpron
- Ivan Marusic
- Ttinku Chowdhury
- Sveto Dekovic
- Pawel Mandok
- Carlos Castro
- Jesper Thygesen
- Mohamed Al-hamly
- Jonathan St-Pierre
- 野地竜太

▲上からリュウジ・イソベ（ブラジル）とセルゲイ・エチョフ（オーストラリア）

▲磯部師範の息子で、華麗な組手で人気のリュウジ・イソベは、3回戦で伏兵セルゲイ・エチョフの右上段回し蹴りを食らい、まさかの技有りをとられ敗退。レベルが高い！

実力者・御子柴も一本負け

▲本間は3回戦でブラジルの強豪マルコス・ファーランを破り、さらに準々決勝でNYの日比野丈二を破って大健闘。しかし、野地に4—0の判定負けをし、3位決定戦では勝って3位に

▲御子柴は足を痛めたのか、準々決勝でセルジオの下段回し蹴りで合わせ一本負け

▲大内啓次は準決勝でセルジオと対戦。左右の上段回し蹴りを食らい敗退した

▲上からオーストラリアの指導員の本間唯志と、ニューヨーク指導員の大内啓次。そして御子柴直司も日本から参加

デルが前に飛び出し、連打から顔面への反則パンチ。さらに、野地のお株を奪う、ヒジ打ちを肩口に叩き込んでカク乱する。

一方の野地も負けじとミドル、さらに連続蹴りでザンデルの動きを止め、そして、動きが止まると見るや、野地らしく全速で走り込んで怒涛のラッシュ。これで野地が5—0の判定勝ちをしたが、海外では圧倒的にブーイングの多い日本人に対し、なんと野地には大歓声が送られはじめたのだ。それほど、野地は沸かせる試合ができるのである。

正直に言うと、このザンデル戦まで、もうひとつ動きのよくなかった野地だが、これで目が覚めたのか、続く準決勝ではマルコス・ファーランを破った本間に判定勝ち。初優勝を賭けて、遂に決勝まで勝ち進んできた。

決勝の相手は、ブラジルのセルジオ・コスタ。昨年の世界大会でも両者は顔を合わせており、野地がヒジ打ちの連打で僅差の判定勝ちをしている。セルジオにとっては、これがリベンジ戦だ。

〝ブラジル第3の男〟と呼ばれるセルジオは、相手との間合いを詰めて、左右の鍵突きと内股への下段回し蹴りで押し込むタイプ。粘りと体力があるので、対戦相手にとっては非常にやりにくい選手だ。

案の定、試合は一進一退となり、本戦は1—0でセルジオ、延長では2—1と逆転し、野地が優勝まであと一歩のところまで迫った。しかし、再延長では今度はセルジオが野地の組手を潰し、副審は2—1でセルジオ。

そして、主審の磯部師範はここ

今、最も海外でレベルが高いのがこの「アメリカズ・カップ」である

▲年々、規模とレベルが上がる「アメリカズ・カップ」。ある意味、全日本大会をしのぐ勢いのある大会だ

松井館長の総評

「大会としては非常に盛り上がりましたね。野地君は荒削りな部分がありますから、いつも可能性を感じさせてくれるんですけど、まだ磨かれてないというか。まあ、どこかで優勝してもらいたいんですけど、焦点は全日本大会とか世界大会になるでしょうね。決勝戦は僅差でしたけど、仕方がないと思います。最終的に試合をふかんで見たら、セルジオですよ。ただ、やっぱり率直に言ってブラジル勢は平均的に強いですけど、フィリォとグラウベの後が続いてないような感じはしますね。みんなちょっと雑です。パンチもない。ザンデルなんかも可能性があるんですけど、まだムラがあります。良い選手なんですけどね。まあ、それは日本も同じことは言えるんですけど、数見君の後が続いていない。野地君なんか期待したいけれども、この状態ではまだ難しいですね。でも、ここで勝って勘違いしても困りますからね。この「アメリカズ・カップ」も成長しているし、レベルの高い大会ですから、世界大会に向けての試金石になったんじゃないでしょうか。それに全体的なレベルは高くなっているんで、本間や啓次、日比野らには海外での経験を積んで、そこに根を張るかどうかは別問題にして、がんばってほしいと思います」

▼来年は女子の世界大会が行われる予定だが、その中で最も力を発揮しそうなのが、エワがいるポーランド・チームだ

▲女子組手は、軽量、中量、重量の3階級で王者を決めた後、3人の王者で「コヨヅナ」と呼ばれる最強決定戦を実施。なんと軽量級のエワが中・重量級の王者を破って優勝！

▶江口さんは本当に大和撫子を絵に描いたような女性。これでエワに3連敗だが、ガンバレ！それにしてもダンナさんがうらやましい

◀ポーランドが生んだ極真の女王エワ。彼女の快進撃を止めるのは誰だ？

私的ベストバウトはエワVS江口の女子組手だった

▲個人的にベストバウトを挙げるとしたら、女子軽量級決勝戦のエワ・パウリコスカVS江口美幸の一戦だ。極真女子最強のエワに対し、江口は研究に研究を重ねて大健闘。本当に感動的な一戦だった

で「セルジオ！」。ほんの僅差で、またしてもブラジル勢に王座を奪われてしまったのだ。

試合後、野地に判定は不服かと尋ねたら「仕方ないと思います。きちんと勝ってませんから」という答えが返ってきた。3年後の世界大会でも、もちろん、こうした僅差の競り合いは何度も起こるはず。その競り合いにどう勝つかが、日本全体の課題になるのではないだろうか。

「野地君の組手は相変わらず荒い。そこが彼の魅力なんですけど、あれではトップに立つのは難しい」と試合後、松井館長は語っていた。その意味では、もし、その荒々しさのままで優勝して満足してしまうのなら、課題が残ったままの準優勝は次につながる負けだったかもしれない。

しかし、それにしても驚いたのが、決勝戦でも観客の声援は圧倒的に野地のほうが多かったことだ。日本でこのような国際試合が行われたら、フィリォにせよ、グラウベにせよ、どんな有名な外国人選手が出てこようと日本人の天敵となる。あるいは、数見でさえ、3年前のパリの団体戦では、セルジオとの決勝戦ではブーイングをあびた。それなのに、野地の人気たるや、驚くばかりである。

それだけ野地は、試合で何かを見せることのできるファイター。しかし、松井館長が言うように、荒々しさだけでは真のトップには立てない。このあたりの矛盾をどう克服し、また、どんなプロになるか。個人的にはこの男、〝10年に一人の逸材〟と見ているのだが……。

（谷川）

番組インフォメーション
10/13の見どころ

SRS SPECIAL RING SIDE

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは10月4日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

注目！ SRSは金曜日25:45～に放送日変更になりました

SRSの放送日が木曜日から金曜日に変更になったのですが、皆様もう覚えていただけましたか？　そうです、飲んだくれて家に帰るとちょうど見られる時間帯になりました。しかも次の日はお休みだから、夜ふかししてもオッケーですよね。オッケーな人もそうでない方も、これからは金曜深夜はSRSで楽しんでね！

『SRS』は毎週金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放送中。お見逃しなく！

10/13

まず始めに皆様にお詫びと訂正があります！　前号の『SRS・DX』でお伝えした放送内容「格闘技ビデオ道＆格闘技バリアフリー」ですが、サッカーのワールドカップ放送が入ったため「極真アメリカズ・カップ」に変更となりました。後日、改めて放送しますので、皆様ご了承くださいね。というわけで、今回の『SRS』では、先日、ニューヨークで開催された、『極真アメリカズ・カップ』の模様をお送りします。野地選手を中心とした日本勢は、海外の強豪達にどう立ち向かってゆくのか。極真ファンならずとも必見の内容です。

▲野地選手の活躍に期待！

10/20

10月20日の放送は、サッカーのアジアカップのため、お休みになります。来週の放送をお楽しみに！

話題盛りだくさんのSRSホームページCome On！

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、番組裏情報が読める『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集しています。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーですので、あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

次号予告 NEXT ISSUE 10月26日（木）発売！

大特集 10・31 PRIDE.11 大阪大会 直前情報！

柔道か？　ザ・ミレニアム異種格闘技戦　空手か？

急告！ 小川のセコンドには、篠原信一と吉田秀彦　佐竹のセコンドには、八巻建志とフィリォが就くことを本誌は願ってやみません。

桜庭の相手、ドン・フライの刺客は誰か？　小路は日本兵の服装をして誰と闘う？

SRS DX スペシャル・リング・サイド

毎月第2・第4木曜日発売
定価680円
No.33

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
10/13（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	98.5.2にオランダアムステルダムで開催の『WKPLムエタイチャンピオンリーグJrミドル級トーナメント』からAブロック4試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	9月24日に東京・後楽園ホールで行われたニュージャパンキックボクシング連盟『MILLENNIUM WARS 8』。メインカードは小野瀬邦英vsオーノーロー・ポー・ムアンウボン戦。「トップ・オブ・ウェルター」リーグ戦で優勝した小野瀬が、本場タイのトップ選手・オーノーローに挑戦
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	これまで放送分の『ワールドコンバットファイト』からの再放送シリーズ。『エクストリーム・チャレンジ21』パート1（98.10.17/ウィスコンシン州）から8試合
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	20：00～22：00	⬅Pick Up①
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	⬅P69
	J SKY sports2	ワールドファイティング	27：30～28：30	世界で開催されている格闘技大会の中から、ジャンルにとらわれずに同番組が厳選した試合を取り上げる新格闘技番組。『エクストリームチャレンジ特集1』～第24回大会から
10/14（土）	GAORA	K-2エクストリーム	17：30～18：30	第58回新日本空手道交流戦。グローブ空手の老舗、全日本新空手道連盟の交流戦の模様を2カ月に1回放送
	J SKY sports2	ワールドファイティング	25：15～26：15	10/13と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：05～27：05	10.9東京ドームで開催される橋本真也復帰第1戦となる、橋本vs藤波戦の模様を詳しく放送
10/15（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	10/13と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	10/13と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	10/13を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	16：00～18：00	⬅Pick Up②
	WOWOW	リングスKING of KINGS	17：00～19：00	10月9日に東京・国立代々木競技場で開催された『WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT 2000 KING OF KINGS』、Aブロック16名によるトーナメント1、2回戦の模様を放送。元パンクラシスト・柳澤龍志も参戦している
	J SKY sports3	ワールドファイティング	23：30～24：30	10/13のJスカイスポーツ2『ワールドファイティング』と同内容
10/16（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	9/13を参照。『スーパー・ブロウル12』（99.6.16/ハワイ州）からキム・メイスンvsカイ・カマカほか修斗ルール戦5試合を放送
	日本テレビ	超K-1宣言	25：55～26：25	11.1に開催される『K-1 JAPAN 中量級』に出場する選手を紹介
	J SKY sports3	ワールドファイティング	26：30～27：30	10/13のJスカイスポーツ2『ワールドファイティング』と同内容
10/17（火）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：55～23：00	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手など、格闘技界の旬な話題をピックアップして放送。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
10/18（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	10/13を参照。『欧州フリーファイトイベント2』（95年/オランダ。アムステルダム）から5分2Rのフリーファイト戦を8試合放送
	テレビ東京	Gパラダイス　コロシアム	23：55～24：35	「明るく楽しい格闘技情報番組」をコンセプトに、熱く・タイリーな情報を提供していく、10月からスタートした新番組。司会の雨上がり決死隊と川村亜紀が送る、最新バトルニュースや注目選手のドキュメンタリーなど
10/19（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	「ムエタイキラー　鈴木秀明特集」を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	日本キックボクシング連盟主催で、10月1日に開催された『2000感動シリーズ』の模様を放送。大会カードは、佐藤ツヨシvs寺田伸城戦、田村健治vs唐沢たくみ、三苫順次vs中西和広、神島雄一vs九頭龍坂勝ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	97.4.30にモスクワで開催の『第3回アブソリュート・ファイティング・チャンピオンシップ』からトーナメント戦ほか8試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	10/13を参照
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
10/20（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	10/13を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	10/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	10/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	⬅Pick Up③
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	お休み
	J SKY sports2	ワールドファイティング	27：30～28：30	10/13と同内容
10/21（土）	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：05～27：05	内容未定
	J SKY sports2	ワールドファイティング	27：30～28：30	10/13と同内容
10/22（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	10/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	10/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	10/13を参照
	J SKY sports3	ワールドファイティング	23：30～24：30	10/13 Jスカイスポーツ2を参照。『エクストリームチャレンジ特集1』～第24回大会から放送の第2回目
10/23（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	9/13を参照　『ケージファイトトーナメント1』（98.6.3/ベルギー、アントワープ）からトーナメント戦6試合を放送
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	20：00～22：00	7.23に後楽園ホールで開催された毎年恒例の『ネオブラッド・トーナメント』を放送。渡辺大介、松永裕央、マッシブ・イチほかが出場している

ON THE AIR 10/13～10/26
格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1
『パンクラス2000トランスツアー』
スカイ・A
10月13日（金）/20:00～22:00

6月26日に後楽園ホールで開催された『ランキングトーナメント』の模様を全試合放送。船木誠勝引退後、初となる今大会では、ライトヘビー級、ミドル級が新設され、その初代王者を決めるランキングトーナメントとなった。なんといっても優勝候補・KEI山宮の闘いぶりに注目！　ワンマッチには、東京、横浜に続く第3勢力「グラバカ」を須藤元気らとともに結成した菊田早苗も出場している。パンクラスの再編成がスタートしたこの大会、絶対に見逃せないぞ！

Pick Up 2
『バトルステーション』
FIGHTING TV SAMURAI!
10月15日（日）/16:00～18:00

10月1日に開催された、格闘探偵団バトラーツの『ロード・ウォリアーズJAPANツアー最終戦』を放送。ホーク・ウォリアーが突然の心臓疾患により欠場となってしまったため、アニマル・ウォリアー&ラスタマンvsアレクサンダー大塚&モハメド・ヨネ組での対戦となった。果たしてアニマルのパワースラムやグローバル・ハンマー、アレクのジャイアント・スイングは炸裂するのか!?　JAPANツアーのラストを勝利で飾るのはどっちだ!?　ちなみにホークはセコンドで登場しているので、ファンも一安心だ。

Pick Up 3
『ワールドコンバットファイト（再）』
FIGHTING TV SAMURAI!
10月20日（金）/16:00～17:00ほか

世界各国で開催されている様々な格闘技イベントを中継する、マニア必見のプログラム。今回は98年4月12日にオランダで開催された『ミックスファイトトーナメント1』からギルバート・アイブルvsボブ・シュライバー戦ほか6試合をオンエア。元リングス王者で、髙阪剛、田村潔司も破った"暴走ハリケーン"ことアイブルの闘いぶりは一見の価値アリ。8・27『プライド10』にも参戦し、ゲーリー・グッドリッジを左ハイキック一発でKOしたアイブルと、キック/バーリ・トゥードどちらもイケるシュライバーとの一戦は、壮絶な打撃戦が予想される。

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
	日本テレビ	超K-1宣言	25：55～26：25	11.1の『K-1 JAPAN 中量級』大会出場選手へのインタビューなどを放送予定
	J SKY sports3	ワールドファイティング	26：30～27：30	10/22と同内容
10/24（火）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：55～23：00	10/17を参照
10/25（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	10/13を参照　10/13と同内容
	GAORA	K-2エクストリーム	18：00～19：00	10/14と同内容
	テレビ東京	Gパラダイス　コロシアム	23：55～24：35	内容未定
10/26（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	10/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～20：30 23：00～24：30	新日本キックボクシング協会の、9.3タイ国ラジャダムナンスタジアムでの大会と、9.10東京平和島アールンホールの2大会の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	97.10.18にアメリカ・テキサス州にて開催された『USWF7　BATTLE OF THE BELTS Part1トーナメント』から、フランク・トリッグvsダニー・グルバート戦ほか7試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	10/13を参照
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888　☎03-5802-5550
（9：00～21：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-8888

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ―ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5351-4055
（12：00～20：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-3488

VIDEO
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『PRIDE.10 in SEIBUDOME オフィシャルビデオ』

メディアファクトリー/150分
9,500円/10月27日発売

桜庭和志、グレイシー三連破なるか!?

8月27日に西武ドームにて開催し、新日本プロレスのケンドー・カシンこと石澤常光のバーリ・トゥード初参戦や、桜庭和志vsヘンゾ・グレイシー戦などで大いに話題を集めた『プライド10』が早くもビデオ化。対戦カードは他にエンセン井上vsイゴール・ボブチャンチン戦、藤田和之vsケン・シャムロック戦、石澤常光vsハイアン・グレイシー戦など全10試合。対グレイシー3戦目となる桜庭は、ヘンゾ相手にどんな闘いを見せたのか？　また、グレイシーきっての喧嘩師・ハイアンと対戦する石澤の闘いぶりにも注目だ。全ての試合がそれぞれ見応えのあるものなので、会場に行った人も行っていない人も、存分に楽しめること間違いなし。10月31日に行われる『プライド11』をより楽しむためにも、是非見ておきたい1本だ。

〈新作紹介②〉 It's HOT!

『アンディ・フグ追悼ビデオ 3巻セット』

ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
5,997円/発売中

名勝負で故アンディ・フグを忍ぶ

8月24日に亡くなった、"ミスターK-1"ことアンディ・フグの名勝負を集めた作品。K-1 SPIRITS 99のモーリス・スミス戦、K-1 GP 99開幕戦の天田ヒロミ戦、K-1 GP 99決勝戦のアーネスト・ホースト戦の3試合を収録。どれもアンディにとっては激戦を強いられた名勝負ばかりだ。また4枚セットのDVDタイトルもあり、こちらは18,800円（税抜）。なお、これらのタイトルはエンタテイメント情報サイト「e＋（イープラス　http://eee.eplus.co.jp）」のみでの販売となる。

プロレス＆格闘技専門ビデオショップ『チャンピオン』
東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237

チャンピオン

丸野大樹マネージャー
「10月9日、東京ドームでの新日本プロレス・橋本復帰戦の際は、当店にも多数ご来店いただきまして、誠にありがとうございました。今後、当店ではサイン会などのイベントも開催していく予定ですので、気軽に遊びに来てください！」

▲毎回、ランキングにご協力頂いてる『チャンピオン』。プロレス・格闘技の書籍も多数販売されているぞ！

〈新作紹介③〉 It's HOT!

『PRIDE vs 掣圏道 アルティメットボクシング in YOKOHAMA ARENA』

メディアファクトリー/90分
9,500円/発売中

寝ても立っても打撃！ 打撃！ 打撃！ これが掣圏道だ！

6月11日、横浜アリーナで開催された『アルティメットボクシング旗揚げ戦』の模様を収録。佐山聡率いるロシア強豪戦士たちが、グラウンドでの膠着なしの壮絶なる打撃戦を繰り広げる、全8試合。佐山聡が創始した市街地型実戦武道"掣圏道・アルティメットボクシング"とは？　ボドリャチン・デニスと対戦する佐竹雅昭のフリーファイト初勝利なるか？　この大会でデビューし、サングラス＆アフロヘアですっかりおなじみになったジャイアント落合は、ロシアのボリショフ・イゴリと対戦している。

RENTAL RANKING (9/13～9/27調べ)

1. 『桜庭和志VSホイス・グレイシー～死闘1時間47分完全収録～』 メディアファクトリー/120分
2. 『PRIDE.9 in NAGOYA オフィシャルビデオ』 メディアファクトリー/90分
3. 『UFC 16　<海外版>』 SEGスポーツ/195分
4. 『一撃の竜　成嶋竜』 メディア8/50分
5. 『修斗 1999 BEST BOUTS』 クエスト/120分

2位

"暴走ハリケーン"アイブルが『プライド』リングに初見参！

『PRIDE.9 in NAGOYA オフィシャルビデオ』

今回2位にランクインしたのは、6月4日に名古屋レインボーホールで開催された『プライド9』のオフィシャルビデオ。前リングス無差別級王者ギルバート・アイブルが『プライド』リングに初参戦した注目の大会。イゴール・ボブチャンチンやゲーリー・グッドリッジ、小路晃ら常連組も出場していて、見逃せない1本だ。

SELL RANKING (9/13～9/27調べ)

1. 『SHOOT THE HEAT』 クエスト/108分　6,930円
2. 『桜庭和志VSホイス・グレイシー～死闘1時間47分完全収録～』 メディアファクトリー/120分 2,800円
3. 『一撃で倒せ！上段廻し蹴り編』 メディア8/60分　7,429円
4. 『三船十段直伝 至高の柔道』 クエスト/50分　6,600円
5. 『コロシアム2000 ヒクソン・グレイシーVS船木誠勝』 ポリスター/120分　9,524円

2位

一家に一本買っておきたい歴史的な名勝負ビデオ

『桜庭和志VSホイス・グレイシー～死闘1時間47分完全収録～』

お手頃価格で人気が続いている『桜庭和志VSホイス・グレイシー～死闘1時間47分完全収録～』。誰もが感動した名勝負は、是非買っておきたい1本だ。1位にランクインした『SHOOT THE HEAT』には7・16後楽園＆7・22＆8・4大阪大会の模様を収録。大阪大会には桜井"マッハ"速人がメインで登場！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

『大和魂“家紋”パーカー』
イーフォースジャパン/7,000円

なんと井上家の家紋入り!

エンセン井上と山本美憂も愛用している、大和魂シリーズの最新作が登場。見事なまでに“和”を追求したデザインがインパクトあるパーカー。女の子にもよく似合うと思うぞ!

▲FRONT ◀BACK

〈おすすめグッズ〉 Recommend!!

『ヒクソン・グレイシー ナイロンパイピングスーツ上下セット』
ヒクソン・グレイシー/4,900円

朝のマラソン用にもってこいの一着!(やるかどうかはキミ次第)

続々リリースされる秋冬物の中でも、ファッション性、コストパフォーマンスがダントツなのがこれ。ヒクソンのオリジナルブランド製で、トレーニングはもちろんストリートアイテムとしても十分に通用するぞ。

※表示価格は全て税別価格

ワールドスポーツプラザKINGS
平川達也店長

『10月28日、29日の2日間、吉祥寺パルコにて「FIGHTING TV SAMURAI presents サイン&トークライブ」を開催します。NOAHから三沢光晴選手、FMWから金村キンタロー&チョコボール向井選手、シュートボクシングからは土井広之選手&緒形健一選手&森谷吉博選手ら、そうそうたる顔ぶれが参戦予定です!! 是非、足をお運びください』

ワールドスポーツプラザKINGS
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F(渋谷消防署前)
☎03-3462-1001 通信販売受付 ☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00 通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING (9/13～9/27調べ)

1. 猪木レジェンドTシャツ6“1974” KINGS/3,900円
2. コンテンダーズTシャツ3 WK NETWORK/3,500円
3. 大和魂“梵字”Tシャツ イーフォースジャパン/4,000円
4. SHOOT BOXING スクウェアTシャツ COPERATE/3,800円
5. 渡部謙吾写真集「I'm KENGO」 パンクラス/3,500円

1位

殺気で髪が逆立ってしまうのも納得!

1974年といえばまさに猪木の全盛期。そりゃ髪も逆立ちますとも。このTシャツは12カ月連続リリースの猪木シリーズ第6弾。レトロプロレスファンにはたまらないアイテムだ。

BOOK INFOMATION

『猪木詩集～馬鹿になれ～』
アントニオ猪木著
角川書店
本体価格 1,500円/発売中

猪木詩集 馬鹿になれ The Poetical Works of Antonio Inoki アントニオ猪木

ポエム界に驚異の大型新人現わる!! 闘魂詩人衝撃デビュー!

ターザン山本

ポエムという名の“闘魂の破片”! 詩人・ターザンが詩人・猪木を語る
(ズバリ言って語ってねえですけど)

A・猪木を見続けてきた者は、誰でも詩人になることができる。ボクがそういうのだから、これは間違いないのだ。実は、ボクは自分のことを詩人だと思っている。

ただし詩を書かない詩人。だって猪木ファンの君もそうだろう。詩なんか書いたことないだろう? でも、ボクらがA・猪木について語る時の言語…あれはみんな詩だよね。

ボクらはあの時間、本当に詩人になっているよね。言葉が響きあうんだもん。いや、それ以上だよ。もっと、もっと。さらに、さらに。うんと、うんと過剰に理解し合えることができるんだもんね。

そう猪木について、プロレスについて、それから君について、ボク自身についてもこんなにわかり合えるのは、みんな詩人である証拠なんだよ。

じゃあ、詩って一体、何? うん、この際、一言(ひとこと)で言っちゃおう。少ない言葉、断片で世界に向かって、手を差し伸べることなんだよ。わかるかな?

ほら、ほら、目の前に、こんなにたくさん断片が、きた、きた、いっぱいきた。

ああ、それは破片といっしょだよね。遺跡を掘っていたら石器の破片とか、土器の破片が出てくるでしょう?

破片がすべてなんだよ。は・へ・んしかないんだよ。破(は)、片(へん)を見るしかないんだよ。楽しいじゃない? うれしいじゃない? それがボクらに差し伸べられたメッセージなんだよ。謎かけなんだよ。

宇宙からだって、破片はやってくるよね。隕石という名の破片だよ。ボクらはそれを見て、すごく有り難がる、何かいいこと、あるんじゃないかと。

あるよ、決まってるじゃないか? 土の中から出てきた破片、天から飛んできた破片。

君は見るか、闘魂から生み出された破片を! もちろん見るよね、土器や隕石の破片を見るように、A・猪木の詩集を! グッドラック!

Et cetra

平直行が24時間使える総合格闘技ジム『ストライプル高田馬場』をオープン！

正道会館の平直行が、柔術をベースとした総合格闘技の道場を11月1日よりリニューアルオープンする。なお、正道会館は以前のままで、今回オープンするのは『ストライプル高田馬場』となる。あの平直行が直接指導してくれて、しかも24時間いつでも使ってOKとのことなので、最近身体がダブついてきた君、この機会に即入会しよう！

◆練習日/火 19:30～21:00　土 19:00～20:00
◆入会金/15,000円
◆会費/8,000円
◆お問い合わせ/ストライプル高田馬場☎03-5460-3535

格闘技専門のイベント企画・映像製作会社ブロンコスがスタッフを募集中

◆職種/①プロデューサー②ディレクター③アシスタントディレクター
◆資格/18～30歳位まで
◆応募方法/希望職種を明記の上、履歴書・職務経歴書を下記の宛先まで郵送。書類選考後、連絡
◆宛先/〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-10 第一西脇ビル7F 175　(株)ブロンコス　☎03-5358-3224(担当:松本)

角田信朗 CDデビュー!?

▲「思い入れが強すぎて、どうしても（桑田さんに）なってしまうんだ」という角田さん。でもホントに上手で、その日は一日中♪エスカップ～の歌が耳にこびり付いちゃいました

♪エスエスエスエス　エスカップ～っていうピーター・アーツでお馴染みのCMソング、みんな知ってるよね！　でもこのCMソングをあの角田信朗さんが歌ってるって知ってた？今回はあのCMソングがちゃんとした曲になって、CDを作ることになったと聞き、レコーディングスタジオまで行って生で聞いてきちゃったよ。レコーディング中の角田さんは真剣そのもの。熱～く歌い上げるその歌声はまさにサザンの桑田サン。エスエス製薬によるとこのCDは非売品で、プレゼント用（詳細は未定）になるそう。角田ファンは絶対ゲットしたい一品だよネ！

アマチュア格闘家よ、集え！『No name HERO Ⅲ』開催

キングダム・エルガイツがアマチュア大会『No name HERO Ⅲ』を開催するにあたり、出場者を大募集する。今大会は、年末から行われるミドル級(-80kg)トーナメントの特別推薦選手の選考も兼ねている。自分の腕を試したいアマチュア格闘家は、下記の要領で応募を。またプロ若手選手による対戦も2～3試合行われる。

◆日時/10月29日(日)神奈川県青葉区スポーツセンター
◆出場方法/身長・体重・住所・電話番号・格闘技歴・所属などを明記の上、80円切手を同封して下記の住所まで郵送
◆出場費/3,000円＋保険料1,000円
◆応募先/〒206-0822 東京都稲城市坂浜2305 第一コーポ大門 キングダム・エルガイツ　代表 入江秀忠

バトバトイベント目白押し！

【アレクサンダー大塚トークショー】
◆日時/10月29日(日)10:00～
◆場所/北海道日高門別町　さるがわせせらぎ公園(車→道央道・国道235号で約90分、JR→札幌～苫小牧～日高本線・富川駅下車　徒歩15分)
◆入場料/無料
◆内容/「門別ししゃも祭り」の一環として開催。島田裕二レフェリーも参加して、生ししゃもつかみ取りや○×クイズなども行う予定
◆お問い合わせ/門別町観光協会 ししゃも祭り実行委員会☎01456-2-5131

【島田裕二プロデューストークライブ】
「PRIDEとは何か？　2DAYS」
＜1st＞
◆日時/10月26日（木）19:00～
◆場所/渋谷ロックウェスト
◆入場料/無料
◆ゲスト/谷川貞治(本誌編集長)、山口日昇(紙のプロレスRADICAL編集長)
＜2nd＞
◆日時/10月28日(土) 19:00～
◆場所/札幌・すすきのコロシアム
◆入場料/2,000円(1ドリンク付き)
◆ゲスト/アレクサンダー大塚

パンクラスが2001年ツアータイトルを公募！

パンクラスでは『TRANS』に続く、2001年ツアータイトルを公募している。タイトルが採用された方には、そのツアータイトルの入ったTシャツと、1万円分のグッズ引換券をセットでプレゼント。ひとり何案でもOKなので、「21世紀のパンクラスはこうあってほしい！」というキミの熱い気持ちをツアータイトルに込めて今すぐ応募しよう！　なお、96年の『TRUTH』以来続いている「英単語ひとつのタイトル」という形式を踏襲する方針とのこと。

◆応募方法/下記のいずれかの方法で、あなたの氏名・住所・電話番号と、タイトル案の簡単な説明（例：TRANS→横断/貫通、超越/向こう側、変化などの意味の接頭語）を明記した上、ご応募ください
FAX：03-5792-7080
ハガキ：〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 (株)ワールド パンクラス クリエイト
E-mail：PANCRASE@so-net.ne.jp
応募箱：10.31後楽園ホール大会にて設置(用紙は当日配布)
※FAX、ハガキの宛名、E-mailのタイトルには「2001年ツアータイトル係」としてください
※お電話でのご応募はご遠慮ください
◆締め切り/10月31日(火)　必着

ビデオ『組手の達人　松井章圭』発売記念のサイン会だ、みんな集まれ～！

◆日時/10月28日(土)16:00～17:00
◆場所/芳林堂書店　池袋本店(池袋駅西口から徒歩3分)
☎03-3984-1101
◆対象/10月18日発売の新刊ビデオ『組手の達人　松井章圭』(税込 8,800円)、『昇級審査参考マニュアル　型』(税込7,800円) をお買い上げの方先着150名に整理券を配付

ブルース・リーの写真展も開催されるミッドナイト・パーティー

ボディプラントでは10月28日、ハロウィンの夜にオールナイトでパーティを開催。当日は日本振藩国術館IMUAのスタッフによるブルース・リーのデモンストレーションや、カポエイラのパフォーマンス、格闘技ビデオ観賞会、プレゼント抽選会なども行う。格闘技に関する仮装（ex.サクラバマシン、小路の日本兵）でもして行けば、ハロウィン気分も盛り上がること間違いなしだ！

◆日時/10月28日
◆参加費/1,500円
◆場所/ボディプラント東京都港区六本木7-14-7 #4F
◆お問い合わせ/ボディプラント☎03-5772-2791

藤田和之でおなじみ『SOUL』のシルバーリングとネックレスが登場！

ファントムからSOULリング(サイズ：19・21・23)が定価 10,000円、ネックレスは定価 20,000円、“魂”の刻印入りで登場。思わず魂が揺さぶられるこのアクセを身に付けて、笑いながら歩こうぜ！

◆お問い合わせ/ファントム☎027-325-4885

群馬といえば？　だ・る・ま！和術慧舟會の群馬支部が誕生

群馬県に和術慧舟會の支部、その名も『達磨倶楽部』が開設された。原口代表によると、達磨倶楽部の意味は「だるまは、極めることができない。だるまは倒れても起き上がる様にできている」。決して手も足も出ないという意味ではないぞ。初心者も経験者も大歓迎、格闘技の話で盛り上がれる仲間がたくさん待っている。気軽に総合格闘技を楽しみに行ってみよう！

◆場所/大胡中学校武道館　(上毛電鉄、大胡駅より徒歩5分)
◆練習日時/毎週月曜日19:00～21:00（木曜日と日曜日もただいま交渉中）
◆お問い合わせ/〒371-0223 群馬県勢多郡大胡町538-21 原口武一 ☎027-283-5852

Goods & Ticket
イエローページ

チャンピオン 西田ビル6F

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
03-3221-6237
年中無休 営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷

南口徒歩4分
第2野々ビル3F
(1F茜屋)

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル
03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

レッスル池袋

豊島区区役所真向かい
池袋陽光ハイツ3F
(1Fうどん屋)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3池袋陽光ハイツ306
03-3989-0056
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

板橋大山アメリカン

〒173-0014 東京都板橋区大山東町24-11
03-3962-6443
年中無休 営業時間（平日）10:00～20:00

書泉グランデ / 書泉ブックマート

〒101-0051 東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

プロレス・マニア館

ラーメン屋の3F

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-7-14 たかのビル3F
03-5276-0304
営業時間（平日）12:00～21:30（日祝）11:00～21:30

アイドール 加藤ビル4F

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-1-3 加藤ビル4F
03-3371-5211
毎週月曜日定休 営業時間 11:00～19:00

ファイター

都営地下鉄
新宿線・丸の内線
「新宿3丁目」駅
C4出口より徒歩1分

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-3-9-B1
03-3354-1903
毎月第3水曜日定休 営業時間 11:00～19:00

フィットネスショップ格闘技 寺本ビル2F

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル2F
0120-4646-81

横浜AOコーナー YOKOHAMA AO CORNER

〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-8-5 篠崎ビル2F
045-440-3355 毎週月曜日定休 営業時間（火～土）14:00～19:00（日祝）12:00～18:00

■主要チケット発売所一覧

チケットぴあ	03-5237-9999
チケットセゾン	03-3250-9999
ローソンチケット	03-3569-9900
CNプレイガイド	03-5802-9999
オデッセー	03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	03-3406-1513
レッスル渋谷店	03-3464-0078
レッスル池袋店	03-3989-0056
板橋大山アメリカン	03-3962-6443
チャンピオン	03-3221-6237
書泉ブックマート	03-3294-0011
後楽園ホール	03-5800-9999

星座別

タロット占い

10/13 Fri. 〜 10/26 Thu.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座　3/21〜4/20

全体運　環境の変化が訪れるとき。仕事で担当が変わったり、生活に変動が起きてくる中、自然とバイタリティが湧いてきそう。今までの言動との違いを出していくことがポイント。うまくいかなかったことは学習して、別の方法でチャレンジすると大飛躍できる予感。恋愛は絶好調！　グループ交際から、カップリングに進展するとき。

勝負運　頭の回転が良くなり、試合運びは順調に。

健康運　頭脳明晰なとき。仕事に活かすと成果あり。

金　運　自己投資したいとき。許容範囲内で。

ラッキーアイテム：**レザーファッション**

ラッキーカラー：**ホワイト**

牡牛座　4/21〜5/21

全体運　ハイブリットな心境。気分的には盛り上がっているのに、リアリティを感じられなかったり、夢と現実のギャップができそう。また、責任ある立場になりやすいとき。プレッシャーをうまく活用できるならＯＫだけど、つぶされそうな場合は、辞退を申し出るのも賢い方法。恋愛は、安易に身近な人に手を出してはキケン。トラブルに。

勝負運　急がば回れ。遠回りしても確実なセレクトを。

健康運　安全第一。キケンなチャレンジは避けよう。

金　運　価値のあるなしを見極めたショッピングを。

ラッキーアイテム：**シルバーネックレス**

ラッキーカラー：**シルバー**

双子座　5/22〜6/21

全体運　好調な運気は続行中！　チャレンジ精神＆感性がアップするので、それを活していくとグッド。運気はさらにアップ。格闘技では、ビジュアル的スキルにチャレンジしてみては？　仕事では、クリエイティブさをプラスしていくと業績アップにつながりそう。とくにＩＴ系はグッド。恋愛では言い訳は禁物。相手の気持ちを考えて。

勝負運　目覚めの瞑想やイメージングで勝運アップ。

健康運　シェイプアップに良いとき。目標を立てて。

金　運　ＩＴ関連の儲け話には先行投資してＯＫ。

ラッキーアイテム：**フィットネス関連**

ラッキーカラー：**レッド**

蟹座　6/22〜7/23

全体運　哀愁の秋。昔を思い出して「あの頃に戻りたい〜」とか、感傷に浸ってしまいそう。過去を振り返るのは良いけど、ただ昔を懐かしんでも進歩なし。リーダー的存在だった昔の仲間に連絡を取ってみると、ラッキーハプニングが起きる予感。未来を見つめて、エネルギーアップできるハズ。恋愛は、憧れの人との再会や昔の恋人と恋の予感。

勝負運　プレゼントが勝運アップのキッカケに。

健康運　暴飲暴食は胃腸障害と太る原因に。要注意。

金　運　ついつい食べ物にお金を使ってしまうとき。

ラッキーアイテム：**メール**

ラッキーカラー：**パステルカラー**

魚座　2/20〜3/20

全体運　「能ある鷹は爪を隠す」をモットーにするとグッド。自分を大きく見せようとする言動や悲劇のヒーローを演じるのはＮＧ！　かえって、評価を下げ、信用を失う原因に。能力のある人は、ひけらかさなくても、ちゃんと周囲は認めてくれているモノ。恋愛は、あなたにアドバイスしてくれる人に好意を感じそう。ただし、三角関係には注意。

勝負運　自信過剰気味。墓穴を掘らないように。

健康運　焦らなければ、ちゃんと回復するので安心を。

金　運　親しい人にアシストしてもらえそう。

ラッキーアイテム：**帽子**

ラッキーカラー：**オレンジ**

獅子座　7/24〜8/23

全体運　センスアップ。とくにヨーロピアン調にこだわってみるとグッド。ファッションはもちろん、仕事の企画にも英国風のアレンジを加えるとキマりそう。また、交際のネットワークが広がり、意外な所で、意外な人とのつながりを発見したり、おもしろい出来事がありそう。恋愛は、オーバー過ぎるくらい愛情表現をするとグッド。

勝負運　対戦相手の徹底的な研究が勝運を分けるとき。

健康運　毎日の基礎トレーニングで健康キープ。

金　運　誘いを全て受けていたら金欠に。セレクトして。

ラッキーアイテム：**ウォッチ**

ラッキーカラー：**ミッドナイトブルー**

水瓶座　1/21〜2/19

全体運　運気は徐々にアップ。テーマは「自立」。人にパラサイトするのはダメ。あなたがどうしたいか、どうなりたいかを、まずは考えてみよう。それをどんどん表現して、自力で道を切り開いていけたら、大躍進できそう。恋愛では、コントロールされがちに。相手を受け入れる包容力と、言いなりになることは違うので、勘違いしないで。

勝負運　自分を信じることが勝利を導くポイント。

健康運　ガンバリ過ぎで過労気味。たまには休息して。

金　運　お財布紛失の暗示あり。カードは抜いておくとグッド。

ラッキーアイテム：**鍵**

ラッキーカラー：**イエローグリーン**

乙女座　8/24〜9/23

全体運　ロマンティックな秋。ドラマティックな出会いや、恋人とのロマンあふれる交際と、あなたにピッタリのシーズン？　デートコースは、夜景がキレイなバーや展望台などで、恋愛を満喫して。仕事では、宿敵が活躍したりと、ちょっとプレッシャーを感じるとき。でも、あなたはあなた。ガンバれば、ちゃんと結果が出るとき。

勝負運　ラッキーカラーを身に付けるとグッド。

健康運　手首を痛めやすいとき。コントロールして。

金　運　西の方角に行くとギャンブル運がアップ。

ラッキーアイテム：**携帯ストラップ**

ラッキーカラー：**ベージュ**

山羊座　12/23〜1/20

全体運　前半は運気がダウンするので、言動には気を付けよう。ついつい口をスベらせてしまった一言で、傷付けたり、関係にヒビが入ったり、取り返しがつかなくなることが。また、人の失敗を笑うと、次には笑われる立場に回りそう。後半は、今までのキャラを打破することで、運気アップの兆し。恋愛でも言動注意。口論中の冒険はＮＧ。

勝負運　スイッチング攻撃がキマりやすいとき。

健康運　食べ過ぎは太るだけでなく体調ダウンの原因。

金　運　サイドビジネスや投資話に気を付けよう。

ラッキーアイテム：**オブジェ**

ラッキーカラー：**ゴールド**

射手座　11/23〜12/22

全体運　パーソナリティが発揮できるとき。活躍の舞台はすぐ目の前に。仲の良い友達から、フィードバックをしてもらい、有効的なパーソナリティの発揮の仕方をプランニングしてみよう。また、ＹＥＳ、ＮＯをハッキリ主張することでラッキーあり。恋愛も、お互いのために、関係を白黒ハッキリさせることが大切。中途半端はアンラッキーに。

勝負運　勝利には、絶対に勝つという強い気持ちを。

健康運　ホルモンバランスが崩れやすいので要注意。

金　運　衝動買いは避けて。必要な分だけにすること。

ラッキーアイテム：**携帯電話**

ラッキーカラー：**ローズ**

蠍座　10/24〜11/22

全体運　シミュレーションが崩れるとき。思い描いていたことが空回りしがちだけど、落ち着いて対処していくことで、どうにか帳尻が合いそう。ポイントは冷静な判断力と対処の仕方。家庭運がアップしているので、家族にアドバイスをもらうと良さそう。恋愛は年上の人との縁があるとき。カップルはストレートに気持ちを伝えるとグッド。

勝負運　売られたケンカは買わないほうが良いときも。

健康運　ヒーリングミュージックで、心身を癒そう。

金　運　抽選や懸賞に応募するとラッキーあり。

ラッキーアイテム：**携帯の着メロ**

ラッキーカラー：**ブラウン**

天秤座　9/24〜10/23

全体運　ようやく絶好調の運気に突入！　運命の女神様があなたに微笑んでくれるとき。自然に問題は解決の方向に向かい、周囲も協力的に。前半から、思い切った戦略でチャレンジしていこう。恋愛も好調。出会いのスポットにいくと、逆ナンされたり嬉しいことが。カップルは音楽や映画。芸術の秋を満喫すると、ラブラブモードアップ。

勝負運　運はあなたに。可能性が低くてもチャレンジ。

健康運　体調ダウンに。夜は冷え込むので暖かくして。

金　運　ネットオークションなどで出物がありそう。

ラッキーアイテム：**パシュミナ**

ラッキーカラー：**グレー**

一撃コラム 連載第32回

歴史をリスペクトする国・アメリカで見た 近藤有己、UFCデビュー戦の衝撃――

9月22日にアメリカ・ニューオリンズで行われた『UFC27』取材のため、初めての海外出張に行ってきた。

出発の直前まで原稿を書いていたので、着のみ着のまま、リュックに取材道具だけを詰めて出かけるという慌ただしさだったのだが、ニューオリンズに到着してからは若干、時間的な余裕があった。

『フレンチ・クォーター』と呼ばれるヨーロッパ風の街並みをブラブラしたり、ミシシッピ川のほとりでボンヤリしたり、TVのコメディ・チャンネルで『サウスパーク』や『サタデーナイト・ライブ』の再放送を見まくったり。夜中はホテルのカジノでスロット三昧……。たった1日、仕事がないだけで、心はすっかり休日モードだ。はっきり言って、こういう気持ちの切り替えには自信がある。「休み→仕事モード」への転換は死ぬほど遅いが。

そんなわけで、いざ会場のレイクフロント・アリーナに入ってみても、「あ～、ピザ食ってビール飲んで、ヤジのひとつも飛ばしてぇ」といった感じ。なにしろアメリカの観客は盛り上がり方がハンパじゃない。たぶん会場は2000人くらいしか入ってなかった（UFCはPPVがメインの収入源だから、チケットの売り上げはあまり関係ないんだろう）のに、武道館か横アリにいるような反応が返ってくるのだ。それも、選手が有名かそうじゃないかはあまり関係がない。いい動きを見せれば歓声が、膠着すればブーイングが、どんなファイターにも飛んでくる。そんな会場で、おとなしくメモなんか取ってる場合じゃないって！ 一緒になって騒ぐのが正解ってもんだ。

それでも、さすがに近藤有己の試合になると、一気に緊張感が高まった。正直、あの着流しには「やられた！」と思った。

〝船木の意思を継ぐ〟という意味なのか、それとも〝船木の負けを払拭する〟というつもりなのか……。書く側としても、想像力の働かせがいがあって、異様に気合いが入った。

試合もまた、ハラハラドキドキの連続でバツグンに良かった。試合前、カメラマン氏と「近藤の試合には結構、ページを用意してあるんで、あっさり秒殺なんかしちゃうと写真が足りなくなっちゃいますね。といって負けても困るし……。苦しんだ末に逆転勝ち、なんていうパターンがベストなんだけど」という話をしていたのだが、それが、まんま実現してしまった。この大舞台で、こういう試合をやってのける近藤の〝運〟には、恐るべきものがあると思う。

船木もそうだったのだけれど、近藤もたしかにポジショニングが甘い。相手が強い選手だったからかもしれないが、今どき〝テイクダウン→パスガード→マウント〟なんてベーシックなムーブをあっさりと決められてしまうのは問題だ。船木はヒクソンのスリーパーで失神したのだが、実はその前のポジション争いで、十中八九、勝負は決していたと思う。

近藤も、その二の舞になりかけた。だけど近藤はそこから先、「苦しいポジションになってからどうするか」についての方法論を持っていた。プロレスラー＝グラップラーという先入観があるが、近藤自身は「自分はストライカー」という意識で闘い、寝技をしのぎ、そして逆転KOを呼び込んだのだ。

そんな近藤のファイトを、観客たちも支持した。「ケンカ＝殴り合い」という考え方のせいなのかもしれないが、アメリカの観客にはやはり打撃がウケる。しかも近藤はパンチに加え、VTではめったに見られないシャープなミドルやバックスピンキックまで繰り出したのだ。

そして会場で起こった〝ユーキ〟コール。これには思わずグッときてしまった。鼻の奥のあたりが痛くなる、あの感覚。いい大人の、それも記者として見ている人間には、ちょっとばかり厄介な感情だった。でも、アメリカに取材に来てこんなに嬉しい瞬間は（もしかしたら近藤が勝ったこと以上に）なかったし、そう感じられる自分で良かったとも思う。

きっと観客のほとんどは、近藤の顔も名前も知らなかったと思う。それでも、近藤はその闘いで彼らのハートを掴み、観客も声援でそれに応えた。選手とファンの、理想的な関係がそこにはあった。

いいものはいいと素直に認めてくれるアメリカの観衆。そのもう一つの特徴は、歴史をもの凄くリスペクトするという点だったように思う。ダン・スバーンやモーリス・スミスの入場時に起こった歓声は、他の選手に対するものより格段に大きかった（もちろん、試合がショッパければブーイングに変わってしまうわけだが）。それはただ、彼らが有名だから、知ってる選手だから、という理由だけじゃないはずだ。

はっきり言って、スバーンやモーリスには、第一線で活躍しているというイメージはない。それでも、その選手が積み上げてきた業績、歴史に対して、観客は惜しみない拍手を送るのだ。そういえばメジャーリーグでも、始球式には過去の名選手が登場することが多い（アイドルや俳優ではなく）。

〝ベースボールは過去と交信し続けるスポーツ〟と言われる。スバーン、モーリスへの喝采からして、どうやらそれは、格闘技にもあてはまるらしい。アメリカのファンは、日本以上に〝記憶という財産〟を大事にする人たちに見えた。

そういう観客に、近藤は絶大なインパクトを与えた。「日本にはユーキ・コンドーという素晴らしいファイターがいる」という記憶は、今後、近藤が試合をする度に思い起こされ、積み重なり、より大きなものへとなっていくだろう。

〝世界屈指の強豪・近藤〟という評価は、アメリカで高まっていき、やがて日本に逆輸入されるんじゃないだろうか。アメリカの観客が持つ〝熱〟は、そんなことまで考えさせるほどだった。（橋本）

▶アメリカの観客は、とにかく反応がダイレクト。試合内容さえ良ければ選手の有名・無名に関係なく盛り上がっていた

ノブ兄さんのTシャツ作りました。サクマシン・フィギュアともども、よろしく。

クンフー・マクダニエル

編酋長◎井上きびだんご

VOL.18

ANTON

闘魂五木田塾
WANFU version 第1回

題字◎アントニオ猪木
塾長◎五木田智央

該当作品
驚愕!! なんと 1点！

波乱か？ 順当か？
その男の名は
アントニオ文朱！

▲ラジオ51・アントニオ文朱・100歳

塾長の寸評

「俺は久しぶりに怒っている。皆様、ここを週刊ゴングの『プロレスお絵かきリング』と間違えていませんか？ わ〜いわ〜い！ ぜ〜んぜん好きな絵がな〜い！ ってコラッ！ 俺は河口仁じゃねえんだぞ！ いいかよく聞け！ ここは単なる似顔絵コーナーとは趣の異なる『闘魂・五木田塾』だぞ！ やはり格闘技専門誌で五木田塾は無理なのか？ 企画倒れか？ と思わせる『あぶ木』系作風の嵐に俺はタップ寸前である。前から言ってるように、こちらもそれこそ腕一本、足一本、そーゆー覚悟で選出に挑むわけですから、投稿される方々も送るとこをよーく考えて頂きたいと思うわけであります。じゃなければ毎号該当者なし！ ⬇コーナー打ち切りだ！（廃塾）ということも考えざるを得ないッ！ あとは坂口社長に…じゃなくて、そんな参っちゃうほど退屈な作品の中でも唯一刺激的なのがあった！ それはやはり皆様ご存知スーパー常連野郎・アントニオ文朱のカレリン！ 最近、紙プロでも大々的にフューチャーされたが、やはりこの男の通算何枚描いたか調査したくなるほど恐ろしい作品生産能力による無意味な説得力&理解不能さは他の追随を許さぬ執念を感じる。このカレリンの絵を超拡大して500号のキャンバスにシルクスクリーンで刷って第58回サンパウロビエンナーレに招待作家として展示すれば話題になること間違いなし！ このまま狂ったように描きまくってくれ！ あとこれまた常連・中川くんのアミランも良かった。中川くんはもう投稿やめて迷わずプロのイラストレーターとしてやっていけるんじゃねえのか？ つーくらいいわゆる「イラスト」としてのセンス&技術がズバ抜けて完成されてる。でもここが重要なのだが、五木田塾的には2位なんだなこれが。まーとにかく選出に苦戦した第1回『闘魂・五木田塾』であったが、この俺様が河口仁にならぬような作品が届くことを願いつつ秋の夜長にしゅらしゅしゅしゅ。」

※そもそも『闘魂・五木田塾』は、クラッチのフリーペーパー『bock』の人気コーナーです。つまり、あっちのコーナーが元祖。でもまあ、こっちはズバリ言って本家というか。ンムフフフ。

格闘T-SHOT
AO/DCTシャツを着るアレク&ロード・ウォリアーズ！

■いままで文朱を嘲笑していたアナタ！ これが俺たちの視点だ！ 我々はすでに文朱を「ペールワンズ第４の男」として迎え入れる手はずを整えました！ 支度金はナシ！

「馳浩が『新日本プロレスは〝キング・オブ・スポーツ〟の看板を降ろせばいい』とは…。中西、永田、何か反応しろ。『SRS・DX』も取材拒否に負けず、突撃取材あるのみ。石澤退社には反対。石澤は新日プロの看板でリベンジを。中西、永田、セコンドにつけ。」（神奈川県横浜市・安藤譲・38歳）

◇いま『SRS・DX』読者の最大の関心事のひとつである、石澤問題。個人的には『プライド』で勝利⬇リング上で「新日本辞めま～す」って言うのがベスト。だって新日本代表つったって、誰も石澤をフォローしねえじゃんよ。冗談じゃねえや。かつてのここ一番でのUインターの団結力を見習え！ がんばれ、石澤！ 苦しみの中から立ち上がれ！

「背負ったものの大きさは分かるが、なぜターザンごときが石澤に『退社しろ！』などと言い切るのかが納得できない。こんなヤツがいる限り、プロレスは発展しないし、石澤はマスコミを拒否し続けるんだ。頼むから『プライド』⇕新日の交流というプロ格ファンの夢を壊さないでください＆アナタが辞めてください。」（神奈川県横須賀市・鈴木英美・26歳）

◇や、順番が違うんです。ターザン、アンタはいつでも責任被れるように、まずは入社しろ！

「石澤の声が伝わってこないので、いろいろ心配したりモヤモヤしてるんですが、プロレス雑誌がこんな大事な試合のことを、あまりにもアッサリやり過ごしてて腹立たしい。この試合がなかったことになったら、カシンつらすぎ!! 少し、スッキリしました。」（群馬県豊橋市・広田匡美・34歳）

◇ターザンに朗報。辞めなくてヨシ！ 当然、入社もしなくてヨシ！

「私もTV朝日には『?』って思った。辻さんの『あんなもんなの?』発言には呆れた。だからプロレスを良く知らない人達に『あれはショーだ』って言われるんだよ!! 総合はプロレスより技や極め方が地味かもしれないけど、闘う姿がすべてだと思う。石澤もあの環境ぢゃ大変そう。」（東京都中野区・日田幸世・24歳）

◇みなさん、前号の辻インタビューはいかがでしたか？ メチャクチャおもろかったよねー。え、怒ってる人いるの？ 怒ってもムダだよ。あのスタイルは完成されてるし、今日だってどこかで、「ヒャッホー」って言ってるんだよ。ボーイズはボーイズ、辻は辻だ！

「井上編酋長、ゴキータさん、聞いてくださいYO。読んでくださいYO。このたびなんとぉ！ 桜庭和志様のご子息・大世くん提供の、あのポルシェのオモチャが、このわたくしめに当たったんですYO。うれしいじゃありませんか？ 『たっつぁん万座ビーチ』をたまたま見ていた我が娘、礼夏（6歳・格闘家）が『これがいい』と言ったのがポルシェのカー。当選者一名だし、今までも何回か出して当たったことないし、ヘタすりゃ編集部でパクってんじゃないかとか（スンマソーン！）思っていたので、ウレシサのレッドゾーンです。ありがとうごぜえますだ♥ お宝お宝♥ 娘が公園に持って行って砂場で遊びたがっております…。大世くん、桜庭さん、わたくしめ、礼夏へと受け継がれたポルシェのカー、しかと受けとめたでござる。大事にいたします。」（東京都大田区・嗚呼いにしえのUインター☆チェンジ・?歳）

◇最近、飛躍的に売り上げを伸ばしているらしい『SRS・DX』（実際の数字は俺まで伝わらず）。それに伴い、毎回ハガキもゴキゲンに増えております。つまり「毎号出してるのに、一回も当たらない！」と憤慨されている人もいらっしゃると思いますが、こればっかりはしょうがねえんです！ 運です！ それでも懲りずに毎回ハガキを送ってくださいYO！ いつかかならず当たります！ 編集部でプレゼントは一品たりともパクってねえですから、ご安心を！

「さすが石井館長！ わかっとるやんけ。『雑誌というのは、ファンの声じゃなければダメですから』。オーケェイ！ 『SRS・DX』も『ワンフー・マクダニエル』巻頭カラー増ページ!! よく紙◯◯でやってる会場出口アンケートとしてやってください。」（静岡県藤枝市・横田カムパネルラ・32歳）

◇嫌だ！ 俺は人見知りが激しいんだ!! 以上！ サヨーナラ～。

▲埼玉県坂戸市・中川雅博・22歳

▲東京都小平市・やざま優作・28歳

▲埼玉県八潮市・小川徹・15歳

▲神奈川県川崎市・井上宏之・24歳

▲熊本県玉名郡・塩本祐介・34歳

■ゴキータに一矢報いたい人は『闘魂・五木田塾』宛に。それ以外は従来通り送ってきてください。塩本さんなんかは、このままの姿勢でゆけ！

『〇〇〇〇（⬆好きなタイトルを入れよう！）・後編』

東京都新宿区・うにょ〜ん・?歳

（前号までのあらすじ……前号参照）

そういうわけで、僕の目には、佐山聡という人は究極的なリアリティを持つキャラのファイターを作ろうとしているように見える。「目突きなら、六本木のボディガードの方が強いかもしれないし」とか、そういうのってプロレス的な感じがしませんか。どのような決着を望むかによって背負うものとしてのスタイルの最終的差異化ができればよいんである。

他流試合とは、差異化の実践であるし、「差異」とは個性と言えば安っぽいが、まあそんなところだろう。それはアティチュード・スタイルによって、表出するものであるが、それをもっとも形式的にしたものが「必殺技」だったのである。だからバーリ・トゥード渡来以前にルール上、もっとも個性の許容量の大きかったプロレスでは、必殺技は重要な位置を占めていた。リング上の二人が互いに自分の必殺技までのストーリーをいかに構築するかが「見もの」だったのである。

もちろん、オリジナルのフィニッシュ・ホールドさえあれば、自らのファイターとしてのアイデンティティーが確立されるという短絡的な方法論は、バーリ・トゥードの渡来により完全に崩壊した。バーリ・トゥードは、押し寄せるスタイルさえもふるいにかけるのである。持つべきものは必殺技ではなく「必殺の意志」だったのだ。

「本能」と「必殺の意志」を明瞭に分けるのは難しい。古代人が思い描いた強さに対するイメージは、すでに本能という無意識の衝動から独立し始めていたからである。強いという言葉すらその意味にズレを生じ始めていただろうし。強さならぬ凌駕のイメージを形式的にしたものが「型」なのであり、それは「超力」ならぬ「超技の軌跡」だったわけだが、それすらも「こんなふうに勝てたらいいな」という軟弱さを思わせるようになっている。

自らの体現するイメージをどこまでも信じられるから、ヒクソンは特別なのである。そしてそれがハッタリで止まっている者をどこまでもおちょくることができるから、桜庭もまた特別なのである。桜庭はイメージし続ける。その闘いの可能性を。

プロレスラーという主体性は、なくてもいいかもしれない。プロレスが真の意味で格闘技としてのシュートを超えたものなら、それはその闘う二人が作り出す空間自体に与えられるべき呼び名なのだ。

ＰＳ……書いてる途中、「今さら…」と思うことが多々ありましたが、まあ始めの方だけでも読んでもらえれば。それにしても『ＳＲＳ・ＤＸ』は誌面改革したほうがいいのでは。座談や総評はいいとしても、スカパー！のあるこの時代に他誌と変わらない「報告」をやってどうする。ゴング直前のハイアンの顔なんか、見開き1ページ、文字なしのほうがよっぽどインパクトがある。ちなみにコピーも考えてみました。『ハイアン・グレイシー、精密なる野生（鋭利なる本能）』『ＳＦファイター桜庭のゆるやかな放熱』『アントニオ猪木という救い、例えばそこに猪木がいるだけで』どうですか？

◇どーですか、お客さーん!? ここんとこ退屈で、読者ハガキを読むのが唯一の楽しみです。これ、ホント！ ■

相模原チグモン3歳（4コマ）

北の最終兵器行方不明

試合前 → 試合後。

▲東京都足立区・A.O.K.マシンガン・21歳

■お便り募集

『ワンフー・マクダニエル』では、読者の皆様からのお便りをお待ちしています。観戦記、イラストはロマンチックなものを、写真はコメントを添えて、その他なんでもお待ちしています。簡単なお便りは、『たつ万』の応募ハガキに書いてくれてもかまいません。

あて先は、
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F SRS・DX編集部
『ワンフー・マクダニエル』係

または、
■ワンフー編酋長新メール wanfu@rhodes.co.jp まで。

※なお、作品は一切返却しませんから

日本キック連盟
2000感動シリーズ
10.1★後楽園ホール

K−U生き残り組の無名・寺田伸城が王者・佐藤ツヨシを切り裂く

寺田の左ヒジによって、わずか101秒でTKO負けした佐藤は茫然自失。医務室で傷口を縫って控室に帰るまで、マウスピースを取ることも忘れていたほどだ

寺田のコメント

「（ヒジは）前に切って勝ったことがあったんで狙っていたんだが、今日のはたまたま。まぐれです。自分はどちらかというと見て闘うほうだが、会長の指示で最初からとばした。コンディションも完璧だった。将来的にはやっぱりタイトルにチャレンジしたい。タイ選手もいいが、ファンなので、立嶋篤史選手と闘いたい。無理でしょうけど」

◀佐藤は得意のパンチをヒットする前に、寺田の速攻を浴び、秒殺されてしまった

★第11試合/メインイベント（3分5R）
○寺田伸城（1R1分41秒、TKO勝ち）佐藤ツヨシ●
〈K-U/八王子FSG〉　〈ピコイ錦ジム〉
※佐藤が、寺田の左ヒジにより額をカット。出血多量のためレフェリーストップ

さすらいのキックボクサーたちに安息のリングはあるのか

▶バンタム級王者・田村健治もK−Uの若手、唐沢たくみの粘りにあって引き分け。ローキックで効かせながらも、田村の消極戦法が災いした

▶「無理だろうけど、立嶋篤史選手と闘いたい。ファンなんで」。勝者は静かに語った

▲ハイキックが鮮やかにヒット。佐藤はズルズルと後退し、追撃のパンチにさらされた

▲このヒジが全てを決めた。先手を取られた佐藤が反撃に移るところを、寺田に見透かされたように狙われた

とてつもない大番狂わせだ。チャンピオンがまったくの無名選手に、たったの1RでTKO負けする。それも幸運な一撃によるものではない。佐藤はいきなり右ストレートを浴びて腰が砕け、ハイキックでズルズルと後退し、最後はヒジ打ちで、額を割られたのだ。

佐藤としては、思いがけぬ先制攻撃に立ち後れてしまったのだろう。あたふたしているうちに、いつのまにか試合は終わっていた。

その結果は仕方がない。ただ、名前を聞いても一瞬「はて？」と戸惑うような選手が、チャンピオンを食い、さらに少なくともこの結末をもたらすまでの101秒の間は、完璧なパフォーマンスを見せたという事実に着目したい。日本のキック界には、まだこんな未知の素材が眠っているのだ。

寺田の所属するキック・ユニオンは、全日本キックから分裂した。その後、新たな理想は空中分解し、有志のジムの数々はさまざまな団体へと別れていった。現在はほとんど自主興行を行っていない。交流戦という形で、他団体のリングで闘うケースが多いのだ。そして団体は大手だけでも6つもある。つまり、小団体にいたら、力があってもチャンスが与えられないこともあるのだ。

11月、K−1による中量級大会の開催は、そんな烏合集団再編への外部からの訴えである。さまよえるキックボクサーたちに正当な評価を与えようと試みているのだ。

図らずも寺田の殊勲は、そうまでしなければ、まとまることのないキック界の現実を、はっきり認識させるものだ。　（宮崎）

女子総合格闘技大会が、2カ月連続で開催

寒い冬には熱いオンナの闘いが似合う L―1&ReMiXを見よ！

今年の冬は、闘うオンナたちが熱い！ プロの女子総合格闘技大会は、98年10月に第2回L―1が開催されて以降、2年間途絶えていたが、ここにきて、わずか2週間の間に2大会が行われることとなった。

まずは、11月22日（水）に代々木第二体育館で開催される、『L―1 2000』。第3回を迎えた今大会も、頭突きがOKなど、かなり規制の緩いルールは変わっていない。男子の大会でもないような過酷なルールが、L―1の特徴でもあるのだ。

今大会は、〝日本VS世界〟のワンマッチ形式で行われ、日本からは、神取忍、堀田祐美子、風間ルミ、熊谷直子、遠藤美月、高橋洋子が出場する。女子プロレス界の『ガチンコ要員』を数多く揃えたメンバーだ。外国人選手では、今年のシドニー五輪の女子柔道78キロ級で7位の成績を収めているブラジルのエドナンツ・ダ・シルバの出場が決定した。シルバは、アトランタ五輪でも優勝候補の阿武教子から、開始わずか30秒で一本勝ちを収めた強豪。一部マスコミでは、神取の相手との報道もあったが、対戦相手は現時点では未定だ。

過去のL―1では、グンダレンコ・スベトラーナやベッキー・レヴィなどの強豪が出場しているだけに、今回も外国人選手には注目だ。

そして、そのL―1の約2週間後の12月5日（火）には、日本武道館で、『ReMiX～WORLD CUP 2000～』が開催される。

頭突き、グラウンド状態における頭部への攻撃などが禁止され、L―1と比べると、〝優しい〟ルールになっているReMiX。

しかし、危険度が少ないからといって、刺激的な試合は望めないのかと言えば、それは違う。ReMiXは、試合がグラウンドにおける攻防となった場合、30秒でブレイクとなる「グラウンドブレイク」を採用。膠着が少なく、スタンドでバチバチに殴り合う展開が期待できるのだ。

ReMiXは、ワンマッチと8人参加のトーナメントが行われ、トーナメントの賞金総額は、なんと1200万円。これは、第1回のK―1GPとほぼ同額なのだから、この大会にかける主催者サイドの気合いの入り方が分かる。

このトーナメントには、L―1に参戦経験もあるベッキー・レヴィや〝ヒクソンの孫弟子〟エリン・トーヒル、ドン・フライが送り込むアメリカのテコンドー王者、イェレーナ・ビザレンコが参加。日本からは柔道出身の八木淳子などがエントリーしている。果たして優勝賞金の1000万円をゲットするのは、誰なのか？

そしてワンマッチには、それぞれ対戦相手は未定だが、プロレスラーの井上京子やグラビアアイドルの桜庭あつこ（マジ）、実力もルックスもピカ一のキックボクサー、バンビ・バートンチェロが登場。桜庭の相手には、シドニー五輪で田村亮子と決勝戦を争ったロシアのデュボス・ブロレトワが浮上している。

とにかく熱い闘いが期待できるL―1&ReMiX。どちらの大会がより盛り上がるのか？ という興味と同時に、未だ黎明期にある女子総合格闘技が、これをきっかけにひとつのジャンルとして確立されることにも期待したい。■

L-1 2000 THE STRONGEST LADY

11月22日（水） 東京・代々木第二体育館

◀女子キック界を代表する選手、熊谷直子も参戦。ルールはL―1ルールになるのか、キックルールになるのかは、まだ未定

▲バルセロナ五輪ベスト8の柔道家、グンダレンコとの過去2度にわたる激闘で、すっかり日本人女子を代表するバーリ・トゥーダーとなった神取忍。最近は掣圏道の佐山聡に弟子入りし、ロシアンフックもマスターしている。対戦相手は、果たして誰に？

▼全日本女子プロレスの堀田祐美子もL―1の常連選手。95年に行われた第1回大会のトーナメント1回戦では遠藤美月（LLPW）と対戦し、グラウンドで躊躇なく頭突きやパンチを入れまくった

〈日本代表決定選手〉

神取忍（LLPW）
風間ルミ（LLPW）
堀田祐美子（全日本女子プロレス）
熊谷直子（不動館/キックボクシング）
遠藤美月（LLPW）
高橋洋子（Jd'/総合格闘家）

〈世界代表選手〉

エドナンツ・ダ・シルバ（ブラジル）

ReMiX～WORLD CUP 2000～

12月5日（火） 東京・日本武道館

〈特別試合出場選手〉	〈無差別級トーナメント参加決定選手〉
井上京子（日本） vs X	ベッキー・レヴィ（アメリカ）
桜庭あつこ（日本） vs X	エリン・トーヒル（アメリカ）
バンビ・バートンチェロ（アメリカ） vs X	イェレーナ・ビザレンコ（アメリカ）
	フラワー・ホールドマン（オランダ）
	八木淳子（日本）

※トーナメントの組み合わせは、調整中

▶かつては〝オカマ・ムエタイ戦士〟ノントゥム・パリンヤーと対戦したこともある、プロレスラーの井上京子

▶シドニー五輪で金メダルに輝いた田村亮子とは帝京大で同期生の柔道家・八木淳子も参戦。全日本学生団体で優勝を果たしたこともある八木は、無差別級トーナメントに参加する

▶ReMiXと言えばこの人、桜庭あつこ。グラビアアイドルが本気になって総合格闘技に挑戦するのだ！

※この両大会のチケットに関するお問い合わせは、〈L-1〉LLPW☎03-3945-7326、〈ReMiX〉ReMiX実行委員会☎03-3263-6878（10:00～18:00）

SRS・DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

五輪敗戦でカレリン・ツアーは中止に

A やっとシドニー五輪が終わったけど、やっぱり五輪人気は凄かったね。これだけ多チャンネル時代になった今どき、地上波のテレビで視聴率50%以上稼ぐのは、やっぱりナショナリズムが見えるスポーツだけだよ。サッカーの日本VSアメリカや女子マラソンは特に凄かったからね。

B でも、我々が注目しなければならないのは、そうした五輪で活躍した格闘技の選手の誰がプロになるかということだよ。さっそく女子プロレスでは、LLPWの「L―1」で神取忍の相手として、女子柔道72キロ級ブラジル代表選手の獲得に成功した。あの阿部を破ったエドナンツ・ダ・シウバって選手だけど。また、女子総合格闘技大会の「ReMIX」は、特別試合に出場するセクシータレントの桜庭あつこの相手に、YAWARAちゃんと決勝を争った48キロ級銀メダリストのブロレトワ（ロシア）獲得に動いている。女子テコンドーで銅メダルを獲得した岡本依子にも出場依頼がいってるかもしれない。なにせ岡本はK―1のリングで、女王ルシア・ライカとも闘っているからね。

C 小川直也のように柔道界から大物が転向してくると面白いんですけどね。"幻の一本"で銀メダルになった篠原信一は、現役時代に小川に勝ってるし、金メダルの井上康生、腕を脱臼した悲運の吉田秀彦もプロに転向したら、凄い騒ぎになるでしょう。『プライド』に出てほしいんだけどなぁ。

A あと、体は小さいんだけど、レスリング・グレコローマン69キロ級で銀メダルを獲った永田克彦は、兄・裕志が新日本プロレスの人気選手ということで、一般マスコミでは早くも「プロでどこまで通用するか」という企画まで組んでいた。本人も大のプロレスファンらしいしね。

B それとやっぱりカレリンだよ。そのカレリンだけど、前人未踏の五輪4連覇を逃したことで、本人は相当ショックを受けており、ロシアの地元に引っ込んでしまったらしい。あそこで勝てば、会場に駆けつけたサマランチ会長からIOCの特別表彰を受ける他、レスリング協会やロシア政府からも表彰される予定だったので、本人は落ち込んだらしいよ。それで、前号の本誌でも紹介した「カレリン・ツアー」も無期延期となり、今のところ見通しが立っていない。

A えっ!? そうなると藤田VSカレリン、大塚VSカレリンの夢のスパーリングも中止ってこと?

B 残念ながらそうなんだよ。本人が今後の方向性を決めたら、またツアーが組まれるかもしれないけど、もし新しい情報が入ったら本誌でもお伝えしよう!

A なるほど。でも、五輪の視聴率から、一気に話題をテレビに変えると、この10月の地上波の改編で、驚くことに深夜で毎日、プロレス・格闘技番組が見られるようになった。表にまとめたんだけど、これは画期的なことだよ。

C 日テレの『コロッセオ』の継続が決まり、テレ東がプロレスまで幅を広げて『Gパラダイス・コロシアム』を新たにスタートさせた。そこにフジの『SRS』が金曜深夜に時間を移動したことで、これは本当に偶然、毎日見られるようになったんだよ。やっぱりプロレス・格闘技の時代なんだねぇ。

C 衛星放送も新しい動きがどんどん起こってますよ。リングスのWOWOWは変わらないけど、GAORAのパンクラスが「スカイA」に移った。そのGAORAでは、新しく全日本プロレスがスタートしましたからね。新日本も「Jスカイスポーツ」で流れるようになったし、「スカイスポーツ」ではWWFもやっている。そこに「サムライ!」チャンネルもあるから、これはもうしっかりチェックしないとわけが分からなくなりますよ。

B あとは、東海地方でしか見られないけど、東海テレビの『プレ・プライド』は画期的な試み。もし人気が出たら、どんどん他の地方局にも番組販売していくそうだから、がんばってほしいね。■

10月改編期による地上波格闘技番組早見表

曜日	番組名	放送局	時間帯	内容
月	超K-1宣言	日テレ	25:45~26:15	K-1ジャパン情報番組
火	PRE-PRIDE	東海	24:40~25:10	PRIDE育成番組
水	Gパラダイス・コロシアム	テレ東	23:55~24:35	プロレス・格闘技情報番組
木	コロッセオ	日テレ	26:25~26:55	プロレス情報番組
金	SRS	フジ	25:45~26:15	格闘技情報番組
土	ワールドプロレスリング	テレ朝	26:05~27:05	新日本プロレス中継
日	格闘女神アテナ	フジ	不定期	全日本女子プロレス中継

◎ちょうどサッカーの「日本VSアメリカ」や女子マラソンが行われているオリンピックの真っ只中、私は極真の「アメリカズ・カップ」の取材のため、ニューヨークにいた。そこで驚いたのは、猪木さんも成田会見で言っていたが、アメリカではテレビでオリンピックをほとんどやっていなかったことだ。世界一メダルを獲得している国なのに、日本のようなドンチャン騒ぎはまったくしていない。むしろ、NBAやNFL、WWFのほうがよっぽどテレビで流れているのである。聞くところによると、今回のシドニー五輪は、NBC（4チャンネル）が独占で放映権を獲得し、スポンサーを集めてゴールデンタイムから深夜12時くらいまで放送。しかし、スポンサーには、平均16%の視聴率を稼ぐと見込んでセールスしていたのだが、13%にしか達していないというのだ。それほど、アメリカではオリンピックが盛り上がっていないのである。その一番の理由は、アメリカとオーストラリアの時差によるものだと関係者は言っていた。NBCのゴールデンタイムで流れている映像は、全て録画中継。やはり、スポーツというのは、結果が分からないライブで見なければ面白くないというのが、アメリカ人の感覚なのである。日本人のように、眠い目をこすりながら、明け方から見るほどのものでもない、とも考えている。そういう特殊な人は、テレビよりもインターネットで楽しんでいるそうだ。そう考えると、オリンピックが大国アメリカで盛り上がるためには、アメリカとは時差のない国で開催したほうが得。これじゃあ大阪オリンピックはないなぁ。（谷川）

SRS・DX
次号の発売日は10月26日(木)です。
発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su・plex、広滝大輔、岩村唯是

さまよえるキック界、激震！
どうなるK−1中量級大会

キック界
激震！

K−1中量級大会は、さまよえるキックボクサーの輝ける場となるか？

魔裟斗
MASATO

小比類巻貴之
TAKAYUKI KOHIRUIMAKI

前田憲作
KENSAKU MAEDA

大野 崇
TAKASHI OHNO

新田明臣
AKEOMI NITTA

こんなイカしたヤツらが埋もれているのはもったいない

文◎谷川貞治

キック界の一本化？　それじゃあまだ甘い　どうせならキックの枠を越えた闘いが見たい！

11月1日、後楽園ホールで、K―1にとっては、「ワールドGP」「ジャパンGP」に続く第3のソフト「K―1中量級大会」がいよいよスタートする。立ち技のプロといえば、K―1が有名だが、これまでチャンスはヘビー級にしか与えられなかった。そうなると、キックボクサーになるしかないのだが、そのキック界は多団体に分裂。果たして、K―1中量級大会はそんな現状を打破できるか？

《キック界・離合集散の相関図》

…分裂、独立　…脱退　…合流

新日本キック協会
※日本キック協会の名称で1996年3月に旗揚げ

アジア太平洋キック（APKF）
※1998年3月に独立

MAキック

ニュージャパンキック
※1996年10月に旗揚げ

シュートボクシング

キック・ユニオン（K―U）
※1998年7月に旗揚げ

全日本キック

J―NETWORK
※1996年10月に旗揚げ

魔裟斗
※2000年1月にフリー宣言

前田憲作
※1999年7月に脱退

参戦

11・1K―1中量級大会

シルバーウルフ
※2000年7月に旗揚げ

チーム・ドラゴン

日本キック連盟

柳澤龍志
※2000年6月に退団

小比類巻貴之
※1999年8月に脱退

パンクラス

世界中の立ち技ヘビー級格闘技を〝統一〟し、2年前から本格的に日本人のヘビー級育成を図ってきたK―1が、競技としての最終段階として、遂に中量級に進出する。それが、11・1「K―1中量級大会」だ。

格闘技の中でも、ここ数年はプロになろうと思ったら、K―1ジャパンという目標ができた。

しかし、それでも中量級以下は、金泰泳のような正道会館所属選手以外は、なかなかチャンスが巡ってこない。

K―1でも95年にミドル級を対象としたK―3GP、97年のK―1ジャパン・フェザー級GPがちゃんと行われているのだが、いかんせん単発だったし、ファンの注目はまだまだヘビー級にあった。

そのため、中量級以下で立ち技のプロになろうと思ったら、当然キックボクシングに進む。ところが、そのキック界がまた、世間から見たら非常に分かりにくい状況になっているのだ。

キックが完全にK―1に遅れをとったのは、同じ競技でありながら、いくつも団体が分裂しているからである。

もともとキック界は、沢村忠の全盛時代に各テレビ局が団体を作ってしまったため、スタート時から多団体時代がずっと続いている。そういう歴史的な背景もあるのだが、年々組織が細分化され、一向に一つにまとまる気配がない。

そうなると、せっかくプロをめざしてキックのジムに入っても、選手はすぐに層の薄さに気付く。せっかく、強さを追求していっても、同じ階級の日本チャンピオンが他団体に何人もいるから、選手は価値観に自信が持てない状況だ。

しかも、世界のキックタイトルもまったく同じ状態。○○世界チャンピオンと言っても、専門マスコミでさえ、その実体を把握していないのが正直なところである。

そうなると、選手としては肩書きよりも、ファンが〝強い〟と思うスター選手と闘っていくか、本場ムエタイのチャンピオンをめざすしかない。その意味では、キックボクサーというのは、限りなく不幸な環境にいると言ってもいいだろう。

しかし、プロがファンに支えられて成り立っている世界だとすれば、それが改善されない限り、いつまでたってもキックのメジャー化は有り得ない。部外者から見れば、本当にキック界はいくつ団体があって、誰が一番強いのか、まったく分からないからブレイクするはずがないのだ。

同じような多団体の状況は、プロレスでも見られるが、まだプロレスの場合はスタイルの違いや主義主張がなんとなく違うんだということが分かる。ところが、キック界の分裂は、ほとんどトップ同士の対立で、何が理由でこれほど団体が分かれているのかファンには理解不能。せめて、ルールやポリシーの違いがあればいいのだが、それさえ見えてこない。

そうしたキック界の中で、ここ数年、

新たな現象が起こっている。それは、選手の側から団体に〝ＮＯ！〟を言って、プロダクションを作り始めたことである。

その代表が、前田憲作率いるチーム・ドラゴンであり、魔裟斗のシルバーウルフだ。

彼らはもう母体となる団体（連盟・協会）は必要ないと考えている。それに頼っていても、ほとんどメリットがないと自分たちでチームを作り、外に飛び出した。彼らにとっては、練習する場所と、より良い条件で使ってくれるプロモーターがいればいい。つまり、選手の側から団体を否定するところまでキック界は来ているのである。

その意味で、彼らは団体に所属しない〝さまよえるキックボクサー〟と言ってもいいだろう。

しかも、この〝さまよえるキックボクサー〟は、ほとんどが各団体のエースとなりうるスター選手が行動を起こしているところが面白い。

前田憲作をはじめ、小比類巻貴之、魔裟斗、村浜武洋、そしてボクシングに転向した土屋ジョーもその一人だろう。

せめて、キック界が2つくらいの団体で対立していればまだいいが、7つも8つも分かれているから、既存のキック団体と関係ない誰かが、もっといい環境を作ることを期待するしかない。彼らは自分たちで団体を作ろうというよりも、そんな環境を望んでいるのではないだろうか。

その中で誕生するＫ―1の中量級大会は、キックボクサーにとって、非常に魅力的な大会と言える。そのため、石井館長がその構想を発表して以来、既存のキック団体も、キックボクサーもかなり動揺しているという。

Ｋ―1には、「Ｋ―1」というブランドだけでマスコミやファンが注目するし、テレビ局のバックアップも保証されている。ファイトマネーといった環境も、当然いいはずだ。

しかも、その第一弾となる11・1は、後楽園ホールでありながら、ムエタイの王者となったムラッド・サリやムエタイの9冠王チャモアペット、欧州の帝王ラモン・デッカーに、世界王者のアレックス・ゴングと、これ以上ないくらいの大物が対戦相手としてそれぞれ用意された。

▶立ち技で桜庭VSホイスのような「時間無制限ラウンド」の試合はできないのか？

▶魔裟斗は、すでに六本木のディスコ・ヴェルファーレを会場にした新しいイベントを行っている

立ち技初の時間無制限一本勝負、ヒジ打ち有りの決闘なんてのも面白い

選手としては、当然燃えてくるし、こんなにおいしい話はない。団体も選手も動揺しないわけがないだろう。また、石井館長ならば、後楽園ホール大会を皮切りに猛烈なスピードで、中量級をメジャー化することは可能。要は、石井館長がどれだけ中量級に魅力を感じ、やる気になるか次第である。

ここでハッキリしてきたことは、そういう状況で、団体や選手がこの中量級大会とどうかかわっていくかということだ。完全にこれを拒否するのか、それとも全面的にかかわるのか。これは、まさしくキック界にとっての黒船と言っていいだろう。黒船が港までやって来て、キック界がどう対処していくかは見ものである。

しかし、とはいっても、こうした新たな局面も、世間にはまだまだ届かない話かもしれない。格闘技界全体から見ても、総合系のプロレスファンなどは「Ｋ―1はよく見るけど、キックのことまでは分からないし興味がない」と思っているファンは多いはずだ。正直言って、キックの分裂なんて、どうでもいい話である。

だったら石井館長、キック界を変えることよりも、彼ら総合系のファンまで振り向かせる大胆なことをしませんか？

たとえば、中量級は判定が多くなりそうだから、ここぞという大一番で、桜庭VSホイス戦のような「時間無制限ラウンド」の決闘を、立ち技でもやってみるとか。選手の主張によって、頭突き、ヒジ打ちを入れるとか、投げも認めるとか、そんな様々な実験をやってもいいんじゃないだろうか。

逆に、グレイシーのように、選手の側から「おまえとやるなら、時間無制限の完全決着戦をやろう！」という声が出てきたら面白い。

もちろん、これらのことは、「Ｋ―1ワールドＧＰ」でやるのは不可能。ヘビー級の世界では、もはやそれだけ競技が確立していて、ルール自体を大幅に変えることはナンセンスだからである。

しかし、競技というのは、逆に確立すればするほどスポーツ化してしまい、格闘技性が希薄になっていく。本来は決闘であるはずのものが、スポーツとなり、ルールの中だけで勝つというゲームになっていくからだ。空手や柔道といえども、今やルールの中での強さを競うものになっている。

しかし、ファンはどこかで生の喧嘩の迫力を、プロ格闘技に求めている。ならばＫ―1ジャパンこそ、絶好の実験の場となるんじゃないだろうか。そこまでいったら、より幅広くファンに届くはずである。

そういった発想は、競技にどっぷりとつかっている者からはまず出てこない。逆に、オリンピックのグレコローマンやテコンドーを見て、もう少しこうしたらいいんじゃないかという発想が出てきた感覚を思い出してほしい。

そこまでいったら、Ｋ―1中量級大会はより大きな渦を巻き起こせる。中量級の日本人は、ヘビー級以上にツブが揃っている。これは、大きなチャンスとも言えるのだ。■

「K−1、中量級に進出」の波紋。揺れ動くキック界で、彼らは何を思う……？

さまよえるキックボクサーたちの咆吼！

「K−1が中量級大会を開催」！ 今年7月に発表されたこのプランは、概要が正式に決定しないうちから、キック界に大きな話題と波紋を投げかけた。団体が離合集散を繰り返す中、輝ける舞台を求めてさまようキックボクサーたちは、この大会をどう捉えているのか？ 出場選手に限らず、各団体の中心選手に話を聞いた。

取材・構成◎橋本宗洋

伊藤隆

〈MAキック／WMAF世界Sウェルター級王者〉

最初から出るつもりだった。大きな舞台で可能性を試したい

自分はもう、最初から出るつもりでした。他団体のリングに上がるのは初めてだし、自分の可能性を試してみたかったんですよ。K—1っていう大きな舞台で、自分の存在をアピールしたいっていう。相手はまだ決まってないですけど、強い選手になると思います。その辺も楽しみのひとつですね。MAキックの代表とか、キックの代表としての責任感は、もちろんないわけじゃないです。日本VS外国勢っていう形なんで、ナメられたくないっていうのもあるし。でもそれより重要なのは自分自身の燃焼感ですね。自分を出し切れれば、いい結果も出ると思います。それだけの経験を積んできたっていう自負もあるし、それを証明するためにも、いい試合をしたいです。K—1ルールはヒジなしになりますけど、気持ちの切り替えはできてます。ヒジを出す感覚で、ちょっと角度を変えてフックとして打てば。とにかくいい試合をして勝って、自分の名前を売りたいですね。■

新田明臣

〈全日本キック／WKA世界ムエタイSウェルター級王者、全日本ミドル級王者〉

僕が活躍して、全日本キックにお客さんを呼んできますよ

ラモン・デッカー戦が決まりました、ハイ。嬉しいですね。ずっとこの大会には出たかったですし、この前の試合（9・13後楽園ホール）も石井館長が来てたんで、アピールしようっていう気もありましたし。そういう時に限って負けちゃったんですけどね（笑）。K—1中量級っていう、これから大きくなっていくイベントの最初の大会に自分が参加できるのは凄く名誉なことだと思ってます。相手はデッカーっていうこともあって、怖いけど余計に気合いが入りますね。なんだかんだ言っても、デッカーをキッチリ倒して勝った日本人っていないじゃないですか。歴史に残るキックボクサーで、強さの象徴みたいな感じがありますから。正直、できるとさえ思ってなかったんで。全日本キックの代表っていうプレッシャーは、なくはないですけど、常に前向きに、いい意味で捉えるようにしてます。僕が活躍して、全日本キックのリングにお客さんを呼んできたいです。■

緒形健一

〈シュートボクシング／JSBAファルコン級王者〉

中量級、SB、日の丸……全部背負って出場します！

やるって聞いた時から「出たいな」とは思ってました。僕の場合は、出る意味合いがキックボクサーとは違いますよね。ウチは〝K〟じゃなくて〝S〟なんで（笑）。それでも、とにかく強さだけはしっかりとアピールしたいです。そう何回もあることじゃないんで、僕自身、最後のチャンスだと思ってます。いつもどおり、思いっきり打ち合いにいきます。TVで僕たちの闘いがどう見えるのかは分からないけど、気迫だけは伝わるように。今は格闘技界にいい選手が多いですけど、みんな技術先行っていう感じがするんですよ。技術だけの試合と、気持ちが伝わる試合って全然違うじゃないですか。辰吉選手がいい例だと思うんですけど、僕もそういう試合がしたいんです。もう、いろんなプレッシャーを全部背負って勝負しますよ。自分のことだけじゃなく、中量級もSBも。オリンピックも終わったことだし、日の丸までガッチリ背負って出ていきます。■

一番意気込んでるのは、キックボクサーじゃなく、僕でしょう

〈正道会館／ISKA世界ミドル級王者〉

大野崇

対戦相手はまだ決まってないんですけど、希望としては金先輩が負けたイワン・ヒポリットがいいですね。それに勝てば、間接的ですけど〝金泰泳越え〟になるじゃないですか。やっぱり偉大な先輩ですからね、意識してます。それに、あんまり弱いのとやってもしょうがない。僕ももう歳なんで（笑）、時間のムダ使いをしたくないんですよ。キックボクサーの人たちが燃えてるみたいですけど、たぶん僕が一番、意気込んでると思います。僕がいつもK―1に出てるっていっても、フレッシュマンファイトとかで、ちゃんとした扱いじゃないでしょう。それなのに、外国から新人が来て、ただヘビー級だからっていうだけで上のほうでやってる。「冗談じゃない！」っていう思いがありますよ、やっぱり。それにキックの人たちにも、ライバル心はあります。はっきり言って〝外敵〟だと思ってますから。もちろん、仲はいいし、いい意味でですけど。K―1っていうのは、正道会館が中心になってやってるイベントなんです。そういう意味で、正道カラテ出身で今はK―1に出てる僕が、一番にならなきゃいけない。普段キックをやってて、K―1で中量級の大会があるからってすぐに「出たい」とか言われても…。僕には本家のメンツがありますから、負けたくないですね。あと、僕は生前、アンディに凄く可愛がってもらったんですよ。僕も同じ、空手出身のK―1ファイターとして、少しでもアンディの域に近づけたらいいなと思います。■

フレッシュマンを見てない人にも自分の存在を知らしめたい！

〈正道会館〉

大宮司進

最初は、僕は出ないもんだとばっかり思ってたんですよ。中量級の大会なんで。僕はフェザー級だから軽量級のカテゴリーじゃないですか。でも真っ先に出場が決まって。もちろん、嬉しかったですよ。なにしろ相手はチャモアペットだし。前から好きな選手だったんですよ。ビデオとかを見て、自分の動きの参考にもしてたくらいですから。それに、僕が生まれた頃にタイのチャンピオンだった選手じゃないですか。そういう伝説みたいな人とやれるっていうのは、凄く光栄です。しかも今でもメチャクチャ強いですし。今年（3月）も、前田さんが負けてしまったじゃないですか。あれもビックリしましたよね。僕、あの大会の前に前田さんと一緒に練習してたんですよ。だから前田さんがどれだけ気合いが入ってたか、どれだけシンドい練習してたかって、よく知ってるんです。それなのにチャモアペットは勝っちゃいましたからねぇ、しかもダウンまで奪って。そういう意味でも、凄くやりがいのある相手ですね。それと、こういう大会そのものっていうのも、僕たちにとっては大きいチャンスだと思ってます。全日本キックとかシルバーウルフの大会に出させてもらったこともありますけど、今までは、K―1だとフレッシュマンファイトばっかりだったじゃないですか。そうすると見てないお客さんもたくさんいたと思うんです。今回は、その鬱憤を晴らすっていうんじゃないですけど、僕の存在を知らしめたいですね。■

〈チーム・ドラゴン〉

小比類巻貴之

K-1で培ったプロ意識をこの大会にぶつけます！

やっとこの時が来たかっていう感じです。今年1年、ずっとK―1でヘビー級の選手に交じって『中量級の良さをアピールしよう』と思ってやってきたんですけど、それが認められたのかなって。相手のアレックス・ゴングは、ビデオを見たら完璧なムエタイ・スタイルの選手でしたね。蹴りが凄く速くて、パンチも得意みたいです。今回は中量級だけの大会なんで、余計にその面白さを伝えたいですね。長崎でデッカーとやった時なんですけど、僕が蹴りを出したら凄く盛り上がったんですよ。そこで手応えは掴めました。ひとつ一つの技は、ヘビー級に決して負けてないと思うんですよ。デッカーに勝てたってこと自体も、凄く自信につながりましたし。それと、K―1に出ていたことで〝プロらしさ〟ってことも学びました。前田さんっていう本当にプロ意識の高い人と一緒にやってきたのも大きいと思うんですけど、キックの団体に所属していた頃とは全然、違いますね。あの大会場で、後ろのほうのお客さんに届くような試合を見せなきゃいけなかったわけですし。今年1年、相当プロ意識は磨かれたと思ってますから、それをこの大会でぶつけたいですね。■

〈大阪プロレス／97K—1ジャパンフェザー級GP優勝〉

村浜武洋

本当の世界クラスは金泰泳と僕くらいでしょ

僕も出る資格はあるんやないですか？ 他の選手よりよっぽど知名度もあるし。変な試合をしない自信はありますよ。大阪プロレス所属ですけど、格闘家としてはフリーですからね。貧乏ヒマなしなんで、どんどん稼がな（笑）。松坂がオリンピックが終わって、すぐに日本で投げたみたいに、僕も格闘技の試合に出て、またすぐに大阪プロレスに戻っていくと。そういう仕事をキッチリできるのが、本当のプロってもんですわ。特にK—1は最高峰の舞台やしね。ギャラも魅力的やし。大きな舞台で目立てるのもいいけど、だからって「ギャラは300円」って言われたらみんな出ないでしょ、正直（笑）。日本人対決？ イケると思いますよ、僕も。だって日本で本当に世界レベルの選手っていったら、金泰泳と村浜武洋くらいやないですか（笑）。■

〈チーム・ドラゴン〉

前田憲作

世界の強豪に、日本人がどこまでやれるか楽しみ

僕は、前から「K—1で中量級、軽量級を活性化したい」って言ってたじゃないですか。その願いがいよいよホンモノになってきて、ホントに嬉しいです。今後は日本人同士の対決も増えてくるでしょうけど、今回は世界の強豪を集めて、それに日本人がどう闘っていくかっていうことがテーマになると思います。特にヨーロッパの中量級は、もしかしたらヘビー級以上に層が厚いし、実力も凄いですからね。そういう選手たちと闘っていくことで、どんどん軽いクラスの魅力がアピールできると思います。これからは中量級の時代が来るんじゃないですか。今回、出場する選手の中では、将来性っていう意味でコヒ（小比類巻）と大野君が楽しみです。あと、日本ではトップクラスの魔裟斗のパンチが世界でどれだけ通用するか、興味があります。■

〈新日本キック／日本ウェルター級王者、ラジャダムナンスタジアム・ウェルター級3位〉

武田幸三

自分も凄く興味があります ただ、やり残した仕事があるんで

自分も、こういう大会には凄く興味があります。面白そうだし、お客さんも喜んでくれると思います。「自分も出てみたい」っていう意識も、当然ないわけじゃないです。ただ、自分には一つやり残した大きい仕事があるんでね（ラジャダムナンスタジアムのタイトル奪取）。それをやり遂げるまでは、他の道には進めませんから。考えるのはそれからですね。ゆくゆくは日本人対決もあるんですよね？ 誰が一番かを決めるっていう。それが、お客さんの一番、見たい企画だと思いますよ。それにK—1ですから、マスコミにしてもファンにしても、普段より注目度は高くなりますよね。出場する人たちにとっても、TVで放送するわけだし、存在をアピールするいいチャンスですよね。キックボクサーの強さと面白さを示してほしいです。■

〈全日本キック／WKA世界ムエタイライト級王者〉

小林聡

俺は久しぶりに怒っている K-1、K-1って言うなよ、恥ずかしい！

俺は久しぶりに怒っている！ みんなK—1、K—1って言うなよ、恥ずかしい。ちょっとはキックボクサーとしてのプライドを持てって。キックにはキックの歴史ってモンがあるのに、ちょっとオイシイのがあると食いついて。沢村忠に失礼でしょう！ キック団体がだらしないから、こういうふうになっちゃうんだよなぁ。普段、自分がやってることに魅力がないってことでしょ。俺は絶対に出ない。K—1でならいい選手とやれるのかもしれないけど、俺は全日本キックでもそれをやってみせるから。要は自分にそれだけの実力と魅力があればいいんだね。まあ緒形選手だけは応援するけど。彼はK—1でもSBの競技性をアピールしようとしてるから。でも他の連中は、ただ目立ちたいだけ。みんなミネラル不足だね。豆腐パン食わないと。■

土井広之

〈シュートボクシング／JSBAシーガル級王者〉

大会が軌道に乗ったら、オイシイとこをいただきます（笑）

興味なし、以上（笑）！　今はアレなんですよ、自分のこと（SBの試合）で精一杯っていうかね。ウチの若い連中が、他団体のリングに上がって腕と度胸を磨いてくるのはいいことだと思うんですけどね。実際、僕もそうやって経験を積んできたし。今回はオガケンに任せます。僕はまあ、中量級大会が軌道に乗った後で、チョロっと出ていこうかなと（笑）。みんなが頑張ってるのは知ってますから、K—1に出て有名になってほしいですね。いい意味で利用すればいいんじゃないかと思う。で、僕は最後に一番オイシイところをもらう、と（笑）。それにね、「どうしてもコイツと闘いたい」っていう相手がいないんですよ。試合を見てても「やったら勝てるな」って思うから。それより今はSBの試合を中心にしていかないとね。■

小野瀬邦英

〈日本キック連盟／トップ・オブ・ウェルターリーグ優勝〉

有名になりたいなら、悪いこととして新聞に載れば？

僕はまあ…ねぇ（笑）。K—1はK—1っていう一つの競技であって、純粋なキックとは違うと思ってるんでね。僕がやってるのはキックボクシングであって。お客さんからお金をもらって闘う以上は100％の力を出さないと失礼じゃないですか。僕の場合は、K—1だと60〜70％の力しか出せないんです。やっぱり、ヒジがないですから。僕にとってヒジがあるかどうかっていうのは、顔面パンチがあるかないかと同じくらいの大きな差なんですよ。それで勝とうが負けようが、結局、納得できないような気がするんですよね。大きい舞台で名前を売るっていうのも…。悪いこととして新聞に載ったほうが早いでしょ（笑）。それより大事なのは自分の充実感ですからね。もちろん、僕以外の選手が出るのは全然構わないし、頑張ってほしいと思いますけど。■

後藤龍治

〈MAキック／MA日本ウェルター級王者〉

神様が「休め」って言ってるんですかねぇ

いや〜、こんな大事な時期にケガをしてしまいまして。神様が「今は休め」って言ってるんですかねぇ。正直、出たかったですわ。こんなに目立てるチャンスはないですからね。他の選手はムエタイスタイルが多いでしょ？　だからボクのスタイルが際立つんやないかと思ってたし。まあ、次回以降に出ることにします。今回、出る人たちには、あんまりショボイ試合して「中量級ってこんなもんか」って言われないようにしてほしいッスね（笑）。■

松浦信次

〈ニュージャパンキック〉

この大会で、各団体のランク付けがされると思う

声がかかったら僕もぜひ出たい大会ですね。この大会で、いろんなものが証明されると思うんですよ。誰がホンモノで、誰がホンモノじゃないか。試合内容を比べられて、団体のランク付けがされるんじゃないですか。選手個人だけじゃなく、他の階級とか、団体そのもののレベルが見られちゃうような気がします。それにキック界全体のレベルも、一般の注目の中で計られるでしょうね。そういう意味でも、やりがいがあると思う。■

増田博正

〈J−NETWORK／J−NETフェザー級王者〉

キックをどんどんアピールしてほしい。チャンスがあれば僕も…

いいですねぇ。いい企画だと思います。やっぱりK—1って、マニアじゃない、一般の人たちに知名度がありますからね。そこでキックをどんどんアピールしていきたいですよね。チャンスがあったらぜひ出てみたいです。やってみたいのは前田（憲作）選手ですね。世界タイトルも持ってますし、人気的にも実力的にも申し分ない。他にも日本VSタイとか日本VSヨーロッパとか、面白い試合がたくさんできそうで楽しみです。■

K－1中量級の主役候補、魔裟斗に訊く

みんなオレのことナメてると思うけど…誰とやっても負けない自信がある！

撮影◎中島ミノル
聞き手◎橋本宗洋

▲トレーナーのヌアトラニーが持つミットに、思いきり蹴りを叩き込む魔裟斗。これまで常に人気・話題が先行してきた魔裟斗にとって、サリ戦は実力を証明するまたとないチャンスだ

11・1K－1中量級大会で、魔裟斗VSムラッド・サリという注目の一戦が決定した。サリといえば、かつてはルンピニースタジアムのJrウェルター級王者にもなった世界でもトップ中のトップ選手だが……。パンクラス東京道場でトレーニングに励む魔裟斗に、その意気込みを聞いた。

――いよいよ、K－1参戦が決まりました。キックボクサーにとっては待ちに待った大会だと思うんですけど。

魔裟斗　そうですね、いい舞台です。なんて言ってもTVがつくんで、やりがいがありますね。

――TVっていうのは大きいですよね。

魔裟斗　大きいッスねぇ。アピールっていう意味では、TVが一番、たくさんの人に届くと思うんで。

――K－1っていうといろんな意味合いがあると思うんですよ。有名だし、ギャラもいいだろうし（笑）。

魔裟斗　そうですね（笑）。あと、いい外国人選手と当ててもらいやすいとか。その中でも、「TVで目立つ。メジャーになる」っていう意味合いが大きいわけですね。

魔裟斗　例えば同じ世界チャンピオンでも、ボクシングとキックじゃ知名度が全然違うじゃないですか。それが悔しいっていうか。

――ボクシングに限らず、サッカーや野球とか、他のプロスポーツと比べてっていう。

魔裟斗　下に見られるのはイヤですね。僕だって、他のスポーツの人たちと同じくらいキツいことやってるんで。

――それだけのことをやってる自信はあると。

魔裟斗　あります、それは。それに見合うくらいに有名になりたいし、有名になればお金も違ってくるだろうし。他のスポーツ選手に負けたくないんスよね。

――その意味でも、まず知名度を上げたいですよね。

魔裟斗　まぁ、弱かったら人気も出ませんけどね（笑）。

――ヴェルファーレでやったシルバーウルフの大会が話題になったり、『超K－1宣言』に出たりしましたけど、その辺の反応はどうですか？

魔裟斗　やっぱり前とは違いますよね。同じことやってても、何も変わらないし。最初はいろいろ周りに言われるけど、それが成功すればね、文句も言えなくなるんじゃないですか。

――外野の声っていうのは結構……。

魔裟斗　直で言われたわけじゃないけど、人づてにいろいろと。でも全然気にしてないッスよ。

――逆に魔裟斗選手は、後楽園ホールとかでやってる、普段のキックの興行に対して、どんなイメージがありますか？

魔裟斗　自分がやってる時は、何にも感じなかったんですよ。でも一回、外に出てファンの立場で見てみると「あぁ、凄く小っちゃい世界だな」って思ったんですよ。

――あぁ～……。

魔裟斗　一つのジャンルの中で、いろんな団体がチョコチョコ動いてるって感じだから。

――自分がその中のスターであるうちは良かったですけど、外から見るとやっぱりそうですか。なにしろ東京ドームで試

もしれないですね（笑）。サリの試合は

魔裟斗　それに、今は絶対に負けない自

合をしたんですもんね。

魔裟斗　いや、ドームはそんなに印象が残ってないんですけど……。逆に緊張するのは後楽園（ホール）ですよ。

――それはどうして？

魔裟斗　なんででしょうねぇ。東京ドームでは全然緊張しなかったし、タイのリングでも緊張しなかったんですよ。ヴェルファーレなんて楽しくてしょうがなかった（笑）。試合に慣れてきたっていうのもあるかもしれないですけど。

――今回のK―1は、久しぶりの後楽園ですよね。

魔裟斗　そこでどうなるか。そういう面でも楽しみですね。

――K―1に対しては、どういうイメージですか？

魔裟斗　やっぱりヘビー級っていう感じですか。でも、ホントはこういうことをシルバーウルフでやりたいんですよね。TVとかのマスコミが注目する大会を。

――K―1に出るからっていうんじゃなしに、『シルバーウルフの魔裟斗』として有名になりたいというか。

魔裟斗　そうですね。そのためにも、今回のK―1をステップにしたいっていうのはあります。相手も有名な選手だし。

――ムラッド・サリですからねぇ。

魔裟斗　なんかフランスのTVの『カナル・プリュス』でしたっけ？　そこでも放送するみたいで。

――じゃあフランスでも有名になれるかもしれないですね（笑）。サリの試合は見たことありますか？

魔裟斗　生ではないですけど、ビデオで。変則的だけど、凄いファイタータイプの選手だと思いました。オレとやったらかみ合いそうですよね。前から「やりたいな～」とは思ってたんですよ。「お客さんも面白いだろうな」って。そしたら決まったんですよ。

――へぇ～。一度はルンピニーのベルトを巻いた男ですけど、自信は？

魔裟斗　まぁ、いけるんじゃないかとは思ってますけどね。ヌアトラニー（魔裟斗のトレーナー）と一緒にビデオ見て、「大丈夫だ」って。倒すつもりでいこうかなと。

――以前、魔裟斗選手がモハメド・オワリと闘う予定だった頃に「今までは人気先行って言われてたけど、これで実力も認めてもらえると思う」って言ってましたよね。結局、オワリ戦は流れてしまいましたけど、今回のサリ戦がまさに、実力が試される試合になるんじゃないですか？

魔裟斗　そうですよね。やっと実力そのものを見て、認めてもらえると思います。これで勝てば、文句は言わせないですよ。

――もちろん、リスクは高いですよね。「これから魔裟斗を売り出そう！」っていうことなら、そこそこの相手を連れてきてKO勝ちするっていうパターンもできないわけじゃない。

魔裟斗　でも、オレ自身が「とにかく強いヤツとやりたい」って前から言ってたんですよ。石井館長とラジオに出た時も、「タイトルマッチをやらせてください」って直に頼んだし。

――意味のない試合をやってもしょうがないと。

魔裟斗　それに、今は絶対に負けない自信があるんですよ。

――オォ～！　それは誰とやっても？

魔裟斗　負けないッスよ。結構みんなナメてると思うけど……。絶対に負けないです。

――いいですねぇ、その自信！　では今後、K―1の中量級大会が続いていくとして、どういう相手と闘ってみたいですか？

魔裟斗　やっぱり、海外には強い選手がいっぱいいるんですよね。フランスとか。

――ウェルター級くらいだったら、オランダとか、タイも凄いですよ。

魔裟斗　そういう選手とやっていきたいですね。それも楽しみです。

――あとは日本人の最強決定戦みたいなのも見てみたいんですけど。今、ウェルターからミドル級って、凄くいい選手が揃ってるじゃないですか。

魔裟斗　たしかに、同じ階級の人は気になりますよね。

――小比類巻（貴之）選手には、借りを返さなくちゃいけないし。

魔裟斗　いや、マスコミの人たちがアオるほどには、お互い意識してないんですけど……（笑）。でも来年からは日本人対決も始まると思うし、お客さんが盛り上がるんなら、それをやらなきゃいけないッスよね。■

他のスポーツ選手より下に見られたくない！ それだけキツいことやってるんだから

▲サリはムエタイでも頂点に立った選手だけに、首相撲＆ヒザの練習にも余念がない。ベースはパンクラス東京道場での2人きりの練習だが、10月に入ってからは、いろいろなジムに出稽古にも行っているという

▶ルックス、スター性、そして今回のマッチメイク。中量級戦線の主役候補として、魔裟斗には大きな期待がかけられている

ハイアン挑戦話の真意を聞く！

地味なKEI山宮が、初めての自己主張！

9・24横浜で開催された「キング・オブ・パンクラス～ライトヘビー級トーナメント」に見事優勝したKEI山宮。しかし念願のベルトを腰に巻いた山宮は「石澤選手のカタキを取りたい」と発言。観客の喝采を浴び、関係者も仰天させた。あの発言の真意はいったいなんなのか。山宮を直撃した――。

◀「重さ2.2キログラム、時価1500万円」とも言われるベルトを巻いた山宮。「髙橋さんには『お前、ベルト似合わねえなあ』って言われました(苦笑)。今回の一番の勝因は謙吾と練習したことですよ。準決勝戦のオマー・ブイシュはもっとデカいと思ってたんで、謙吾に比べたら小っちゃかったし、パンチも軽かったし」とのこと

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮　影◎乾晋也

――えーっと、まずライトヘビー級トーナメント優勝おめでとうございます。

山宮　ありがとうございます。

――どうですか、優勝は？

山宮　どうですか、と言われても、特に変わってはいないです。

――ネオブラッドトーナメント（97年7月20日、後楽園ホール）以来ですよね、1日に2試合以上やるのは。

山宮　はい。やっぱキツいッスよ。あの時は「もう2度とやりたくない」と思ったんですけどね（苦笑）。気持ちが弱いんで、1日に2回も気持ちを高めるのはシンドかったですね。

――試合前に船木さんが他の専門誌で「山宮が勝ったら奇跡」みたいなことを言ってましたよね。

山宮　あれは悔しかったですねえ。でも、言いたいことは分かるんですよね（苦笑）。最近の試合を見ていてそう思ったんでしょうけど、これからやるほうとしては悔しかったし。事務所の人が「こんなこと言われてますよ」みたいな感じで「勝ったら〝奇跡Tシャツ〟でも作りますか」ってギャグにされてましたから。それがまたカチンときましたね。

――じゃあ結果的には船木さんの言葉が火事場のバカ力を出す要因になったと。

山宮　やっぱ雑誌は全国で売ってるじゃないですか。全国民の前でそんなことを言われてると思ったら……（苦笑）。

――どうですか、船木さんが言うところの「奇跡」っていうのは。

山宮　どうって言われても（笑）。その時はホッとしたのが一番大きかったんですよ、疲れちゃって。

――1万円をもらったっていうのはどういうことだったんですか？

山宮　あれは「奇跡」と言われた時に

「勝ったら賞金を出します」って書いてあったのもそうなんですけど、その前に船木さんと話をした時に「みんな僕が負けると思ってるみたいなんで、頑張ります」って言ったら「俺もそう思ってるよ」って言われて（苦笑）。

——サラリと（笑）。

山宮　その時に「勝ったら賞金を出してあげるよ」って言われたんですけど、まさかそれを雑誌上でも言われてるとは思わなかったんで。

——で、どういう感じで賞金の1万円がベルトについてたんですか？

山宮　優勝した後に（リング上から本部席にいる）船木さんのところに行って「今回は船木さんに言われて悔しかったんで、頑張りました」って言ったら、船木さんがニコニコしながら「控室に帰ったらベルトの中を見てみ」って言うから、帰って見てみたらベルトの裏にビショビショに濡れた1万円がビタッと張り付いてたんですよ。だから、船木さんらしいなと思って（笑）。

——濡れた1万円札が（笑）。そのベルトを賭けて闘いたい相手はいますか？

山宮　いや、特に誰ということはないです。

——とはいえ、試合後に「石澤さんのカタキを取りたい」と、ハイアン・グレイシー戦を希望してましたよね。

山宮　あれはホントはリング上じゃなく、控室で言える状態だったら言ってみようと思ってたんですよ。

——あの日は大会終了後に船木さんが「山宮と話をしたら、（石澤VSハイアンの）セコンドについていて悔しかったみたいですよ」と言ってましたけどね。

山宮　はい。あの試合（石澤VSハイアン）が終わって、船木さんと会った時に「カタキを取らせてほしいんですけど、ムリなんですかねえ……」みたいな話はチラッとしたんですよ。

——その時に船木さんは？

山宮　「気持ちは分かるけど、ちょっと待って」みたいな感じでしたね。

——そうなると、パンクラスだけの話じゃなくなってきますからね。だから僕らからすると面白いんですけど（苦笑）。ただ、山宮さんも「カタキを取りたい！」っていう言い方じゃなく、「こんなことを言っていいのか分からないんですけど……」みたいな感じで言ったから、あれはらしいなと思ったんですよ（笑）。

山宮　僕も体育会系なもんで、裏の裏を読んだりしますから。せっかくのトーナメントなのに、そんな話をしてもいいのかなあって思ったりはしたんです（苦笑）。でも、言わなきゃ何も始まらないしなって。ただ、ホントに変な計算はないんです。単純にあの試合は悔しかったんで、チャンスがあればって感じで、深い理由はないんです。

——単純に悔しかったと。

山宮　石澤さんも（新日本のシリーズがあって）忙しいみたいだし。まあ、僕が石澤さんにこだわるのもおかしいんですけど、（石澤は）僕が大学1年の時からオリンピックの予選に出ているような人で、凄く強かったんですよ。ウチの（国士館）大学にも来てもらって、打ち込みの練習をやらせてもらったりして、ホントに雲の上の人だったし。その後に「闘魂クラブ」に所属していた時も、僕はその頃メチャメチャのプロレスファンだったんで、応援してたし。

——応援してましたか（笑）。

山宮　僕は石澤さんに怖いイメージがあったんですよ。ケンドー・カシンのイメージもあって。それが僕なんかにも凄く気を遣って親切にしてくれたし。だから絶対に勝ってほしいなって。

——石澤選手は気さくな方でした？

山宮　いや、気さくっていうか、僕にはいわゆる「いい人」に見えたんですよ。

——いわゆる「いい人」かあ。で、実際、パンクラスの道場で石澤選手とスパーリングをしたわけですけど、いわゆる「フリーファイト」の闘い方に、当然まだ慣れてない部分もあったと思うけど、髙橋義生選手は前々号のインタビューで「普段スパーリングをやっていない選手が入ってくると、他の選手の刺激にもなる」と言っていたんです。

山宮　ああ、そういうい緊張感はありますよ。もちろん（石澤は）レスリングに関しては凄い実績を持った人ですけど、ちょっと打撃に慣れてないのかな、と思ったくらいでしたし。

——何回くらいスパーリングをやったんですか？

山宮　何回っていうか、他の道場に行きながらなんでしょうけど、ウチには毎週来てましたからね。ただ、みんなそろそろ上がろうかな、っていう雰囲気になっても、石澤さんは「えっ？」って感じで「もうちょっとできるよ」ってそういう感じでしたからね。

——それは藤田選手にしても？

山宮　いや、藤田さんに関しては、僕は人間だとは思えないです（笑）。

——人間だとは思えない（笑）。

山宮　あの巨体で、あのスピードで、あのスタミナで。僕らと練習した後、さらにドン・フライとかブライアン・ジョンストンともやってたし。単純に新日本の選手は凄いなあと。

——で、いつ頃、石澤VSハイアンのセコンドにつくことに決まったんですか？

山宮　試合の1週間くらい前ですね。髙橋さんに呼ばれて「お前、暇だろう？セコンドについてこいよ」って感じで（笑）。だからその時に「じゃあカシンTシャツをいただけるんですか！」って。

——Tシャツが（笑）。

▲『プライド』以外の話ではＵＦＣにも言及。「ＵＦＣはまたやりたいですね。前回負けてますし。金網の中で手を上げられたいです。今回近藤さんがＵＦＣで勝って良かったと思います。ただし（近藤に）闘って勝ちたいっていう気持ちは常にありますけど。最近、展開が早いから、ついていくのが大変ですよ。流れに乗るのが精一杯みたいな感じです」とも語っていた

石澤さんが白と黒のマスクを用意してましたから、最初から被らせようとしたんじゃないですかね（笑）。

▶決勝戦の相手は同門の美濃輪育久だったが、「やっぱ勢いでいくと、向こう（美濃輪）のほうがありますし。客観的に見て凄いと思ってたし。だからそのままの結果が出ちゃうのは嫌だったですねえ」と山宮。また次の相手に関して「グラバカ？　いいんじゃないですか？　第一挑戦権が菊田早苗だったら？　いいですよ。でも、今はまだピンとはこないです」とも語っていた

山宮　いただきましたよ、カシンTシャツを（嬉しそうに）。

――Tシャツだけじゃなくて、石澤選手の入場時に山宮さんはカシンのマスクまで被ってたじゃないですか。

山宮　メチャメチャ緊張しましたね。自分の試合並に緊張しました。ただ、初めは石澤さんから「被る？」って言われたんですけど、僕なんかが被ったら失礼になるんじゃないかな、と思ったんですよ。でも石澤さんも白と黒の2枚を用意してましたから、最初から被らせようとしたんじゃないですかね（笑）。

――あと1枚は斉藤彰俊選手が被ったんですよね。

山宮　ええ。でも斉藤さんは僕が集合場所に行ったらいたっていう感じなんで、詳しいことは分からないんです。

――でも「あ、斉藤彰俊だ！」って思ったでしょ？（笑）。

ハイアンが「その前にこいつを倒してからだ」と言ったら？ ハイアン戦が絶対にできるんだったら頑張ろうと思います

山宮　はい。「あの平成維震軍の！」と思いましたよ（笑）。ちょっと感動しました。

――どうでした、斉藤選手は。

山宮　いや、斉藤さんも僕の直感で、いわゆる「いい人だな」と。

――はい（笑）。『プライド』自体の雰囲気はどう思いました？

山宮　入場した時は光で周りが見えなかったですね。とにかくライトが強かったんで、お客さんが全然見えなかったですね。津波のような歓声ってああいうのかなあと思いました。あと、エレベーターで降りたじゃないですか。あれがまたグラグラ揺れるんですよ（苦笑）。だから落ちたらシャレにならないと思って、必死に手すりに掴まってたんですよ。それと、被って初めて分かりましたけど、マスクってまつげとかひっかかるんですよ。だから瞬きもしにくいんです。もちろん視界も悪いし。だからよくあれで技をかけたりできるなって。

――カシンは飛びつき十字固めをやったりしてますもんね。結局、あの後にあのマスクはどうしたんですか？

山宮　お返ししました。ちょっと惜しかったですけど（笑）。

――まあね（笑）。で、あの日の控室の石澤選手はどうでした？

山宮　緊張してました。だから僕に気を遣いすぎて、さらに緊張させないようにしてました。っていうのは高橋さんがUFCに出た時（97年2月）に僕はセコンドにつきましたけど、あの時に「お前、迷惑だよ」って言われましたから（苦笑）。

――なるほど。で、結果的にあの試合は石澤選手が負けちゃったじゃないですか。

山宮　でも、あれは最初だからだと思うんですよ。だって元々の素材が凄いんだから、慣れちゃったらメチャメチャ強いと思いますけどね。僕の立場ではそんな試合展開とかそういうことは何も言えないですよ。

――負けた瞬間はどう思いました？

山宮　クソーッ！と思いましたよ。「勝者ハイアン！」みたいなマイクが聞こえた時が一番。またあっちのコーナーにいる人たちの喜びようにまたムッとして。船木さんが（ヒクソンに）負けた時とまた違いましたね。あの時は船木さんとも一緒にスパーリングはしてましたし、もちろん勝ってほしかったですけど、遠い人たちの試合に見えたんですよ。神様同士の闘いみたいに見えて。

――船木VSヒクソンは神様同士の闘い。

山宮　今回は身近に感じられて、凄く悔しかったんですよ。

――石澤選手の師匠にあたるアントニオ猪木さんが「石澤は離れ際に無意識の油断が出た」みたいなことも言ってたんですけど、それはどう思います？

山宮　ちょっと不用意な気もしましたけど、やっぱり慣れもあると思いますよ。

――あの日はその猪木さんが「元気ですかーッ！」とやってたじゃないですか。

山宮　それは見てなかったんですけど、藤田さんと石澤さんの激励に、試合前に控室に（猪木が）来たんですよ。その時はちょっと緊張しちゃいましたね。みんな座ってたんですけど、立ち上がるんですよ、パッと。ドン・フライとかも立ち上がって挨拶するんです。だから僕もつられて立ち上がっちゃいましたね（笑）。

――つられて（笑）。

山宮　僕も頭を下げました。でも距離があったし、きっと僕のことは見えてなかったと思いますけど、そういうオーラはありましたね。

――試合後の石澤選手はどんな感じで？

山宮　重い空気がありましたけど……、いや、いいじゃないですか。申し訳なくて言えないですよ（苦笑）。

――高橋選手にはどう報告したんですか？

山宮　試合の前から「新幹線に乗ってるかもしれないからメールをくれ」って言われてたんですよ。だから「ハイアンのパンチを浴びてしまい、負けてしまいました」ってメールを打って。そしたら石澤さんと直接話してたみたいで。

――高橋選手曰く「石澤は怒ってたように聞こえた」と言ってたんですよ。

山宮　そうなんですか。僕は石澤さんと高橋さんが電話で話してた時にその場にいましたけど、特には……。

――その時点で、もう「俺がカタキを」と思ってたんですか？

山宮　いや、その時は特に。さっき、「あの試合の後に、船木さんと会って話をした」って言いましたけど、その時ですね。「やってみたいな」と思ったのは。でも結果を出さないと、しゃべる気にはならないし。

――それで、結果を出してから言ったと。

山宮　チャンスをいただければやりたい

僕、好きな言葉が「棚からボタ餅」なんですよ（笑）でも、なかなかないから「継続は力なり」の言葉を信じてる

なと思って。

——今後それがどう進むかは分からないですけど、尾崎社長には何か言われました？

山宮　さっき会った時にちょっと「お前、フライングするからなあ（笑）」って言われました。

——フライング（笑）。でも相手がハイアンであれば、リングはどこでも構わないわけですよね。

山宮　はい。そこまで考えて言ってないですから。

——でも実際の話、ハイアンはドリームステージエンターテインメントと契約している選手だと思うので、その場合は『プライド』に行く可能性が高いと思うし、例えばハイアンが「俺と闘いたいなら、その前にこいつを倒してからだ」と言うことも考えられますよね。そしたらどうしますか？　そこまでするならやりたくはないですか？

山宮　いや、それ（ハイアン戦）が絶対にできるんだったら頑張ろうと思うんじゃないですか？　ただ、今の話はあくまでも仮定の話ですからピンとはこないですけどね。

——当然、石澤選手が「俺がもう一度」ということも考えられますけど、その場合はセコンドにつきますか？

山宮　つかせていただけるなら。もしつけなくても見には行きますよ。

——分かりました。それにしても、山宮さんの場合、デビューしてから髙橋選手のセコンドでUFCに行ったり、TAKAみちのく戦、ネオブラッドの優勝、鈴木みのる戦、UFC—Jでの敗退……といろいろ節目があるじゃないですか。

山宮　そうですねえ。もちろん運がいいのかなっていう気はしますけど、勝つために一生懸命練習してますからねえ。今回だって、スタミナ勝負だと思って、過去にないくらい走り込みましたからね。

——とはいえ、一部では「やっぱりパンクラスは地味」と言われますよね。

山宮　地味っていうのは試合がですか？

——もちろん試合もそうだけど、入場にしてもそうだし。須藤元気選手なんかは入場は派手ですけど、入場くらいエンターテインメント的にお客さんを意識してもいいんじゃないかと。

山宮　それは性格じゃないですか？（苦笑）。僕は元気は凄いと思うんですよ。たしかに入場は派手ですけど、仮面の下は真顔ですからね。だから実際は緊張しているんだと思うんですよ。僕は「まず試合」と思っちゃいますからね。

——例えばこの前、渋谷修身選手がセーム・シュルトの無差別級王座に挑戦しましたけど、「ここ1年の勝率は決してよくないのに」という声もあったんですね。「だったら菊田早苗は7連勝中なのに」っていう。そういうことは山宮選手はどう考えますか？　勝率重視がいいのか、たまには渋谷選手みたいなパターンがあったほうがいいのか。

山宮　両方！（笑）。

——なるほど！（笑）。

山宮　それは渋谷さんも「菊田さんと決定戦があるのかと思った」って言ってたじゃないですか。「でもチャンスをもらったから頑張る」って。だから僕は勝率重視でありながら、運があったら挑戦できるっていう。僕、好きな言葉が「棚からボタ餅」なんですよ（笑）。

——いいなあ、それは（笑）。

山宮　でも、それはなかなかないと思っているから「継続は力なり」っていう言葉を信じてるんですよ。

——その二律背反がパンクラスだと。でも、パンクラスは「完全実力主義」を謳っているわけだから、それだと矛盾が出てくると思うんですよ。

山宮　いや、僕も一時期それは考えてましたよ。どうやったら会社の自分に対する評価が上がるのかなあって。当然、お客さんが呼べる人が会社にとっては宝だから、カリスマ性やスター性のある人のほうがいいだろうけど、逆に地味だけど勝ち続ける人もいると思うんです。で、いざ自分の顔を鏡で見たり、試合をビデオで見た時に「あ、俺にはカリスマ性はねえな」って思いましたから（苦笑）。だったら一生懸命にやっていれば、そのうちいいことがあるんじゃないかって。僕、今年28歳になったんですよ。だからそろそろ身体もシンドくなるし、時間もそんなには長くはないと思ってるから、ホントにやりたいと思ったことはやっていかなきゃって。ホントにそうしていかないと、あっという間に現役生活が終わっちゃうと思って。焦りはありますね。

——なるほど。でも山宮さんから見て、船木さんが引退したことでパンクラスはガラリと変わったと思いますか？

山宮　う～ん、ガラリと変わったかどうかは分からないですけど、発言とかはしやすくなったっていうか。みんな思ってるんじゃないですか？　チャンスがきたって。それは感じますね。パーッと広がったような。

——じゃあ一部で「パンクラスは終わった」と言われたとしても、「いや、新しく始まったんだ」という気持ちですか？

山宮　もしそう言われても、そういうマイナスのことより、プラスのことのほうが大きいですよ。

——たしかにそうですよね。まあ、それはともかく、まずはハイアン戦が実現するといいですよね。

山宮　どうですかねえ。そんなに時間はないと思ってるんですよ。だからホントに頑張りたいですね。■

▼アマチュア時代からプロレスファンだったという山宮。「ウチの（国士館）大学のOBの先輩と『闘魂クラブ』時代の中西（学）さんが（アマレスの）決勝戦を争ったんですけど、僕は国士館の応援席にいて、先輩を応援するふりをしつつ、中西さんを応援してましたから（笑）」と発言。またベルトを巻いてアンドレ・ザ・ジャイアントがロープにかかるマネも披露してくれた

ダン・スバーンに完勝でランデルマン戦の汚名を返上

これがブラジリアン・ストライカーの底力! ペドロ・ヒーゾにさらなる大舞台を!!

▶『UFC27』ニューオリンズ大会のメインで、ダン・スバーンをKOしたペドロ・ヒーゾ。ケビン・ランデルマン戦で敗退した汚名をそそぐとともに、改めてその強さをアピールした

▼ヒーゾはマルコ・ファス率いる『ファス・バーリ・トゥード』チームの一員。ファスはセコンドにもついた

★第8試合/ヘビー級5分3R（メインイベント）
○ペドロ・ヒーゾ（1R1分32秒、TKO勝ち）ダン・スバーン●
〈ブラジル〉　〈アメリカ〉
※右ローキックでスバーンがダウン→レフェリーストップ

大会が行われるニューオリンズに到着して何がビックリしたかって、UFCのポスターにダン・スバーンが大フィーチャーされていたことだ。スバーンは大会前日のTV番組にも出演、大会のアピールに努めていた。

驚くなかれ、プロモーターサイドにとって、『UFC27』の主役はスバーンだったのである。たしかにスバーンは初期UFCで活躍した〝トゥルー・レジェンド・オブ・UFC〟（選手紹介アナウンスより）だ。レスリングの実績も凄い し、最近もWEFでマーカス・コナンを倒したり、リングスでアンドレィ・コピロフを破ったりしている。アメリカ人選手だっていうのも大きいだろう。

でも、どっちが〝旬〟かといったら、それは断じて、スバーンの対戦相手であるペドロ・ヒーゾのほうだ。

前々回はケビン・ランデルマンの持つUFCヘビー級タイトルに挑戦するはずが、ランデルマンが控室でスッ転んで頭を打ち、試合中止。前回はなんとかランデルマンと闘うところまでいった（当たり前だ）が、なぜか実力をまったく出せずに判定負けになってしまった。しかも「つまんねぇぞ。この野郎!」と、盛大にもほどがあるブーイングまで浴びてしまう始末。とことんまでツイてないヒーゾだが、その強さと品質は保証付きである。

マルコ・ファスの下でルタ・リーブリを学び、キックボクシングも習得しているヒーゾ。ドージョー・チャクリキで練習していた時期もあり、あのピーター・アーツ

UFC XXVII
9.22★アメリカ・ルイジアナ州ニューオリンズ
UNOレイクフロント・アリーナ

ヒーゾのローで、"アルティメットの伝説"の心が折れた!?

▲第3試合、イギリスのイアン・フリーマン(右)とテッド・ウィリアムスのヘビー級3Rは、グラウンドで強烈なパンチを浴びせ続けたフリーマンが判定勝ち。フリーマンは7月のパンクラス後楽園大会でボブ・スタインズをKOしている選手だ。この試合から、PPV放送はスタートした

▲第2試合(ヘビー級予備戦)に出場したジェフ・モンソンは、今年のアブダビ・コンバットでも準優勝(98キロ以下級)している選手。ティム・レイシックを相手に、マウントパンチを決めるなど押し気味に試合を進めて判定で勝利した

◀C・J・フェルナンデスとブラッド・ガムの一戦は(第1試合)、ガムが右パンチをクリーンヒットさせれば、C・Jもボディスラムを豪快に決めるなど一進一退。判定でドローとなった

▲スバーンにグイグイとプレッシャーをかけ、フェンス際まで追い込んだヒーゾ。この段階で、心理的には勝負あったか？

▲▶右インローでガクッとバランスを崩したスバーン。ヒーゾがさらにもう一撃を加えると、そのままダウンしてしまった。苦しむスバーンを見て、レフェリーは試合をストップ

◀勝利を収めたヒーゾを、マーク・コールマンも祝福

▶スバーンは初期UFCの大スターであり、伝説的な存在。入場時には今大会でも随一の声援を浴びていたが、さすがに試合後は…

の親友としても知られている(95年にはK―1にも参戦)。UFCでの戦績も堂々たるもので、タンク・アボット、マーク・コールマン、高阪剛といったツワモノたちに勝利を収めているのだ。しかも、タンクとTKにはKO勝ちである。VTの本場ブラジルでも、ヘビー級最強候補として、高い評価を受けているほど。年齢も26歳と若い。これからUFCに限らず、世界のVTの中心選手に育っていくであろう逸材なのだ。でも、大会で主役扱いを受けたのはスバーン……。

その鬱憤を晴らしたというわけではないだろうが、ヒーゾは試合開始からわずか92秒で、スバーンを葬ってしまった。しかも、インローをたった2発当てただけで、だ。もちろん、ヒーゾの蹴りの威力は疑うべくもない。しかしそれ以前の段階で、ヒーゾはスバーンに勝っていた。

ファーストコンタクト。スバーンの渾身のタックルを、ヒーゾはあっさりといなす。マットに倒れこみ、唖然とした表情を浮かべる伝説の男。スタンドに戻ると、ヒーゾはスバーンに凄まじいプレッシャーをかけ、金網際まで追い込んでいった。威嚇のハイキックもメチャクチャ速い！ スバーンに反撃の手だては残されていないように見えた。この時点で、すでに勝負の大勢は決していたと思う。

ブラジル人バーリ・トゥーダーは、決して寝技師ばかりではない。佐山聡が予言したように「VTに打撃の時代が来る」とすれば、その一翼はヴァンダレイ・シウバやヒーゾのようなブラジリアン・ストライカーが握るだろう。(橋本)

もう一人の伝説・モーリスは剛腕ホフマンを柔よく制す！

▼様々なジャンルの格闘家の兄貴分的存在であるモーリス。今大会では、フランク・シャムロック、ＴＫ、ジョン・ルイスがセコンドにつき、ティト・オーティズもコーナーで声援を飛ばしていた

▲リングスでも猛威を奮っている強力なパンチで、モーリスを攻め立てたホフマン。何度かマウントも奪ったが、老獪なモーリスの前にフィニッシュまで持ち込めず

序盤は押されまくっていたモーリスだが、フェンス際で細かい打撃をコツコツと当て続けてペースを奪っていった

◀勝負はスプリット・デシジョンながら、モーリスに凱歌が上がった。来年は40歳になるが、そのうまさ、強さはまだまだ健在だ

★第7試合/ヘビー級5分3R
○モーリス・スミス〈アメリカ〉（3R判定勝ち）ボビー・ホフマン〈アメリカ〉●

ダン・スバーンは敗北を喫したものの、もう一人の〝伝説の男〟モーリス・スミスは、ボビー・ホフマンを相手にきわどく判定勝利を収めた。ホフマンはＷＥＦのヘビー級王者で、リングスでもＫＯの山を築いている注目の新鋭。次代のスター候補として、かなりの期待を背負ってのＵＦＣ出場だったはずだ。実際、試合の序盤は圧倒的にホフマンが支配。あっという間にマウントポジションを奪うなど、モーリスの敗北は時間の問題と思われた。しかし、モーリスは２Ｒ以降徐々にペースを奪っていく。バックステップでホフマンの突進をいなし、金網に押し付けてショートアッパーを連打。気が付けばホフマンは目がうつろになり、試合終了まで持ちこたえるので精一杯、といった感じになってしまった。80年代～90年代前半は〝黒いボーイング機〟としてキック界の頂点を究め、90年代後半からはＶＴでもトップの座に立ったモーリス。その活躍は、21世紀まで続きそうだ。（橋本）

★第5試合/ライト級5分3R
○ファビアノ・イハ〈ブラジル〉（1R、腕ひしぎ十字固め）ラバーン・クラーク〈アメリカ〉●
※レフェリーストップ。タイム発表なし

電光石火の腕ひしぎ！イハ、クラークにリベンジ成功

▲第５試合はライト級３Ｒ。『プライド』参戦経験もある中量級屈指の強豪、ファビアーノ・イハとラバーン・クラークの一戦。両者は昨年５月にも対戦しており、その時はクラークがＴＫＯで勝っている

◀今回はイハが速攻の腕ひしぎで勝利を収め、リベンジに成功。イハは喜びのあまりオクタゴンの中を走り回っていた

まさに〝総合のお手本〟ホーン、完璧な一本勝ち

▲国内外問わず、ありとあらゆる大会に出場しまくっているジェレミー・ホーンが、ＵＦＣにカムバック。昨年11月のＵＦＣ－ＪでＫＥＩ山宮を倒しているユージン・ジャクソンと対戦し、テイクダウンからマウント、そしてパンチを浴びせて腕ひしぎ十字固めと、まさに総合格闘技のお手本のような試合展開で勝利した

◀入場時には険しい表情だったホーンだが、試合後は爽やかな笑顔に

★第6試合/ミドル級5分3R
○ジェレミー・ホーン〈アメリカ〉（1R4分30秒、腕ひしぎ十字固め）ユージン・ジャクソン〈アメリカ〉●

菊田早苗が、格闘技人生最大の敵を迎えることになった。10・31後楽園で、柔術のトップ選手、ムリーロ・ブスタマンチと対戦するのだ。これを機に、菊田にはパンクラスの看板選手として、団体を背負うくらいの活躍を期待したいのだが。本人の思惑は……？

構成◎橋本宗洋

シリーズ PANCRASE REBORN 新生パンクラスの男たち Vol.5

「プロの条件はあくまで強さ。基準？　僕が闘って決めます」

菊田早苗 “欲と無欲の境界線”

〈ブスタマンチ戦〉

決まっちゃいましたねぇ（笑）。ビックリしました。勝負をかけるのは来年かなって考えてたんですけどね。「ちょっと早いんじゃない？」って（笑）。間違いなく、今まで自分が闘った中ではナンバー1の相手でしょう。うん、僕の中ではヘンゾより上ですね。勝ってないのにこういうこと言うのは変かもしれないけど。今、ヒクソンは別格として、グレイシー一族の選手よりも、現役バリバリのトップ選手のほうが上だっていう認識はあると思うんですよ。やってる連中の中では特に。それは間違いないでしょう。40キロくらい体重差があるトム・エリクソンと引き分けてるんですからね。しかも腕十字を2回、取りかけて。あの試合を見てから、ある意味ムリーロは尊敬の対象で。ムリーロとアマウリ・ビテッチは憧れてましたね。アブダビでも、ちょっとカッコ悪いんですけどファンの目で見ちゃいましたから。「凄えな！」って（笑）。ルールはパンクラスルールじゃなくて、VTになりそうです。ヒジと頭突き、後頭部（への打撃）だけナシで、はい。当然、寝技で勝負ですね。パンチが当たって勝っても嬉しくないんですよ。単なる勝ち負けじゃなくて〝寝技で勝つ〟っていうのが僕の全てなんで。でも寝技で勝つには一番シンドい相手ですよね（笑）。強さが拮抗してると、動きがまったく止まっちゃう可能性もあるし。うまい選手っていうのは、まず技の形に入らせないですからね。将棋の千日手みたいに、ガッチリ固まっちゃう。クロスガードからオープンにするのさえ、勇気がいりますから。そういうレベルに、ムリーロはいると思いますよ。差し合いで10分間とか？　う〜ん、それだけはやめます。それなら僕が引き込んで、ムリーロがパスできるか、僕がひっくり返せるかの勝負をしたい。

〈パンクラスを背負う〉

メインとか主役っていう意識は……ないですねぇ（笑）。欲がなくて、ワキ役が好き？　そのとおりです（笑）。セミとメインどっちがいいかって聞かれたら、自分から「セミがいいです」って言ってたくらいで。「なんで菊田はタイトルマッチをやらないんだ」って書かれたりしましたけど、それも僕が「今はまだ」って思ったからで、べつに会社が組んでくれなかったわけじゃないし。パンクラスを背負って、ですか……う〜ん、ねぇ（笑）。強い相手とやるんで、期待されてるんだなっていう感じはありますけどね。ただ、興行のトリっていう立場も、なんにも考えたことないし（笑）。もちろん、お客さんがいっぱい入ってくれたら嬉しいですけど。……この話すると2時間くらいかかっちゃうなぁ（笑）。「どうしても主役になりたい」とか、そういう欲ってないんですよ。欲を出すポイントが、ちょっと違うんです。価値観が。「寝技で強くなる。寝技で試合に勝つ」っていうことには貪欲なんです。凄まじいものがありますよ。やっぱり、意識して面白い試合をするっていうのは、難しいです。二流、三流レベルならともかく、トップクラスの世界を見ちゃうと、なかなかできるもんじゃないなって思いますね。言い訳してるみたいでイヤですけど、ホントにそうなんですよ。この話は「プロとアマチュア」ってことにも関わってくると思うんですけど。

〈プロ意識〉

僕の〝プロの定義〟ですか？　格闘技で食べていけてるのかとか、そういうことではないですね。基準を簡単に言うと、僕がスパーリングなり試合なりで闘って、そこでの判断ですね。基準は僕（笑）。たとえデビューしてても、僕がやってみて「アレ？」って思うような選手は認められないですね。パフォーマンスだけで弱い人とかもねぇ……まぁ、あんまり言いすぎるとアレですから（笑）。とにかく、あくまでプロは実力、と。そういう意味ではムリーロにしても、カーウソン軍団だった人たちっていうのはプロですよね。寝技のプロ集団。ただそれが、見てる人にとって面白いかどうかっていうのは別なんですよね。そこが難しいんだよなぁ……。■

▲“今後はパンクラスを背負う存在に！”ということで、道場のパンクラス・ロゴの前で撮影。しかし菊田曰く「“僕はパンクラスを背負いません！”っていうタイトルがいいんじゃないですか？」

PROFILE

◎きくた・さなえ…1971年9月10日、東京都練馬区出身。身長176センチ。パンクラス・GRABAKA所属。明大中野高校時代、柔道で国体優勝。日体大柔道部でも一軍だったが、中退し様々なジムを渡り歩く。96＆97年『トーナメント・オブ・J』優勝。『プライド』、修斗など数多くのリングにフリー参戦した後、99年4月にパンクラス入団。パンクラスでは現在まで無敗を誇り、王座挑戦が期待されている。

SANAE KIKUTA

「物質に恵まれた世紀末、商業主
にきて、それとは違うベクトルの
ンが背負うリスクは、相当大きな
自覚な人々に"闘い"を突き刺す」

"賞金首"ヤマケンはタイラー・ダーデンになろうというのか？

『ファイト・クラブ』のブラピ

月イチ開催のクラブ・イベントで"果たし合い" 一般公募の対戦相手と賞金マッチ！

『クラブ・ファイト』規則

第1条
一般公募で選ばれた格闘家が、ヤマケンと対戦する

第2条
出場資格はプロ・アマ問わず

第3条
ヤマケンに勝てば、賞金を贈呈
賞金は50万円からスタートし、ヤマケンが勝つことに25万ずつアップしていく（予定＝ミニマム）

第4条
ヤマケンは1回のイベントで1試合
他に前座が1試合行われる予定

第5条
試合ルールは基本的にバーリ・トゥード、詳細は応相談

注目の大会「タイタン・ファイト」を開催したヤマケンが、満を持して自分自身のファイトに乗り出すことになった。クラブで行われるイベントの中で試合をするのだ。しかも、ヤマケンは"賞金首"としての登場。一般公募で選出された対戦相手が勝てば、最低でも50万円の賞金が贈られるという。映画のような企画である。ヤマケンはこの「クラブ・ファイト」を、「格闘技界の底辺拡大」、「マット界の活性化」の起爆剤にするつもりのようだ。

文◎橋本宗洋

▲物質文明の中で闘うことに目覚める男たちの姿を描いた映画『ファイト・クラブ』。ブラッド・ピットは若者たちを暴力と混沌の世界に誘う主人公タイラー・ダーデンを演じた。ヤマケンも『クラブ・ファイト』で、アンダーグラウンドのカリスマとなるのか？

▼『クラブ・ファイト』の概要は『タイタン・ファイト』に先だって行われた記者会見で発表された。ヤマケンの友人であるアクション俳優・澤田謙也氏は、『クラブ・ファイト』のプロモーションムービーにも出演

▲大会終了後、ヤマケンに花束を贈呈した吉本女子プロレスJ'dの高橋洋子も、『タイタン』に出場希望。「今回は女性を上げるという意識が全然なかったので。次回また、女性の格闘家も募っていきたい」とヤマケン

「物質に恵まれた世紀末、商業主義に踊る世紀末、情報が豊かでとても心が貧しい世の中、ひとりで闘うことを忘れかけた人々……」

（アントニオ猪木引退試合。古館伊知郎氏の実況より）

闘うということ、突き詰めて言えば暴力に対する認識が希薄なこの世紀末。格闘技界に〝興行革命〟とも言うべき波が起こっている。

始めは、宇野薫がプロデュースする『コンテンダーズ』だった。DJの導入やCGなどの凝った演出。今年7月にはベイエリアのライブハウス『Zepp　TOKYO』で大会を開いた。従来の格闘技イベントが、まったく目をつけていなかった会場だ。これに続いたのが、魔裟斗率いるシルバーウルフである。その第1回興行の会場は、六本木のディスコ・ヴェルファーレ。

これまで、格闘技界のメジャー化というとTV中継やスタジアムクラスの大会場での興行がひとつの指針になっていた。しかしここにきて、それとは違うベクトルの大会が、若い世代によって作られ、話題となっているのだ。小・中規模の会場ながら、その熱は確実に同世代の観客たちに伝わっている。

そして、この〝興行革命〟の波に、ヤマケンこと山本喧一も参画することになった。

11月12日、渋谷にあるクラブ・WOMBを皮切りに名古屋、大阪でも開催される『クラブ・ファイト』。ここでヤマケンは一般公募から選ばれた格闘家と対戦することになる。もし対戦相手がヤマケンに勝てば、50万円の賞金を授与、しかもヤマケンが勝つごとに賞金がストックされるため、100万円を越える金額を手にするチャンスもあるのである。

「プロでもメシが食えない格闘家が多すぎる。さまよえる格闘家、出てこい！　俺の首獲って、賞金持ってってくれ」（ヤマケン）

常に「マット界の底辺拡大と活性化」を訴えてきたヤマケンらしい企画ではある。しかし、ヤマケンが背負うリスクは、相当大きなものになるはずだ。ヤマケン自身が、これからその価値をどんどん上げていかねばならない選手。それなのに、まったく無名の相手に負けてしまったら、何を言われるか分からないではないか。しかし、ヤマケンにプレッシャーはない。

「さまよえる格闘家、出てこい！ 俺の首獲って、賞金持ってってくれ」

「それ（無名選手に負けるリスク）が、もう一つの目的です。まだ世に出てない、無名の強者を発掘する必要があるし、そうやって出てきてくれたほうが、業界にとっては喜ばしい」とヤマケン。

そしてもう一つ。『クラブ・ファイト』には重要なポイントがある。それは、これが格闘技の大会ではなく、あくまでクラブで行われるいちイベントということだ。観客の全てがヤマケンの試合を見に来るのではない。好奇心は持ってくれるだろうが、それは興味本位ということでもある。ヒップホップのアーティストやDJが目当ての若者たち、酒を飲んで葉っぱ吸ってる連中に〝闘い〟の魅力と凄みを伝えなくてはいけない。これは試合に勝つこと以上に、困難な作業だとは言えないだろうか。

「低料金で、超アリーナで試合を見せたい。大きい会場では、若い連中は後ろの席でしか見られない。それじゃあ技のなんたるかは伝わらないでしょう」（ヤマケン）

イベントのキャッチコピーには**『リアル〝喧嘩〟マッチ、お見せします』**とある。享楽的な時代を生きる若者たちに、ヤマケンはナマの闘いを見せつけるつもりだ。その姿は、映画『ファイト・クラブ』の主人公、タイラー・ダーデンにも重なる。目的は「暴力に無自覚な人々に〝闘い〟を突き刺す」ことで共通している。いわゆるメジャーではない**〝アンダーグラウンドのバイオレントなカリスマ〟**を目指すという意味でも、だ。

映画の中で、タイラーは言う。

「俺たちは消費者、ライフスタイルに仕える奴隷だ」、「宣伝文句に煽られて、要りもしない車や服を買わされてる。歴史の狭間で生きる目標が何もない。俺たちには世界大戦もなく、大恐慌もない」

そしてこうも。

「殴り合いの経験をすれば、本当の自分が分かる」

ヤマケンの『クラブ・ファイト』に潜むテーマも、まさに映画と同じであろう。無意識にかも知れないがヤマケンは〝時代〟を相手に闘いを挑むことになった。■

『クラブ・ファイト』開催日程

◎11月12日（日）
渋谷『WOMB』（23:00試合開始）

◎12月3日（日）
名古屋『Club OZON』（22:30試合開始）

◎2001年1月20日（土）
大阪『MOTHER HALL』（22:30試合開始）

※現在、ヤマケンの対戦相手を募集中。希望者は氏名、年齢、身長、体重、格闘ベース、電話番号を記入の上、バーサス・エンターテイメント　FAX03-3405-7139 まで応募を

◀〝闘い〟の本質を鋭く突いた傑作『ファイト・クラブ』が、12月1日、DVDでドロップ（発売：20世紀FOXホームエンターテイメント、税抜定価5,700円）。凝りまくりのパッケージ・デザインに、メイキング、未公開シーン集も付いたコレクターズ・アイテムだぁ～！

ついにベールを脱いだ、ウルトラアグレッシブ・バトル

タイタン・ファイト

この大会に〝常識〟は通用しない！

素手で顔面パンチ！

流血！

▶素手で顔面パンチOKということで、かなり危険なものになるのではと思われた今大会だが、ストップが早かったため、思ったほど残酷ではなかった

▲グローブがないことで、外傷を負う確率は高くなる

◀▶会場は300人で満員となる小さなホールだったが、カクテルライトやスクリーンなど、演出はかなり豪華。試合場はリングではなく空手の舞台のようになっており、ここから落ちると失格となる

カ、カシン…？

▲ケンドー・カシンJrなる、謎のマスクマンも出場。その正体は、意外な人物（某大会のフロント）だった。ちなみに結果は、1回戦で失格（両者リングアウト）

両リン！

◀タイタン・ファイト独自のルールが、この〝場外失格〟。もつれあって落ちても、投げた勢いで落ちても、有無を言わさず失格となってしまう

「オレがこれからやってくことはね、前田さん、髙田さんに対して恩返しになるんよ、最終的には」

大会は、スクリーンに映し出されたヤマケンの激白から始まった。昨年11月、ＵＦＣ―Ｊに出場した時のコメントだ。

その「これからやること」の具現化が、ヤマケン自らがプロデューサーを務めるプロアマ・オープンのトーナメント『タイタン・ファイト』である。この大会、開催が発表された時点で、格闘技界でかなりの話題となった。高額の賞金がかけられていたこともあるが、何よりそのルール設定が、あまりにも独特だったためだ。

『タイタン・ファイト』独自のルール設定。その一つ目は、リングではなく舞台を使用し、そこから落ちると負けになってしまうことだ。突き落とされたらもちろん負け、相手を投げても、自分も同体で場外に出てしまえば、そこで両者失格となってしまう（公式記録が〝両者リングアウト〟と発表されたのは笑えた）。

両者失格があるということは、自動的に次の試合は不戦勝になる。なんと、不戦勝の連続で1回も試合をせずに準決勝まで進んだ選手が出るという珍事もあった。

このルールは「場外に出ないように闘えば、前に出るしかない」つまり試合がアグレッシブになるというヤマケンの考えによるもの。たしかに、コーナーで延々と続く差し合いがないのはいい。ただ、有利な形であっても場外に出てはダメということで、相撲の浴びせ倒しや柔道の捨て身技が使えないのはどうだろうか？

タイタン・ファイト
9.29★フジタヴァンテホール

佐山、平、菊田……
総合のパイオニアたちも興味津々

『タイタン・ファイト』第1回 トーナメント

- 野沢洋之（パワー・オブ・ドリーム）
- 山田護之（フリー）
- 並木正典（スポーツ会館）
- 折橋謙（フリー）
- 岩村和秀（フリー）
- 市川直人（パワー・オブ・ドリーム）
- 角田貞男（正信会）
- 雀領二（カマクラ）
- 今成正和（入江部屋）
- 所英男（パワー・オブ・ドリーム）
- 宇田亨（フリー）
- ケンドー・カシンJr（フリー）
- 大澤早統（フリー）
- 太田裕之（パワー・オブ・ドリーム）
- 木村正章（非公開）
- 五十嵐祐樹（フリー）
- 木下領（カマクラ）
- 岩上智一郎（フリー）
- 小池秀信（フリー）
- 梁正基（パワー・オブ・ドリーム）

×…両者リングアウトで失格
△…リングアウト決着
◎…不戦勝

TITAN FIGHT

◀今大会の入賞者。前列左から市川直人（準優勝）、梁正基（優勝）、宇田亨（1回闘って負けて3位）。ちなみに賞金は優勝：80万円、準優勝：15万円、3位：5万円

平直行はこう見た！

「ベリーグッドじゃないでしょうか。危ないことやろうぜぇ～、男なら！　ウチは『楽しいことやろうぜぇ～』ですけど、ウチの子も出したいっすよ。面白いですよね。ただ、事故だけないように。まあ格闘技自体、危険なんですけどね。薄いグローブ着けたほうが危ないこともあるんで。いいんじゃないですか、今、こういう男っぽいのがないから。指導者のポリシーの違いで（笑）。いろんなのがあると嬉しいです」

菊田早苗の指摘！

「う～ん。初めてこういう大会を見て、他の格闘技と比べてみて面白かったですけど。素手って意外と切れるんだなって、ビックリしました。で、裏（バックステージ）を見てみると、故障をしている人が多いんで、やっぱりキツいんだなと。グローブはグローブで脳（へのダメージ）とかありますけど、素手だと外傷があるんで、なかなかやるのは難しいもんだなと思いました」

◀安生洋二は、『パワー・オブ・ドリーム』勢のセコンドについた

◀会場にはあの佐山聡の姿も。大会が終わるとすぐに帰ってしまい、コメントは取れなかったが、『いつも10年早い男』がこの大会をどう見たのか、気になる！

▲"両者失格"があれば、当然、不戦勝になる試合も出てくる。宇田亨（下）はなんと1度も闘わないまま準決勝まで勝ち進み、そこで敗れたものの3位決定戦の相手も"両者失格"のため、1戦1敗で3位入賞＆賞金5万円ゲット！

優勝はヤマケンの一番弟子 梁正基！

◀優勝したのは、『パワー・オブ・ドリーム』の内弟子である梁正基（右）。2回戦では菊田グループの小池秀信を破り、3回戦では木下領のパンチに苦しみながらも、勢いよく突っ込んできた木下をいなして場外に落とし、勝利した（写真は3回戦）

▶決勝戦。梁と市川直人の同門対決は、アームロックで梁が勝利。同門対決では、どうしても顔面パンチが少なくなるのが今後の課題か？

そして『タイタン・ファイト』最大の特徴にして物議をかもす要因となったのが"素手で顔面パンチOK"というルールだ。時代を逆行するようにも思えるこのルール（しかも、アマチュアが参加する大会で！）は、総合の試合にどんな変化をもたらしたのだろうか。

結論から書くと、思ったほど残酷なものにはならなかった。安全性を考慮し、ストップを早くしたためだ。具体的には、パンチが連続3発ヒットした時点でストップ。それでも、舞台裏を覗いた菊田早苗によれば、拳を痛めた者、顔面に裂傷を負った選手が少なくなかったらしい。素手のパンチは、脳に響くダメージは少なくても、外傷になりやすい。

ストップが早いことで"そこから先の展開"が生まれにくいのも事実だ。また、同門対決になると打撃が少なくなるのは、この大会が成熟していく上では問題だろう。もちろん、やみくもに殴るのが見たいというわけではないが……。場外落下といい素手での顔面パンチといい、この大会では、従来の総合系の常識は通用しない。柔術やアマ修斗の大会が頻繁に開催されている現在『タイタン・ファイト』が総合のスタンダードとなる可能性は、そう高くないと思う。

ただ、プロを目指す選手、ケガ覚悟でひたすら賞金稼ぎを目指すケンカ自慢たちの"度胸試し"の場としてなら機能していくのではないか。今大会のネーミングは、ギリシャ神話に登場する、闘いに明け暮れた種族『タイタン族』が由来。つまりこれは、現代のタイタン族のための大会なのだ。（橋本）

のはどうだろうか？

全体重をのせて腹で圧殺します。

落合　素晴らしいプロ魂だ。みんなの気

落合　は？　世界中の実力者が集う？

——ふ〜ん……。

10・22『サムライ』有明大会で、“北斗の覇王”西良典との対戦が決定したジャイアント落合。デビュー戦が横浜アリーナで、お次の試合は西武ドームと破格の新人。しかし、行き過ぎたパフォーマンスは、一部のファンおよびマスコミからひんしゅくを買った。多少はめげているのかと思いきや、やはりジャイ落はジャイ落。言葉の意味はよく分からないが、とにかく凄い自信のジャイ落を直撃した。

10・22『サムライ』有明大会参戦決定！

一部ファンおよびマスコミからのバッシングも、どこ吹く風

アイ・アム・宇宙デブ！

ジャイアント落合 インタビュー

聞き手◎山本宗忠　撮影◎黒田史夫

——いやぁ、どうも。落合さんのインタビューということで、バイトのボクで十分ということなので、今日はおじゃましました。

落合　オ〜、イエ〜！

——なんか聞いたところによると、三軒茶屋のビデオレンタル屋でバトラーツのビデオを借りてたそうじゃないですか。

落合　ブヒッ!?　なんで知ってるの？　さすがバイトだね！

——あの〜、だからてっきりプロレスに挑戦するのかなと思ってたんですけど、今度は『サムライ』だったんですね。

落合　佐竹国王から「行けっ！」と言われたので、ボクとしては行くだけです。ボクなんて下僕も下僕、石っころみたいなもんですから。将来的にはフィギュアにしてもらいたいです、原寸大のね。

——はぁ〜、恐るべき忠誠心ですね。それで、「落合さんは国王の下僕」っと。その10・22『サムライ』有明大会の対戦相手の西選手は、大道塾、キック、リングス等で活躍した、総合格闘技のパイオニア的存在なんですけど、どんな印象を持ってます？

落合　まあ、オーラの塊のような人ですね。試合は全然見たことないっスけど。

——全然？

落合　ほら、ちょうどその頃、山籠りに行ってたんっスよ。

——試合を見たことがないなら、ちょっと分かんないかもしれないですけど、西選手より自分のほうが優れていると思う点は？

落合　自分のほうが太っている！　白い！

——あ〜、なるほど。「白豚」っと。

落合　あと意外に乳首がキレイ。

——はぁ〜、キレイ。じゃあ劣っていると思う点は？

落合　う〜ん、やっぱ言わないと失礼ですよね？

——見当たらないってことですか？

落合　旨い店を知っている！　（西選手は）九州出身なだけに!!

——「旨い店を知ってる」ですね、フムフム……。サムライ・ルールはどうですか？

落合　全然問題なし！　ないないない、ナッシング！

——あわわ……。1＆2Rの投げ有りのキックルールというのは？

落合　飛びます。前回の試合（『プライド10』のリコ戦）では出せなかったんで、フクロウ・フックも出します。外れて転んでも、1＆2Rは上に乗られる心配はないですからね。

——あ〜、「袋服」……えっ？

落合　その字は違いますよ。フクロウ・フックですよ。大丈夫？

——あ、あ、すいません。ちょっと緊張してまして。では、3＆4Rの30秒の寝技が認められているグラップリング・ルールはどうでしょう。西選手は拓大柔道部出身で寝技にも精通していますよ。

落合　オールライト！　大丈夫。オレの中学の2コ上の先輩に、コンデ・コマがいましたから。

——明治生まれのコンデ・コマが2コ上？　凄いなぁ。では、勝算はあると。

落合　オフコース！　テイクダウンして

全体重をのせて腹で圧殺します。

—ちなみにセコンドには誰が？

落合　ナイショ。ノドのここまで来ているんだけど言えない。ヒントは、ウナギ。

—ウナギ？　では、『プライド10』の時のお話をお聞きしたいんですけど、落合選手と一緒に入場してきた子供たちが、入場する直前になって泣き出してしまって大変だったそうですね。

落合　へ？　なんスか、それ？

—知らないんですか？　みんなひれ伏して泣いてしまったそうですよ。「こんなカツラ、かぶりたくな〜い（泣）」って（笑）。

落合　あらあらあら（笑）。知んなかった、それ。ああ、確かに左の子は何か不機嫌だったっスね。右の子は笑ってましたけど。

—あの子も最初は「イヤッ！」って言ってたそうですよ。

落合　うそぉ！　あわわわわ……。

—でも結局、その子が率先して「みんな、我慢してかぶろう！」って言ってがんばったみたいですけど。

落合　素晴らしいプロ魂だ。みんなの気持ちを察せられずに、ゴメンよ…。

—その『プライド10』では、残念ながらリコ・ロドリゲス選手に負けてしまったんですけど、振り返ってみていかがですか。

落合　ひとつ気になっているのは、その子供たちがちゃんと帰れたかどうかです。はい。心配です。（と言うやいなや店員に向かって）すいません、世界中の子供たちに愛を与えてください。

—……もう、いいですか？

落合　んふふふふ。

—落合さんはジャイアンなだけに、ゲットすることしかしないかと思ったら、与えることもするんですね。

落合　どうも、うまいねぇ〜。呼んじゃうぞぉ、リサイタル。

—あ〜、ボクをのび太扱い……。では質問を変えます。一部の格闘技ファンからは、「世界中の実力者が集う『プライド』に、ジャイ落が参戦するには、10年早い」という意見もありますが、どうですか？

西選手をテイクダウンして、全体重をのせて腹で圧殺します！

落合　は？　世界中の実力者が集う？　何か間違っていませんか？

—エッ、どこがです？

落合　ボク、宇宙。空飛ぶ宇宙デブ。宇宙のデブ代表だから。

—ド、ドラえも〜ん。佐竹VS村上戦は、どう思いました？

落合　まあ、当然の結果、当たり前。以上！

—ほお。随分大きくでましたね。

落合　村上君には記者会見の時からムカついてたんですよ。「国王が逃げるんじゃないか」って。でも、国王が成敗してくれると思ってたから。

—そういえば、少し痩せました？

落合　おぉ……ちょっと甘いものに飽きちゃって、14時間くらい甘いものを食べなかったらしぼんじゃったんスよ。さあ帰って、チョコカツを食ーべよ。

—もうちょっと我慢してくださいね。それにしてもなんですか、チョコカツって？

落合　さあ。ただ「ヒロスエもハマってる」って雑誌に書いてあったんで。

—ふ〜ん……。

落合　終わり？

—いや、あの、じゃあこないだのオリンピックは何に感動しました？

落合　柔道の篠原選手の一本を見逃した主審ですねぇ。

—いま凄いらしいですからね、日本からのバッシングが。

落合　あれ絶対にあとでビデオで見て、「やっちゃった〜」って言ってますよ。「副審、気付いたならもっと早く言ってくれよ〜」って（笑）。

—それが一番感動したこと？

落合　そう……ズラ。

—あ〜、今度は殿馬ですね。じゃあ、そろそろファンに向けてメッセージをお願いします。もう帰りたいんで。

落合　宇宙にね？

—どうぞ、お好きに。

落合　レッツ・トゥギャザー・うなぎ！　愛を拾いに来い！

—当日は、ボクがあなたの骨を拾ってあげます（笑）。

落合　オ〜、イエ〜！

■

驚愕！　わずか1秒でメロンパンを食った!!

▲角川書店から発売中のMOOK『格闘魂』で、リングスの高阪剛と大食い競争していたジャイ落。そこで私も、今流行りのメロンパンの大食い競争……は無理だから、早食い競争に挑んでみた。が、結果は……秒殺。ジャイ落は、あっさりとメロンパン1個を飲み込んでしまった。その間、わずか1秒！　あわわ…。やはりジャイ落は、ただのデブではない!!

佐山聡も審査員として参加！『サムライ』ラウンドガール決定!!

▲記者会見の前に行われた、『サムライ』ラウンドガールオーディション。選ばれたのは、左から、塚本まゆチャン、藤咲理香チャン、澤田恵理子チャン、小田ますみチャンの4人。あわ…

▲なんと、掣圏道・佐山聡代表も審査員として登場した

噛みついてでも倒したい! やっぱり、小野瀬邦英は凄まじい

〝現役バリバリのムエタイランカー〟オーローノーに判定負けも、凶暴性炸裂

小野瀬得意の左フックが、タイの百戦錬磨を襲う。1Rには同じパンチをボディに持っていって、オーローノーをあわやというところまで追い込んだ

これが、小野瀬の歯形だ!

▲このオーローノーのあざを見よ。「やっぱりマウスピースをしたまま噛んでも、あまり効かなかったですね」(小野瀬)

★第11試合/メインイベント(3分5R)
○オーローノー・ポー・ムアンウボン(5R判定3-0)小野瀬邦英●
〈タイ〉 〈日本キック連盟/渡辺ジム〉
※判定…49-46、49-48、49-47

あらかじめ告白しておくが、小野瀬邦英の試合に限っては、私は中立の観戦者ではない。ファンである。この獰猛なキックボクサーの闘いを見ると、心がよじれて笑い出すような、どこかサディスティックな快感を憶える。

徹して攻撃的なところが好きだ。ひとたびチャンスを作ったと見ると、同じ攻めをあくことなく繰り返す単純明快さが好きだ。

「キックは金のためではないから。公然とケンカできるのが好き」

などという言葉を試合後に聞くと、もっと小野瀬に惹かれるのだ。

判定では完敗と言っていいオーローノー戦の敗退も、小野瀬は十分にらしさを発揮した。だから、私にとってこの日の小野瀬は、絶対に〝是〟なのである。

オーローノーは強い。タイ国内では、まともな試合はほとんどないほど。現役ランカーなのに、彼の試合はなぜだか、セミファイナルや第1試合に組まれるという。そのくせ、タイ選手を脅かすような外国人選手が現れると、決まってその迎撃者として起用される。本人からして、その立場は重々承知しているようである。

「パンチやヒジは普段は使わない。外国人と闘う時だけ」

つまり、このオーローノーは、気高い伝統に挑んでくるよそ者を潰すために用意された、必殺のガチンコ要員なのである。

小野瀬はそんな恐ろしい相手と闘うチャンスを、他団体のリングで勝ち取った。NJKFが企画した『トップ・オブ・ウェルター・リーグ』に日本キック連盟代表として参戦。本分のライト級から階級を上げ、一回り大きな猛者たちにことごとく殴り勝った。もとも

ニュージャパンキック
Millennium Wars 8
9.24★後楽園ホール

▼本気になったオーローノーはさすがに強かった。4Rにはジャンピング・ハイキックを連発。「アレは見せ技。3Rで勝利を確信したからね」

オーローノー、ジャンピング・ハイを連発!

「打倒ムエタイ? ヤツらの美学はオレのとは違う」by 小野瀬

オーローノーのコメント

「小野瀬はいい選手だ。ボディブローが強かった。100点満点で70点を上げてもいいだろう。パンチが強いので、無理には行かなかった。今日の自分はベストの体調だったし、3Rには勝利を確信した。4Rのジャンピング・キックはもっとお客さんに見せたかったが、セコンドが『遊ぶな』というのでやめた」

小野瀬のコメント

「1Rのボディブローでオーローノーは効いていたと思う。5、6発、いい感触のパンチがあったが、うまくしのぎきられてしまった。後半は技術論以前に、自分のほうがバテてしまった。ハナから判定で勝てるとは思っていないし、倒さなければ意味はない。そういうわけで今日の満足度は40点というところ」

▶小野瀬は決してひるまない。相手の出鼻に相打ちのカウンターを狙っていく。本当に恐い男だ

▶「トップ・オブ・ウェルター・リーグ」で優勝した小野瀬は、他団体のリングでも立派に主役をつとめた

▲ムエタイの面目を保って、オーローノーはホッとした笑顔を見せていた

▲セミのウェルター級5回戦は派手なダウンの応酬。初回に先制しながら、2Rにダウンを喫した佐藤嘉洋が、4Rにまた3度、中村篤史を倒してKO勝ち。19歳の新星・佐藤はこれで無敗の7連勝

▶オーローノーはいわばムエタイの「ガチンコ隊長」。外国人相手になると、普段封印しているパンチ、ヒジを駆使してマジにつぶしにかかるという

▲ミドル、ロー、ハイ。オーローノーは多彩な角度から強烈なキックを繰り出して、小野瀬を逆に追いつめていった

▲小野瀬のレバーブローには、ヒザでお返し。ミスター・バイオレンスの肝臓から悲鳴が聞こえるようだ

級を上げ、一回り大きな猛者たちにことごとく殴り勝った。もともとヒジ打ちや、左フックの肝臓打ちと、対戦相手に最大級の苦痛を与える攻撃を武器にする小野瀬は、このリーグ戦の間に、いよいよバイオレンスの度合いを高めてきた。

そんな小野瀬だから、オーローノーが相手だろうと、気後れするわけがない。1Rからいった。アッパーを連発。それからボディに左フックを叩きつける。これは効いた。タフネスを誇るタイ人の黒い体が、何度か折れ曲がる。

ただし、ここで倒しそこねたから、あとはオーローノーのペースになってしまう。なにしろ、キャリアが違うのだ。本気になった歴戦の勇者はミドル、ヒザで流れを変える。はまればケタ外れでも、すかされるとモロい小野瀬は、再び好機を作ることができない。

それでも小野瀬はただでは転ばない。2Rには頭突きで減点されたが、あとで「あれは故意」と平然と明かした。さらに4Rには、噛みつきまでやった。試合後もオーローノーの左肩にくっきりと歯形が残るほど、強烈にかぶりついた。それでも、マイペースを崩さなかったオーローノーには、小野瀬ももう脱帽するしかなかった。

だが、小野瀬はへこんでいない。

「ボクはアーティストだから。倒せなければ、自分の中身を見せたことにならない。打倒ムエタイ?(オーローノーは)勝てると思って後半逃げたでしょう。ボクの美学とは違うな」

私は次なる小野瀬のケンカ・アートを、一刻も早く見たいと思ったのだ。(宮崎)

キック団体にとって〝興行論〟とは何か？

K−1出場で輝きを増した内田 敗北するもプロ魂を見せる！

メインイベントに登場、負けはしたものの、激しい乱打戦で会場を沸かせた内田。K―1ジャパンGP出場をきっかけに、確実にプロとしての輝きを増している。ホームリングではなく、K―1で成長したのは皮肉なことだが…

ザウスは8月31日に札幌で行われたアルティメットボクシングにも参戦している。「パンチが得意」と言うだけあって、強烈な左右のフックで何度も内田をグラつかせた

試合終盤、内田はローキックでザウスを攻めたてた。試合後「あまり効かなかった」とコメントを残したザウスだったが、足は赤く変色していた

★第17試合/メインイベント（3分5R）
○アフメドフ・ザウス（5R判定3-0）内田ノボル●
〈ロシア〉 〈ビクトリージム〉
※判定…50-48、50-49、50-48

興行とは観客があって、初めて成否を問えるものだ。収益のことだけを言っているのではない。試合そのものの出来、不出来にも深く関わってくるのだろう。

はなから噛み合わない闘いなら手の施しようがなくても、満場の歓呼の中なら、凡試合がそこそこのファイトになり、まずまずの打ち合いが激闘にもなる。つまり、お客さんの集まり具合で『梅』が『竹』に、『竹』が『松』の味わいにもなる。ま、つきつめれば、鰻屋の流行り廃れの公式と同じこと。目いっぱいの客とともに食すれば、浜名湖の養殖物が、極上の天然物と等しい味になるのだ。

そういう意味で言えば、この日の興行は残念でならない。なにしろ不入りだった。リングサイド近く、クリーム色の長椅子席は、虫食いのトウモロコシのようだった。青色のスタンド椅子席は、果てしない夕暮れの大海のようである。

まばらな視線の中で組まれた試合は、全部で17試合もあった。トータルで66ラウンドである。しかも、9つの3回戦は、そのことごとくが判定に持ち込まれた。セコンドのかけ声ばかりがうつろに響き、お客さんたちは沈黙のポジションをガンとして譲らない。

「終電までに終わるかな」

決してあり得ない冗談が、妙に無力な現実感を伴って聞こえた。

これは断じてアマチュア大会でも新人育成試合でもない。4人ものチャンピオンが登場するイベントなのだ。だからこそ、余計に後楽園ホールの風景が寂しく見えた。

さらに悲しいことだが、4人の主役たちは、場の雰囲気に失望して、つつがなく〝仕事〟をこなし

王者4人が出場した"チャンピオン・カーニバル"しかし、客席は……

ベストバウト続出！この熱を、もっと多くのファンに伝えたかった

MAキックの王者が4人も出場するも、客席はガラガラ。いい試合が続出しただけに、会場の演出やマスコミを使っての仕掛け等、選手に対して見る側が感情移入できる"何か"が欲しかった

第15試合に行われたMAスーパーフェザー級王者の天野哲成（マイウェイジム）VS砂田政彦（士道館シカノジム）戦は、5Rに2度ダウンを奪った天野が3—0の判定勝利。天野は「次の防衛戦までは、絶対に負けたくない」とコメントを残した

MAフライ級王者・森岡卓司（武勇会）と長瀬悟（習志野ジム）の一戦では、森岡が長瀬の右ストレートでKO負けするという番狂わせが起こった。この日、それまでの試合のほとんどが判定決着だっただけに、インパクトは大きかった

タイ国王誕生日祝賀大会に、伊藤隆の出場が決定！

昨年はNJKFの鈴木秀明も出場した、毎年恒例のタイ国王誕生日祝賀大会（12月5日）に、今年はMAキックのエース・伊藤隆が出場することが決定した。この大会は、王宮前広場に10万人とも言われる観衆を集める、世界最大規模の格闘技イベント。伊藤は、かつてルンピニー王者になったこともあるムラッド・サリや多くの強豪ムエタイ戦士を倒しているだけに、実績は十分。"世界選抜チーム"の一員として、タイのトップ選手と闘うことになる。なお、この大会は、日本からの観戦ツアーも行われる。お問い合わせは、（株）キャプテンツアーズ☎03-3456-5775まで

▶セミファイナル。MAライト級王者の井上哲（山木ジム）が、元ラジャダムナン・バンタム級王者のワンヒン・ポーチャイワットを迎え撃った一戦は、2R36秒、井上が強烈な右フック一発でKO勝ちを収めた

▲これが、フィニッシュとなった井上の右フック。井上は試合後「あれはまぐれ。もう2度とないです（笑）」と語ったが、見事なKO劇だった

て、つつがなく"仕事"をこなしたわけではない。それぞれ見事なドラマを演じたのだ。

まずは森岡卓司だ。遠く愛媛県からやってきたフライ級王者は、若手の長瀬悟の右ストレートをアゴに打ち抜かれて派手にKOされた。森岡にとっては悔しい結末だが、この番狂わせは観るものの心を十分に熱くした。

続く現役王者と元王者の対決もスリリングだった。天野哲成と砂田政彦は、ともに意地をかけて闘った。打たれれば打ち返す式の互角の攻防は最終ラウンド、天野が右パンチを決めて決着をつけた。2度のダウンを奪い、判定勝ちを収める。

井上哲も右フック一発で、元ラジャダムナン王者を沈める。

メインは内田ノボルが、蟹圏道のアフメドフ・ザウスに判定負けしたが、決して恥じるような試合ではない。ヘビー級らしい豪快な殴り合いは迫力満点だった。初回に右パンチでダメージを負った内田は、左目を腫らし、額から出血しながらローキックで追い上げたが、もう一歩届かなかった。

いずれも掛け値なしの好試合である。だが、やはり会場は盛り上がらない。盛り上がる対象の絶対数が足らないのだから仕方ない。

観客動員の手法、試合の組み方を含め、この日の興行は観客には優しくない。観客に優しくなければ、選手たちにも優しくない。

この興行は、ひとたびK—1が中量級に進出すると、話題を根こそぎさらわれてしまうキック界の現状を象徴するものだったのではないか。返す返すも残念だ。（宮崎）

たっつぁん円座ビーチ

読者プレゼント

祝・Showご婚約記念！

【天田ヒロミ提供】

ほんとに天下、取れんのかー!? オッケイやれや、ほんなら！

●天下統一Tシャツ（サイズL）

天下統一

2名様

【ヴァリス提供】

男の憧れ、グレート・ムタの最新作！

●ビデオソフト『闘魂Vスペシャル特別編・グレート・ムタ』

※グレート・ムタのベストバウトと最新映像で綴る完全版がついにリリース！ 過去の数々のシングルマッチやNOW時代、そして現在までを網羅した豪華版!! です。ただいま発売中！ ヴァリス・ビデオシリーズに関するお問い合わせは、（株）ヴァリス☎03－5351－5181まで

3名様

【メディアワークス提供】

子連れ鳩Showの最新作！

●『猪木語録～闘魂伝書・世紀末編～』

猪木語録

闘魂伝書 世紀末篇

猪木イズム最後の継承者 藤田和之絶賛！

全猪木信者必読!! 監修"Show"大谷泰顕

10名様

※1998年4月4日『引退試合』から、2000年8月27日『プライド10』まで、アントンの主要行動＆檄コメントを厳選収録！ 激動の世紀末格闘環境、すべての答えは猪木に訊け!! との事です。おまけで本誌発行人・柳沢忠之が「猪木とは何か？」をテーマに紙プロ編集長・山口日昇と対談してま～す。

【アンビリーバブル豚術提供】

UFC取材時のおみやげ！ ミネソタ州知事ベンチュラグッズがたまらん！

●なぜだ!? サウスパークTシャツ（サイズXL）

IT'S ALL A BUNCH OF TREE-HUGGIN' HIPPIE CRAP!

2名様

●マーク・コールマンTシャツ（サイズXL）

MARK COLEMAN

HAMMER HOUSE

2名様

●ジェシー・ベンチュラキャップ

JESSE

MESS WITH ME... MESS WITH MY GOVERNOR

3名様

●ジェシー・ベンチュラキーホルダー

JESSE

MESS WITH ME... MESS WITH MY GOVERNOR!

3名様

【格闘探偵団バトラーツ提供】

男の憧れ、ウォリアーズのTシャツだ！

●ロード・ウォリアーズTシャツ（サイズL）

WHAT A RUSH!! THE ROAD WARRIORS

LEGION OF DOOM

3名様

※この商品はバトラーツ試合会場にて絶賛発売中！
お問い合わせはバトラーツ☎0489-63-0005まで

●なぜだ!? タクシードライバーTシャツ（サイズXL）

2名様

●なぜだ!? ブルース・ブラザーズTシャツ（サイズXL）

The Blues Brothers

On a Mission From God

2名様

もうしばらく待て!!

髙田道場HP&『SRS・DX』通販限定 髙田延彦Tシャツ & サクラバマシン・フィギュア 情報!

髙田道場
TAKADA NOBUHIKO

次号にて発売開始
完全限定
1500枚!

Are you a "Vale tudor"?
or "Free fighter"?
Nobu
I am Pro-wrestler

限定だけど、ホントはすべてのNOBUラバーズに捧げたい!

10月26日(木)より、髙田道場HP&『SRS・DX』誌上通販で完全限定発売!(10・31『プライド11』会場で若干数販売)

※写真はデザインのプリントアウトを貼っつけたものです。すんません、まだできてません。再販は死んでもやらん。

○髙田延彦"アイ・アム・プロレスラー"Tシャツ
(カラー/ホワイト、サイズ/L・M・S) ¥3,990(税込)
※Sサイズは、キッズのLサイズです。

次々号にて発売開始
完全限定
3900体!

あと少しで完成!! 残るは、彩色とTシャツとパッケージだけ!

11月9日(木)より、髙田道場HP&『SRS・DX』誌上通販で完全限定発売!(10・31『プライド11』会場で若干数先行販売)

※ただいま彩色&Tシャツ製作(桜庭Tシャツver.1)に突入中! スパッツ(黒)に"髙田道場ロゴ"とグローブに"エクシングロゴ"が入ります。右ヒザのテーピングに、"DSE高橋"サインは入りません!(笑)。

CASTER
MILD

○サクラバマシン・フィギュア
(5・1 対ホイス・グレイシー戦バージョン) ¥5,250(税込)

髙田道場&『SRS・DX』編集部への上記商品に関する、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。両社ともにパニック状態になっております。いま決定していることはこれだけですので、ご了承くださ~い!

【全日本キック提供】

パンク系人気ブランド「SKULL SHIT」がデザイン!

●小林聡Tシャツ(サイズM)

STRAY DOG

3名様

※限定200枚で全日本キック会場&全日本キック本部(北新宿)で発売中! 価格¥3,500。サイズはM・L・XL。通販ご希望の方は、現金書留で、商品名・サイズ・枚数を明記したメモに、代金&送料(何枚でも¥350)を添えて下記までお申し込みください。
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
全日本キック通販係 ☎03-3365-1171

【トライアル提供】

トラボルタ主演のSF大作!

●『バトルフィールド・アース』劇場招待券

※全米SFファン投票作品部門第1位。映像化不可能といわれたSFサーガ、L・ロン・ハバード原作『バトルフィールド・アース』がジョン・トラボルタ製作・主演でついに映画化! 10月21日より、丸の内ルーブルほか全国松竹・東急系にてロードショー公開!

5組10名様

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう!

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由(複数可)
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください! なお、このハガキのご意見を無闇に『ワンフー・マクダニエル』で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㉜』係まで
締め切り…10月26日(木)
当日消印有効

「このルールは
楽しめる!!」

立技だけでは勝てない。
寝技だけでも勝てない。

ィ」有明コロシアム

絶賛発売中!

チケット発売所
チケットぴあ:03-5237-9999
ローソンチケット:03-3569-9900
CNプレイガイド:03-5802-9999
チャンピオン:03-3221-6237
書泉ブックマート:03-3294-0011
後楽園ホール:03-3811-2111
レッスン渋谷:03-3464-0078
レッスン池袋:03-3989-0056
アイドール:03-3371-5211
マーシャルワールド:03-5214-5822
大山アメリカン:03-3962-6443
プロレスマニア館:03-5276-0304
フィットネスショップ格闘技:03-3265-4646
格闘技ショップファイター:03-3354-1903

SAMURAI
PROJECT JAPAN

サムライルール

第1ステージ
3分2Rキックボクシングルール
（ヒジなし、投げあり）

第2ステージ
3分2Rグラップリングルール
（寝技制限時間30秒）

立ち技総合格闘技の新世界基準、
「サムライ・ルール」が有明に！
最も実戦に近い・最も恐怖のルールに
あえて挑む空手、キック、プロレス
柔術、総合格闘技・・・
「素手のストリートファイトを極める」
武道の本質が、サムライの魂が、
世界中の強豪を呼び集める。

10.22「サムライ

チケット絶賛

主催：サムライプロジェクト
会場：有明コロシアム
日時：2000年10月22日（日）
開場12：30
開始14：00
協賛：新日本電工（株）

入場料金
全席指定　消費税込
SRS席￥20,000／RS席￥15,000
スタンドRS席￥10,000／SS席￥8,000
S席￥5,000／A席￥3,000

ご注文は▶TEL.0480-24-0711 FAX.0480-24-0713

モデル・早川光由（正道会館柔術クラスのインストラクター）

柔術衣（ダブル） JJ-1000 日本製

送料￥600

●上衣／二重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-1000 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-1001（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-1000（上下セット）
2～5	￥17,800	￥6,200	￥24,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長(cm)	155	165	175	185

柔術衣（シングル） JJ-100 日本製

送料￥600

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-100 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-101（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-100（上下セット）
2～5	￥8,800	￥6,200	￥15,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長(cm)	155	165	175	185

ブルー柔術衣 JJ-200BL 柔術衣 JJ-200 中国製

NEW

送料￥600

ブルー柔術衣 JJ-200BL
●上衣／一重織刺子（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城染加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4～7号

柔術衣 JJ-200
●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4～7号

JJ-200／JJ-200BL 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-201 JJ-201BL（上衣）	JJ-202 JJ-202BL（ズボン）	JJ-200 JJ-200BL（上下セット）
4	￥6,860	￥2,940	￥9,800
5	￥7,280	￥3,120	￥10,400
6	￥7,560	￥3,240	￥10,800
7	￥7,980	￥3,420	￥11,400

柔術衣参考サイズ	サイズ	4	5	6	7
	身長(cm)	165	170	175	180

[ブラジル製柔術衣]

ハンター柔術衣
（上下白帯セット） 色／白

￥21,000 送料￥600

収縮率:上衣／横10% 縦6% ズボン:横6% 縦6%
サイズ: S=身長160～169cm
M=身長170～177cm
L=身長178～184cm
(白)●上衣／横刺刺子織地 ●ズボン／葛城晒加工地

頭 柔術衣
（上下セット） 色／白／ブルー

送料各￥600

白	
S～L	￥22,000
LL	￥25,300

ブルー	
M～L	￥24,000
LL	￥26,000

収縮率:上衣／横5% 縦5% ズボン:横5% 縦5%
サイズ: S=身長158～165cm M=身長166～175cm
L=身長176～184cm LL=身長185～193cm
(白)●上衣／縦刺特殊厚織地・綿100% ●ズボン／葛城晒加工厚地
(ブルー)●上衣／縦刺特殊厚織地・綿100% ●ズボン／葛城染加工厚地

クルーガンズ柔術衣
（上下白帯セット） 色／白・ブルー

(白) S～LL ￥25,000 送料各￥600
(ブルー) S～LL ￥28,000

収縮率:上衣／横8% 縦3% ズボン:横5% 縦7%
サイズ: S=身長161～170cm M=身長171～180cm
L=身長181～190cm LL=身長191～200cm
(白)●上衣／横刺刺子織地 ●ズボン／葛城晒加工地
(ブルー)●上衣／横刺刺子織地 ●ズボン／葛城染加工地

WEIGHT GLOBE

ウエイトグローブ
SUN-5

(写真左) 5ポンド ￥2,500
送料￥700 左右1組

(写真右) 10ポンド ￥3,000
送料￥900 左右1組

ハンター ショートパンツ NEW
HP-001

￥7,400 送料各￥600 サイズ／S・M・L・LL
色：白・黒

サイズ：S. ウエスト80～88cm
M. ウエスト90～98cm
L. ウエスト95～105cm LL.ウエスト100～115cm

エクササイズマット
SUN-1

￥2,500
送料￥600
タテ148cmxヨコ58cmx厚さ8mm

折りたたんだ時のサイズ：タテ36cmヨコ58cm

WEIGHT WRIST&ANKLE

ウエイトリスト&アンクル
SUN-4
手首、足首どちらにも使用できます。

5ポンド ￥2,000
送料￥700
左右1組

10ポンド ￥2,500
送料￥900
左右1組

HAND GRIP

ハンドグリップ
SUN-3

￥1,800 送料600円
●1～6段階、負荷調節可能
最大負荷:30kg

WRIST TRAINER

リストトレーナー
SUN-2

￥3,500 送料￥600
●1～6段階、負荷調節可能
最大負荷:30kg

武道・トレーニング用品の総合メーカー
株式会社イサミ SRS 係
〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711㈹ FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00～21:00
土・日・祝日	9:00～18:00

★総合カタログご希望の方は切手￥160分をご送付下さい。

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。

- ㈱建武堂（東京池袋）…TEL.03-3986-5255
- 尚武堂産業（東京水道橋）…TEL.03-3815-0411
- 神奈川八光堂（横浜市）TEL.045 261 6834
- 赤心堂（大阪市難波・東大阪市）…TEL.06-6649-7111
- ㈱公武堂（名古屋市）…TEL.052-241-2511
- 林藤武道具（石川県金沢市）…TEL.0762-52-2220
- ㈲東京武道具（札幌市）…TEL.011-241-6345
- ㈱いさご武道具（仙台市）…TEL.022-262-2562
- ㈱マルシン（京都市）…TEL.075-841-1523
- ㈱三恵（長崎県諫早市）…TEL.0957-22-5210

ご注文方法

代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。商品代金＋送料＋代引手数料＋消費税
現金書留	TELにてお問い合わせの上、注文書と商品代金＋送料＋消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。合計￥10,000よりご利用できます。合計￥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計￥50,000よりご利用できます。詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意

★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料
総額 ￥10,000未満→ ￥300
総額 ￥30,000未満→ ￥400
総額 ￥100,000未満→ ￥600
総額 ￥100,000以上→ ￥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード
ディーシー ビザ マスター ミリオン ジェーシービー

ひきこもりがちなアナタに朗報！
あのTシャツが、
家から一歩も出なくても手に入ります！

SRS・DX
格闘技グッズ
通信販売

アレクサンダー・カレリン
RUSSIA

"ハロー・シドニー!!"Tシャツ
生成／サイズXL・L・M・S
￥4,000（税込）

"カレリンズ・リフト"Tシャツ
白／サイズXL・L・M・S
￥4,000（税込）

小川直也
U.F.O.

オーチャンTシャツⒶ
黒／サイズL・M
￥3,500（税込）

オーチャンTシャツⒷ
ラグラン／サイズL・M・S
￥3,500（税込）

オーチャンロングTシャツ
ラグラン／サイズM・S
￥4,500（税込）

オーチャンステッカー
￥1,000（税込）

佐竹雅昭
怪獣王国

佐竹死刑Tシャツ
黒／サイズL・S
￥3,500（税込）

アレクサンダー大塚
格闘探偵団バトラーツ

AO/DC Tシャツ
黒／サイズL・S
￥3,500（税込）

※ロゴの緑部分はラメです。

ご注文方法

①ご注文は電話受付のみです。

『SRS・DX』通販専用 NAVIダイヤル ☎(0570) 007800 ※携帯電話からは掛かりません。

または、☎(03) 3295-4450

受付曜日・時間／月曜日～土曜日・AM10:00～PM6:00

②商品お渡し方法
- 代金引換でのお受け取りとなります。
- 商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
- お届けはご注文をいただいてから、一週間前後で郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

③ご注意
- 代金、送料の先払いはお受けできません。
- サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
- 『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

超限定
髙田延彦Tシャツを次号で販売!!

P113を参照！

第１章　日本人の３人に２人は包茎です。

●東京上野クリニックには、同様の性春の悩みを抱える男性から、年間3万件以上にものぼる相談電話が寄せられています。人気の秘密は年中無休、24時間体制で無料相談が受けられること。これなら周囲に気兼ねすることなく、いつでも、どこからでも好きな時に相談することが可能です。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

●包茎の百害損した男たちのエピソードの数々
「包茎が原因で雑菌が溜まり性病をくり返した」（大阪市・29歳会社員Oさんのケース）
「包茎は早漏気味になりやすい」（浜松市・25歳会社員Kさんのケース）
●包茎治療の百利包茎治療で得した男たちのエピソードの数々
「ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた」（大阪市・36歳会社員Aさんのケース）
「いつでも「気持ちいい」セックスができる」（東京都・27歳会社員Fさんのケース）

第３章　最新の技術・無痛治療法。

●この不安を解消するために、東京上野クリニックが導入したのがバイオジェクター。これは麻酔薬をペニスの表面に噴霧して、その時のガスの圧力で皮の感覚を麻痺させます。
●そこで上野クリニックが採用したのが深部冷却法です。これは特殊な柔らかいジェルを半凍結するまで冷やし、それを直接ペニスに巻き付ける方法です。こうすることによって、皮膚の深部まで麻痺させることに成功しました。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

●上野クリニックは機械を用いず、すべて手作業で手術を行います。そして、超精密な手作業技術だからできる、自然な仕上がりを実現します。
●軽度の包茎の方にお勧めしているのが切らない手術法です。これは根元の部分で余った皮を集めて、特殊な組織繊維剤で軽くくっつける方法です。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●スタッフは全員男性。受付から治療にいたるまで一貫して熟練した男性スタッフがあたっています。
●包茎治療で通院した事実を秘密にしたいという誰もが抱く思いを、東京上野クリニックは尊重します。それゆえ、当院では知り合いの人たちだけではなく、来院された他の患者さんとも顔を合わせることのないよう、完全予約制にて診療時間を調整しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●時々、亀頭周囲や陰茎を注意深く観察してみてください。もしツブツブを発見したら、一人で悩まず、早期治療することをお勧めします。というのも、特殊な機械を使って正しい治療を施さないと、コンジロームは再び増殖を開始する厄介な病気だからです。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●包皮のだぶつきは、年齢が30代に突入すると徐々に性感を妨げるようになり、ひいては精力の低下につながっていくのです。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、この過敏な亀頭を人体無害のコラーゲンを使った独自の特殊な注入方法で、早漏をある程度抑えることができるようになりました。

（以上：目次より）

男の人生を変える一冊。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去15万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

MEN'S BODY POWER UP
男の一生を決める男の手術
無痛・無傷・安心の
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）
判型：A5判　ページ数：80頁

発行所／株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

この本についてのお問い合わせは

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

TEL/03-5543-3700

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合案内
テープ案内
資料請求
個別相談
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

ご紹介できるクリニック一覧

札幌 011-252-6000　中央区北4条西2 アイビル 4F
仙台 022-723-3000　青葉区中央1-6-27 仙信ビル 7F
新潟 025-241-4000　新潟市花園1-4-6 リバティプラザ駅前 2F
大宮 048-642-1000　大宮市宮町2-11 ハシモトビル 7F
東京 03-3274-4000　中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野 03-3876-7000　台東区根岸1-8-18 高松ビル 4F
新宿 03-3343-4000　新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜 045-323-5000　西区北幸2-10-50 北幸山田ビル 2F
千葉 043-221-8000　中央区富士見1-2-11 勝山ビル 6F
浜松 053-452-6000　浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル 5F
名古屋 052-562-5000　中村区名駅3-26-21 新香取ビル 6F
京都 075-352-5000　下京区新町通七条下ル東塩小路町593 クリスタル駅前ビル1F
大阪北 06-6456-3000　北区梅田1-2 駅前第2ビル 2F
大阪南 06-6634-3000　中央区難波3-5-11 東亜ビル 8F
岡山 086-224-9000　岡山市本町6-36 第一セントラルビル 3F
福岡 092-415-6000　博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F

メールで男の悩み相談もできるホームページです
http://www.ueno.co.jp
携帯アドレス
http://www.ueno-c.com

SRSDX

11・9 臨時増刊号 No.32

10・9 K-1 WORLD GP 2000 福岡大会速報

"空手VS柔道" 佐竹VS小川、大阪で実現へ

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成12年11月9日発行　増刊　第2巻・20号・通算32号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円
本体648円

雑誌21586-11/9
Ⓛ-2000.12/13

T1121586110682

Printed in Japan